第三條　條例及規則ハ一定ノ掲示場ニ掲示ス
第四條　條例及ヒ規則ハ掲示ノ當日ヨリ五日ヲ經テ施行ノ期限トス
第五條　條例及ヒ規則ノ内發行ノ當日ヨリ施行ヲ要シ又ハ特ニ施行ノ日ヲ掲ケタルモノハ前條ノ例ニ據ラス

條例第二號說明

本町内ニ施行スヘキ公文幷公告式ハ從前掲示或ハ各戸巡達等ノ慣行アリト雖モ之ヲ制裁スルノ規定ナキニ據リ特ニ此條例ヲ設ケタルナリ

退隱料支給條例規定ノ儀ニ付上申

本町有給吏員退隱料支給條例別紙說明書ノ通本町會ノ議決ニ依リ條例規定致度候條施行之儀御認可被成下度此段上申仕候也

明治二十二年六月二十五日　内務大臣伯爵　松　方　正　義

滋賀縣滋賀郡大津町長　村　田　六　之　助　殿

條例第四號

大津町有給吏員退隱料支給條例

第一條　有給吏員退隱料ハ其就職ノ年數ニ依リ退職後之ヲ支給ス

第二條　退隱料ハ滿四箇年以上就職シ退職シタル者ハ月俸一箇月分ヲ退職ノ際一時支給ス

第三條　就職滿十二年以上ニシテ退職スル者ニハ退職現時ノ月俸年額四分ノ一爾後滿一箇年毎ニ二百四十分ノ一ヲ加ヘ滿三十二年ニ至リ即チ月俸年額三分ノ一ニ至ツテ止メ終身之ヲ支給ス

第四條　前條年金ハ毎年六月十二月二箇度ニ分チ半年分ヲ交付ス

第五條　退隱料ヲ受クルモノニシテ六月以前ニ失權若クハ死亡ノ者ハ一年額ヲ支給ス

第六條　自己ノ便宜ニ依リ退職ヲ請フ者又ハ懲戒裁判ニ依リ解職セラレタルモノハ就職滿四箇年ヲ超ユルト雖モ退隱料ヲ支給セス

但任期アル吏員ニシテ滿期ノ際再選ヲ辭スルハ此限ニアラス

第七條　退隱料ヲ受クル者公權ヲ剝奪セラレタルトキハ全ク之ヲ止メ又公權ヲ停止セラレタル時ハ其時間之ヲ停ム

第八條　就職年數ハ月ヲ以テ計算ス

條例第四號說明

本町有給吏員ノ退隱料支給條例ヲ設クル所以ハ吏員退任後ハ生計ノ幾分ヲ補ヒ在職中ノ勤務ニ報ヒ且之カ爲メ永ク其職ニ安ンスルノ念ヲ抱カシメントスルニ在リ

滋賀縣滋賀郡大津町町條例ハ上奏ノ通裁可相成タリ

別紙内務大臣上奏滋賀縣滋賀郡大津町町條例ヲ審査スルニ右ハ相當ノ規定ニシテ法律抵觸ノ廉モ無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

内務省上奏二十二年九月十七日

滋賀縣犬上郡彦根町ニ於テ徴收督促及手數料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ右審査スルニ支障ノ廉アルヲ見ス依テ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

滋賀縣犬上郡彦根町條例ハ上奏ノ通裁可相成タリ

滋賀縣犬上郡彦根町長　樋　口　一　成

内務大臣伯爵　松　方　正　義　殿

大藏大臣伯爵　松　方　正　義　殿

理由書

町村制第百二條ニヨリ本町諸般ノ收入ヲ定期内ニ納メサルモノニ對シ督促及ヒ手數料ヲ徴收スルトキハ從來斯ノ如キモノ少カラス右等ニ對シ一一督促ヲ加フルトキハ其事務繁ニ過クルノミナラス定期ニ完納セサルモノハ自ラ怠惰者ヲ補助スル結果トナリ故ニ督促ヲ受ケタルモノヨリハ手數料ヲ徴シ一ハ右ノ弊ヲ矯メ其怠慢者ヲシテ願ル所アラシメントスルニアリ

條例第二號

第一條　町村制第百二條ニヨリ本町諸般ノ收入ヲ定期内ニ納メサルモノアルトキハ町長ハ左ノ規定ニ依リ督促ヲナスモノトス

一　督促ヲナスモノトキハ町長ヨリ令狀ヲ附スヘキモノトス

二　納期後七日以内ニ一回ノ督促ヲナシ而シテ後三日ヲ過キ尚完納セサルトキハ再督促ヲナスモノトス

三　再督促ヲ受ケ尚完納セサルトキハ國稅怠納處分法ニ依リ徴收スヘシ

第二條　再督促ヲ受ケタルモノハ距離ノ遠近ニ不拘手數料金二錢ヲ納ムヘシ

第三條　他町村ヨリ納稅スルモノニシテ督促ヲ受ケタルモノハ每一回手數料金二錢ノ外距離一里每ニ增手數料金二錢ヲ納ムヘシ

指令二十二年九月二十日

滋賀縣犬上郡彦根町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年九月二十五日、

滋賀縣滋賀郡大津町ニ於テ敎育委員條例ニ關スル件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ右審査スルニ別段支障ノ廉アルヲ見ス依テ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

敎育委員設置條例規定ノ儀ニ付上申

本町敎育委員設置ノ儀別紙說明書ノ通本町會ノ議決ニ依リ條例規定致度候條施行ノ儀御認可被成下度此段上申仕候也

明治二十二年八月二十六日
内務大臣伯爵　松方正義殿

滋賀縣滋賀郡大津町長　村田六之助

條例第三號

大津町教育委員設置條例

第一條　本町内教育ノ擴張ヲ圖ルカ爲教育委員ヲ本町會ニ於テ左ノ區域公民中撰舉權ヲ有スル者ヨリ撰任ス

第二條　教育委員ハ本町會ニ於テ左ノ區域公民中撰舉權ヲ有スル者ヨリ撰任ス

字元會所町　同御藏町　同坂本町　同橋本町　同白玉町　同錫屋町　同上堅田町　同堅田町　同下平蔵町　同苗七町　同中堀町　同丸屋町　同太間町　同玉屋町　同伊勢屋町　同材木町　同和泉町　同高見町　同上京町　同中京町　同上小唐崎町　同八幡町　同下小唐崎町　同後在家町　同菱屋町　同川端町　同笹屋町　字今堀町　同水揚町　同西今下風町　同中保町　同西山町　同藏橋町　同鍵屋町　同船頭町　同石橋町　同菱屋町　同小川町　同上馬場町　同下馬場町　同上北國町　同中北國町　同土橋町　委員一名　同上北國町　同下北國町　同上大門町　同下大門町　同尾花川町　同別所村　同北保町　同鹿關町　同上小唐崎町　同後在家町　字下榮町　同上榮町　同松屋町　同金坂町　同下百石町　同布施屋町　同下博勞町　同上百石町

字元會所町　同橋本町　同白玉町　同上堅田町　同下平蔵町　同中堀町　同太間町　同伊勢屋町　同和泉町　同上京町　同上小唐崎町　同下小唐崎町　同川端町　字今堀町　同水揚町　同西今下風町　同中保町　同西山町　同藏橋町　同鍵屋町　同石橋町　同小川町　同上馬場町　同下馬場町　同上北國町　同中北國町　同土橋町　委員一名　同上北國町　同下北國町　同上大門町　同下大門町　同尾花川町　同別所村　同北保町　同鹿關町　同上小唐崎町　同後在家町　字下榮町　同上榮町　同松屋町　同金坂町　同下百石町　同布施屋町　同下博勞町　同上百石町

同南町　同新町　同南保町　同上平蔵町　同肥前町　同柳町　委員一名　同猪師町　同九軒町　同了德町　同井筒町　同大工町　同蛭子町　同鍛冶町　同東今下風町　同川口町　同樹屋町　同七軒町　同石川町　委員一名　同土橋町　同中北國町　同上大門町　同觀音寺町　同神出村　同上博勞町　同鴛原町　同寺町　同四宮町　委員一名

同北町　同關寺町　同下片原町　同大谷町　同藤尾村　字松本村　同東浦町　同清水町　同上片原町　同一里町　同追分町　委員一名　同馬場村　委員一名

敎育委員ノ任期ハ四箇年トス滿期再撰スルコトヲ得

第三條　敎育委員ハ四箇年トス滿期再撰スルコトヲ得

第四條　敎育委員ハ協議ノ上受持區域ヲ定メ區内學齡兒童ノ就學ヲ勸奬シ町内敎育ノ普及ヲ圖ルモノトス

第五條　敎育委員ハ左ノ條項ニ就テハ委員會ヲ開キ議決ノ上施行スヘシ但監督官廳ノ認許又ハ町會ノ議決ヲ要スヘキモノハ各其手續ヲ經ルモノトス

一就學奬勵ノ方法ニ關スルコト

二校舍ノ建築修繕ニ關スルコト

三重要ノ備品書籍器具等ヲ購入及ヒ不用品賣却ノコト

四前項ノ外町立學校管理上必要ノ事項ニ關スルコト

第六條　委員會ハ町長之ヲ招集ス委員半數以上出席スルニアラサレハ當日ノ會議ヲ開クヲ得ス

第七條　委員會議ハ可否同數ナルトキハ委員長ノ可否スル所ニ依ル

第八條　委員會ハ別ニ議案ヲ用井ス書記ヲシテ其決議ノ要領ヲ筆記セシムルコトヲ得

敎育委員設置條例說明書

本町ニ於テ敎育委員設置條例ヲ設ケタル理由ハ敎育事務ノ普及ヲ圖ランカ爲メ從來郡長ノ委囑ニ依リ本町内ニ十二名ノ小學校委員ヲ置キ敎育ニ係ル百般ノ事務ニ參與セシメタルノ例ヲ襲ヒ常設委員五名ヲ置クコトトナセリ而シテ茲ニ本町立ニ係ル學校數ヲ擧レハ高等科小學校一尋常科小學校本支校三分校二簡易科四校ニシテ尋常科附屬幼稚園及ヒ大津英語學校等アリ而シテ學齡兒童ハ凡ソ六千二十餘人之レカ通學ニ便ナラシメン爲メ校舍ノ所在モ又適當ノ位置ニ配設セリ故ニ委員モ其區域ヲ劃シ之ヲ撰舉シ兒童ノ就學ヲ勸誘奬勵シ其他校舍ノ管理等粗隔ナラシメス授業ノ整否ニ周到注意ナラシムル爲メ五名ヲ要スル所以ナリ

指令二十二年九月二十七日

滋賀縣滋賀郡大津町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年九月二十八日

滋賀縣犬上郡彦根町ニ於テ公文公告式條例ニ關スル件別紙之通許可ヲ稟請セリ右審案スルニ支障ノ廉アルヲ見ス依テ御裁可アラセラレ度誼テ上奏ス

公文公告式規定ノ儀ニ付上申

本町ニ要スル公文公告式ノ儀本町會ノ議決ニ依リ町條例ヲ以テ別紙ノ通リ規定致度候條施行ノ儀御許可被下度此段上申仕候也

明治二十二年九月六日

滋賀縣犬上郡彦根町長　樋口一成

理由書

內務大臣伯爵　松方正義殿

從來公文公告ヲ一般ニ知ラシムルハ各戸ニ回達シ或ハ役場前ニ掲示スル等一定ノ慣行ナカリシカ各戸ニ回達スルトキハ徃徃回達方遲延シ速ニ周知期限內一般知了ノ場合ニ至ラス故ニ本條例ヲ設クル所以ナリ

條例第三號

第一條　町條例規則幷ニ規定公告ハ本町役揚門前ニ掲示スルヲ以テ公告式トス

第二條　條例規則幷ニ規定廢告ハ掲示ノ翌日ヨリ五日間ヲ經テ施行ノ期限トス

第三條　急施ノ事件ニシテ即日ヨリ施行ヲ要スル場合又ハ別段施行ノ日ヲ掲ケタルモノハ例外トス

指令二十二年十月二日

滋賀縣彦根町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年四月二日

滋賀縣野洲郡守山村外十二村組合ニ於テ常設勤業委員ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審查スルニ別段支障ノ廉無之ニ付御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

委員設置條例規定ノ儀上申

滋賀縣野洲郡守山村外十二箇村（全部名村）組合ニ於テ勤業委員ヲ常設スルノ必要有之ニ付別紙勤業委員設置條例御許可相成度該組合會ノ決議ヲ經テ此段上申候也

滋賀縣野洲郡守山村外十二箇村組合事務管理

滋賀縣栗田野洲郡長　穗積敬重

明治二十三年三月二十日

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

滋賀縣野洲郡守山村外十二箇村組合勤業委員設置條例

第一條　當組合ニ勤業委員一名ヲ置ク

第二條　委員ハ當組合會ニ於テ組合各村公民中村會議員ノ選擧權ヲ有スルモノヨリ選擧ス

第三條　委員ノ任期ハ四箇年トス但シ滿期ニ至リ再選スルコトヲ得

第四條　農商工業上ノ利害得失ニ注意シ改良ノ意見アルトキハ之ヲ當業者ニ指示誘導スル事

一　勤業會ニ關スル庶務ヲ整理スル事

二　博覽會共進會等ノ出品誘導及出品手續ヲナス事

三　農業試作場監督ノ事

四　民業上ニ付組合內人民ノ質議アルトキハ其意見ヲ陳述スル事

五　組合內勤業上ニ付意見アルトキハ其時々管理者ニ申報スヘシ

第五條

理由書

此條例ヲ要スル所以ハ野洲郡守山村外十二箇村ニ於テハ從來勤業委員二名ヲ設置シ其受持區ヲ南北ニ分チ勤業事務ヲ取扱ヒタル慣行ナルモ明治二十二年ニ於テハ町村制施行ニ際シ暫ク之ヲ設ケサリシモ從來ノ經驗ニヨレハ其公益不勘ニ付今之ヲ回復シテ更ニ一員ヲ置キ管理者ノ事務ヲ分掌セシメ組合內農商工業ノ進路ヲ謀ラントスルニアリ

指令二十三年四月十五日

滋賀縣野洲郡守山村外十二村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年五月十六日

滋賀縣犬上郡彦根町ニ於テ勤業委員ニ關スル件別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審查スルニ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

有給助役設置ノ儀上申

本町之儀ハ戸數三千餘戸人口一萬八千餘ニシテ位置ヲ郡役所ノ下ニ占メ商工業繁昌人事複雜到底名譽職町長助役ヲ以テ事務處辨難相成ニ付助役一名ヲ有給トシ相當ノ給料ヲ給シ專ラ其職ニ從事爲致度則本町會ノ議決ニ依リ施行ノ儀相伺候條御認可被下度別紙理由書相添此段上申仕候也

明治二十三年四月二十九日

滋賀縣犬上郡彦根町長　樋口一成

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

（別紙）

有給助役設置ノ儀上申

本町之儀ハ戸數三千餘戸人口一萬八千餘ニシテ位置ヲ郡役所ノ下ニ占メ商工業繁昌人事複雜到底名譽職町長助役ヲ以テ事務處辨難相成ニ付助役一名ヲ有給トシ相當ノ給料ヲ給シ專ラ其職ニ從事爲致度則本町會ノ議決ニ依リ施行ノ儀相伺候條御認可被下度別紙理由書相添此段上申仕候也

明治二十三年四月二十九日

滋賀縣犬上郡彦根町長　樋口一成

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

理由書

本町之儀ハ戸數三千餘戸人口一萬八千餘ニシテ他ノ村落ニ比較セハ幾倍數人事複雜事務繁劇ニシテ名譽職吏員ノミニテハ事務處辨難行屆ヲ以テ助役ノ定員ヲ二名トシ其內一名ヲ有給トナシ專ラ其職ニ從事セシムルモノトス

指令二十三年五月十九日

滋賀縣彦根町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年九月二十日

岐阜縣大野郡高山町ニ於テ助役ニ關スル條例ヲ設ケ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審查スルニ該町戸數三千八百餘人口一萬五千五百餘ノ市街ニシテ事務繁雜ナルヲ以テ專務吏員ヲ要スルヲ由ルモノニ付相當ノ規定ト被存候間御裁可アラセラレ度町會決議書寫相添謹テ上奏ス

本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年九月四日

岐阜縣大野郡高山町長　永田吉右衛門

內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號

一制第五十六條ニ依リ本町ノ助役有給トス

理由書

本町ノ如キハ本國無比ノ大町ニシテ戸數三千八百餘戸人口一萬五千七百餘口ニシテ殊ニ商業者多ク從テ事務頻繁ナルヲ以テ本法ニ依ラス助役ハ一身ヲ該事務ニ專ラ委セサレハ事務ノ停滯ノミナラス人民ノ不辨不勘故ニ今日ノ實情ニ比準シ適度ヲ得ル所ヲ以テ制第五十六條ニ依リ助役給與條例ヲ制定セリ

指令二十二年九月二十五日

岐阜縣大野郡高山町條例ヲ設クルノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年九月二十八日

岐阜縣安八郡大垣町ニ於テ助役增加ニ關スル條例ヲ設ケ別紙之通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ該町ハ戸數四千四百餘人口一萬八千餘ノ市街ニシテ事務繁雜ナルヲ以テ助役ノ增加ヲ要スルニ依ルモノニテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可在セラレ度町會決議書寫相添謹テ上奏ス

本町町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年九月五日　岐阜縣安八郡大垣町外四十三町戶長　筒見初三

內務大臣伯爵松方正義殿

條例第一號

第一條　本町ハ制第五十二條ノ但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二人トス

理由書

本會ニ於テ助役定員ノ增設ヲ要スル理由ハ本縣下第一ノ大町ニシテ助役一名ニテハ事務上繁劇ニ渉リ差閊不勘儀ト被相考候條今回別紙條例ヲ設ケ定員二人ト增員スル理由ニ有之候

指令二十二年十月二日

岐阜縣大垣町條例ノ件上奏ノ通リ裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月十四日

岐阜縣大野郡高山町ニ於テ常設委員退隱料及諸收入金徵收督促手數料ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ常設委員ハ町村制第六十五條第七十四條退隱料ハ制第七十七條諸收入金徵收督促手數料ハ制第百二條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度町會決議書寫相添謹テ上奏ス

別紙

本町會ニ於テ條例第二號常設委員條例第三號區長條例第四號退隱料等ニ關スル各條例別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月十六日　岐阜縣大野郡高山町長　永田吉右衛門

內務大臣伯爵山縣有朋殿

條例第二號

常設委員條例

第一條　本町ニ常設委員五名ヲ置ク

第二條　常設委員ハ撰舉權ヲ有スル公民中ヨリ撰舉ス

第三條　委員ノ任期ハ三年トス

第四條　委員中闕員アルトキハ臨時補闕撰舉ヲ行フヘシ

但補闕員ノ任期ハ其前任者ト通算スルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ委員ノ職ヲ失フモノトス

第五條　委員中其資格ノ要件ヲ有セサルコト

第六條　委員ノ職務ハ左ノ如シ

一農商工及山林ニ關スル事

二救育ニ關スル事

三學事ニ關スル事

四衛生ニ關スル事

五土木ニ關スル事

六水火防ニ關スル事

七營造物ニ關スル事

八臨時委托事件ニ關スル事

第七條　委員ハ前條ノ事務ニ付委員會ノ議決ヲ以テ處理ス

評決ヲ以テ處理ス

第八條　委員會ハ會議ノ必要アル毎ニ委員長之ヲ招集ス

理由書

本町ノ如キハ當國中最大ナル街町ニシテ戸數三千八百餘人口一萬五千七百餘アリ從テ事務頻繁ナルヲ以テ町長及ヒ助役等總テ一身ヲ該事務ニ專ラニセシモ尙事務上ラサルノ場合ニ於テハ上下ノ不便不勘ト推測シ制第六十五條ニ依リ常設委員條例ヲ制定セリ

條例第四號

退隱料條例

第一條　本町ハ制第七十七條ニ依リ有給吏員ニ退隱料ヲ給ス

第二條　退隱料ヲ給スルハ有給助役收入役及書記在職滿十年以上ニシテ退職スル者ニ限ル

第三條　退隱料ハ在職滿十年ノ者ニ左ノ金額ヲ給ス爾後四年ヲ加フル毎ニ該額三分ノ一ヲ增加シ二倍ニ至リテ之ヲ止ム

助役　年金三十六圓

收入役　金三十圓

書記　金二十圓

第四條　滿四年以上在職シ未タ退隱料ヲ受クヘキ期ニ至ラスシテ退職シ又ハ死亡スルモノハ現時ノ給料二箇月分其退隱料ヲ受クヘキ期ニ至リ死亡スルモノハ五箇月分ヲ一時支給ス

理由書

本町ノ如キハ常國中無比宏大ナル街町ニシテ特ニ事務頻繁ナルヲ以テ有給吏員ハ一身ヲ該事務ニ專ヲ從事スルハ勿論ニシテ尙本町ノ公益ヲ謀リ義務ヲ盡サヽルハナシ然ルニ町村ノ吏員等ニ於テハ增給ノ途少キヲ以テ町會ニ於テ制第七十七條ニ依リ退隱料條例ヲ制定セリ

第三號

本町會ニ於テ徵收金督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月十六日　岐阜縣大野郡高山町長　永田吉右衛門

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

條例第五號

徵收金督促條例

第一條　本町ノ諸收入金ヲ定期內ニ納メサルモノハ制第百二條ニヨリ町長ハ之ヲ督促シ手數料金三錢ヲ徵收ス

但町外ハ里程一里每ニ六錢ヲ增ス

第二條　前條督促ノ日ヨリ五日ヲ過クルモ尙納稅セサルトキハ再ヒ督促シ更ニ手數料金五錢ヲ徵收ス

但町外ハ里程一里每ニ六錢ヲ增ス

第三條　再督促ヲ爲スモ尙納稅セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依ル

第四條　手數料ハ其督促ヲ爲ストキニ町長ヨリ令狀ヲ發付ス

理由書

本町ノ如キハ常國中宏大ナル街町ニシテ町稅及使用料手數料等ヲ納ムヘキ者夥多ナリ然ルニ納期每ニ本町役場使丁ヲシテ納稅令書ヲ頒付セシムルモ其使丁ニ人員ノ制限アリ若納者中督促ヲ要スルモノ多數アルトキハ其督促ニ專ラ使用スルコト能ハスト雖測シ制第百二條ニ依リ徵收金督促條例ヲ制定セリ

指令二十二年十一月十八日

岐阜縣高山町條例ノ件別紙ノ通許可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月三十日

岐阜縣高山町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務大臣伯爵　山縣有朋

常設委員條例

第一條　本町ニ常設委員七人ヲ置ク

第二條　常設委員ハ町會議員中ヨリ三人撰舉權ヲ有スル公民中ヨリ四人ヲ撰舉ス

第三條　委員ノ任期ハ三年トス

第四條　委員中闕員アルトキハ臨時補闕撰舉ヲ行フ可シ

但補闕員ノ任期ハ前任者ト通算ス

第五條　委員中其資格ノ要件ヲ有セサルコトヲ發見シ又ハ就職後其要件ヲ失フ者アルトキハ委員ノ職ヲ失フモノトス

第六條　委員ノ職務ハ左ノ如シ

一　農商工及山林ニ關スルコト

二　救育ニ關スルコト

三　學事ニ關スルコト

四　衛生ニ關スルコト

五　土木ニ關スルコト

六　水火防ニ關スルコト

七　營造物ニ關スルコト

八　臨時委托事件ニ關スルコト

第七條　委員ハ前條ノ事務ニ付委員會ノ議決ヲ以テ處理ス

第八條　委員會ハ會議ノ必要アル每ニ委員長之ヲ招集ス

理由書

本町ハ當縣下ニ一二ヲ占ムル大町ニシテ町制施行ニ際シ施政整理ノ不容易ハ無論一ハ多數人民ヲシテ自治ノ制ニ習熟セシメ且ツ自治ノ効用ヲ皐クルコトヲ得セシメンカ爲メ一ハ吏員實務ノ經驗未タ十分ナラサル所ヲ補助議事者トシ理事者トノ間ニ介マリ圓滑ヲ圖ル等數多ノ効益アルコトハ市町村制理由書委員ノ項ニ詳カナルカ故ニ該委員ヲ設ケ行政吏員ト互ニ力ヲ協ハセ自治ノ自治タル處ヲ擴張シ片時モ早ク一町眞ノ獨立ヲ圖ラントスルニ在リ

指令二十二年十一月十九日

岐阜縣安八郡大垣町長　戸田銳之助

內務省上奏二十二年十一月三十日

岐阜縣海西下石津安八ノ三郡ニ涉ル高須輪中水利土功會ニ於テ特別稅ノ細則ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第九十一條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度水利土功會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

高須輪中水利土功會ニ於テ特別稅ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

高須輪中水利土功會管理者

明治二十二年十月十日

岐阜縣海西下石津郡長　增田作藏

條例第一號

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

高須輪中水利土功組合町村特別稅條例

第一條　町村制第九十一條ニヨリ本組合町村ニ左ノ特別稅目ヲ設ク

一段別割

但一段歩ニ付金六錢以內

第二條　段別割ハ段別ヲ標準トシ左ノ準率ニ從ヒ輪中一般之ヲ賦課徵收ス

一總費額百分ノ四十七箇半ヲ段別（山林原野及ビ荒地等ノ段別ニ於ケル耕地十分ノ一ヲ除ク外流作地ハ之ヲ減ジ池沼堤塘等ノ段別ニ賦課ス）

第三條　第一條ノ稅金ヲ定期內ニ納メサルモノハ之ヲ督促シ尙納稅セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依ル

第四條　前條徵收法ハ各町村長ニ嘱托徵收ス

特別稅（段別割）條例ヲ設クル理由書

高須輪中水利土功費ノ儀ハ從來地價割戶別割段別割ニ賦課仕來候規約ニ有之然ルニ段別割ノ儀ハ客年四月法律第一號町村制發布ニヨリ特別稅トナリシヲ以テ內務大臣ノ許可ヲ請本稅目ヲ設ケ其賦課ノ準率徵收ノ方法條例ヲ議決シ町村制第九十一條ニヨリ內務大臣ノ許可ヲ請ハン爲メニ此議案ヲ發スル理由ナリトス

指令二十二年十二月九日

岐阜縣下海西下石津安八ノ三郡ニ渉ル水利土功組合町村特別稅條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年十二月六日

別紙內務大臣上奏岐阜縣下海西下石津安八ノ三郡ニ渉ル水利土功組合町村特別稅條例設定ノ件ヲ案スルニ右ハ法律ニ抵觸ノ廉無之相當ノ規定ト思考ス依テ上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十三年五月八日

岐阜縣岐阜市ニ於テ特別稅及間接國稅ニ附加稅幷諸收入金徵收督促手數料ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ諸收入金徵收督促手數料ハ市制第百二條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度市稅ハ從前ノ區町村費課目ニ依リ賦課徵收シ可成新稅ヲ起サヽルヲ要スルハミナラス本市ニ於テハ他ニ收入ノ途ナシトセサレハ特別稅新設幷間接國稅ニ市稅附加ノ件ハ御裁可不被爲在方ト存候依テ市會議決書寫相添疊テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ特別稅新設ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

岐阜縣岐阜市參事會

岐阜市長　熊谷孫六郎

明治二十三年二月十四日

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

市條例

特別市稅

一市制第九十條ニ依リ左ノ特別稅目ヲ設ク

一所得稅

但三百圓未滿五十圓マテノ所得金ニ對シ千分ノ五以內稅金ヲ賦課ス

本市會ニ於テ間接國稅ニ附加稅ヲ賦課スヘキ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

岐阜縣岐阜市參事會

岐阜市長　熊谷孫六郎

明治二十三年二月十四日

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

市條例

間接國稅徵

第一條　左ノ種目ノ附加稅ハ國稅千分ノ五以內ヲ賦課徵收ス

一　釀造酒稅

二　燒酎稅

三　再製酒稅

四　醬油造石稅

五　菓子製造稅

第二條　左ノ種目ノ附加稅ハ國稅百分ノ五以內ヲ賦課徵收ス

一　國立銀行稅

二　酒造免許稅

三　醬油營業稅

四　菓子製造營業稅

五　菓子卸賣營業稅

六　菓子小賣營業稅

七　煙草製造營業稅

八　煙草仲買營業稅

九　煙草小賣營業稅

十　賣藥營業稅

十一　度量衡稅

十二　牛馬賣買免許稅

十三　銃獵免許稅

本市會ニ於テ徵收金督促方ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

岐阜縣岐阜市參事會

明治二十三年二月十四日
内務大臣伯爵　山縣有朋　殿

岐阜市長　熊谷孫六郎

市條例

徴收金督促條例

第一條　本市ノ收入金ヲ定期内ニ納メサルモノハ市制第百二條ニ依リ市參事會ハ之ヲ督促シ手數料金三錢ヲ徴收ス

第二條　前條督促シタル日ヨリ五日ヲ過クルモ尚ホ納金セサルトキハ再ヒ督促シ更ニ手數料金三錢ヲ徴收ス

第三條　再督促ヲ爲スモ尚ホ五日内ニ納金セサルトキハ國稅怠納處分法ニ依ル

第四條　理由書

從前區町村費ヲ徴收スルニ地租割戸別割ノ二科目ヲ以テスルモ尚ホ納メサルモノハ市制第百二條ニ依リ市參事會ハ之ヲ督促シ手數料金ノモノニシテ固ヨリ根據トス可キ材料アルニ在ラス隨テ出入頻繁新タニ市ニ來リ住スル者亦少ナカラサル今日ニ當テ悉ク適實ノ見立ヲ爲スヲ得ス殊ニ現今ノ大字岐阜今泉小熊上加納稻束富茂登ノ各町村各自ニ議決シタルモノニ依リ今之ヲ合同比較スレハ頗ル權衡ヲ失スルノ嫌無キ能ハス故ニ更ニ從前ノ戸別割ヲ輕減シ別ニ所得割ノ新稅目ヲ起シ併セテ間接國稅ニ附加稅ヲ課セントスルノ主旨ハ本文ノ如ク從前ノ稅法ヲ變換スルニ付テハ周ク諸稅但間接國稅ニ附加稅ヲ課セントスルモ附加セサレハ或ハ一方ニ輕ク一方ニ重キヲ訴フルノ憂無キヲ保セス故ニ均シク附加稅ヲ課シ之カ權衡ヲ得ントスルニ他ナシ

指令二十三年五月二十一日

岐阜縣岐阜市々條例ノ件ハ上奏ノ通特別稅新設幷間接國稅ニ市稅附加ノ件ヲ除キ裁可セラル

法制局議案二十三年五月十六日

別紙内務大臣上奏岐阜市條例ヲ審査スルニ就中諸收入金徴收督促手數料ノ件ハ相當ノ規定ナレハ裁可セラレ可然ト雖モ特別稅及間接國稅ニ附加稅ヲ設クルノ件ハ上奏ノ通裁可セラレサル方可然ト認ム

内務省上奏二十三年七月五日

岐阜縣知事ニ於テ岐阜市區會ニ關スル條例ヲ規定シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ市制第百十三條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙寫相添此段ヲ上奏ス

（別紙）

市條例之儀稟請

縣下岐阜市内教育ニ關シ特別ニ有スル財産幷營造物ヲ保持スル爲メ區會ノ必要ヲ認メ市制第百十三條ニ據リ市會ノ意見ヲ聞キ別紙之通規定候條同第百二十一條ニ依リ許可ヲ請フ

明治二十三年六月九日

岐阜縣知事　小崎利準

内務大臣伯爵　西鄉從道　殿

第一條　岐阜市内左ノ各區域ニ於テ教育ニ關シ特別ニ所有スル財産幷營造物ニ關スル事務ノ爲メ市制第百十三條ニ依リ各其區域ヲ以テ區會ヲ設ク

第一大字

米屋町　櫻町　雀居町　土居町　常盤町　蓮臺寺町　愛宕町　末廣町　上竹屋町　釜屋町　加和屋町　魚屋町　中新屋町　蜂屋町　柴屋町　珠城町　相生町　樹江町　木造町　堀江町　車町　七曲町　大幸町　中大幸町　東村木町　北今町　下今町　洞

第二大字

富茂登

第三大字

今泉

第四大字

小熊

第五大字

上加納

第二條　區會議員ハ其區内ニ住シ市會議員ノ選舉ス其定員ハ左ノ如シ但市制第十五條第二項及第四項以下ハ之ヲ區會ニ適要ス

高力町　議員十人
白木町　議員十人
和屋町　議員十人
松屋町　議員十人
大屋町　議員十人
中竹屋町　議員十人
上新町　議員十人
本屋町　議員十人
間ノ町　議員十人
久屋町　議員十人
勒屋町　議員十人
大工町　議員十人
矢島町　議員十人
加茂町　議員十人
若松町　議員十人
上ケ門町　議員十人
鍛冶町　議員十人
下新町　議員十人
西村木町　議員十人
上大久和町　議員十人
今町　議員十人
伊奈波社境内　議員十人

第三條　議員ノ任期幷議員選舉ノ方法及補闕員選舉ノ手續ハ市會ノ例ニ依ル但階級選舉ノ法ヲ用ヒス

第四條　市制第三十七條乃至第四十一條ノ件左ノ如シ

第五條　區會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一　區費ヲ以テ支辨スヘキ教育事業

二　區ノ教育上ニ關スル歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事

三　決算報告ヲ認定スル事
四　教育上ニ關スル區有不動產賣買貸借交換讓受幷質入書入ヲ爲ス事
五　教育上ニ關スル區有財產及營造物ノ修繕保存ニ關スル事
理由書

岐阜市ハ元岐阜ヲ始メ富茂登村今泉村小熊村稻束村及上加納村ノ一部ヲ分割合併シテ一團體ト爲セリ故ニ各部從來教育ニ關シ多少ノ特別財產ヲ有セリ現ニ小學校ノ如キハ元岐阜富茂登小熊上加納ハ各自各別ニ又今泉稻束ノ元二村ハ連帶シテ一學校ヲ設立シアルニヨリ一朝之レカ因襲ヲ改メ其經濟ヲ共通セシムルハ到底困難ヲ免レサルノミナラス實際ノ不便モ亦少カラス故ニ從來ノ區域ニ依リ是等營造物ノ支持及ヒ修築保存ノ費用ヲ各別ニ負擔セシメ且ツ各部特別ニ有スル處ノ財產ヲ處理セシムルカ爲メ茲ニ區會ヲ設クヘキ必要アル所以ナリ

指令二十三年七月十一日

岐阜縣岐阜市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年九月二十二日

岐阜縣岐阜市ニ於テ公告式ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ請フ

（別紙）

本市會ニ於テ公告ニ關スル條例ノ件別紙之通リ議決候付市制第百二十一條ニ依リ許可ヲ請フ

岐阜縣岐阜市參事會

市長　熊谷孫六郎

從道殿

明治二十三年八月二十五日

內務大臣伯爵　西鄉從道

岐阜市條例

第一條　本市ノ公告ハ市役所前ニ掲示シ幷ニ本市內ニ於テ發行スル一ノ新聞紙ニ登載スルモノトス

第二條　特ニ施行期日ヲ掲クルモノヲ除クノ外ハ掲示後及新聞紙登載後五日ヲ以テ施行ノ期限トス

理由書

本市ハ元岐阜米屋町外五十五箇村ヲ合併セシ團體ナレハ公告ノ慣行區々ニシテ條例規則等ヲ發行ノ差支勘カラサルヲ以テ別紙ノ如ク條例トシテ規定セリ

指令二十三年九月二十五日

岐阜縣岐阜市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年九月二十九日

岐阜縣安八郡大垣町ニ於テ公告式ニ關スル條例ヲ議決シ別紙之通許可ヲ請フ

（別紙）

本町會ニ於テ公告式ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付御裁可被爲在度別紙寫相添此段申上候也

明治二十三年九月十三日

岐阜縣安八郡大垣町長　筒見初三

條例第三號

大垣町公告式條例

第一條　大垣町條例規則及規定ノ公告ハ總テ本町役場門前ニ掲示スルヲ以テ公告式トス

第二條　條例規則及規定ハ掲示ノ翌日ヨリ七日ヲ經テ施行ノ期限トス

但急施ヲ要スル場合又ハ特ニ施行ノ日ヲ掲ケタルモノハ本條ノ限ニアラス

理由書

從來公文公告ヲ部內全般ニ通知スルニハ毎戶ニ順達シ又ハ役場ノ門前ニ掲示スル等一定ノ慣行ナカリシカ自今每戶ニ回達スルトキハ徒々回達方自然遲延ニ渉リ速ニ周知期限內ニ全般知了ノ運ヒニ至ラス故ニ將來部民一般ノ便宜ヲ圖リ斯ク本條例ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年十月三日

岐阜縣大垣町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年十月二十五日

岐阜縣安八郡大垣町區會及區總會ニ關スル條例ヲ議決シ別紙之通許可ヲ請フ

查スルニ町村制第百十四條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙寫相添此段申上奏ス

（別紙）

本郡大垣町會幷區總會ニ關スル條例ノ件該町會ノ意見ヲ徵シ別紙ノ通規定候ニ付町村制第百三十條ニヨリ許可ヲ請フ

明治二十三年十月三日

內務大臣伯爵　西鄉從道殿

岐阜縣安八郡長　鈴木一徹

條例第號

區會條例

第一條　町村制第百十四條ニ依リ大垣町久瀨川區（大字久瀨川村）切石區（大字切石村）室區（大字室村）宮區（大字宮村）高屋區（大字高屋村）林本鄉區（大字林本鄉村）藤江區（大字藤江村）南頬區（大字南頬村）南寺內區（大字南寺內村）今區（大字今村）若森區（大字若森村）西崎區（大字西崎村）ニ區會ヲ設ク

第二條　區會議員ノ定員ハ左ノ潮川區八人其他總テ一區六人トシ其區內公民中被選舉權ヲ有スルモノヨリ選舉ス

但町村制第十五條第二項及四項以下ニ該當スル者ハ區會議員タルコトヲ得ス

第三條　區內ノ公民中選舉權ヲ有スルモノハ總テ區會議員ヲ選舉スルノ權ヲ有ス

第四條　議員ノ任期幷議員選舉ノ方法及補闕員選舉ノ手續ハ町村會ノ例ニ據ル

但階級選舉ノ法ヲ用ヒス

第五條　區會ハ町長ヲ以テ議長トス若町長故障アルトキハ年長助役ヲ以テ之ニ充ツ

第六條　町村制第四十條乃至第四十五條ハ本區會ニモ之ヲ適用ス

第七條　區會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一區費ヲ以テ支辨スヘキ事業

二區ノ歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事

三決算報告ヲ認定スル事

四區有不動產資買貸借交換讓受讓渡幷賈入書入ヲ爲ス事

五區有財產及營造物ノ修築保存ニ關スル事

條例第　號

區總會條例

第一條　町制第百十四條ニヨリ大垣町高橋區大字高橋村(世安區大字世安村)ニ區總會ヲ設ク

第二條　區總會ハ町長ヲ以テ議長トス若町長故障アルトキハ年長助役ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　町村制第四十條乃至第四十五條ハ本區總會ニモ之ヲ適用ス

第四條　區總會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一區費ヲ以テ支辨スヘキ事業

二區ノ歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事

三決算報告ヲ認定スル事

四區有不動產資買貸借交換讓受讓渡幷賈入書入ヲ爲ス事

五區有財產及營造物ノ修築保存ニ關スル事

理由

一本郡大垣町ハ元大垣郭町外四十三箇町久瀬川村外十三箇村ヲ合併シテ現今ノ大垣町ヲ造成シタルモノナレハ玖珂郡悪水路等每區限リ使用スルモノ勘カラサレハ此營造物維持ノ爲區會ノ設置ヲ要ス然レハ區總會ヲ設ケ選舉權ヲ有スル公民ノ總會ヲ以之ニ充テントスルニ在リ

指令二十三年十一月二十日

岐阜縣安八郡大垣町町條例ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年十二月十八日

岐阜縣安八郡大垣町ニ於テ諸収入金徵収督促手數料ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ハ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第百二條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度

別紙寫相添諫テ上奏ス

本町會ニ於テ徵収金督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年十一月二十四日　岐阜縣安八郡大垣町長　筒見初三

內務大臣伯爵西鄉從道殿

大藏大臣伯爵松方正義殿

條例第四號

徵収金督促條例

第一條　本町諸般ノ収入ヲ定期內ニ納メサルモノアルトキハ町村制第百二條ニヨリ町長ハ左ノ規定ニ依リ督促ヲ爲スモノトス

一督促ヲナストキハ町長ヨリ令狀ヲ附スヘキモノトス

二納期後二週間以內ニ完納セサルトキハ督促ヲナスモノトス

三督促ヲ受ケ尙完納セサルトキハ國税怠納處分法ニ依リ徵収スルモノトス

第二條　督促ヲ受ケタルモノハ手數料金二錢ヲ納ムヘシ

第三條　他町村ヨリ納税スル者ニシテ督促ヲ受ケタルモノハ手數料金二錢ノ外增手數料金三錢ヲ納ムヘシ

但一里以上ハ片道一里ニ付金三錢ヲ納ムヘシ

理由書

町村制第百二條ニヨリ本町諸般ノ収入ヲ定期內ニ完納セサル者ヲシテ自然怠惰心ヲ洗脫セシムル爲メ其督促ヲ受ケタルモノヨリハ特ニ手數料ヲ徵収シ一ハ怠惰者ヲシテ顧慮スル所アラシメント欲スルニアリ

指令二十三年十二月二十六日

岐阜縣大垣町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十二年五月十七日

岐阜縣下伊那郡飯田町ニ於テハ町長及助役ヲ有給ト爲スヲ要シ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ商業繁盛ノ地ニシテ人口一萬二千有餘ニ達スレハ町務ノ繁劇ナル知ルヘクシテ町長及助役ヲ有給ノ專務吏員トスルモ亦止ヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度別紙町會議決書相添謹而上奏ス

本町會ニ於テ有給吏員ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年四月二十七日　長野縣下伊那郡飯田町町會議長　矢澤鞆治

內務大臣伯爵松方正義殿

條例第一號

第一條　制第五十六條ニヨリ本町長ヲ有給吏員トス

第二條　制第五十六條ニヨリ本町ノ助役ヲ有給吏員トス

有給町長及助役條例理由

本町ハ戸數三千百餘人口一萬二千八百餘ヲ有シ就中商賈多ク事務常ニ繁劇ニシテ專務吏員ニ非サレハ其事務ノ處辨ヲ期スル能ハス故ニ本町ハ町長及助役ヲ有給吏員トス

指令二十二年五月二十一日

長野縣下伊那郡飯田町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年五月二十三日

長野縣上水內郡長野町ニ於テ町長及助役ヲ有給トシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ縣廳所在ノ市街ニシテ戸數四千八百餘人口二萬一千餘ニ達シ隨テ事務繁劇ナルヲ以テ町長及助役ヲ專務吏員トスルモ亦止ムヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書相添謹而上奏ス

本町會ニ於テ町長助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年五月七日　長野縣上水內郡元長野町外四箇町村
內務大臣伯爵　松方正義殿　戸長　樋口兼利

長野町條例

第一條　制第五十六條ニヨリ本町ニ町長ヲ有給吏員トス

第二條　制第五十六條ニヨリ本町ノ助役ヲ有給吏員トス

條例許可之儀添申

町長及助役選舉ノ爲メ本月六日開設セル本町會ニ於テ有給町長及助役ヲ置クニ確定セリ今其理由ヲ開クニ對スル二十四名ノ多數ヲ得テ有給吏員ヲ置ク之ヲ是認シ規定シタル理由ニ有之候間此段添申候也

本町ハ我縣下ノ首府ニシテ既ニ市制ヲ布ヲ得ヘキ連檐櫛比ノ一大市街地ナルヲ以テ町事務ノ繁忙ナル他町村ノ比ニアラス勢ヒ名譽職ノ能ク之ニ堪ユルヲ得ス依之制第五十六條ニヨリ本町ノ情況如此ヲ以テ有給町長及助役ヲ置クモノトスル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

以上ハ主義者ノ意見ニシテ本會カ之ヲ是認シ規定シタル理由ニ有之候間此段添申候也

明治二十二年五月七日　長野縣上水內郡元長野町外四箇町村
內務大臣伯爵　松方正義殿　戸長　樋口兼利

長野縣上水內郡長野町ニ於テ町長及助役ヲ有給トシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ縣廳所在ノ市街ニシテ戸數四千八百餘人口二萬一千餘ニ達シ隨テ事務繁劇ナルヲ以テ町長及助役ヲ專務吏員トスルモ亦止ムヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書相添謹而上奏ス

本町會ニ於テ町長助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年五月七日　長野縣上水內郡元長野町外四箇町村
內務大臣伯爵　松方正義殿　戸長　樋口兼利

長野町條例

第一條　制第五十六條ニヨリ本町ニ町長ヲ有給吏員トス

第二條　制第五十六條ニヨリ本町ノ助役ヲ有給吏員トス

條例許可之儀添申

町長及助役選舉ノ爲メ本月六日開設セル本町會ニ於テ有給町長及助役ヲ置クニ確定セリ今其理由ヲ開クニ對スル二十四名ノ多數ヲ得テ有給吏員ヲ置ク之ヲ是認シ規定シタル理由ニ有之候間此段添申候也

本町ハ我縣下ノ首府ニシテ既ニ市制ヲ布ヲ得ヘキ連檐櫛比ノ一大市街地ナルヲ以テ町事務ノ繁忙ナル他町村ノ比ニアラス勢ヒ名譽職ノ能ク之ニ堪ユルヲ得ス依之制第五十六條ニヨリ本町ノ情況如此ヲ以テ有給町長及助役ヲ置クモノトスル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

以上ハ主義者ノ意見ニシテ本會カ之ヲ是認シ規定シタル理由ニ有之候間此段添申候也

明治二十二年五月七日　內務大臣伯爵　松方正義殿　戸長　樋口兼利

指令二十二年五月二十九日

長野縣上水內郡長野町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年五月二十八日

長野縣東筑摩郡松本町ニ於テ町長及助役ヲ有給トシ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ該町ハ同縣下ニ在リテハ屈指ノ市街ニシテ戸數五千四百餘人口二萬六千餘ニ達シ隨テ事務繁劇ナルヲ以テ町長及助役ヲ專務吏員トスルモ亦止ヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書相添謹而上奏ス

松本町會ニ於テ町長及助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年五月十四日　內務大臣伯爵　松方正義殿　戸長　菅谷司馬

條例第一號

第一條　制第五十六條ニヨリ本町長ヲ有給吏員トス

第二條　制第五十六條ニヨリ本町助役ヲ有給吏員トス

議事說明

第一　制第五十五條ニ依リ町村長ハ名譽職トスヘキノ處本町ハ戸數凡ソ五千有餘人口凡ソ二萬六千ニ亘トスル大町ニシテ行政事務常ニ頻繁ナリ今コレヲ總括處理スルノ任ニ適スル町長ヲ擇フニ於テハ相當ノ給料ヲ給セサルヘカラス依テ制第五十五條ニ依リ助役ハ名譽職トスヘキノ處是亦本町ニハ大町ニ付唯町長ノ事務ヲ補助スルニ止マラスシテ行政事務ノ一部ヲ分掌セシメサルヘカラス依テ制第五十二條同第五十六條ニ基キ特例ヲ以テ其人員ヲ一名トシ有給吏員トス

指令二十二年六月三日

長野縣東筑摩郡松本町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年六月四日

長野縣小縣郡上田町ニ於テ町長及助役ヲ有給トシ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ該町ハ同縣下ニ在リテハ著名ノ市街ニシテ戸數三千六百餘人口一萬五千二百餘ニ達シ隨テ事務繁劇ナルヲ以テ町長及助役ヲ專務吏員トスルモ亦止ヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書相添謹而上奏ス

上田町會ニ於テ町長及助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年五月十七日　內務大臣伯爵　松方正義殿

長野縣小縣郡元上田町外二箇村戸長　岡村　巖

成議案

上田町條例第一號　有給町長及助役條例

第一條　制第五十六條ニ依リ本町長ヲ有給吏員トス

第二條　本町ハ制第五十二條ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス

第三條　制第五十六條ニ依リ本町ノ助役一名ヲ有給吏員トス

第四條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

理由書

長野縣小縣郡上田町ハ縣下繁庶ノ一區ニシテ頻年戸口ヲ增加シ事務ノ繁雜ヲ極ム故ニ有給專任ノ吏員ヲ置キ專ラ一身ヲ委チテ以テ公務ノ衝ニ當ラサレハ到底其整理ヲ見ル能ハス依テ制第五十二條及第五十六條ニ依リ條例ノ規定ヲ以テ町長及助役一名ヲ有給吏員トシ且ツ助役一名ヲ增加スルノ必要ヲ認メ町會ニ於テ別紙條例ヲ議定ス

右理由添申候也

明治二十二年五月十七日　長野縣小縣郡元上田町外二箇村戸長　岡村　巖

指令二十二年六月七日

長野縣小縣郡上田町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年八月一日

長野縣東筑摩郡松本町ニ於テ諸收入金督促ニ關スル條例規定ノ儀別紙ノ通許可稟請候ニ付審査仕候處徵收上要用ノ規定ト被認候條御裁可被爲在度別紙決議書相添謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月二日　長野縣東筑摩郡松本町長　菅谷司馬

內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第三號

徵收督促條例

第一條　制第百二條ニヨリ本町諸收入金ヲ定期內ニ納メサルモノアルトキハ町長ハ左ノ規定ニヨリ督促スルモノトス

一　納期後七日ヲ過キ納稅セサルトキハ督促スヘシ

二　再督促ヲ受ケ尙納稅セサルトキハ國稅滯納處分法ニヨリ徵收スヘシ

第二條　前條督促ヲ受クルモノハ金二錢

一　一回督促ヲ受クルモノハ金四錢

一　再督促ヲ受ケタルモノハ前項手數ノ外更ニ金四錢

第三條　手數料ハ其督促ヲナストキ町長ノ令狀ヲ付スヘキモノトス

理由

本條例ヲ設クル所以ハ凡ソ課稅ハ之カ納付ヲ怠リタルモノヲ處分スルノ法ナケレハ其效力ナキヲ以テ督促手數料ヲ徵收シ尙應セサルモノハ滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收スルノ止ヲ得サルニヨル

指令二十二年八月六日

長野縣松本町收入金督促ニ關スル條例規定ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年八月五日

別紙內務大臣上奏長野縣松本町收入金督促ニ關スル條例規定ノ件ヲ案スルニ右ハ相當ノ規定ニシテ法律ニ抵觸ノ廉モ無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十二年八月二十六日

長野縣上水內郡長野町ニ於テ使用料ニ關スル條例許可稟請ニ付審查仕候處町村制第八十四條ニ基キタル相當ノ規定ト被認候間御裁可被爲在度別紙決議書相添謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ使用料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年六月二十八日　長野縣上水內郡長野町長　樋口兼利

內務大臣伯爵　松方正義殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

條例第四號

使用料條例

第一條　本町大字南長野小字上ノ原三百四十番畑四畝七步此地價金八圓十八錢同番ロ號原野十五步此地價金三錢以上二筆ヲ使用スルモノハ左ノ使用料ヲ徵收ス

一箇年間　金一圓

第二條　前條ノ使用料ハ每年三月九月ノ二期ニ分チ之ヲ徵收ス

條例第四號

使用料條例說明

本案ノ畑及原野ハ元來借地料ヲ徵シ小作地ニ貸與セシモノナリ而シテ猶向來小作地ニ貸付スル見込ナルヲ以テ類地ノ收獲ヲ比準シ本案ノ使用ヲ定ム其貸地ノ期限ハ一箇年每ニ改約スルモノトス

指令二十二年八月二十九日

長野縣長野町條例ノ件裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年九月二十六日

長野縣小縣郡上田町ニ於テ收入金督促ニ關スル條例規定之儀許可稟請ニ付審查候處相當ノ規定ト被認候條御裁可被爲在度別紙決議書相添謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ノ議決ヲ經候ニ就許可ヲ請フ

長野縣小縣郡上田町長　船越重俉

內務大臣伯爵　松方正義殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

上田町條例第四號

徵收督促條例

第一條　制第百二條ニ據リ本町諸收入金ヲ定期內ニ納メサルモノアルトキハ町長ハ左ノ規定ニヨリ督促スルモノトス

一　納期後一回督促シ其督促ノ後七日ヲ過キ尙納稅セサルトキハ再督促ヲナスモノトス

一　再督促ヲ受ケ尙納稅セサル者ハ手數料ヲ納ムルモノトス

第二條　前條督促ヲ受ケタルモノハ金三錢

一　一回督促ヲ受ケタルモノハ金一錢

一　再督促ヲ受ケタルモノハ金三錢

第三條　手數料ハ其督促ヲ爲ストキ町長ノ令狀ヲ付スルモノトス

上田町條例第四號理由書

人民ニシテ納稅ノ義務ヲ怠ルトキハ正當ノ法律アリテ之ヲ處分スヘシト雖モ倩ラ民間ノ事情ヲ洞察ス

ルトキハ全ク服膺スヘキ義務ニシテ一日モ忽ニスヘカラサル事ヲ知ル昔ヲカラサルカ如シ是カ故ニ納稅ノ期ヲ愆ルモノ勘ナカラス法ニ據リテ處分セン乎情實ノ酌ムヘキモノアリ情實ヲ酌マン乎怠納ヲ馴致スルノ嫌ナキ能ハス殊ニ本町ノ如キ從來ノ形跡ヲ逐フニ頗ル弊害アリテ爲メニ事務ノ澁滯ヲ來タシ殆ント不都合極マルモノアリ依テ本條例ヲ規定シ特ニ意ヲ用ルモノハ課スルニ手數料ヲ以テシ以テ其失ヲ補ヒ將來ヲ警戒セント欲ス是レ此條例ヲ規定シタル所以ナリ

指令二十二年九月二十八日

長野縣小縣郡上田町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年十二月十二日

長野縣小縣郡上田町ニ於テ退隱料等ニ關スル件ニ付町條例規定ノ儀許可稟請ニ付審査候處各相當ノ規定ト認メラレ候間御裁可被爲在度別紙決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

町條例ノ許可ヲ請フ書

本町條例第三號町稅徵收ニ關スル件別紙通町會ノ議決ヲ經候ニ就許可ヲ請フ

長野縣小縣郡上田町長　船越重舒

松方正義殿

町條例第三號

町稅徵收ニ關スル件同縣上水內郡長野町ニ於テ退隱料等ニ關スル件ニ付町條例規定ノ儀許可稟請ニ付審查候處各相當ノ規定ト認メラレ候間御裁可被爲在度別紙決議書寫相添謹

明治二十二年八月十九日

内務大臣伯爵　松方正義

上田町條例第三號

町稅徵收條例

第一條　町稅徵收期限ハ地方稅徵收期限ト同ク徵收スルモノトス

第二條　課稅物件ニ異動ヲ生シタルトキハ十日以內ニ町役場ヘ屆出ルモノトス

第三條　營業者ハ每年一月三十日迄ニ前年中ノ資上金高ヲ各自ヨリ町役場ヘ屆出ルモノトス

上田町條例第三號理由書

租稅ヲ徵收スルハ既往ノ經歷ニ徵シ自ラ一定ノ原則アリテ其租稅ノ何タルニ論ナク力ヲ盡シテ彼我ノ便宜ヲ計ラサルヘカラス本町カ此條例ニ於テ地方稅徵收期限ト同ク徵收スルカ如キ皮想ノ觀察ヨリ解釋スルトキハ理財ノ法ニ迂ナルカ如シト雖モ唯ニ納稅者ノ便利ヲ謀ルトキハ彼ニ得テ此ニ失シ得失之ヲ位フ能ハサルノ實況アルヲ以テナリ本條例第二條ニ賦課ニ公平ヲ得ンコトヲ欲シ第三條ハ町稅ヲ課スル主的物ノ標準トナサントスルニ在リ是レ此條例ヲ規定スル所以ナリ

本町會ニ於テ退隱料幷ニ一時支給ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年九月二日

内務大臣伯爵　松方正義殿

長野縣上水內郡長野町

條例第六號

退隱料幷一時支給條例

第一條　制第七十七條ニヨリ本町有給吏員ニ左ノ區別ニ從ヒ退隱料ヲ給ス

一　在職六年以上　俸給年額八分ノ一

一　在職十年以上　俸給年額四分ノ一

第二條　三年以上六年未滿ニシテ退職シ退隱料ヲ受クルニ及ハサル者ニハ一時ニ現俸額四分ノ一ヲ給ス

第三條　其六年以上ニシテ退隱料ヲ受クル者ニ在テモ第一條ノ金額ハ每年九月翌年三月ノ兩度ニ其半額ツヽヲ給シ第二條ノ給與ハ退職ノ時一時ニ支給ス

第四條　在職中死亡ノ者ニハ祭祀料トシテ現俸年額ノ四分ノ一ヲ其遺族ヘ支給ス

第五條　退隱料ヲ給スルハ町長及助役收入役ニ限ル

第六條　書記及附屬員五年以上勤續ノ者退職スルトキハ現俸給ノ三箇月分其八年以上勤續スル者ニシテ同上ノトキハ現俸給ノ四箇月分ヲ一時ニ支給ス

第七條　懲戒處分又ハ犯罪ノ爲メ解職セラレタル者ニハ總テ之ヲ給セス

第八條　在職中ノ過失退隱後ニ發覺シ若シ在職中ナレハ其過失退職ニ當ルヘシト認ムル場合ニハ其發覺ノ日ヨリ退隱料ノ給與ヲ廢止スルモノトス

條例第六號退隱料幷ニ一時支給條例ヲ設クル所以ノモノハ主トシテ本制ノ精神ニ則リ忠直廉潔ノ吏員有給吏員ノ退隱料幷ニ一時支給條例ヲ設クル所以ノモノハ主トシテ規定ノ儀許可稟請ニ付審查候處相當ノ養成シ務メテ永遠其職ニ從事セシムルト退職ノ後生計ノ安全ヲ保タシメ以テ吏員ノ勤務ヲ奬勵スルモノトス

指令二十二年十二月十六日

長野縣上田町同長野町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年三月二十五日

長野縣東筑摩郡松本町ニ於テ町稅徵收ニ關スル件町條例トシテ規定ノ儀許可稟請ニ付審查候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度別紙相添謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ町稅徵收ニ關スル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

長野縣東筑摩郡松本町長　菅谷司馬

明治二十三年二月十八日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

町稅徵收條例

第一條　町稅ハ每年四月十月ノ二期ニ徵收スルモノトス

但臨時緊急ノ場合ニ生シタル町費ハ本條ノ期月ニ拘ハラス徵收スルコトアルヘシ

第二條　課稅物件及ヒ居住ニ異動ヲ生シタルトキハ十日以內ニ町役場ヘ屆出ツルモノトス

但居住ノ異動ハ家屋所有主及移住人ヨリ屆出ツヘシ

第三條　前條ノ届出期限ハ地所建物ハ登記ヲ受ケタル日新設ノ建物ハ上棟ノ日居住ハ異動セシ日ヨリ起算スルモノトス

理由書

本條例第一條ハ從來地方稅徵收期限ハ概ネ四月十月ナルヲ以テ收納者ノ便利ヲ圖リ之レト期限ヲ同シクシ第二條第三條ハ納稅義務ノ起ルト又免稅理由ノ生スルトヲ調査スルニ必要ノ爲メ此明文ヲ設ク

指令二十三年三月二十七日

長野縣松本町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年五月七日

長野縣上水內郡長野町各大字限リ特別ニ有スル財產及營造物ノ爲メ區會ヲ設クル件條例規定ノ儀別紙ノ通許可稟請ニ付審查候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度別紙相添ヘ謹テ上奏ス

（別紙）

本郡長野町各大字ニ區會ヲ設クルノ件該町會ノ意見ヲ聞キ別紙ノ通リ條例ヲ規定候間右發行ノ儀御許可ヲ請フ

明治二十三年四月十二日　長野縣上水內郡長　森田斐雄

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

第一條　長野縣上水內郡長野町長野區會條例

第二條　長野町大字長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町南長野區會條例

第二條　長野町大字南長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ノ數ハ十二名トス

第五條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第六條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町西長野區會條例

第二條　長野町大字長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町西長野區會條例

第二條　長野町大字西長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第二條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第三條　議員ノ數ハ八名トス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町茂菅區會條例

第二條　長野町大字茂菅ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニヨリ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ノ數ハ六名トス

第五條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第六條　議員ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町茂菅區會條例

第二條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第三條　議員ノ數ハ六名トス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トシ每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町大字茂菅區會條例

第二條　長野町大字茂菅ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニヨリ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ノ數ハ八名トス

第五條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第六條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町大字鶴賀區會條例

第二條　長野町大字鶴賀ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町長野區會條例

第二條　長野町大字長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町南長野區會條例

第二條　長野町大字南長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町長野區會條例

第二條　長野町大字長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町大字長野區會條例

第二條　長野町大字長野ヲ以テ一區トシ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第三條　本會ハ區有財產及營造物ニ關スル事件ヲ議定ス

第四條　議員ハ區內ニアル本町會議員撰舉權アル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第五條　議員ノ任期ハ六年トス每三年各級ニ於テ其半數ヲ改撰ス

第六條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサルモノハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第七條　本會ニ關スル要件ニシテ此條例ニ規定セサル者ハ總テ町村會ノ例ヲ適用ス

第一條　長野縣上水內郡長野町大字鶴賀南長野西長野ノ各大字ハ舊來消防事務ノ如キ格別ニ之ヲ行ヒ來リタルヲ以テ該費用負擔ノ方法等ハ將來區會ヲ設ケ以テ議定セシムルノ必要ナリ

大字茂菅ハ山林宅地二段二畝六十五歩及建物一棟ノ財產ヲ所有スルヲ以テ之レカ管理ノ方法ヲ議定セシムルカ爲メニハ將來區會ヲ設クルノ必要アリ

以上ノ事實アルヲ以テ茲ニ本條例ヲ發行シ區會ヲ開設セシムルノ必要アルヲ認メタル所以ナリ

指令二十三年五月十日

長野縣上水內郡長野町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

理由

本町大字長野ハ別ニ建物一棟及金六百六十餘圓ノ財產ヲ所有スルノミナラス曩キニ水道布設ノ事業ヲ起シ頗ル計畫スル所アリ中途事故アリテ之ヲ止メタリト雖モ其殘務ニ至ラハ未タ全ク結了セス故ニ之レカ處分ヲ行フ爲メ又ハ區有財產ノ管理ニ關シ其方法ヲ議定セシカ爲メニハ將來區會ヲ設クルノ必要アリ

内務省上奏二十二年五月十三日
宮城縣牡鹿郡石卷町ニ於テ町長ヲ有給トスル條例別紙之通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ奥羽ノ咽喉ニ位シ物貨輻輳商業繁盛ニシテ人口一萬三千有餘ニ達スレハ其町務ノ繁多ナル知ルヘシシテ隨テ事務練熟ノ人物ヲ要スルヲ以テ之ヲ有給トスルハ相當ノ規定ト被存候條御裁可アラセラレ度
右謹テ上奏ス

本町會ニ於テ町長ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
明治二十二年四月三十日　宮城縣牡鹿郡石卷町
内務大臣伯爵　松　方　正　義　殿　石卷町會議長　中　里　傳　治

條例第一號
本町長ハ制第五十六條ニ依リ有給吏員トス
條例第二號　町長ノ理由
本町ハ東北ノ要港ニ當リ商業繁盛事務從テ頻繁ナルヲ以テ有給町長設ヲ要ス
指令二十二年五月十五日

宮城縣牡鹿郡石卷町條例ヲ設クルノ件裁可セラル
内務省上奏二十二年七月三十一日
別紙宮城縣仙臺市ニ於テ市長代理ノ順序ニ關スル件外二條例ノ許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ何レモ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市長禀請書寫相添謹テ上奏ス
（別紙）　市條例許可ノ儀申請

市長代理順序條例區長及ヒ代理者任期條例幷火葬場使用條例市會ニ於テ別紙ノ通議決候間御許可相成度此段申請候也
明治二十二年七月四日　宮城縣仙臺市參事會
内務大臣伯爵　松　方　正　義　殿　宮城縣仙臺市長　遠　藤　庸　治

條例第一號　市長代理順序條例
市長故障アルトキハ助役之ヲ代理ス市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中上席者之ヲ代理ス
條例第二號　區長及代理者任期條例
第一條　區長及ヒ代理者ノ任期ハ三年トス任期滿限ノ後ト雖モ後任者就職ノ日マテ在職スルモノトス
第二條　區長及代理者ハ滿期毎ニ改撰スルモノトス
退任ノ區長及ヒ代理者ハ再撰セラルヽコトヲ得

第三條　區長及ヒ代理者中ニ闕員ヲ生シ市參事會ニ於テ必要ト認ムルトキハ其補闕撰舉ヲ行フモノトス
補闕員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
條例第三號　火葬場使用條例
第一條　仙臺市北山火葬場ハ何人ト雖モ之ヲ使用スルヲ得
第二條　火葬場ヲ使用セントスルモノハ其旨市役所ニ申出テ使用料ヲ納付スヘシ
第三條　火葬場使用料ハ一棺金五十錢トス
但極貧者及ヒ流行病ニ罹リ死去シタルモノハ時宜ニ依リ免除スルコトアルヘシ
第四條　火葬ニ關スル薪炭料等ハ使用者ノ自辨タルヘシ
指令二十二年八月六日　宮城縣仙臺市
法制局議案二十二年八月日閣
別紙内務大臣上奏宮城縣仙臺市條例ヲ審査スルニ右ハ相當ノ規定ニシテ法律ニ抵觸ノ廉無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム
内務省上奏二十二年十二月二十日
宮城縣仙臺市ニ於テ特別税新設ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ理由書記載ノ事情アリテ實際已ヲ得サルモノ殊ニ本年度限リ施行ノ儀ニモ有之差支無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス
（別紙）　條例第四號御許可ノ儀禀請

今般當市會ニ於テ條例第四號ヲ以テ市税中特別税戸別割賦課條例別紙ノ通評決候條至急御許可相成度理由書相添此段禀請候也
明治二十二年十二月五日　仙臺市參事會
内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿　仙臺市長　遠　藤　庸　治
大藏大臣伯爵　松　方　正　義　殿

條例第四號　特別税戸別割賦課條例
第一條　明治二十二年度特別税戸別割ハ仙臺市内ニ居住ノ本籍戸主及戸主ニ非サルモ寄留ヲナス者（本籍寄留ハ第四條ニ限リ貧富ノ程度ニ應シ等級ヲ分チテ之ヲ賦課ス
第二條　特別税戸別割賦課ノ等級ハ左ニ掲クル各種ノ金額ヲ標準トシ其多寡ニ依リ之ヲ區分ス
第一宅地（仙臺市内ノ地ニ限ル）ヲ所有スル者ハ其地租額
第二田畑山林原野雜種地（仙臺市内ノ地ニ限ル）ヲ所有スル者ハ其地租三分ノ一

第三諸營業者（國稅地方稅）ハ其稅額但本條第四第五第六第七第八項ノ種類ヲ除ク

第四酒造營業者ハ本稅八十分ノ一

第五醬油製造營業者ハ本稅十五分ノ一

第六菓子製造營業者（營業稅ヲ除ク）ハ村稅二十七煙草小賣營業（卸ニ非ス）ハ村稅二十五分ノ一

第八地方稅中料理待合茶屋芝居茶屋遊ハ其月額稅

第九所得稅ヲ納ムル者ハ其稅額

第十諸公債證書ヲ所有スル者ハ其額面金高千分ノ三

第十一各銀行株券及諸會社株券ヲ所有スル者ハ其額面金高千分ノ六

但第一第六十第七十七國立銀行及日本銀行日本郵船會社日本鐵道會社ノ株券ニ限ル

第十二貸付金アル者ハ（前本條ニ登記スル各裁判所ノ貸金ニ限ル）其金高千分ノ五

第三條第二條第一第二項ハ明治二十二年六月第三第四第五第六第七第八第九項ハ（所得稅ハ明治二十二年度ニ於テ納稅セサルヘキ所得アル者及他府縣他町村ヨリ轉居ノ者ハ同年六月ノ調査ニシテ二十二年度ニ算出スル其稅額ヲ以テ同二十一年度ノ稅額トス）第十項ハ同二十一年十二月第十一項ハ同二十二年七月現在ヲ以テ調査シ隨時賦課スヘキ者ノ標準額ハ其當時ノ現在ヲ以テ之ヲ調査スヘシ

第四條第二條各項ノ種類數種一人ニ屬スルモノハ之ヲ合算シ其家族ニ屬スル者ハ戶主又ハ寵主ノ標準額ニ合算ス

第五條第二條ノ種類ナク又第六條ノ標準金額二圓五十錢未滿ノモノト雖モ官私ヨリ受クル月俸十二圓以上二十五圓未滿ソモノハ十八年ニ編入ス其種類ナキモノ又ハ其種類アリト雖モ貧困ノ者ヲ二十五等トシ極貧ノ者ハ二十六等ニ編入ス

第六條戶別割賦課ノ等級及ヒ賦課額標準額ハ左表ノ如シ

等級	賦課額標準金額	戶數合金
一等	八〇、〇〇〇	五百圓以上	一	八〇、〇〇〇
二等	六六、〇〇〇	三百圓以上五百圓未滿	六	三九六、〇〇〇
三等	五五、〇〇〇	二百圓以上三百圓未滿	五	二七五、〇〇〇
四等	四五、〇〇〇	百四十圓以上二百圓未滿	一〇	四五〇、〇〇〇
五等	三七、〇〇〇	百圓以上百四十圓未滿	七	二五九、〇〇〇
六等	三一、二五〇	七十圓以上百圓未滿	二三	七一八、七五〇
七等	二六、五〇〇	五十四圓以上七十圓未滿	三三	八七四、五〇〇
八等	二二、七〇〇	四十四圓以上五十圓未滿	二四	五四四、八〇〇
九等	一七、九五〇	三十四圓以上四十圓未滿	四五	八〇七、七五〇
十等	一五、一〇〇	二十五圓以上三十四圓未滿	四四	六六四、四〇〇
十一等	一二、七三〇	二十四圓以上二十五圓未滿	五四	六八七、四二〇
十二等	九、八八〇	十五圓以上二十圓未滿	一一二	一〇九六、六八〇
十三等	七、九八〇	十圓以上十五圓未滿	一二三	九八一、五四〇
十四等	六、一七〇	七圓以上十圓未滿	一七一	一〇五五、〇七〇
十五等	四、六五〇	五圓以上七圓未滿	三一九	一四八三、三五〇
十六等	三、七〇〇	四圓以上五圓未滿	二六二	九六九、四〇〇
十七等	二、八五〇	三圓以上四圓未滿	四六六	一三二八、一〇〇
十八等	二、三七〇	二圓五十錢以上三圓未滿	四七二	一一八、六四〇
十九等	一、八〇〇	二圓以上二圓五十錢未滿	四四一	七九三、八〇〇
二十等	一、三三〇	一圓五十錢以上二圓未滿	五二六	六九九、五八〇
二十一等	八六〇	一圓以上一圓五十錢未滿	九七〇	八三四、二〇〇
二十二等	六七〇	七十五錢以上一圓未滿	四九四	三三〇、九八〇
二十三等	三八〇	五十錢以上七十五錢未滿	八六六	三二九、〇八〇
二十四等	二九〇	五十錢未滿	一、七〇六	四九四、七四〇

仙臺市條例第四號理由書

當仙臺市ニ於テ本年度市稅トシテ徵收スヘキ金額總計金二萬五千四十五圓六十四錢八釐ノ內金九百七十八圓六十六錢一釐ハ地租ニ附加シ（地租七分ノ一）金四千八百三十四圓十五錢五釐ハ地方稅營業稅ニ附加シ（稅額ノ十分ノ三）金千五十九圓八十五錢五釐ハ同戶數割ニ附加（課額ニ同シ）シタリト雖モ尙ホ金一萬八千七十二圓九十七錢七釐ハ他ニ稅源ヲ求メテ之ヲ徵收セサルヘカラス故ニ今之ヲ特別稅戶別割トシテ各戶ニ賦課セントス而シテ此ノ經常費金ヲ徵收スルニ特別稅ヲ以テスルハ誠ニ止ヲ得サルニ出ツ蓋シ本年度ハ市町村制實施ノ爲メ地方稅中郡役所ニ關スル經費ハ當市ニ於テ負擔セサルニ依テ地方稅戶數割負擔額ハ僅カ金千三十四圓四十八錢ナルヲ以テ曩ニ仙臺區會ハ市內極貧者九百五十七戶ノ納稅ヲ免除シ殘一萬八百七十七戶ニ平均シ一戶ニ付金九錢五釐ヲ賦課シタルカ故ニ今市稅戶別割ヲ賦課スルニ當リテモ均賦法ニ從ハサルヘカラス然ルニ地租及地方稅營業稅ニ附加セシ殘金總額ハ金一萬有餘圓ナルヲ以テ其金額ヲ擧テ地方稅戶數割ノ附加稅トスルトキハ一戶殆ント二圓ニ向ントシ貧民ニ對シ實ニ不少ノ金額ニシテ到底實行シ難キノミナラス貧富ノ懸隔甚シキ市民ニ對シ其當ヲ得タルモノニアラサルヲ以テ地力稅戶數割ノ附加稅ハ僅カニ金千百五十九圓八十五錢五釐ヲ均賦法ニ基キ一戶ニ付金九錢五釐ヲ賦課シタリ故ニ其殘餘ノ徵收スヘキ稅源ナク又市內ノ現狀ヲ察スレハ國稅中ニモ附加スヘキ適當ノ稅源アラサルヲ以テ特別稅ヲ興スノ止ムヘカラサルニ至レリ而シテ特別稅ヲ興スニ方リ戶別割ヲ以テセントスル所ノモノハ當市ニ於ケル地方稅戶數割及區費戶別割ノ舊來ノ慣行ハ各戶貧富ノ程度ニ應シ等級ヲ分チテ賦課シ寬嚴其宜シキヲ得タルモノナリシヲ以テ其舊慣ヲ襲ハントスルニ由ル故ニ其名稱ハ特別稅戶別割ニシテ新稅ナリト雖モ其實舊來ノ區費戶別割ニ異ナラス能ク其民情ニ適スルヲ以テナリ但前年度地方稅戶數割及區費戶別割賦課法ハ單ニ地租額ト諸營業稅額ヲ以テ各戶ノ貧富ヲ量ルノ標準ト爲シタレトモ本條例ハ之ニ加フルニ所得稅額公債證書各銀行及諸會社株券貸金等ヲ以テセリ是其貧富ノ權衡ヲ失ハサランコトヲ欲スレハナリ又官私ヨリ俸給ヲ受クルモノヲ十八等ニ編入セシ所以ハ月俸二十五圓未滿ノ者ニシテ所得稅ヲ納付セス別ニ標準ト爲スヘキ種類ナキ者ハ自カラ二十五等ニ編入スヘキコトナルヲ以テ十七等以下二十四等以上ノ者ニ對シ其權衡ヲ失スルカ爲メ月俸十二圓以上二十五圓未滿ノ者ハ總テ十八等ニ編入シタリ又總戶數一萬二千二百九戶ノ內二十四等以上ノ者七千百七十九戶ヲ除キ殘五千三十戶ニ付キヲ以テ其種類ナキ者又ハ其種類アル者ト雖モ貧困ノ者ハ之ヲ二十五

二十五等	一九〇		
二十六等	三五	四、〇二八	七六五、三二〇
計		一、〇〇二	三五、〇七〇
內金十九錢三釐	微收剩餘	一二、二〇九	一八、〇七三、一七〇

等トシ其種類ノ有無ニ拘ハラス極貧ノ者ハ悉ク二十六等ニ編入シ以テ其貧富ノ權衡ヲ得セシメントス是レ本案ノ大要ナリ

指令二十二年十二月二十四日

宮城縣仙臺市特別市條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年十二月二十三日

別紙內務大臣上奏宮城縣仙臺市ニ於テ特別稅新設ニ付條例設定ノ件ヲ案スルニ右ハ相當ノ規定ナレハ上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十三年二月四日

宮城縣牡鹿郡石卷町ニ於テ區會設置ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通リ許可ヲ禀請セリ仍テ審查スルニ適當ノ規定ニシテ不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

町村條例之義申請

牡鹿郡石卷町ハ從來石卷門脇湊ノ三村ヲ合セテ一町ト爲シタルモノニ有之候處右舊三村ニ於テ特別ニ處有スル財產及ヒ營造物ニ關スル處務便宜ノ爲メ町村制第百十四條ニ依リ町會ノ意見ヲ聞キ別紙條例ヲ發行シ區會ヲ設置セントス依テ町村制第百二十五條ニ依リ許可ヲ乞フ

但シ御參照ニ供スル爲メ每區ノ戶數人口及ヒ財產調等添附ス

宮城縣牡鹿郡長　島崎直信

內務大臣山縣有朋殿

石卷町條例

第一條　石卷町ヲ石卷門脇湊ノ三區ニ分チ每區ニ區會ヲ設置ス

第二條　區會ハ每區ノ財產營造物ニ關スル一切ノ事件ヲ議定ス

第三條　議員ハ每區內ニ於テ町會議員選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス其定員ハ石卷十二人門脇八人湊八人トス

第四條　議員ノ任期ハ三箇年トス但滿期ノ後再選セラルヽコトヲ得

第五條　議員選擧及處務規程ハ町會ノ例ヲ適用ス但選擧等級及議員半數改選ノ事項ハ此限リニアラス

石卷町石卷區

一田段別四段六畝二十八歩
一畑段別二町五段二畝二十九歩
一山段別一町一段九畝四歩
一原野段別一町八段九畝十九歩
一堀敷段別六町八段八畝二十四歩
一金二千三百六十二圓九錢八釐

一原野段別二十二町八段三畝二十五歩
一沼段別六町三段六畝九歩
一杪三十一石八斗一升五合
一金千百五十五圓四十一錢三釐
一釜渡船場

一畑段別一町一段二十二歩
一宅地段別五歩
一山林段別六十五町二段九畝二十歩
一杪十五石八斗一升
一金四百六十七圓三錢五釐

記

石巻　戸數千八百五十二戸
門脇　同　六百八十八戸
湊　同　六百十戸
計　三千百五十四戸

指令二十三年二月八日
宮城縣石巻町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年九月十三日
宮城縣牡鹿郡石巻町ニ於テ督促手數料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度此段テ上奏ス

（別紙）
本町ハ三陸ノ要港ニ當リ舟車輻輳シ商業繁華重稅ノ額殆ンド一萬圓ニ達ス加之開港場及商業地ノ慣習トシテ納稅ノ遲滯住民ノ變動特ニ太甚シク收入尤モ煩難錯雜ヲ極メ督促數十回猶ホ終局ニ至ラス故ヲ以テ國稅滯納處分法ニ依リ之レカ徵收ヲ爲サントルヲ得ス因テ爰ニ町村制第百二條ニ依リ町會ノ議決ヲ經テ別紙ノ如ク條例ヲ規定シ督促令狀ヲ發シ非手數料ヲ徵集シ漸次滯納ノ宿弊ヲ滌洗致度候ニ付至急裁可相成度此段禀請候也

明治二十三年七月二十五日
内務大臣伯爵　西郷従道　殿
大藏大臣伯爵　松方正義　殿

宮城縣牡鹿郡
石巻町長　長橋謙三郎

條例第四號町村制第百二條ニヨリ重稅滯納者ニハ督促令狀ヲ發シ手數料トシテ一通ニ付金三錢ツヽヲ徵收スヘシ

人員　九千九百二十二人
同　三千九百七十八人
同　三千五百七十八人
一萬七千四百七十八人

門脇區
湊區

指令二十三年九月二十五日
宮城縣石巻町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年十一月十八日
宮城縣知事ニ於テ同縣仙臺市ニ區會ヲ設ケントシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ不都合無之ト被存候條御裁可被爲在度此段テ上奏ス

宮城縣ヨリ内務省ヘ禀請二十三年十一月七日
管下仙臺市大町外二十三町共有財産ニ關スル事務ノ爲メ條例ヲ發行シ區會ヲ設ケ度仙臺市會ノ意見ヲ徵シタル所別紙寫ノ如ク復申候ニ付此段仰御裁許候也

條例發行理由
別紙條例ヲ發行セントスルハ仙臺市大町外二十三町ノ共有ニ係ル日掛錢一切ノ事務ヲ議定セシメンカ爲メニシテ茲ニ日掛錢ノ沿革ヲ叙述スレハ舊藩治中天保年間兩度ノ飢饉アリテ民間大ニ慘狀ヲ究メタルニヨリ藩主ヨリ將來儲蓄ノ法ナカルヘカラサルヲ諭シ適宜儲蓄ヲ奬勵シタルヲ以テ大町外二十三町ノ商賈ハ積立金ノ方法ヲ設ケ弘化二年ヨリ新ニ積立テタルヲ以テ稱シテ日掛錢ト云フ爾來興廢アリト雖モ之ヲ繼續シテ明治十一年ニ至リ現在スル所ノ金七千六百九十七圓五十二錢三釐ヲ仙臺區役所ニ引繼キタリ仙臺區役所ニ於テハ該金ノ性質タルヤ公共ノ有ニ屬シ一人一箇ノ私有スヘキモノニ非ストナシ之ヲ保管シ來リ明治十五年ニ至リ二十四町人民ニ於テ二十四町日掛貯蓄錢維持方法會ナルモノヲ起シ其維持ヲ圖リ該金ノ下付ヲ請フコトヨリ之ヲ容レ移付シテヨリ漸ク弊害ヲ釀生スルノ恐アルニ至ルヲ以テ區町村會法ニ據リ二十四町聯合町會ヲ開キテ之ヲ議定セシムルコトヽナシ再ヒ區役所ノ保管ニ歸セシメ以テ二十二年ニ至リ市制施行ニ遇フニ及ヘリ其間利殖ノ方法ヲ行ヒタルニ依リ其額增シテ一萬四千六百十四圓五十錢二厘ニ至レリ乃チ日掛錢ノ性質タル兇荒救濟ノ目的ニ起リ二十四町共有ノモノニシテ所謂一區ニシテ特別ニ財産ヲ所有スルモノナリトスル抑モ本件ノ如キ特別事務ナルモ之ヲ市會ノ議定ニ任カスルハ法律ノ禁セサル所ナリトト雖モ該町人民ヨリ區會設置ノ請願アリ且從來ノ經歷特別ニ議會ヲ開キ議定シ來レルヲ以テ今改メテ市會ノ議定ニ付スルトキハ關係人民ノ感情ヲ傷ヒ又或ハ利害牴觸スルナキヲ保ツ能ハサルニ付市制第百十三條ニ據リ區會ヲ設クルハ益維持ヲ堅フシ福利ヲ進ムヘシト信シ以テ本條例ヲ發行セントスルニ至レルナリ

條例案

第一條　仙臺市畜市井大町　新傳馬町　南町　柳町　北目町　上染師町　田町　荒町　南鍛冶町　鍛冶町　南材木町　南染師町　河原町　國分町　希町　立町　本材木町　北材木町　二日町　北鍛冶町

第二條　支倉町　澱町　龜岡町　宮町ノ二十四町ヲ一區トナシ區會ヲ設ク

第三條　區會ハ前條二十四町共有財産ニ關スル一切ノ事件ヲ議定スル議員ヲ選舉シ議員ハ選舉區内ニ住居シ市會議員選舉權ヲ有スル者ニ於テ同上市會議員被選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス

第四條　議員選舉區ヲ分チテ左ノ二十四區トシ其員數ハ各一人トス
大町一二町目

大町三四五町目
新傅馬町　南傅馬町
柳町　北目町
上染師町　荒田町
南鍛冶町　鍛冶町
別紙福島縣信夫郡福島町ニ於テ助役ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ縣廳所在ノ地ニシテ商業繁盛人口一萬四千百餘ニ達スルヲ以テ町務ノ繁劇ナル知ルヘク助役ノ定員ヲ增加シ其一名ヲ有給トシ專任セシムルモ亦止ムヲ得サルヘシ且ツ其席次ハ名譽職ヲ以テ上席トスルモ渾テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書寫相添謹テ上奏ス
福島町條例之儀ニ付上申
本町會ニ於テ助役ニ關スル條例別紙之通議決候ニ付請御許可候也
福島縣信夫郡元福島町外五箇村戶長

第五條　議員選舉任期改選及處務規程ハ市會ノ例ヲ適用ス但選舉ノ等級ニ關スル事項ハ此限ニアラス
指令二十三年十一月二十二日　通裁可セラル
宮城縣仙臺市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
內務省上奏二十二年六月二十八日
北鍛冶町　南鍛冶町
二日町　北材木町
立本町　南材木町
肴町　南染師町
河原町　上染師町
國分町　龜岡町
支倉町　宮町

明治二十二年六月十八日　內務大臣伯爵　松方正義殿　村井長次郎

福島縣信夫郡福島町助役條例

條例第一號
第一條　本町ハ町村制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス
第二條　本町ハ町村制第五十六條ニ依リ助役一名ヲ有給トス
第三條　助役ノ席次ハ名譽職員ヲ以テ上席トス
第一本町ニ於テ助役ノ增員ヲ要スル理由ハ戶數二千七百餘人口一萬四千餘ニシテ大率商業ヲ以テ生計トスル故ニ本町行政事務モ亦隨テ頻繁ヲ極メ町長ノ外唯一名ノ助役アルノミニテハ事務整理上或ハ差支ナシトセス故ニ一名ヲ增員シテ行政機關ノ圓滑ナランコトヲ欲スルニアリ第二助役一名ヲ有給トナス理由ハ專務吏員トシテ執掌セシメ事務澁滯ノ弊害ヲ防制セントノ意ニ外ナラス第三助役ノ席次ハ名譽ノ爲メニ公務ニ從事スル公民ノ義務ヲ重シ名譽職ヲ上席トシタルモノナリ
指令二十二年七月四日　裁可セラル
福島縣信夫郡福島町條例ヲ設クルノ件裁可セラル
內務省上奏二十二年十月十五日
福島縣信夫郡福嶋町條例第二號退隱料ニ關スル件別紙之通許可ヲ稟請セリ審査スルニ支障ノ廉ヲ見サルヲ以テ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス
福嶋縣信夫郡福嶋町條例ノ儀上申
本町會ニ於テ退隱料ニ關スル條例別紙之通リ議決候ニ付請御許可候也
明治二十二年九月二十一日　福嶋縣信夫郡福嶋町長　二宮直躬
內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第二號
福嶋縣信夫郡福嶋町退隱料條例
第一條　有給助役收入役ニ左ノ區別ニ從ヒ退隱料ヲ給ス
一　在職四年以上ノ者ハ向フ三年間月俸五分ノ一
二　在職十年以上ノ者ハ向フ三年間月俸四分ノ一
第二條　書記在職三年以上ニシテ退職スルトキハ其月俸一箇月分ヲ給ス五年以上ニハ同シ一箇月半分ヲ給シ十年以上ニハ三箇月分ヲ給ス但職務上ノ失錯ニ付解職シタル者ニハ之ヲ給セス
第三條　第一條ノ退隱料ハ每年九月翌年三月ノ兩度ニ其半額ツヽ第二條ノ一時金ハ退隱ノトキ其全額ヲ支給ス
理由
町村吏員ハ定規ノ選任ニ據ルモノナルヲ以テ再選任ヲ受クルニ非レハ積テ其職ニアルコトヲ得サルモノナリ若シ其滿期ノ後ニ至テ再選任ヲ受ケサルトキハ遽カニ衣食ノ道ヲ失フニ至ルヘシ仍テ可及的コノ結果ヲ防クノ策ヲ講セサレハ爲メニ有力ノ人進テ町村吏員ノ職ニ就クコトヲ屑シトセサルニ至ラン

コレ此法ヲ設ケル所以ナリ

指令二十二年十月十九日

福嶋縣福嶋町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年二月三日

福嶋縣西白河郡白河町ニ於テ町長ヲ有給ト爲ス件町條例トシテ規定ノ儀別紙ノ通許可稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度旨テ上奏ス

〔別紙〕

白河町條例ノ儀ニ付上申

本町會ニ於テ町長有給條例別紙之通議決候ニ付請御許可候也

福嶋縣西白河郡白河町長代理

白河町助役　高松重巽

内務大臣伯爵山縣有朋殿

條例第一號

福島縣西白河郡白河町長條例

本町ハ町村制第五十六條ニ依リ町長ヲ有給トス

理由

町村制實施ニ際シ當町々長ハ名譽職トナシ當町自治ノ實務ヲ全セントコヲ期シ今日ニ至ル迄實行シ來ルト雖モ町長ハ疾病ノ故ヲ以テ退職ヲ請求シ當町會ハ正當ノ理由アルモノトシ薬既ニ解職シタリ今ヤ後任者ヲ選舉スルノ秋ニ際會セリ熟々當町從來ノ治績ニ依テ考フルニ當町ハ奥羽ノ咽喉ニ當リ戸數二千人口一萬六百餘ヲ事務頻繁錯雜ヲ極メルヲ以テ町長ノ職ノ如キ之ヲ一身ニ委チスンハ名譽職ヲ以テ傍ラ事務ヲ處理スル等ニ至テハ到底充分ノ整理ヲ見ル能ハス故ニ有給吏員トシ事務ニ專任シ將來自治ノ實務ヲ擧ケ以テ事務ノ完成ヲ望マント茲ニ本條例ヲ設ケル所以ナリ

指令二十三年二月八日

福嶋縣白河町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年三月四日

福島縣北會津郡若松町ニ於テ甲賀町桂林寺町及桒町三區區會條例ヲ設ケントシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度旨テ上奏ス

〔別紙〕

福島縣北會津郡若松町條例之儀ニ付上申

本郡若松町區會設置ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付請御許可候也

明治二十二年十二月二十七日

福島縣北會津郡長　相良守典

内務大臣山縣有朋殿

條例

福島縣北會津郡若松町區會條例

町村制第百十四條ニ依リ財産及營造物ニ關シ左ノ區ヲ置キ區會ヲ設ケ其組織及職務權限ヲ定ムル左ノ如シ

大字大町堅町
同大町二ノ町
同大町三ノ町
同大町原ノ町
同大町名子屋町
同原ノ町
同馬場上一ノ町
同馬場一ノ堅町
同馬場下二ノ町
同馬場上三ノ町
同馬場三ノ堅町
同馬場下四ノ町
同馬場名子屋町
同博勞町
同上四ノ町
同上二ノ町
同大工町
同五軒町
同行人町
同東名子屋町
同堅三日町
同槻木町
同南横町
同淨光寺町
同愛宕町
同千石町
同天寧寺町

甲賀町區

同大町一ノ町
同大町二ノ堅
同大町三四ノ堅
同大町四ノ町
同道場小路町
同紺屋町
同馬場下一ノ町
同馬場上二ノ町
同馬場二ノ堅町
同馬場下三ノ町
同馬場上四ノ町
同馬場下五ノ町
同甲賀町
同上五ノ町
同下野伏町
同上一ノ町
同上六日町
同瀧澤町
同中六日町
同上野伏町
同寺町
同本郷町
同横三日町
同鳥居町
同屋敷町
同堂ノ町
同阿彌陀町
同徒ノ町

第一條　區會議員ノ選舉ハ區内公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員左ノ如シ

議員　二十四人

第二條　區會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ
（一）區ノ財產及營造物ニ關シ區費ヲ以テ支辨スヘキ事業及區費ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
（二）區費歲入出豫算ヲ定ム豫算外臨時急施ノ支出ヲ認定スル事
（三）決算報告ヲ認定スル事
（四）區有財產ノ賣買交換讓受讓渡幷質入書入等ノ處分ニ關スル事
（五）區有ノ財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
第三條　本例ニ規定セサルモノハ總テ町村制ノ成條ヲ適用ス
理由
若松町ハ舊八十三箇町ヨリ成リ維新以降行政區畫ヲ變更セシハ屢々アリテ明治十二年郡區町村編制法ニ依リ若松ノ行政區畫ヲ六トシ從テ明治十六年各三區畫ヲ合併シ之ヲ二區畫トナシ明治二十二年町村制施行ニ際シ右八十三箇町ヲ合併シテ之ヲ一町トシ即チ行政區畫ヲ以テ之ヲ一ニ歸セリ如斯小町ヲ合併シ造成シタル一町ニアルヲ以テ從ニ行政區畫ニ依リ特別ニ財產及營造物ヲ有シ其利害ヲ全町ト異ニシ相抵觸スルニ因リ町村制第九十九條ノ原則ニ基キ本部落ヲ區シ部落ヲ區シテ財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事ヲ必要ヲ感シ之ヲ規定スル所以ナリ
條例
福島縣北會津郡若松町區會條例
町村制第百十四條ニ依リ財產及營造物ニ關シ左ノ區ヲ置キ區會ヲ設ケ其組織及職務權限ヲ定ムル左ノ如シ
大字桑町
同老町
同七日町
同上大和町
同下大和町
同斜屋町
同善久町
同當麻中町
同赤井町
同融通寺町
同片柳町
同川原町
桂林寺町區
同桂林寺町
同北小路町
同後ノ分町
同中大和町
同祝町
同針屋名子屋町
同西名子屋町
同當麻町
同飯坂四ツ谷
同新横町
同材木町
同南町
第一條　區會議員ノ選舉ハ區內公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員左ノ如シ

第二條　區會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ
（一）區ノ財產及營造物ニ關シ區費ヲ以テ支辨スヘキ事業及區費ノ賦課徵收ノ法ヲ定ムル事
（二）區費歲入出豫算ヲ定ム豫算外臨時急施ノ支出ヲ認定スル事
（三）決算報告ヲ認定スル事
（四）區有財產ノ賣買交換讓受讓渡幷質入書入等ノ處分ニ關スル事
（五）區有ノ財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
第三條　本例ニ規定セサルモノハ總テ町村制ノ成條ヲ適用ス
理由
若松町ハ舊八十三箇町ヨリ成リ維新以降行政區畫ヲ變更セシハ屢々アリテ明治十二年郡區町村編制法ニ依リ若松ノ行政區畫ヲ六トシ從テ明治十六年各三區畫ヲ合併シ之ヲ二區畫トナシ明治二十二年町村制施行ニ際シ右八十三箇町ヲ合併シテ之ヲ一町トシ即チ行政區畫ヲ以テ之ヲ一ニ歸セリ如斯小町ヲ合併シ造成シタル一町ニアルヲ以テ從ニ行政區畫ニ依リ特別ニ財產及營造物ヲ有シ其利害ヲ全町ト異ニシ相抵觸スルニ因リ町村制第九十九條ノ原則ニ基キ本部落ヲ區シ部落ヲ區シテ財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事ヲ必要ヲ感シ之ヲ規定スル所以ナリ
條例
福島縣北會津郡若松町區會條例
町村制第百十四條ニ依リ財產及營造物ニ關シ左ノ區ヲ置キ區會ヲ設ケ其組織及職務權限ヲ定ムル左ノ如シ
大字桑町
同老町
同七日町
同上大和町
同下大和町
同斜屋町
同善久町
同當麻中町
同赤井町
同融通寺町
同片柳町
同川原町
第一條　區會議員ノ選舉ハ區內公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員左ノ如シ
同桂林寺町
同北小路町
同後ノ分町
同中大和町
同祝町
同針屋名子屋町
同西名子屋町
同當麻町
同飯坂四ツ谷
同新横町
同材木町
同南町
第一條　區會議員ノ選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員左ノ如シ

(四)區有財産ノ賣買交換讓受讓渡并質入書入等ノ處分ニ關スル事
(五)區有ノ財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
第三條　本例ニ規定セサルモノハ總テ町村制ノ成條ヲ適用ス

福島縣若松町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年四月十一日

福島縣信夫郡福島町ニ於テ特別稅ヲ設ケントシ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ與請セリ仍テ審査スルニ本町ニ於テハ歲入歲出ニ對シ多分ノ不足ヲ生スルノ實況ナレハ到底相當ノ稅源ヲ求メテ之ヲ補ハサルヘカラサルヲ以テ之ヲ設クルハ實際已ムヲ得サルヘク且ツ銀行營業者ニ特別稅ヲ賦課スルモ何等差支無之ト被存候條御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

(別紙)
福島縣信夫郡福島町特別銀行稅條例認可ノ儀上申
福島縣信夫郡福島町長　二宮直躬

明治二十三年一月二十七日
内務大臣伯爵　山縣有朋殿
大藏大臣伯爵　松方正義殿

福島縣信夫郡福島町特別銀行稅條例

第一條　本町内ニ於テ國立銀行業ヲ營ムモノハ左ノ割ニ依リ特別銀行稅ヲ納ムヘシ
一等　一萬一千圓以上　年稅金三十五圓
二等　五千圓以上　同　金二十五圓
三等　五千圓未滿　同　金十五圓

第二條　本町内ニ於テ國立銀行業ヲ營ムモノハ株金又ハ資本金高ヲ記シ其都度町役場ニ届出スヘシ廢業スルトキ又タ同シ

第三條　國立銀行ハ毎年七月一月ノ二期ニ前年分ノ利益金高ヲ計算シ難キトキハ月割ヲ以テ一箇年分ノ利益ヲ計算シ第四條年度中開廢業ニ依リ全年分ノ利益高ヲ課稅スルモノトス

第五條　特別銀行稅ハ前年分ヲ翌年二月徵收ス

第六條　第二條第三條ノ届出ヲ怠ルモノハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

理由
今茲ニ特別銀行稅條例ヲ設ケントスルノ理由タルヤ只單ニ收入上止ヲ得サルニ出ルモノナリ抑モ本町明治二十二年度以前ニ係ル町費負擔ノ多額ナルハ別表歲入出豫算書ニ明カナルカ如ク敢テ茲ニ多辯ヲ要セス(確ス)金一萬三千四百七十九圓四十八錢三釐ニ對シ其收入ヲ細別スレハ財産ヨリ生スル收入金百七十圓二十錢國庫手當金百四十八圓雜收入金二千八百七十五圓八十錢此計金三千百九十四圓四十八錢三釐ハ全ク町稅ヨリ收入セサルヘカラサルノ金額ナリトス而シテ所得稅附加割本稅百分ノ五十此金六百八十八圓二十二錢七釐地租割附加稅地租七分ノ一此金四百八十六圓十錢四釐營業稅附加稅本稅同額此金二千四百四十一圓六十八錢四釐此計金七千四百六十五圓七十三錢二釐ノ内務省上奏二十三年五月三十日

福島縣梁川第百一銀行支店
指令二十三年五月二日

福島縣福島町條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ
内務省上奏二十三年五月三十日

福島縣北會津郡若松町ニ於テ常設委員條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ與請セリ依テ取調候處不都合無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

(別紙)

附加稅ヲ課シ得ルモ尚二千八百十九圓七十五錢一釐ノ不足ナリ依テ此不足ヲ補ハンカ爲メ其附加額ヲ增サンカ所得稅及地稅ニハ制限アリ而シテ營業稅附加割ノ如キハ諸營業上ノ狀況如何ヲ觀察セサルヘカラス本町ハ人口僅ニ一萬四千有餘ノ一小市邑ニシテ近來交通ノ便ト共ニ商法至テ振ハス然ルニ本年ノ如キハ地方稅營業稅金七千六百九十九圓四十一錢一釐ノ多額ニ至ル豈ニ之ヲ輕シトハ云フヲ得サルナリ故ニ此上尚ホ之ニ乘加スルノ稅增課ニ至リテハ總戸數二千八百九十三ニシテ其中住民生計ノ有樣ヲ大別セハ普通ノ生計ヲナシ得ル者三分ノ一强ニ居ルモノ三分ノ一弱ハ日々ノ糊口ヲ爲シ居ルモノ三分ノ一辛ウシテ本稅平均一戸金八十四錢四釐ノ同額ノ附加稅ヲ課スルハ實ニ最高點ト言ハサルヘカラス況ンヤ

福島縣北會津郡若松町條例許可ノ儀ニ付上申

本町會ニ於テ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通リ議決候ニ付請御許可候也

明治二十二年十二月十四日

福島縣北會津郡若松町長　倉田作十郎

福島縣北會津郡若松町條例第　號

常設委員條例

第一條　本町常設委員ノ定員ヲ五名トス

第二條　常設委員ノ選舉ハ町會議員ヨリ三名公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ二名ヲ選舉スルモノトス

第三條　委員ノ任期ハ三年トス但關員ノ生シタルトキハ臨時補關選舉ヲ行フモノトス

第四條　議員中ヨリ選出シタル委員ハ其議員ノ資格ヲ失フト同時ニ委員ノ資格ヲ失フ

第五條　常設委員ノ分掌スル事務左ノ如シ

一　敎育事務

一　勸業事務

一　土木事務

一　町財產管理事務

一　警備事務

第六條　委員會ハ左ノ事項ヲ審査シ若クハ評決ス

一　委員ニ關スル分掌事業ノ與廢及管理方法ノ事

二　町會ニ付スヘキ委任ニ關スル議案ノ事

第七條　委員會ハ委員長ノ招集若クハ委員二名以上ノ請求ニヨリ開會ス

第八條　委員會ハ委員三名以上出席スルニ非サレハ評決スルコトヲ得ス但シ急施ヲ要スル場合ハ本條ノ限リニ非ス

（別紙）

理由書

本町ニ常設委員ノ必要ヲ感シタルハ市町村制理由書中市町村制第三章市町村行政第四委員ノ部ニ明記シタルノ旨趣ニ外ナラス抑モ本町ハ人口二萬二千有餘戶數四千四百餘戶如斯大町ニシテ獨リ町吏員ノミヲシテ行政事務ヲ處理スルトキハ或ハ百事一失ナキヲ保シ難シ是レ則行政機關タル所ノ委員ヲシテ

モノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙相添ヘ謹テ上奏ス

福島縣信夫郡福島町滯納督促條例許可請求

當町會ニ於テ滯納督促條例別紙ノ通議決候ニ付請御許可候也

明治二十三年九月十五日　福島縣信夫郡福島町長　二宮直躬

內務大臣伯爵　西鄕從道　殿

大藏大臣伯爵　松方正義　殿

福島縣信夫郡福島町滯納督促條例

第一條　本町收入ノ徵收令書ヲ受ケ期日內完納セス期日後三十日ヲ經過スルトキハ令狀ヲ發シテ督促スヘシ

前項ノ督促ヲ受ケ猶五日以內ニ完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依ラス尊常ノ催促ヲ以テ納付セシメ來レリト雖モ到底斯手段ヲ以テ整理ヲ爲スハ覺束ナシ故ニ納期後三十日間ハ尊常ノ催促ヲ以テ可成之ヲ納付セシメ來レリト雖モ到底斯手段ヲ以テ整理ヲ爲スハ覺束ナシ故ニ納

第二條　前條ノ督促ヲ受ケタルモノハ手數料金三錢ヲ納ムヘシ

督促手數料ハ督促令狀ニ記載スルヲ以テ別ニ徵收令書ヲ發セス

理由

近來諸收入滯納者ノ夥多ナル實ニ非常ニシテ其整理困難ナル又甚タシ然レトモ可成ハ國稅滯納處分法ニ依ラス尊常ノ催促ヲ以テ納付セシメ來レリト雖モ到底斯手段ヲ以テ整理ヲ爲スハ覺束ナシ故ニ納日以內ニ完納セサルモノアルトキハ國稅滯リ而シテ國稅地方稅ニハ督促手數料ノ制アリ當町收入滯納者ニ對スル督促ニモ此制ノ必要ヲ感ス

指令二十三年十月十五日

福島縣福島町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十二年七月十三日

別紙岩手縣盛岡市ニ於テ市長事故アル時代理相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市會決議書寫相添謹テ上奏ス

本市會ニ於テ市長事故アル時代理ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年六月二十七日　盛岡市長　目時敬之

內務大臣伯爵　松方正義　殿

條例第一號

第一條　市長故障アルトキハ助役其職ヲ代理ス

第二條　市長助役共ニ故障アルトキ市長代理ノ順序ハ名譽職參事會員中豫メ互撰ヲ以テ之ヲ定ム

指令二十二年七月十七日

岩手縣盛岡市條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十三年五月十六日

岩手縣盛岡市區會ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙相添謹テ上奏ス

岩手縣ヨリ內務省ヘ稟請二十三年五月三日

縣下盛岡市ニ係ル區會條例市會ノ意見ヲ聞キ別紙ノ通規定候條御允許相成度此段稟請候也

區會ヲ設ケ條例ヲ發行スル理由

盛岡市內ニ區會ヲ設ケ條例ヲ發行セント欲スルハ從來市內二十八箇町ノ共有ニ屬スル財產アルヲ以テ其事務ヲ處辨セシメントスルニアリ而シテ其財產ノ種類ヲ舉クレハ公債證書現金幷土地建物等ニシテ如此財產ヲ共有スルニ至レル其初ハ凶荒豫備ノ爲メ舊藩主南部家ヨリ嘉永三年及元治元年ノ兩度ニ米八百駄ヲ賜與サレシニ起ル爾來之ヲ基本トシテ更ニ又蓄殖シ現今殆ント二萬有餘圓ノ公債證書及現金ヲ共有スルニ至レリ因テ尙ホ從來ノ區域ヲ襲ヒ區會ヲ設ケ其事務ヲ處辨セシムルノ必要アルニ由ル

盛岡市條例

區會

第一條　盛岡市內左ノ區域ヲ限リ區會ヲ設置ス

茅町　材木町　長町　三戸町
四ツ家町　八日町　本町　大工町
花屋町　油町　紙町　鍛冶町
紺屋町　呉服町　生姜町　八幡町
希町　六日町　十三日町
馬場町　新穀町　鈿屋町
川原町　仙北町　山岸町　青物町

第二條　區會ハ區限リ所有スル財產及營造物ニ關スル事務ヲ議定スルモノトス

第三條　區會ハ市會ノ例ヲ適用ス

指令二十三年五月十九日

岩手縣盛岡市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年八月二十七日

岩手縣東閉伊郡宮古町外一箇町三箇村ニ於テ町村共同ノ漁業ニ關シ組合會ノ組織及常設委員ニ關スル條例ヲ議定シ許可稟請ニ付審査候處右ハ概子舊來ノ慣行ヲ折衷スルモノニシテ適實ナル規定ト認メ候ニ付決ノ通裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本組合會議長及其代理者幷常設委員等ニ關スル條例ヲ議定シ許可稟請ニ付審査候處右ハ概子舊來ノ慣行ヲ折衷スルモノニシテ適實ナル規定ト認メ候

明治二十二年十二月二十四日

岩手縣東閉伊郡宮古町外一箇村組合會

內務大臣伯爵山縣有朋殿

條例第一號

第一條　當組合會ハ每年四月議長及其代理者各一名ヲ互選ス其任期ハ一周年トス

第二條　當組合ニ常設委員長一名及常設委員六名ヲ置キ組合共同漁業ニ關スル一切ノ事務ヲ管理ス

第三條　常設委員長及常設委員ハ組合ニ於テ組合各町村公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ選擧ス其任期ハ二周年トス

理由書

本縣海漁業中一定ノ場所ニ於テ稼業スル所ノ漁業ハ本縣漁業採藻稅則ニ於テ其關係町村ソ請願ニ依リ其町村ヘ無年季共同稼業ヲ許スノ規定ニ從ヒ當組合町村ハ明治十五年以降漸次ニ東閉伊郡宮古灣內ニ係ル秋鯖建網漁業其他一定ノ場所ニ於テ稼業スル所ノ漁業ヲ請願シ無年季共同稼業ノ許可ヲ受ケ組合各町村聯合ノ協議ヲ以テ役員ヲ選擧シ事務所ヲ設置シ之カ業務執行シ來リシカ右ハ組合各町村一般ニ於テ許可ヲ得其町村一般ノ利益ノ爲メニ經營スル事業ニ係ルヲ以テ之ヲ行政上ノ物件トシ且本縣令達ノ主意ニ從ヒ明治十七年區町村會法發令ノ後ハ本法ニ依テ組合數町村ノ聯合村會ヲ組織シ本郡長ノ管理スル所トナリ更ニ役員ヲ改選シ維持ノ方法事業ノ順序等ヲ規定シ以テ今日ニ之ヲ經營シタリシニ又本年市町村制ノ實施ニ方リ本件ハ數町村連帶ノ事務ニ係ルヲ以テ之レカ共同處分ヲ要スル爲メ町村第百十六條第一項ニ依リ今般更ニ本郡參事會ハ營利ノ事業ニシテ普通ノ行政事務ト自ラ特種ノ性質ヲ有シ町村長ノ到底管理シ能ハサルモノナルヲ以テ常設委員長及常設委員ヲ設置シ共ニ組合會ソ選擧トシ町村制第六十五條第三項ニ依リ別ニ其組織及其職務ノ權限ヲ異ニセシ以上ハ又別段ノ規定ヲ要スルヲ以テ本業一切ノ事務ヲ管理セシメントス故ニ其組合會議ノ議長ニ於ケルモ亦其管理者ノ選定於テ互選ノ法ト爲シ以テ本業事務ノ發達ヲ計リ組合町村ノ利益ヲ增進シ共歲入ノ幾分ヲ補ヒ進ンテ將來組合內各町村ニ不動ノ基本財產ヲ作爲セント欲スルニアルナリ

指令二十三年九月五日

岩手縣宮古町外一町三村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年十一月十八日

岩手縣盛岡市ニ於テ今般區會條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

岩手縣ヨリ內務省へ稟請二十三年十月十日

縣下盛岡市區會設置ニ關スル條例今般市會ノ意見ヲ聞キ別紙ノ通規定發行致度ニ付御允許相成度此段稟請候也

盛岡市條例

區會

第一條　盛岡市內左ノ區域限リ區會ヲ設置ス

元仁王村及元上田村ヨリ市內ニ分屬シタル幾部

第二條　區會ハ區限リ所有スル財產ニ關スル事務ヲ議定ス

第三條　區會ハ市會ノ例ヲ適用ス

理由書

本條例ヲ發行セント欲スルモノハ盛岡市ノ內元仁王上田兩村ヨリ分屬セシ部分ニ於テ從來特別ノ財產

ヲ所有シ市ト其經濟ヲ異ニセルヲ以テ區會ヲ設ケ其事務ヲ處辨セシムルノ必要ヲ生シタルニ由ル
指令二十三年十一月二十二日
岩手縣盛岡市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年十二月十一日
岩手縣盛岡市ニ於テ今般督促手數料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付此段許可ヲ請フ
（別紙）
本市會ニ於テ市稅督促手數料徵收ニ關スル條例ヲ設ケントシ別紙ノ通リ許可ヲ裏請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度讀テ上奏ス
明治二十三年五月七日　岩手縣盛岡市參事會
内務大臣伯爵　山縣有朋　殿
大藏大臣伯爵　松方正義　殿

盛岡市條例
市稅督促手數料
第一條　本市ハ市制第百二條ニ依リ督促令狀一通ニ付金二錢ノ手數料ヲ徵收ス
第二條　督促手數料ハ滯納稅金ト共ニ收入役ニ納付スヘシ
市稅督促手數料條例理由書
昨年國稅滯納處分法ノ改正ニ依リ國稅地方稅トモ督促令狀手數料徵收スル儀ニシテ市制第百二條ノ規定ニ拠リ市ノ收入ニシテ其定期內ニ納付セサル場合市參事會之ヲ督促スルニ付督促令狀送達手數料ヲ徵收スルハ至當ナリト雖モ本市ニ於テハ市收入中雜收入等ノ如キハ多分前金收入トナルモノナレハ特ニ市稅ニ限リ督促手數料ヲ徵收セントス是本條例ヲ設ル所以ナリ
岩手縣盛岡市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十二年五月二十八日
青森縣東津輕郡青森町ヨリ助役ニ關スル條例別紙之通許可ヲ裏請セリ之ヲ審査スルニ同町ハ人口一萬五千七百十四住民十中ノ八九ハ商家ニシテ其業ニ繁忙ナル者多ク町長及助役ヲ併セテ名譽職トナストキハ事務ノ淹滯ナキヲ保シ難キヲ以テ助役一名ヲ有給トナスモノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス
青森縣東津輕郡青森町條例
本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ヲ設クルノ件裁可セラル
明治二十二年五月十五日
内務大臣伯爵　松方正義　殿
條例第一號
本町會ニ於テ助役一名ヲ有給吏員ト定メタル理由ハ當地住民十中ノ八九ハ商家ニシテ内外繁忙ノ者多キニ由リ町長及助役ヲ併セテ名譽職トナストキハ事ニ臨ンテ支障ヲ生シ事務ノ淹滯ナキヲ保シ難キヲ以テ其弊ヲ避ケ流暢速結ヲ要スルニアリ依テ茲ニ助役條例ノ許可ヲ請フモノナリ
指令二十二年六月三日
青森縣東津輕郡青森町條例ヲ設クルノ件裁可セラル
内務省上奏二十二年九月二十五日
青森縣弘前市ヨリ別紙之通條例第一號及第二號ノ許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ其一號ハ市制第六十九條第七十三條ニ依リ常設委員ノ組織幷職務權限ヲ規定シタルモノニシテ相當ノ條例ト被考候依テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス
青森縣弘前市條例第一號ヲ以テ市長代理者順序ニ關スル件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
本市會ニ於テ市條例第二號ヲ以テ常設委員組織及職務權限ヲ左ノ如ク規定ス
一制第五十六條ニ依リ本町助役一名ヲ有給吏員トス
助役條例許可稟申書說明
本町會ニ於テ助役一名ヲ有給吏員ト定メタル理由ハ當地住民十中ノ八九ハ商家ニシテ内外繁忙ノ者多キニ由リ町長及助役ヲ併セテ名譽職トナストキハ事ニ臨ンテ支障ヲ生シ事務ノ淹滯ナキヲ保シ難キヲ以テ其弊ヲ避ケ流暢速結ヲ要スルニアリ依テ茲ニ助役條例ノ許可ヲ請フモノナリ
青森縣東津輕郡青森町條例ヲ設クルノ件裁可セラル
内務省上奏二十二年九月二十五日
青森縣弘前市ヨリ別紙之通條例第一號及第二號ノ許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ其一號ハ市制第六十九條第七十三條ニ依リ常設委員ノ組織幷職務權限ヲ規定シタルモノニシテ相當ノ條例ト被考候依テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス
青森縣弘前市條例第一號ヲ以テ市長代理者順序ニ關スル件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
本市會ニ於テ市條例第二號ヲ以テ常設委員組織及職務權限ヲ左ノ如ク規定ス

明治二十二年八月三十一日　青森縣弘前市參事會
内務大臣伯爵　松方正義　殿
大藏大臣伯爵　松方正義　殿

青森縣弘前市條例
市長代理者順序
本市ハ市制第六十九條ニ依リ市長代理者順序ヲ定ムルノ必要ヲ生シタルニ由ル
一市長故障アル時ハ助役其職務ヲ代理シ市長助役共ニ故障アル時ハ順次ニ年長名譽職參事會員其職務ヲ代理スルモノトス
市第四十七號
本市會ニ於テ市條例第二號ヲ以テ常設委員組織及職務權限ニ關スル件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
明治二十二年八月三十一日　青森縣弘前市參事會
内務大臣伯爵　松方正義　殿
大藏大臣伯爵　松方正義　殿

青森縣弘前市條例
常設委員組織及職務權限
本市ハ市制第六十一條及第七十三條ニ依リ常設委員ノ組織及職務權限ヲ左ノ如ク規定ス
第一條　本市ハ常設委員五名ヲ置キ市參事會之ヲ撰任ス
一　學事ニ關スル事項
二　衛生ニ關スル事項
第二條　常設委員ハ市公民中ヨリ市參事會ノ監督ヲ受ケ左ノ事務ニ從事セシム
第三條　常設委員ノ任期ハ一箇年トス
第四條　常設委員ノ臨時缺員アルトキハ直チニ補欠撰擧ヲナスヘシ

第五條　市長ハ委員長トナリ少クモ毎月一回以上委員會ヲ開キ各其從事スル事務施行方法ヲ協議スヘシ

指令二十二年九月二十七日

青森縣弘前市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年九月二十七日

青森縣青森町ヨリ別紙之通常設委員ニ關スル條例上事務頗ル頻繁ナルニ付町村制第六十五條及第七十四條ニ依リ之ヲ設クルモノニシテ相當ノ規定ト考ス依テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

本町常設委員ニ關スル條例別紙之通町會ニ於テ議決相成候條許可相成度此段稟請候也

明治二十二年八月二十九日　青森縣東津輕郡青森町長　柳崎忠兵衛

內務大臣伯爵　松方正義　殿

青森縣東津輕郡青森町條例第二號

常設委員條例

第一條　本町ハ町村制第六十五條同第七十四條ニ據リ常設委員ヲ置ク

第二條　常設委員ノ定員ヲ七名トス

第三條　常設委員ノ任期ハ六年トス

第四條　常設委員中缺員ヲ生スルトキハ補缺撰舉ヲ行フモノトス

補缺常設委員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第五條　常設委員ハ本町敎育衛生土木ニ關スル行政事務ヲ分掌シ其事業施行ノ任ヲ分擔スルモノトス

第六條　常設委員ノ職務權限ヲ定ムル左ノ如シ

一　町會議決ノ旨趣ニヨリ分擔ノ事項ヲ調査施行スルコト

二　翌年度ニ施行スヘキ事項ノ設計費額等ヲ取調議案ノ下調ヲナスコト

三　臨時急施ヲ要シ町會ヲ開クヘキ場合同上ノコト

四　前年度ニ於テ施行セシ事項ヲ會議ヘ報告スルコト

五　分擔事項ニ就テハ町會ノ質議ニ對シ辨明ヲナスコト

六　臨時非常ノ場合ニシテ町會ヲ開クニ暇アラサルトキハ先ツ時宜ニ必要ナル處置ヲナシ得ルコト

但施行後町會ニ報告シ其認定ヲ得ルコト

第七條　常設委員會ヲ開キ其職務ヲ執行スルニ必要ナル條件ヲ審査若クハ評決スルモノトス

第八條　常設委員長ハ町長ヲ以テ之ニ任シ委員會ヲ招集ス若シ委員三名以上ノ請求アルトキハ必ラス之ヲ召集スルモノトス

但町長事故アルトキハ助役ヲ以テ委員長トナスコトアルヘシ

第九條　常設委員會ノ書記ハ町役場書記ヲ以テ之ニ充ツ

第十條　常設委員會ノ議ニ關スル細則ハ委員會之ヲ定ムルモノトス

常設委員條例說明

本條例ヲ設クル所以ノモノハ本町ハ人口一萬六千餘其行政事務頗ル頻繁殊ニ敎育衛生土木ニ關スル事務ノ如キハ其擧否直ニ町內一般ノ利害ニ及スヤ昭昭タリ故ニ町村制第六十五條幷第七十四條ノ成文ニヨリ常設委員ヲ設ケ以テ右ノ事務ヲ分掌セシメントス

指令二十二年十月二日

青森縣青森町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月十五日

青森縣北津輕郡各村組合ヨリ別紙ノ通組合村稅徵收ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ不都合ノ廉ナク相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

明治二十二年度本郡聯合村稅徵收期限別紙之通該村會ニ於テ議決候條許可ヲ請フ

明治二十二年十月十六日　青森縣北津輕郡長　杉山龍江

內務大臣伯爵　山縣有朋　殿

青森縣北津輕郡總村條例第一號

明治二十二年度北津輕郡聯合村稅徵收期限左ノ通リ相定ム

一地價割　十二月二十一日限リ

一營業割　同十一月十五日限リ

一戶別割　同十一月三十日限リ

月稅日稅其他隨時收入ニ附加スルモノハ本稅徵收期限ニ同シ　十一月十五日限リ

說明

月稅日稅其他隨時收入ニ附加スルモノヽ外本稅ニ割シ差引徵收上ノ都合ト支出ノ都合ニ依リ本稅徵收期限ト同一ニセサル所以ナリ

指令二十二年十一月二十九日

青森縣北津輕郡組合村條例ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年十一月二十八日

內務大臣上奏青森縣北津輕郡組合村條例ヲ審査スルニ右ハ相當ノ規定ニシテ法律ニ抵觸ノ廉モ無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十三年一月二十一日

青森縣南津輕郡總町村聯合會區域ヨリ町村稅徵收期限ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙相添謹テ上奏ス

（別紙）

當南津輕郡總町村聯合會ニ於テ町村稅徵收期限ニ關スル條例別紙ノ通議決候條許可ヲ請フ

明治二十二年十二月二十一日　青森縣南津輕郡長　大道寺繁禎

條例第一號　　內務大臣伯爵　山縣有朋殿

青森縣南津輕郡總町村聯合會ニ屬スル町村稅徵收事務ノ爲メ町村制第十條ニ依リ町村條例ノ規定ヲ以テ其徵收期ヲ定ムル左ノ如シ

第一條　經常費ハ左ノ期限ヲ以テ之ヲ徵收ス

一地租附加稅
一戶數割附加稅
一雜種營業稅附加稅　四月一日ヨリ
第二條　臨時費ニ屬スル町村稅ハ其都度會議ノ議決ヲ以テ徵收期ヲ定ム　同三日限リ
第三條　日稅月稅ニ屬スル分ハ納稅義務ノ生シタル翌月ノ初直ニ之ヲ徵收ス　同十一日限リ

附則　同六月十一日限リ

第四條　明治二十二年度ニ屬スル町村稅ハ賦課ノ後三十日以內ニ之ヲ徵收スルモノトス　同八月十一日限リ

說明

本會議ハ本年三月法律第十一號ニ依リ從來開設シタル南津輕郡總町村聯合會即チ土木ニ係ル會議ヲ存續シダルモノニシテ本會ノ議決ニ係ル町村稅徵收期限ノ如キハ町村制第十條ニ依リ町村條例ノ規定ヲ以テ之ヲ定メサルヘカラサルニヨリ今茲ニ本聯合町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ區分セルモノニシテ各科目共之ヲ數回ニ賦課スルモノナリ而シテ其期限ノ如キハ土木事業ノ季節ヲ計リ之ヲ容易ニ收メサルヲ以テ之ヲ定メタルモノニシテ一時ニ賦課スルモノハ其經常費ニハ多額ヲ要セサルヲ以テ容易ニ之ヲ徵收シ得ヘキニ由ル又附則第四條ニ本年度ハ屬日議決ニ係ル假徵收ニ屬スル賦課方法ヲ更定スル爲メ目今議會ノ決議ヲ要シタルモノナルニヨリ本年度ニ限リ臨時ニ之ヲ徵收スヘキ見込ヲ以テ之ヲ取調タルモノナリ

青森縣南津輕郡總町村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏　二十三年四月五日

青森縣南北兩津輕郡小阿彌水利土功會區域ヨリ町村稅徵收期限ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審查スルニ不都合ノ規定ニアラサルモノト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本縣南北兩津輕郡小阿彌水利土功會ニ於テ町村稅徵收期限ニ關スル條例別紙ノ通議決候條許可ヲ請フ

明治二十三年五月二日　　青森縣北津輕郡長　杉山龍江

青森縣南津輕郡長　大道寺繁禎　殿

青森縣南北兩津輕郡小阿彌水利土功會區域ヨリ町村稅徵收期限ニ關スル條例

第一條　經常費ハ左ノ期限ヲ以テ之ヲ徵收ス

一地租附加稅
一戶數割附加稅　四月一日ヨリ
一雜種營業稅附加稅　五月十日限リ
第二條　臨時費ニ屬スル町村稅ハ其都度會議ノ議決ヲ以テ徵收期ヲ定ム　同三日限リ
第三條　日稅月稅ニ屬スル分ハ納稅義務ノ生シタル翌月ノ初直ニ之ヲ徵收ス　同十一日限リ

附則　同六月十一日限リ

第四條　明治二十二年度ニ屬スル町村稅ハ賦課ノ後十日以內ニ之ヲ徵收スルモノトス　同八月十一日限リ

說明

本會議ハ客年三月法律第十一號ニ依リ從來開設シタル小阿彌堰水利土功會ニ係ル會議ヲ存續シタルモノニシテ本會ノ議決ニ係ル町稅徵收期限ノ如キハ町村制第十條ニヨリ町村條例ノ規定ヲ以テ之ヲ定メサルヘカラサルニ依リ今茲ニ本土功會ノ議決ヲ經テ之ヲ區分セルモノニシテ其期限ノ如キハ土木事業ノ季節ヲ計リ之ヲ容易ニ收メ得ヘキニ由ル又附則第三條ニ本年度ノ徵收期ヲ殊更ニ設ケタルモノニシテ各科目共之ヲ數回ニ賦課スルモノナリ而シテ其經常費ニハ多額ヲ要セサルヲ以テ容易ニ之ヲ徵收シ得ヘキニ由ル又附則第四條ニ本年度ハ屬日議決ニ係ル假徵收ニ屬スル賦課方法ヲ更正スル爲メ目今議會ノ決議ヲ要シタルモノナルニヨリ本年度ニ限リ臨時ニ之ヲ徵收スヘキ見込ヲ以テ之ヲ取調タルモノナリ

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

青森縣南北兩津輕郡小阿彌堰水利土功會區域ヨリ町村稅徵收期限ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審查スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

明治二十三年度本郡聯合村稅徵收期限別紙之通該村會ニ於テ議決候條許可ヲ請フ

明治二十三年三月九日　　青森縣北津輕郡長　杉山龍江

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

青森縣北津輕郡聯合村條例

北津輕郡總村聯合村稅徵收期限左ノ通相定ム

一地價割（後期明治二十三年四月一日ヨリ五月十日限）
一戶數割（後期明治二十三年四月一日ヨリ五月十日限）

說明

本稅徵收期限ニ據ラサルモノハ徵收上ノ都合ト支出ノ都合アルニ由ル其他營業割戶別割ノ徵收期限ハ本稅ト同一ナルヲ以テ別ニ之ヲ規定セリ

青森縣北津輕郡總村聯合會區域內戶數人口調

一人口　六萬三千五百六人

指令二十三年五月二日

青森縣北津輕郡聯合村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月二十六日

青森縣三戸郡賣市溜池水利土功會區域ヨリ特別税ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本郡賣市溜池水利土功會ニ於テ特別町村税ニ關スル條例別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年十月十九日　青森縣三戸郡長　立岩一郎

内務大臣伯爵山縣有朋殿

大藏大臣伯爵松方正義殿

條例第一號（賣市溜池水利土功會特別町村税條例）

第一條　町村ニハ左ノ特別税目ヲ設キ町村税ヲ賦課ス

一段別割

但一段歩ニ付金二十錢ヲ超過セサルモノトス

第二條　段別割徴收期限ハ其時々會議ニ於テ之ヲ定ム

第三條例第一號理由

水利土功費ノ如キハ土地ノ負擔ニ屬スルヲ以テ地價割ヲ課スヘキハ勿論ナリト雖モ素ヨリ地租七分ノ一ノ制限アリ且各町村ニ於テ直接之ヲ課スルアリテ本費ヲ課スヘキノ餘裕無之他ニ方法ヲ設ケサレハ之ヲ課出スルノ途ナキヲ以テ不得止特別税即チ段別割ヲ以テ其費途ニ充シトス故ニ本條例ヲ規定セントス

賣市溜池水利土功會區域内現在人口調

一萬四千二百二人

内

一萬六百八十六人　八戸町

三百四人　館村大字沼館

二千四百三十一人　小中野村

七百八十一人　館村大字賣市

指令二十三年五月五日

青森縣三戸郡水利土功會區域町村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年五月十四日

青森縣北津輕郡全村組合ヨリ組合村税徴收ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

明治二十三年度本郡五所川原村外二十二箇村組合村税徴收期限別紙ノ通該組合村會ニ於テ議決候條許可ヲ請フ

明治二十三年三月二十七日　青森縣北津輕郡長　杉山瀧江

内務大臣伯爵山縣有朋殿

青森縣北津輕郡五所川原村外二十二箇村組合村税徴收期限條例北津輕郡五所川原村外二十二箇村組合村税徴收期限左ノ通相定ム

一地價割　前期五分　四月二十日ヨリ五月二十五日迄

後期五分　十一月一日ヨリ十二月十五日迄

説明

本附加税ノ本税徴收期限ニ據ラサルモノハ徴收上ノ都合ト支出ノ都合アルニ由ル

指令二十三年五月十七日

青森縣北津輕郡組合全村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年六月二十三日

青森縣弘前市ヨリ消防組規定ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ第九條ハ穩當ナラサルモノト存候得共其他ハ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市條例第三號ヲ以テ消防組規程別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月三十一日　青森縣弘前市參事會

内務大臣伯爵松方正義殿　弘前市長　菊地九郎

弘前市條例第三號

消防組規程

第一條　本市ハ火災水害其他非常ノ異變ヲ防禦セシムル爲メ消防組ヲ設置ス

第二條　消防組編成區域ヲ定ムルコト左ノ如シ

本町組　大字本町　同相良町　同在府町　同新寺町　同北新寺町　同新寺町新割町

一茂森町組　大字茂森町　同茂森新町　同古堀町　同古堀新割町

一銀冶町組　大字銀冶町　同銅屋町　同南川端町　同北川端町

一土手町組　大字土手町　同山道町　同住吉町　同品川町　同新品川町

一松森町組　大字松森町　同椙町　同富田町　同富田新町

一和徳町組　大字和徳町　同代官町　同茶畑町　同茶畑新割町

北横町　同上瓦ヶ町　同中瓦ヶ町　同植田町　同萱町　同南横町　同

同田代町　同徳田町　同徒町　同南瓦ヶ町　同北瓦ヶ町　同西川岸町　同緑町　同山下町

大字親方町　同徒町　同阪本町　同南柳町　同北柳町

同塩分町　同上白銀町　同百石町　同一番町　同小路　同元大工町　同元長町　同森町

一東長町組　大字東長町　同上鞘師町　同下鞘師町　同元寺町　同元寺町小路　同鐵炮町　同下白銀町ノ一

一龜甲町組　大字龜甲町　同笹森町　同長阪町　同藏主町　同田茂木町　同田町　同稱宣町　同小人町組　同若黨町　同馬喰町　同大浦町　同平岡町　同西大工町　同鷹匠町　同馬屋町

一新町組　大字新町　同春日町　同駒越町　同濱ノ町　同袋町　同五十石町

一紺屋町組　大字紺屋町　同濱ノ町

第三條　消防組ハ每組消防頭一名副頭二名同小頭八名同消防夫六十名ヲ以テ定員トス

但和德町組ニ限リ小頭定員十名消防夫定員百名迄增員スルコトヲ得

第四條　前條定員外ニ豫備員ヲ置クコトヲ得

第五條　消防頭及副頭ハ市參事會ニ於テ每組內ノ現住者ヨリ之ヲ撰任ス

第六條　小頭及消防夫ハ其組內現住者ニシテ年齡十七年以上四十年以下ノ壯男ヨリ各組消防頭副頭協議ノ上撰舉進退スルモノトス

但年齡四十年以上ノモノト雖モ從來消防上特ニ功勞アルモノハ小頭又ハ特別組合員トシ相當ノ席次ヲ與フルコトヲ得

第七條　消防組合員ニシテ苟モ組合ノ名義ヲ毀損スル行爲アリト認ムルトキハ頭副頭ノ協議又ハ市參事會ノ議決ヲ以テ消防組合ヨリ除名シ之ヲ公布スヘシ

第八條　消防組合員ニシテ私ニ金錢物品等ヲ募集スルモノアルトキハ前條ニ依リ處分スヘシ

但之カ敎唆ヲナシタル者モ本條ニ同シ

第九條　本市內ニ於テ變事防禦ノ爲メ私ニ組名ヲ付シ組合ヲ設クル等ノ事ヲ許サス

第十條　消防組ニ關スル細則ハ別ニ規則ヲ以テ之ヲ規定ス

指令　二十三年七月三日　青森縣弘前市市條例ハ上奏ノ通第九條ヲ除キ其他裁可セラレタリ

同三十年八月一日ヨリ同三十一年八月一日限リ

內務省上奏　二十三年六月二十八日

青森縣南津輕郡長ヨリ第一高等小學區會區域條例町村稅徵收期限ニ關スル件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ之ヲ審查スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

當南津輕郡第一高等小學區會ニ於テ町村稅徵收期限ニ關スル條例別紙ノ通議決候條許可ヲ請フ

明治二十三年五月八日　青森縣南津輕郡長　大導寺繁禎

內務大臣伯爵山縣有朋殿

青森縣南津輕郡第一高等小學區會ニ屬スル町村稅徵收期限ヲ以テ其徵收期ヲ定ムル左ノ如シ

第一條　經常費ハ左ノ期限ヲ以テ之ヲ徵收ス

一地租附加稅

同四月一日ヨリ同三十日限リ

一雜種稅附加稅

同五月一日ヨリ同三十一日限リ

一營業稅

同八月一日ヨリ同三十一日限リ

第二條　臨時費ニ屬スル町村稅ハ其都度會議ノ議決ヲ以テ徵收期ヲ定ム

第三條　日稅ニ屬スル分ハ納稅義務ノ生シタル翌月ノ初直チニ之ヲ徵收ス

理由書

本學區會ノ議決ニ係ル町村稅徵收期限ノ如キハ町村制第十條ニヨリ町村條例ノ規定ヲ以テ之ヲ定メサルヘカラサルニ依リ今茲ニ本會ノ議決ヲ經テ之ヲ稟請セルモノナリ而シテ其期限ノ區別ヲ立タルモノハ從來執行シ來ル所ノ慣行ニ依リタルモノニシテ徵收上敎テ困難ヲ及スノ狀況之レナカルヘシ又臨時費ノ如キニ至テハ不時ノ費途ニ充ツルモノナルニ依リ其都度議會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムル方却テ便宜ナルヘキ也

指令　二十三年七月四日　青森縣南津輕郡學區會區域條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏　二十三年九月十日

青森縣南津輕郡學區會區域條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

青森縣南津輕郡長ヨリ別紙之通常設委員ニ關スル條例改正ノ許可ヲ稟請セリ之ヲ審查スルニ同町ハ人口一萬以上事務頗ル頻繁ナルニ付相當ノ改正規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

明治二十二年十月四日許可第一六二號ヲ以テ許可相成候本町條例第二號第二條改正ノ件別紙之通リ町會ニ於テ議決相成候條許可相成度此段稟請候也

青森縣東津輕郡
青森町長　柿崎忠兵衛

明治二十三年四月七日

內務大臣伯爵山縣有朋殿

青森縣東津輕郡青森町條例第二號常設委員條例第二條ノ七ヲ十ト改ム

本條例ノ改正ヲ要スル所以ノモノハ現在ノ定員ニテハ常ニ其不足ヲ感スルニ依ル蓋シ本町ノ現況ハ人口日ニ月ニ增殖シ從テ敎育衛生土木ノ事亦擴張ヲ要スルコト少カラス故ニ委員ノ員數ヲ增シ事務ノ處辨ヲ敏捷活潑ナラシメントスルニ在リ

指令　二十三年九月十五日　青森縣青森町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏　二十三年十一月二十一日

青森縣中津輕郡總村組合條例常設委員ニ關スル件許可稟請セリ依ツテ勘查候處支障ノ廉無之ト認候條御裁可アラセラレ度別紙決議書相添謹テ上奏ス

（別紙）

今般中津輕郡總村組合會ニ於テ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

青森縣中津輕郡總村組合村長

明治二十三年五月十五日
內務大臣伯爵　山縣有朋殿
小野貞助

條例第一號
町村制第六十五條及第七十四條ニヨリ常設委員ノ組織及職務權限ヲ定ムルコト左ノ如シ
第一條　中津輕郡總村組合ニ常設委員ヲ置キ其定員ヲ四名トシ左ノ區域ニ從ヒ本會ニ於テ毎村會議員中ヨリ撰舉ス
和德村　豐田村　堀越村　千年村　一名
四箇村ヨリ
清水村　相馬村　西目屋村　東目屋村　一名
四箇村ヨリ
駒越村　大浦村　岩木村　船澤村　一名
四箇村ヨリ
藤代村　高杉村　裾野村　新和村　一名
四箇村ヨリ
第二條　常設委員ノ任期ハ二箇年トス
但臨時闕員アルトキハ補闕選舉ヲ行フモノトス
第三條　常設委員ハ組合村長ノ監督ヲ受テ左ノ事務ヲ分掌スルモノトス
一　敎育ニ關スル事項
二　衛生ニ關スル事項
三　勸業ニ關スル事項
四　土木ニ關スル事項
第四條　常設委員ハ分掌事務ニ關シ議會ノ質議ニ辯明スヘシ
第五條　組合村長ハ委員長トナリ少ナクモ毎月一回以上委員會ヲ開キ各其從事スル事務ノ施行方法ヲ協議スヘシ

理由

町村制第六十五條第七十四條ニ依リ中津輕郡總村組合ニ於テ常設委員ヲ設置ス蓋シ常設委員ハ自治進行上關係ヘカラサル機關ニシテ村民ヲシテ實務ノ經驗ヲ積ミ村政施行ノ難易ヲ了知スルノ効益アルヘキ勿論本組合ハ十六箇村ヨリ組成シ其區域廣濶ナルヲ以テ各地狀況ノ異ナルアリト雖モ委員ニ依リテ其事情ヲ表白スルヲ得テ自治ノ機關ヲシテ圓滑ナル活動ヲ企圖スルニアリ

明治二十三年十一月二十九日
指令　青森縣中津輕郡組合總村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
內務省上奏ニ十二年六月二十八日
別紙山形縣西田川郡鶴岡町ニ於テ助役ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ戶數三千餘人口二萬ヲ過クルヲ以テ町事務ノ頻繁ナル知ルヘシ助役ノ定員ヲ增加シテ二名トナスハ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

市會ニ於テ市長助役收入役書記給料額ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

山形縣山形市參事會
市長　濱村勘太郎

方正義殿

明治二十二年七月十五日
內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
市制第七十六條第四項ニ依リ市長助役收入役書記給料額ヲ定ムルコト左ノ如シ
第一條　市長　年俸　四百圓
助役　年俸　二百五十圓
收入役　年俸　二百圓
書記　月俸六圓以上十五圓以下
第二條　前條支給方法ハ規則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム
市會ニ於テ市長代理ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
山形縣山形市參事會

理由

明治二十二年六月十七日
內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
山形縣西田川郡鶴岡町助役條例
一町村制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ增加シテ二名トス
助役條例理由
本例ヲ設ケ助役ノ定員ヲ增加スル所以ノモノハ本町ハ人口二萬有餘ナルヲ以テ事務頻繁ナル從來戶長役場ノ實況ニヨルモ明ナリトス故ニ之ヲ二名トシ町役場事務一部ノ分掌ヲナサシムレハ事務上便益ヲ見ル鮮少ナラサルヘシ而シテ助役ハ渾テ名譽職ト爲ス所以ノモノハ本町ハ素ト藩廳所在ノ地ナルヲ以テ名譽職トスルハ本制ノ趣旨ナリト信スレハナリ
指令　山形縣西田川郡鶴岡町條例ヲ設クルノ件裁可セラル
內務省上奏ニ十二年八月五日
別紙山形縣山形市ニ於テ市長助役收入役書記給料額ニ關シ及市長ノ代理順序ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査條所各條例渾テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

市會ニ於テ市長助役收入役書記給料額ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ
山形縣山形市參事會
市長　濱村勘太郎

方正義殿

明治二十二年七月十五日
內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
市制第七十六條第四項ニ依リ市長助役收入役書記給料額ヲ定ムルコト左ノ如シ
第一條　市長　年俸　四百圓
助役　年俸　二百五十圓
收入役　年俸　二百圓
書記　月俸六圓以上十五圓以下
第二條　前條支給方法ハ規則ヲ以テ別ニ之ヲ定ム
市會ニ於テ市長代理ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
山形縣山形市參事會

理由

明治二十二年六月十七日
內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
山形縣西田川郡鶴岡町助役條例
一町村制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ增加シテ二名トス
助役條例理由
本例ヲ設ケ助役ノ定員ヲ增加スル所以ノモノハ本町ハ人口二萬有餘ナルヲ以テ事務頻繁ナル從來戶長役場ノ實況ニヨルモ明ナリトス故ニ之ヲ二名トシ町役場事務一部ノ分掌ヲナサシムレハ事務上便益ヲ見ル鮮少ナラサルヘシ而シテ助役ハ渾テ名譽職ト爲ス所以ノモノハ本町ハ素ト藩廳所在ノ地ナルヲ以テ名譽職トスルハ本制ノ趣旨ナリト信スレハナリ
指令　山形縣西田川郡鶴岡町條例ヲ設クルノ件裁可セラル
內務省上奏ニ十二年八月五日
別紙山形縣山形市ニ於テ市長助役收入役書記給料額ニ關シ及市長ノ代理順序ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査條所各條例渾テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

市會ニ於テ市長助役收入役書記給料額ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ
山形縣山形市參事會
市長　濱村勘太郎

方正義殿

明治二十二年七月十五日
内務大臣伯爵　松方正義殿　　市長　濱村勘太郎

條例第二號
第一條　市制第六十九條第三項ニ依リ市長ノ代理順序ヲ定ムルコト左ノ如シ
市長故障アルトキハ助役之ヲ代理シ市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中上席者之ヲ代理ス

理由書
條例第二號第一條第二項ノ參事會員上席者トハ市會ニ於テ同員撰擧ノ際第一回當撰者ヲ以テ之レニ充ツルノ精神ナリトス

指令二十二年八月七日
山形縣山形市條例ヲ設クルノ件裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年八月五日
別紙山形縣米澤市ニ於テ市長助役收入役ノ俸給ニ關スル條例ノ件別紙ノ通決議候ニ付許可ヲ請フルニ及ヘリ依テ審査候處各條例洵ヲ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市會決議書寫相添謹而上奏ス

〔別紙〕
本市會ニ於テ市長助役及收入役ノ俸給ニ關スル條例ノ件別紙ノ通決議候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月十五日
内務大臣伯爵　松方正義殿　　山形縣米澤市參事會
市長　大澁龍藏

條例第一號
市制第七十六條第四項ニ依リ市長助役及收入役ノ俸給ニ關シ及市長代理ノ順序ニ關スル條例ノ許可ヲ請フ
一市長ノ俸給ハ年俸五百圓以上七百圓以下トス
一助役ノ俸給ハ年俸三百圓以上四百二十圓以下トス
一收入役ノ俸給ハ年俸二百十六圓以上三百圓以下トス
發第七十號
本市會ニ於テ市長代理ノ順序ニ關スル條例別紙ノ通リ決議候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月二十一日
内務大臣伯爵　松方正義殿　　山形縣米澤市參事會
米澤市長　大澁龍藏

條例第二號
市制第六十九條第三項ニ依リ市長代理ノ順序ヲ定ムルコト左ノ如シ
一市長故障アルトキハ助役之ヲ代理ス
指令二十二年八月七日

山形縣下米澤市條例ヲ設クルノ件裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年八月二十九日
別紙山形縣酒田町ニ於テ助役ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査候處右ハ助役ノ定員ヲ二名トシ内一名ヲ有給トシ名譽職助役ヲ以テ上席トナスヘキコトヲ規定スルモノニシテ洵ニ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書寫相添謹テ上奏ス
本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

山形縣酒田町長本間光輝代理　山形縣飽海郡酒田町助役　西野長正義殿

明治二十二年八月五日
内務大臣伯爵　松方正義殿

酒田町條例第一號
助役條例
第一條　本町ハ制第五十二條但書ニヨリ助役ノ定員ヲ二名トス
第二條　制第五十六條ニヨリ本町ノ助役一名ヲ有給トス
第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス
理由書
本町ハ人口二萬餘商業頻繁ノ地ナルヲ以テ町務亦繁忙ヲ極ム故ニ助役ノ定員ヲ增加シテ二名トシ内一名ハ有給ノ專務職員ヲ置キ之ニ充テント欲スル所以ナリ

指令二十二年九月三日
山形縣酒田町條例ノ件裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年九月七日
別紙山形縣酒田町條例ノ件裁可ヲ稟請スル依テ審査候處各條例共不都合無之洵テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市會決議書寫相添謹テ上奏ス

山形縣酒田町長本間光輝代理　山形縣飽海郡酒田町助役　西野長正義殿

明治二十二年八月九日
内務大臣伯爵　松方正義殿

條例第三號
督促手數料條例
第一條　市稅及其他市ノ收入金ヲ定期内ニ納メス爲ニ市參事會ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ手數料ヲ徵收ス
第二條　前條ノ手數料ハ督促一回毎ニ金一錢トス
第三條　督促ヲナストキハ市參事會ノ令狀ヲ發スヘシ
條例第五號
市吏員退隱料條例

第一條　市長助役收入役書記ニシテ勤續十五年以上ニ及フモノハ左ノ區別ニ從ヒ退隱料ヲ給ス

一　在職十五年以上ノ者　俸給十分ノ一

二　在職二十年以上ノ者　俸給十分ノ二

三　在職十五年未滿ト雖モ職務ノ爲メ廢疾ニ罹ル者　俸給十分ノ二

第二條　前條ノ退隱料ハ毎年五月十月ノ二期ニ分チ一箇年分ノ半額ヲ支給スヘシ

第三條　懲戒處分ニ依リ又ハ重輕罪ノ爲メ其職ヲ失フモノニハ退隱料ヲ給セス

第四條　退隱後重輕罪ノ處分ヲ受ケ又ハ在職中ノ過失退隱後ニ發覺シ其職ヲ失フヘキモノナルトキハ發覺ノ日ヨリ退隱料ノ支給ヲ廢スヘシ

指令二十二年九月十三日

山形縣米澤市條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年九月十一日

別紙山形縣西田川郡鶴岡町ニ於テ公告幷督促ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査候處各條例共各條不都合無之總テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書寫相添謹テ上奏ス

本町會ニ於テ公告ニ關スル條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月五日　內務大臣伯爵　松方正義殿

山形縣西田川郡鶴岡町

公告條例

第一條　町村制第十條ニ依リ條例規則其他公告スヘキ事件ハ本町揭示場ニ揭出スルヲ以テ公式トス

第二條　條例規則ハ揭示後七日ヲ以テ施行ノ期限トス

但特ニ期日ヲ定メタルモノハ此限ニアラス

公告條例理由

本例ヲ設クルモノハ本町衆庶ノ便宜ヲ計リ其方面ヲ劃リ數箇ノ揭示場ヲ設ケ本町ノ條例規則等總テ公告スヘキモノヲ揭出セント欲スルニアリ又施行期限ヲ瞭ニシ本町人民ノ周知ヲ全カラシメンカ爲メ從來地方ノ慣行ニヨリ此例ヲ設クルモノナリトス

山形縣西田川郡鶴岡町長　三宅辨治

明治二十二年八月五日　內務大臣伯爵　松方正義殿

山形縣西田川郡鶴岡町條例第二號

公告條例

第一條　町村制第十條ニ依リ條例規則其他公告スヘキ事件ハ本町揭示場ニ揭出スルヲ以テ公式トス

第二條　條例規則ハ揭示後七日ヲ以テ施行ノ期限トス

但特ニ期日ヲ定メタルモノハ此限ニアラス

公告條例理由

本例ヲ設クルモノハ本町衆庶ノ便宜ヲ計リ其方面ヲ劃リ數箇ノ揭示場ヲ設ケ本町ノ條例規則等總テ公告スヘキモノヲ揭出セント欲スルニアリ又施行期限ヲ瞭ニシ本町人民ノ周知ヲ全カラシメンカ爲メ從來地方ノ慣行ニヨリ此例ヲ設クルモノナリトス

山形縣西田川郡鶴岡町長　三宅辨治

明治二十二年八月五日　內務大臣伯爵　松方正義殿

山形縣西田川郡鶴岡町條例第四號

督促條例

第一條　町村制第百二條ニ依リ町稅ノ納期ヲ怠ルモノハ督促シ其手數料ヲ徵收ス

第二條　督促ヲナス時ハ町長ノ令狀ヲ發ス

第三條　督促ヲ受ケタルモノハ每一回金二錢ヲ即納セシム

督促條例理由

本例ヲ設クルモノハ納稅スル敢テ怠惰ナルヘシト雖モ時ニ或ハ其義務ヲ誤マルモノアリ之ヲ督促シ尙之ヲ完納セサルトキハ町長ヨリ令狀ヲ發シテ督促スルノ場合ハ其規定セル手數料ヲ徵集セント欲スルカ爲メ此例ヲ設クルモノナリトス

指令二十二年九月十四日

山形縣西田川郡鶴岡町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十二月十三日

別紙山形縣山形市條例第三號乃至第五號督促手數料歲入出出納及公告ニ關スル件何レモ不都合無之渾テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙市會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市制第百二條ニ依リ徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通決議候ニ付許可ヲ請フ

山形縣山形市參事會

明治二十二年十月二日　內務大臣伯爵　松方正義殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

條例第三號

徵收督促條例

第一條　本市ニ於テ徵收スル收入金ヲ納期ニ納メサルモノアルトキハ左ノ規定ニ依リ之ヲ督促ス

一納期後三日以內ニ一回督促シ其督促後二日ヲ過キ尙納稅セサルトキハ再督促ヲナスモノトス

二再三督促ヲナスモ尙納メサルトキハ國稅滯納處分法ニ據リ之ヲ徵收ス

第二條　督促二回以上ニ及フトキハ前項手數料ノ外一里每ニ金五錢ヲ加ヘ手數料ヲ徵收スル

第三條　前條ノ手數料ヲ徵收スルトキハ市參事會ノ名ヲ以テ令狀ヲ發シ納者ニ交付ス

本市會ニ於テ山形市歲入歲出出納規則別紙ノ通決議候ニ付許可ヲ請フ

山形縣山形市參事會

明治二十二年十月二日　內務大臣伯爵　松方正義殿

市長濱村勘太郎

條例第四號

山形市歲入歲出出納規則

第一章　通則

第一條　山形市ノ歲入出ハ此規則ニ據リ金錢ノ出納ヲ整理スヘシ

第二條　此規則ニ掲クル歳入トハ市會ノ決議シタル豫算ニ據リ收入スルモノトス其目左ノ如シ

一財産ヨリ生スル收入
二使用料及手數料
三科料及過怠金
四市稅及夫役現品ノ賦課徵收
五其他市ニ屬スル收入

第三條　此規則ニ掲クル歳出トハ市會ノ決議シタル豫算ニ據リ支出スルモノトス

第四條　此規則ニ於テ納入トハ第二條ニ掲クル歳入金ヲ納ムヘキ義務ヲ負フモノヲ云フ

第五條　此規則ニ於テ受取人トハ市ノ支拂ヲ受ケヘキ權利ヲ有スルモノヲ云フ

第六條　現金ヲ出納スル時間ハ昇廳時刻ニ開始シ退廳時刻ニ閉止ス

但臨時急施ヲ要スルトキハ此限ニアラス

第二章　出納ノ開閉

第七條　會計年度ニ屬スル歳入歳出ノ出納ハ每年四月一日ヲ以テ開始シ翌年三月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

但市會ノ決議ニ據リ出納開始前ト雖モ翌年度ノ歳入ヲ賦課徵收スルモノ及第九條ノ場合ハ此限ニアラス

第八條　市吏員出張ノ旅費其他特ニ前渡ヲ要スルトキハ出納ノ開始前ニ於テ支出ヲ爲ス事ヲ得

第九條　會計年度內ニ於テ歳入出ノ結了シ能ハサル事由（合歳入歳出ニアリテハ納稅延期許可シ難キ場合アリテハ受取人請求シ能ハサル等ノ場合ヲ含ム）アルトキハ整理ノ爲メ翌年度六月三十日迄前年度ニ屬スル出納ヲナスコトヲ得

第三章　歳入

第十條　歳入ハ市參事會ヨリ各納入ニ對シ賦課令狀ヲ發シテ之ヲ徵收ス

第十一條　歳入中納期日ヲ豫定シタルモノハ納期ノ十日以前隨時收入ニ係ル者ハ其都度賦課令狀ヲ發シテ之ヲ徵收ス

但月稅日稅ニ係ル附加稅本稅ノ令書ト共ニ之ヲ發シテ徵收ス

第十二條　歳入ハ總テ納入ヲシテ賦課令狀ニ現金ヲ添ヘ收入役ニ納付セシムルモノトス

第十三條　收入役ニ於テ納入ヨリ歳入ヲ領收シタルトキハ領收證ヲ納入ヘ交付スルモノトス

第十四條　歳入ヲ賦課徵收スル詳細ノ手續ハ別ニ徵收規則ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條　歳入中現品ヲ以テ徵收スル方法ハ別ニ之ヲ定ム

第十六條　各納入歳入ノ過納者アルトキハ誤納其他返戻ヲ求ムヘキモノアルトキハ其事由ヲ具シ拂戻ヲ市參事會ニ請求スヘシ

第四章　歳出

第十七條　歳出ノ支拂ハ總テ市參事會之ヲ命令シ各受取人ニ對シ支拂切符ヲ發シ收入役ニ於テ現金ノ支拂ヲ執行スルモノトス

第十八條　市參事會ハ支拂切符ヲ發スルト同時ニ該命令書ヲ作リ收入役ニ發スルモノトス

第十九條　受取人ニ於テ支拂切符ヲ以テ現金ヲ要求スルトキハ收入役ハ歳出豫算表及支拂命令書ニ照シ正格ナルコトヲ確認シタル後支拂切符持參人ニ對シ即時表面ノ金額ヲ支拂フヘシ

第二十條　收入役ニ於テ支拂命令書ヲ受ケタルトキハ豫算表ニ照シ市制第百十條第二項ニ抵觸シ又ハ受取人ノ持參シタル支拂切符成規ニ違フコトアリト認ムルトキハ其事由ヲ受取人ニ告ケ預リ證書ヲ發シテ該切符ヲ留置キ市參事會ヘ通牒スヘシ

第二十一條　前條ノ場合ニ於テ收入役ハ市參事會ニテ支拂シ得ヘキ正當ノ手續ヲ爲スカ支拂切符ヲ訂正スルカ若クハ支拂切符ノ支拂期限ハ切符ニ記載シタル當日ヨリ七日ヲ超ユ可カラス

第二十二條　支拂切符ノ正格ナルヲ保證スルニ非サレハ之ヲ支拂フコトヲ得ス

第二十三條　前條ノ期日ヲ過キタルトキハ受取人ハ切符ノ書換ヲ請フヘシ市參事會ハ更ニ命令書及支拂切符ヲ發シ數科目ヲ合同スルコトヲ得ス

第五章　報告

第二十五條　收入役ニ於テ日日現金ヲ領收シ及支出シタル科目類別ニ市參事會ニ之ヲ報告スヘシ

第二十六條　前條ノ報告ニヨリ市參事會ハ日計簿內譯簿收支差引簿等ニ登錄スヘシ

第二十七條　收入役ニ於テハ每月現金ノ出納明細表ハ正副二通ヲ製シ一通ハ市參事會ニ之ヲ報告スヘシ

第二十八條　前條ノ出納明細表ハ正副二通ヲ製シ一通ハ市參事會證人ノ上收入役ヘ返付シテ一通ハ市參事會ニ於テ保存ス

第六章　附則

第二十九條　官廳ヨリ補助スル歩合金收支ノ手續ハ總テ此規則ニ準據ス

第三十條　此規則ニ掲クル支拂切符其他ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條　此規則ニ掲クル出納例月檢查ハ每月七日（休日ニ當ルトキハ順次繰上ケ）ヲ以テ之ヲ執行ス

本市會ニ於テ公告式ニ關スル條例ノ件例紙ノ通決議候ニ付許可ヲ請フ

山形縣山形市參事會
市長　濱村勘太郎

明治二十二年十月二日

內務大臣伯爵　松方正義　殿

條例第五號

公告式

第一條　市條例規則及其他公告スヘキ事件ハ掲示場ニ掲示スルヲ以テ公告式トス

第二條　掲示場ハ市內左ノ大字ニ置ク

大字　旅籠町
大字　八日町
大字　小姓町
大字　香澄町

大字　横町
大字　六日町
大字　宮町

第三條　市條例規則及其他ノ事件ハ發布後三日ヲ以テ周知期限トス
但執行ノ期日ヲ定メタルモノハ此限ニアラス

山形縣山形市市條例設定ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年十二月十八日

別紙内務大臣上奏山形縣山形市市條例設定ノ件ハ法律上抵觸ノ廉無之相當ノ規定ト思考ス因テ上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

内務省上奏二十三年二月四日

山形縣西田川郡長ニ於テ同郡鶴岡町大字新町區會ニ關スル町條例ノ件別紙ノ通リ許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ審査候處各條總テ不都合無之相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）
本郡鶴岡町大字新町之儀ハ元一町之處町村制實施ノ際合併シタルモノニテ從來該町所有ノ財産有之ニ依リ之ヲ一區ト爲シ區會設置ノ儀町長ヨリ申出ニ付町村制第百十四條ニ基キ別紙之通條例發行致度認可ヲ乞フ

明治二十二年十月十九日　内務大臣伯爵　山縣有朋殿

山形縣西田川郡長　江夏喜藏

條例第五號
山形縣西田川郡鶴岡町新町區々總會條例

例一條　町村制第百十四條ニ依リ此條例ヲ發行シ鶴岡町新町區ニ區總會ヲ設置ス

第二條　鶴岡町新町區々總會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ
一區有財産ニ關スル規則ヲ設ケ及ヒ改正スル事
二歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事
三決算報告ヲ認定スル事
四區費ノ賦課徴收ノ法ヲ定ムル事
五區有不動産ノ竟買交換讓受讓渡并質入書入ヲナス事
六基本財産ノ處分ニ關スル事
七歳入出豫算ヲ以テ定メタルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事
八區有ノ財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
九區有財産ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第三條　鶴岡町新町區區總會ハ鶴岡町長ヲ以テ議長トス町長事故アルトキハ助役ヲ以テ之レニ充ツ
議長之レヲ招集ス或ハ區内公民中三分ノ一以上ノ請求アルトキハ開會

第四條　鶴岡町新町區區總會ハ公民三分ノ一以上出席スルニアラサレハ議決スルヲ得ス
但同一ノ議事ニシテ招集二回ニ至ルモ出席人員定數ニ滿タサルトキハ此限ニアラス

第六條　鶴岡町新町區區總會ノ決議ハ鶴岡町長之レヲ執行スルモノトス

第七條　山形縣西田川郡鶴岡町新町區區會ノ細則ハ該會ニ於テ議決スヘシ
本郡鶴岡町新町區ハ該區限リ財産ヲ所有シ其費用ヲ負擔スルヲ以テ町村制第百十四條ニ依リ區會ヲ設置ス

指令二十三年二月八日

山形縣鶴岡町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月二十六日

山形縣飽海郡長ニ於テ同郡酒田町大字米屋町外二十一箇町特別財産維持ニ關スル件ニ付別紙ノ通リ條例ヲ相設ケ度酒田町會ノ意見ヲ聽キ此段禀申候也

明治二十三年二月二十日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

山形縣飽海郡長　北野直壯

（別紙）
特別財産維持ニ關スル條例御裁定方ニ付禀申

本郡酒田町ノ一部ニ於テ特別財産維持ニ關スル件ニ付別紙ノ通リ條例ヲ相設ケ度酒田町會ノ意見ヲ聽キ此段禀申候也

明治二十三年二月二十日

山形縣飽海郡酒田町條例第　號
特別財産維持法

第一條　酒田町ノ内左ニ列記ノ大字ニ於テ從來聯合ノ所有財産ヲ特別ニ維持センカ爲メ之ヲ一區トナシ其區會ヲ設ク

大字米屋町外二十一箇町

上内町　下内町
米屋町　片町
給人町　細矛町
八軒町　中ノ口町
元米屋町　天正寺町
山王堂町　筑後町
濱江町　外野町
近江町　北千日堂前
鷹匠町
荒瀬町
新片町
濱畑町
檜物町

第二條　本區會ノ議員ハ區域内ノ公民中被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其定員ハ十八名トス

第三條　本區會ノ議長ハ酒田町長之ニ任ス
第四條　本區會ノ議決スヘキ職務權限左ノ如シ
一公有財産ノ維持及處分ノ方法
二公有財産維持ノ爲メニ要スル經費及其徴収方法
三公有財産ヨリ生スル所ノ利益處分方法
四公有財産ニ關シ區ノ内部整理上必要ナル規則類ノ新設及廢停
第五條　本區會ノ條項中ニ規定セサルモノハ渾テ町會ノ例ヲ適用ス
理由書
酒田町ノ内大字米屋町外二十一箇町（人口七千八百九人）ハ明治七年以來一戸長役場ノ治下ニ屬シ經濟ヲ共通シ來リタルヲ以テ凶荒豫備ノ爲メ從來之レカ儲蓄ヲ爲シ居レリ而ルニ町村制ノ施行ニ際シ酒田全町ヲ以テ一町トシ區會設置方酒田町長ヘ請求アリシニヨリ官令其他總テ公告ヲ要スルモノハ各役場建設ノ掲示場ハ町内左ノ大字ニ置ク
大字　小田島　金澤
大字五日町
第三條　町條例及規則其他ノ事件ハ發布後五日ヲ以テ周知ノ期限トス
但施行期限ヲ定メタルモノハ此限ニアラス
理由
當新莊町ハ從來三役場ノ管轄ニ屬シタリシニヨリ官令其他總テ公告ヲ要スルモノハ各役場建設ノ掲示所ニ掲示スルヲ以テ慣行ノ定式トセリ然ルニ町村制實施ニ際シ右三役場區域中或ル部分ヲ除クノ外ヲ聯帶シ一團體トナリタルモ將來尚此慣例ヲ因襲シテ公告ノ定式ト爲サントス是レ此ノ條例ヲ設クル所以ナリ

明治二十三年四月八日　内務大伯爵　山縣有朋

山形縣最上郡新庄町條例公告式
第一條　町條例及規則其他公告スヘキ事件ハ掲示場ニ掲示スヘシ
第二條　掲示場ハ町内左ノ大字ニ置ク
大字　小田島　金澤
大字五日町
第三條　町條例及規則其他ノ事件ハ發布後五日ヲ以テ周知ノ期限トス
但施行期限ヲ定メタルモノハ此限ニアラス
理由
當新莊町ハ從來三役場ノ管轄ニ屬シタリシニヨリ官令其他總テ公告ヲ要スルモノハ各役場建設ノ掲示所ニ掲示スルヲ以テ慣行ノ定式トセリ然ルニ町村制實施ニ際シ右三役場區域中或ル部分ヲ除クノ外ヲ聯帶シ一團體トナリタルモ將來尚此慣例ヲ因襲シテ公告ノ定式ト爲サントス是レ此ノ條例ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年五月十日　山形縣最上郡新莊町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年十月四日　山形縣飽海郡酒田町ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ別段不都合ノ廉無之ニ付御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス
（別紙）
本町會ニ於テ常設委員條例ヲ設クル件ニ付別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
山形縣飽海郡酒田町長本間光輝代理
明治二十三年九月　内務大臣伯爵　西鄉從道殿　山形縣飽海郡酒田町助役　西野長

酒田町條例
常設委員條例
組織權限
第一條　本町ハ左ノ常設委員ヲ置ク其任期ハ一箇年トス
但滿期再撰スルコトヲ得
一學務委員　三名
一衛生委員　二名
一土木委員　二名
一警備委員　三名
第二條　學務委員及警備委員ハ本町會ニ於テ議員中ヨリ撰舉シ土木委員及衛生委員ハ議員中ヨリ各一名公民中撰舉權ヲ有スルモノヨリ各一名ヲ撰舉ス
第三條　各委員ハ左ノ事務ヲ分掌ス
一學務委員ハ學事一切ノ事務
二衛生委員ハ衛生一切ノ事務
三土木委員ハ土木一切ノ事務
四警備委員ハ警備（水火災防禦）一切ノ事務
第四條　各委員ハ專務トシ兩職ヲ兼ルコトヲ得
理由書
本町ハ人民ヲシテ自治ノ制ニ習熟セシメンカ爲メ常設委員十名ヲ置キ教育衛生土木警備等ノ事務ヲ分擔セシメント欲スル是レ本條例ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年十月七日　山形縣酒田町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十二年五月二十七日

秋田縣平鹿郡横手町ニ於テ町長及助役ニ關スル條例之件許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ該町ハ秋田縣屈指ノ大町ニシテ戸數二千三百七十四戸人口一萬八百人餘ヲ有スレハ町務ノ繁劇ナルハ惰勢ノ然ラシムル處ニシテ助役二名ヲ置キ其一名及町長ヲ有給吏員トスルカ如キハ相當ノ規定ト被存候就テハ御裁可アラセラレ度別紙町會議決書相添謹テ上奏ス

明治二十二年四月三十日　　内務大臣伯爵　松方　正義　殿

秋田縣平鹿郡横手町長　戸長　川上　與右衛門

條例第一號

第一條　本町ハ制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條　制第五十六條ニ依リ本町長ヲ有給トス幷助役一名ヲ有給吏員トス

第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

理由書　當横手町ノ如キ戸數二千三百七十四戸ニシテ人口一萬〇八百人ニ過キ即チ本縣秋田市ニ亞ク大町ナリ隨テ事務ノ繁劇到底名譽職ノ能ク堪ユル所ニアラス故ニ町長ヲ有給トス幷ニ助役一名ヲ有給吏員トセルナリ

指令二十二年五月三十一日

秋田縣平鹿郡横手町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

内務省上奏二十二年六月五日

秋田縣山本郡能代港町ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ該町ハ戸數二千百五十餘人口一萬一千餘ヲ有スル大町ナレハ町務ノ繁劇ナルハ惰勢ノ然ラシムル所ニシテ專務吏員ヲ置クモ亦止ムヲ得サルヘシ就テハ助役二名ヲ置キ一名ヲ有給トスルカ如キハ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度別紙町會議決書相添謹テ上奏ス

本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議定候ニ付許可ヲ請フ

二十二年五月十七日　　内務大臣伯爵　松方　正義　殿

秋田縣山本郡能代港町長　泉　太助

條例第一號

第一條　本町ハ制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條　制第五十六條ニ依リ本町助役一名ヲ有給吏員トス

第三條　助役ノ席次ハ名譽助役ヲ以テ上席トス

理由書　當能代港町タル戸數二千百五十ニ過キ人口亦一萬一千以上ニ登ルヲ以テ諸般行政上ノ事亦自ラ繁冗ヲ免レス故ヲ以テ之レカ措便ノ宜キヲ得ンニハ勢助役ノ定數ヲ增加セサルヲ得サル儀ニシテ亦專心事ニ茲ニ從來セシメンコトヲ欲スルヲ以テ助役一名ヲシテ有給吏員タラシメントスル所以ナリ

指令二十二年六月八日

秋田縣山本郡能代港町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

内務省上奏二十二年七月四日

秋田縣南秋田郡土崎港町ニ於テ町長助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ該町ハ秋田縣下ノ名港ニシテ戸數千七百餘人口一萬千以上ヲ有シ船舶ノ出入貨物ノ輻湊頗ル繁盛ナル商業地ナレハ專務吏員ヲ置クハ事情止ムヲ得サルモノトス就テハ町長及助役ノ一名ヲ有給吏員トシ助役二名ニ係ル席次ハ名譽職ヲ以テ上席トスルカ如キハ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

本町會ニ於テ町長助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年六月二十二日　　内務大臣伯爵　松方　正義　殿

秋田縣南秋田郡土崎港町助役　山村　與十之助

條例第一號

第一條　秋田縣南秋田郡土崎港町ハ町村制第五十六條第一項ニ依リ有給吏員トス

第二條　本町ハ制第五十二條但書ニ依リ助役定員ヲ二名トス

第三條　制第五十六條ニ依リ本町助役一名ヲ有給吏員トス

第四條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

理由　夙キニ選舉シタル町長ハ管廳ノ認可ナラサルニ依リ更ニ撰舉會開キタルニ町長ヲ有給トナシノ發議ニ對シ多數ノ贊成アリ遂ニ助役ノ定員及其席次等町條例ト爲シニ決セリ

指令二十二年七月六日

秋田縣南秋田郡土崎港町條例ヲ設クルノ件別紙條例ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ該町ハ秋田縣下ノ名港ニシテ戸數千七百餘人口一萬千以上ヲ有シ船舶ノ出入貨物ノ輻湊頗ル繁盛ナル商業地ナレハ專務吏員ヲ置クハ事情止ムヲ得サルモノトス就テハ町長及助役ノ一名ヲ有給吏員トシ助役二名ニ係ル席次ハ名譽職ヲ以テ上席トスルカ如キハ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

本町會ニ於テ町長助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年六月二十二日　　内務大臣伯爵　松方　正義　殿

秋田縣南秋田郡土崎港町助役　山村　與十之助

條例第一號

第一條　秋田縣南秋田郡土崎港町ハ町村制第五十六條第一項ニ依リ有給吏員トス

第二條　本町ハ制第五十二條但書ニ依リ助役定員ヲ二名トス

第三條　制第五十六條ニ依リ本町助役一名ヲ有給吏員トス

第四條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

理由　夙キニ選舉シタル町長ハ管廳ノ認可ナラサルニ依リ更ニ撰舉會開キタルニ町長ヲ有給トナシノ發議ニ對シ多數ノ贊成アリ遂ニ助役ノ定員及其席次等町條例ト爲シニ決セリ

指令二十二年七月六日

秋田縣南秋田郡土崎港町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

内務省上奏二十二年九月十九日

秋田町山本郡各町村組合ニ於テ共同設置ニ係ル營造物管理ニ關スル常設委員ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ乞フ

例ノ通許可ヲ稟請セリ依テ之ヲ行フモノニシテ常設委員ニ於テ之ヲ行フハ允當ナラサルニ付此點ヲ除キ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

本郡各町村組合共同設置ニ係ル營造物管理ニ關スル常設委員ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ乞フ

明治二十二年八月六日　　内務大臣伯爵　松方　正義　殿

秋田縣山本郡各町村組合管理者　成田　直衛

條例第一號

第一條　本組合ニ於テ公立山本病院事務管理ノ便ヲ得ンカ爲メ制第六十五條ニヨリ左ノ常設委員ヲ置

ク　一本院事務監督委員　四名
　　一各出張所事務監督委員　六名
　但一出張所二名宛トス
第二條　常設委員ハ本會議員ノ互撰ヲ以テ之ヲ撰任ス
第三條　常設委員ノ任期ハ一年トス若シ任期中本會議員ノ資格ヲ失フトキハ共ニ其任ナキモノトス
　但滿期再撰スルヲ得
第四條　常設委員ノ職務權限左ノ如シ
　一組合會議決ノ旨趣ニ從ヒ管理者ニ屬シ本院若シハ出張所ノ事務ヲ監督ス
　二主擔ノ事務ニ關シ管理者ノ諮問ニ答ヘ及意見ヲ具陳スルモノトス
　三本院若クハ出張所ノ出納ニ關スル書類帳簿ヲ檢閱スルヲ得
　四各員其他職員ニ就キ諸般ノ事件ヲ推問スルヲ得
第五條　常設委員職務ノ爲メ要スル實費ハ之ヲ支給ス
　常設委員設置事由書
病院ノ隆盛ヲ圖ラントセハ院内外ノ實況ヲ監督觀察スルヨリ急ナルハナシ而シテ其之ヲ監督觀察セント欲セハ事務委員ヲ設クルニアラサレハ到底能ハサル所ナリ之レ別ニ管理者アルニモ拘ハラス玆ニ本院及各出張所共ニ常設委員ヲ設置スヘキヲ評決セル所以ナリ
　指令二十二年九月二十八日
秋田縣山本郡各町村組合ニ於テ共同設置ニ係ル山本病院事務管理ノ爲メ常設委員條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ
　法制局議案二十二年九月二十六日
別紙内務大臣上奏秋田縣山本郡各町村組合ニ於テ共同設置ニ係ル山本病院事務管理ノ爲メ常設委員設ク條例ヲ定ムルノ件ヲ審査スルニ法律抵觸ノ廉無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム
　内務省上奏二十二年九月二十七日
秋田縣秋田市ニ於テ市會議員撰舉區條例之件別紙之通許可ヲ禀請セリ右審査スルニ支障ノ廉アルヲ見ス依テ御裁可アラセラレ度此段及上申候也
　上申書
當市會議員選舉區域ノ儀ハ本年四月市制實施ノ當初當該施行官ノ一時指定ニ係リシモノニ有之候所右指定ノ區域ヲ相當トシ其儘襲用スヘキ目的ヲ以テ今般別紙之通市條例設定ノ件市會ニ於テ議決相成候條御認可相成度此段及上申候也
　明治二十二年九月四日　秋田市參事會
　　秋田市長　小泉吉太郎
秋田市條例第一號
　内務大臣伯爵　松方正義殿

秋田市會議員選舉區條例
第一條　市内區域廣濶ナルヲ以テ市會議員選舉人第二級第三級選舉區ヲ二區ニ分ツモノトス
第二條　市内東根小屋町外左ノ百三箇町ヲ第一區トス
　西根小屋町　長野町
　西根小屋上町　下中城町
　西根小屋末町　上中城町
　土手谷地町　中谷地町
　上長町　中長町
　下長町　土手長町上町
　土手長町中町　土手長町中横町
　土手長町末町　古川堀端町
　亀ノ町堀端町　亀ノ町東土手町
　中亀ノ町上町　中亀ノ町末町
　亀ノ町南土手町　亀ノ町西土手町
　亀ノ町虎口　手形本新町
　亀ノ町虎口堀端新町　亀ノ町西土手町末町
　手形谷地町上町　手形谷地町下町
　手形新町上町　手形新町下町
　手形東新町　手形休下町
　手形堀端町　手形西新町
　手形上町　保戸野愛宕町
　保戸野愛宕町西町　保戸野愛宕町上町
　保戸野八町新町下町　保戸野八町新町上町
　保戸野本町　保戸野川反町
　保戸野川反後町　保戸野中町
　保戸野表漥訪町下町　保戸野表漥訪町上町
　保戸野新町　保戸野漥訪町
　保戸野金砂町　保戸野新橋町
　上中嶋中町　保戸野本町
　新中嶋本町　上中嶋土手町
　新中嶋土手町　新中嶋末町
　北ノ丸新町　鹿匠町
　亀ノ町新町　當所町
　長野下堀反町　亀ノ町本新町
　田町
第二條　市内東根小屋町外左ノ百三箇町ヲ第一區トス

長野下新町　長野下新町南町　龜ノ町堀端新町　長野下新町東町　長野下新町南横町　長野下新町末南町　築地東上町　築地北町　築地壹町　築地四ツ辻　築地南横町　築地上本町　築地下本町　築地中町　築地西町　築地下東町　楢山上本町　楢山中町　楢山本町下町　楢山本新町上町　楢山本新町下町　楢山虎口新町　楢山虎口外張新町　楢山古川新町　楢山新横町　楢山南新町上町　楢山南新町下町　楢山竹取町　楢山登町　楢山三枚橋　楢山未無町　楢山笊町　楢山啓王院前町　楢山中嶋橋通　楢山下濱町　楢山餌刺町　楢山九郎兵衛厳町　楢山入川橋通登町　拾軒町　米澤町　追回町

第三條　市内大町一町目外左ノ五十八箇町第二區トス

保戸表鐵砲町　保戸野北鐵砲町　保戸野南鐵砲町　新大工町　花館町　本所四町目　寺町　本所五町目　川反四町目　川反上五町目　本町六町目　横町　舟大工町　豊島町　十人衆町　八日町　下肴町　鐵砲町　誓願寺門前町　四十間堀町　馬口勞町　上鍛冶町　下鍛冶町

城町　新城町　室町　四十間堀川反町　鍛冶町上川反　鍛冶町下川反　大川二町目　大町三町目　川反一町目　川反二町目　川反三町目　上通町　中通町　上肴町　茶町菊ノ町　茶町扇ノ町　茶町梅ノ町　田中町　柳町　上龜ノ町　大工町　下龜ノ町　上米町一町目　上米町二町目　下米町一町目　下米町二町目　龜ノ町外張南新町　上川口　中川口　本渡町　川口新町　川口下裏町　川口上裏町　酒田町

第四條　選出議員ノ數ハ兩區同數トス

指令二十二年十月二日

秋田縣秋田市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレクリ

內務省上奏二十三年五月五日

秋田縣秋田市ニ於テ市長代理者條例ニ關スル件別紙之通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ別段支障ノ廉無之ニ付御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

市長代理者條例別紙之通リ市會ノ議決ニ付許可ヲ請フ

秋田市參事會

市長　小泉吉太郎

明治二十三年四月十六日

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

秋田市長代理者條例

第一條　本市ハ制第六十九條ニ依リ市長故障アルトキハ助役之ヲ代理ス

譽職參事會員上席ヨリ之ヲ代理ス

第二條　名譽職參事會員ノ席次ハ選舉當選ノ順序ニ依ルモノトス

指令二十三年五月十日

秋田縣秋田市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年九月十六日

秋田縣秋田市ヨリ於テ特別所得税及徴収督促ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ支障ノ廉無之ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

秋田市特別所得税及秋田市徴収督促條例別紙ノ通リ市會ノ議決ニ付許可ヲ請ス

明治二十三年四月十六日　秋田縣有朋嚴　市長　小泉吉太郎

内務大臣伯爵山方正義殿

大藏大臣伯爵松方

秋田市特別所得税條例

第一條　本市ハ市制第九十一條ニ依リ特別所得税ヲ施行ス

第二條　特別所得税ハ資産又ハ營業其他ヨリ生スル所得金高一箇年三百圓未滿百圓以上所得アルモノヨリ納ムヘシ

但同店ノ家族ニ屬スルモノハ總テ戸主ノ所得ニ合算スルモノトス

第三條　所得ハ市制第九十四條第九十五條第九十六條ノ範圍内ニ於テ明治二十年勅令第五號第二條ノ定則ニ據リテ算出ス

第四條　本税ノ税率ハ左ノ區分ニ依ル

一　二百圓以上　千分ノ十

一　百圓以上　千分ノ七

但所得金高圓位未滿ノ端數ヲ算入セス

第五條　本税ハ前半年分ヲ其年六月ニ後半年分ヲ同十二月ニ納ムヘシ

但納期前他ニ轉籍スルトキハ其際月割ヲ以テ納税スヘシ

第六條　本條例ニ依リ納税スヘキ所得アルモノハ其年所得ノ豫算金高及種類ヲ記シ毎年四月一日ヨリ同三十日迄市長ニ届出ヘシ

第七條　市參事會ハ前條ノ届書ニヨリ所得金高下調書ヲ製シ届書ト共ニ調査會ニ附スヘシ

第八條　市參事會ハ納税者ト認ムルモノニシテ第六條ノ期限ヲ過キ其届出ヲ爲ササルトキハ所得金高ノ見積ヲ立テ調査會ニ付スヘシ

第九條　毎年一月市會議員中ヨリ調査員七名ヲ撰キ本税ニ關スル調査ヲ爲サシムヘシ

但調査員定數ノ外三名ノ補闕員ヲ置クヘシ

第十條　調査會ノ手續ハ明治二十年勅令第五號所得税法第十六條ヲ適用ス

但郡長ノ爲スヘキ職務ハ市長之ヲ行フ

第十一條　調査會ニ於テ納税者ノ所得金額ヲ決議セシトキハ市參事會之レヲ各納税者ニ通達スヘシ

第十二條　市參事會及調査會ハ本税法ニ關シ審査上必要アルトキハ納税者ト認ムルモノニ尋問スルコトヲ得

第十三條　納税者其納期前ニ於テ所得金高十分ノ五以上ヲ減損シタルトキハ市長ニ申出ルコトヲ得

市參事會ハ事實ヲ審査シ其税額ヲ減シ又ハ免除スヘシト雖モ既納ノ税金ハ之ヲ還付セス

第十四條　所得調査ニ關スルモノハ納税者ノ資產及所得ニ係ル事件ヲ他ニ漏洩スヘカラス犯スモノハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十五條　所得金高ヲ隱蔽シテ逋脱シタルモノハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

追徴ス

但自首スルモノハ其科料ヲ免ス

第十六條　第六條ノ届出ヲ爲ササルモノハ十錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス

第十七條　科料ノ處分ヲナスニハ市參事會ヨリ令狀ヲ發スルモノトス

第十八條　科料金ハ處分確定後十日以内ニ納ムヘシ

第十九條　本條例ハ明治二十四年一月ヨリ施行ス

理由書

特別税新設ノ儀ニ付テハ本縣訓令ノ次第モ有之ノミナラス萬止ヲ得サルノ場合ニアラサレハ新設ス可カラサルモノタルハ深ク信シテ疑ハサル所ナリト雖モ當市ノ如キ事情大ニ他ト異ニシテ單ニ附加税ノミニテハ實際上經濟ノ困難少ナカラサルモノアリ今其一例ヲ擧レハ二十二年度ニ於テ納期ヲ經過シ滯納督促令狀ヲ發シタルモノ無慮千五百十餘名ノ多キニ及ヘリ而シテ其原由ヲ察スルニ當市ノ住民中商工等ノ業務ニ從事スルモノ至テ稀少ニシテ其大半ハ貧究ニ其一部ハ公務等ニ從事シ俸給ニ據リテ衣食スルモノナリトス然リ而シテ該所得者ニ對シ別ニ市税ノ負擔アルニアラサレハ其負擔ノ常ニ商工ノ一方ニ偏重ノ傾キニシテ其權衡ヲ得サルノ弊ナキ能ハス依テ之レヲ救濟センコトスレハ特別所得税ヲ以テスルノ外他ニ適當ノ方法ナキカ如シ其故何ントナレハ當地方一般生活ノ度ハ一箇年二百圓内外ノ所得アルモノハ中等人民ニシテ之レニ負擔セシムルニ相當ノ特別所得税ヲ以テスルモ生計上ノ困難ヲ惹キ起スカ如キハ聊カ之レアルマシク而シテ該税ノ徴収ニ於ケル勞費少ナク税額多キヲ得ルノ望ミアレハナリ而シテ所謂一擧シテ從來負擔偏重ノ弊ヲ矯正シ勞費多タ納税少キノ失ヲ補フモノ特リ該税ヲ起スノ一方法アルノミナラス萬止ヲ得サルノ場合ニアラサレハ新設ス可カラサルモノタルハ深ク信シテ疑ハサル所ナリト雖モ當市ノ如キ事情大ニ他ト異ニシテ單ニ附加税ノミニテハ實際上經濟ノ困難少ナカラサルモノアリ今其一例ヲ擧レハ二十二年度ニ於テ納期ヲ經過シ滯納督促令狀ヲ發シタルモノ無慮千五百十餘名ノ多キニ及ヘリ而シテ其原由ヲ察スルニ當市ノ住民中商工等ノ業務ニ從事スルモノ至テ稀少ニシテ其大半ハ貧究ニ其一部ハ公務等ニ從事シ俸給ニ據リテ衣食スルモノナリトス然リ而シテ該所得者ニ對シ別ニ市税ノ負擔アルニアラサレハ其負擔ノ常ニ商工ノ一方ニ偏重ノ傾キニシテ其權衡ヲ得サルノ弊ナキ能ハス依テ之レヲ救濟センコトスレハ特別所得税ヲ以テスルノ外他ニ適當ノ方法ナキカ如シ其故何ントナレハ當地方一般生活ノ度ハ一箇年二百圓内外ノ所得アルモノハ中等人民ニシテ之レニ負擔セシムルニ相當ノ特別所得税ヲ以テスルモ生計上ノ困難ヲ惹キ起スカ如キハ聊カ之レアルマシク而シテ該税ノ徴収ニ於ケル勞費少ナク税額多キヲ得ルノ望ミアレハナリ而シテ所謂一擧シテ從來負擔偏重ノ弊ヲ矯正シ勞費多タ納税少キノ失ヲ補フモノ特リ該税ヲ起スノ一方法アルノミ

上來陳述スル所ノ理由ニ依リ特別所得税ヲ新設スルハ當市ノ情況ニ於テ千萬止ム能ハサルモノト確信セリ

秋田市徴収督促條例

第一條　市制第百二條ニ依リ市ノ収入ヲ其定期内ニ完納セサルモノアルトキハ市參事會ニ於テ督促令狀ヲ發スルモノトス

第二條　督促令狀ヲ受ケタルモノハ手數料トシテ金二錢ヲ納ムヘシ

第三條　督促令狀ヲ受ケタルモノハ手數料トシテ金二錢ヲ納ムヘシ

第四條　理由書

市ノ収入ヲ其納期内ニ完納セサルモノアルトキハ市制第百二條ニ從ヒ令狀ヲ發シテ督促セサルヘカラ

福井

ス而シテ之ニ要スル經費ハ怠慢者其モノヲシテ負擔ノ責ヲ受ケシムルハ當然ナリトス依テ本條例ノ設ケ必要ナリト信セリ

指令二十三年十月二十二日

秋田縣秋田市市條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年五月二十五日

別紙福井縣南條郡武生町ニ於テ町長及助役ヲ有給トシ之ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ北陸道ノ衝ニ當リ福井市ニ亞キ商業隆盛ノ地ニシテ人口一萬二千有餘ニ達スルヲ以テ其町務ノ繁劇ナル知ルヘクシテ町長及助役ヲ有給吏トシ其責任ヲ重カラシメントス

武生町町會ニ於テ町長及助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議定候ニ付許可ヲ請フ

福井縣南條郡元武生

逢萊町外二十四箇町

戶長　土生忠

明治二十二年四月二十九日

內務大臣伯爵　松方正義殿

福井縣越前國坂井郡

三國町

條例第一號

本町ハ制第五十六條ニ據リ町長及助役ヲ有給吏トス

理由本町ハ人口一萬三千餘ニシテ福井市ニ亞キ且ツ北陸道ノ衝ニ在リ從前ノ經驗ニ由レハ役場ノ事務頗ル繁劇ニシテ其吏員タルモノ一身ヲ擧テ專委スルニ非ラサレハ其職ヲ盡スヲ得ス加之今新制ヲ組織シ凡百ノ事業ヲ整理スルニ當リ町長及助役ヲ有給吏トシ其責任ヲ重カラシメントス

指令二十二年五月二十九日

福井縣南條郡武生町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年五月二十八日

福井縣坂井郡三國町ニ於テ町長及助役ヲ有給トシ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ該町ハ北海要港ノ一ニ居リ船舶輻湊ノ地ニシテ戶數二千二百餘人口一萬以上ニ達シ隨テ事務繁劇ナルヲ以テ町長及助役ヲ專務吏員トスルモ亦止ヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書相添謹テ上奏ス

福井縣越前國坂井郡

三國町

條例第一號

本町ノ町長ハ制第五十六條ニ據リ有給吏員トス

第二條　制第五十二條但書ニ因リ助役ノ定員ヲ二名トシ內一名ヲ有給吏員トス

第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

指令二十二年六月三日

福井縣坂井郡三國町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年六月五日

福井縣敦賀郡敦賀町ニ於テ助役ノ定員ヲ增加シ其一名ヲ有給トスル條例ヲ設ケ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ該町ハ北海要港ノ一ニ居リ船舶輻湊商業隆盛ノ地ニシテ戶數二千八百餘人口一萬四千四百餘ニ達シ隨テ事務繁劇ナルヲ以テ助役ノ定員ヲ增加シ且其一名ヲ專務吏員トスルモ亦止ヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書相添謹テ上奏ス

敦賀町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

福井縣敦賀郡元敦賀大內

町外二十六箇町村

戶長心得用掛　吉田願一郎

明治二十二年五月二十日

內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號

助役定員增加條例

第一條　本町ハ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條　本町ノ助役一名ヲ有給吏員トス

第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

理由

本條例議案ヲ提出スルノ理由左ノ如シ

蓋シ本町ノ地タル北陸ノ要衝ニ當リ航海ノ便陸行ノ利固ヨリ言ヲ俟タス是ヲ以テ商業昌盛人事複雜宛然一都市ヲ爲スノ形勢アリ隨テ町內ノ行政事務陪頻繁ヲ加フルニ因リ之ヲ處スルニ最モ便捷ヲ計ラサルヲ可カラスシテ到底名譽職町長及助役一名ニテ之ヲ整理シ能ハサルノ虞リナシトセス是レ助役定員增加ノ已ムヲ可カラサル所以ナリ然レトモ此增員ヲシテ(一)專ラ町長ヲ補佐シ町行政ノ事務ニ從事セシメ(二)且廣ク其人ヲ選擇スルニ非ラスンハ復此定員ヲ增加シタルノ好結果ヲ見ル可カラス是レ制第五十六條ニ據リ定員ノ一名ヲ有給吏員トナス(一)廣ク適任ノ人ヲ選擇セシメ(二)且專ラ町長ヲ補佐シ町行政ノ事務

右町會本月二日ヨリ開設翌三日結了仕候其要旨タルヤ本町ノ義ハ戶數二千三百有餘人口一萬以上ノ小市街ニハ候得共行政事務ノ繁劇ナルハ元戶長役場ノ取扱上ヲ以テ證スルニ足ル然ルニ本縣公民タル者概ネ商業專務ノ者ニ候ヘハ町村ノ吏員トナリ日日出勤事務ニ從事スル適任者無之故ニ有給吏員トシ該任ニ適スル相當者ヲ選擧仕度ト條例ヲ別紙ノ通リ本會ニ於テ決定仕候右ハ當町情況ニ御坐候間速ニ該條例御許可ヲ奉仰度候因テ理由ヲ具狀シ此段申請仕候也

ニ從事セシメンコトヲ期スル所以ナリ

指令二十二年六月八日

福井縣敦賀郡敦賀町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年八月九日

別紙福井縣福井市ニ於テ市長代理ノ順序及名譽職市參事會員ノ分掌事務幷市長以下ノ給料額ニ關スル條例ノ許可ヲ禀請スルニ市長代理ノ順序及市參事會員ヲシテ市行政事務ノ一部ヲ分掌セシムルハ市制第六十九條市長助役其他有給吏員ノ給料額ハ同第七十六條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可在セラレ度別紙市會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ助役參事會員ノ職務幷市吏員俸給ニ關スル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月五日

福井縣福井市條例

內務大臣伯爵　松方　正義　殿

福井縣福井市參事會

市長　鈴木　準道

條例第一號

助役參事會員職務條例

第一條　市制第六十九條ニ依リ市長ノ代理ハ助役トス

但市長助役トモ故障アルトキハ上席ノ名譽職市參事會員之ヲ代理ス

第二條　市制第六十九條ニ依リ市參事會員ノ席次ハ助役ヲ以テ上席トシ名譽職參事會員ノ席次ハ抽籤ヲ以之ヲ定ム

第三條　市制第六十九條ニ依リ名譽職參事會員ハ

同意ヲ得テ左ノ事務ノ幾部ヲ分掌セシム

一敎育ニ關スル事項

一勸業ニ關スル事項

一土木ニ關スル事項

一衛生ニ關スル事項

一市稅ノ賦課ニ關スル事項

第四條　市制第七十四條ノ市長管掌ノ事務ハ助役之レヲ補助ス

條例第二號

市吏員俸給條例

第一條　市吏員俸給額ハ左表ノ通之レヲ定ム

第二條　俸給ノ支給方法ハ別ニ細則ヲ以テ規定ス

第三條　技術員ヲ要スルトキハ臨時會ノ議決ヲ以其給料額ヲ定ム

市吏員俸給表

職名	級	中級	下級
市長	年俸	七百圓	六百圓　五百圓
助役	年俸	四百圓	三百六十圓　三百圓
收入役	月俸	二十圓	十七圓　十五圓
／	／	一等	二等　三等　四等　五等　六等
書記	月俸	二十圓	十七圓　十五圓　十二圓　十圓　八圓
雇	月俸	八圓	七圓　六圓　五圓　四圓　三圓

理由書

一本條例第一號第一條市長ノ代理ヲ助役トナスハ助役ハ市長ニ亞キ重任アルヲ以テナリ助役故障アルトキハ市參事會員ノ上席ヲ以代理セシムルハ普通ノ順序ニ依ルモノナリ

一同第二條助役ヲ以テ上席トスルハ前條ニ同シ名譽職參事會員ノ席次ハ原案ニハ（選舉ノ順序ニ依ル）トアルヲ（抽籤ヲ以テ之レヲ定ム）ト議會ニ於テ修正セリ

一同第三條名譽職參事會員ヲシテ市行政事務ヲ分掌セシムルハ市費ヲ減省シ事務ノ便捷ヲ得ルヲ以テナリ

一同第四條助役ヲシテ國縣委任ノ事務ヲ補助セシムルハ市長ノ繁劇ヲ助ケサレハ其事務擧ラサルヲ以テナリ

一條例第二號第一條俸給等級ヲ市長ハ高等官助役收入役ハ判任官ノ法ヲ斟酌シテ此等級ヲ設ケリ

一同第三條技術員給料ハ事業ノ大小ニ依リ差アリ故ニ此條ヲ設ケリ

指令二十二年八月十五日

福井縣福井市市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年八月十三日

別紙內務大臣上奏福井縣福井市條例ノ件ヲ案スルニ法律ニ牴觸ノ廉無之相當ノ規定ト思考ス因テ上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十二年十一月七日

福井縣丹生郡朝日村外二十二箇村組合村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第六十五條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可

被爲在度別紙組合村會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本組合會ニ於テ共同勤業ニ關スル條例ノ件別紙議決候ニ付許可ヲ請フ

福井縣丹生郡朝日村外二十二箇村組合管理者

福井縣丹生郡長　内　田　衛

明治二十二年七月九日

内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

第一條　本組合ハ制第六十五條ニ依リ左ノ常設委員ヲ置ク

第二條　勤業委員ノ定員ハ四名以下トシ公民中選舉權ヲ有スル者ニシテ農工商ノ事ニ通曉シ若クハ其一二ニ通曉スルモノヨリ選舉ス

第三條　勤業委員ノ任期ハ滿二箇年トス

但滿期再選スルコトヲ得

第四條　制第七十四條ニ依リ勤業委員ノ職務權限ヲ定ムルコト左ノ如シ

一農工商ノ進歩改良ヲ圖ル事

一農工商水産山林ニ關スル統計表ヲ調製スル事

一海陸運送ノ利害道路開鑿修築等ニ關スル事

一溝渠用惡水疏通ニ關スル事

第五條　勤業委員ハ爲報酬一名毎ニ年額金六十圓以下ヲ給與ス

理由書

福井縣丹生郡朝日村外二十二箇村ニ於テハ明治十六年太政官第十三號布達本年縣令第三十一號ヲ遵守シ本年四月十八日ヲ以テ全郡一致勤業事務共同處理スル爲メ各村協議委員ヲシテ制第百十六條第一項ニ基キ組合村會ノ組織ヲナス而シテ該規定ニ依リ管理者郡長ニ於テハ本月二日組合村會ヲ開設スルニ當リ組合條例第一號條項ノ規定ヲ設クルコトノ必要ヲ認メ則本會ニ於テ議決シタルニ由ル

一條例第一號第二條中勤業委員ノ定員四名以下トアルハ本年ハ二十四箇村ニ止メタルモ改選期ニ當リ四名又ハ三名ト變更スル必要ヲ認メタルニヨル

一條例第一號第五條中勤業委員ハ爲報酬一名毎ニ年額金六十圓以下トシタルハ當時二名ニ止メタルモ年事務繁劇ナルニ隨ヒ右範圍内ヲ以テ增給スルノ必要ヲ認メタルニ由ル

福井縣丹生郡朝日村外二十二箇村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省報告二十四年六月八日

明治二十二年十一月七日井丁第八二號ヲ以テ上奏シ同年十一月十一日内閣枢第一八〇號ヲ以テ裁可濟ノ通報相成タル福井縣丹生郡朝日村外二十二箇村組合勤業委員ニ關スル條例ハ今般郡制施行ニ付右組合解除ノ爲メ消滅ニ歸シタル旨上申候條此段及報告候也

内務省上奏二十三年一月三十一日

福井縣敦賀郡敦賀町々會ニ於テ常設委員幷有給吏員ノ退隱料公文公告式及區會ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第十條第六十四條乃至第六十五條及第七十七條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度町會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

常設委員設置ニ關スル件

敦賀町會ニ於テ敦賀常設委員設置ニ關スル條例ノ件別冊ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

敦賀町長　打　它　辨　次　郎

明治二十二年八月二十二日

内務大臣伯爵　松　方　正　義　殿

敦賀町條例第二號

常設委員

第一條　本町ハ左ノ常設委員ヲ置ク

三名　學務委員

二名　勤業委員

三名　衛生委員

二名　土木委員

二名　財産委員

第二條　常設委員ノ定數ヲ都合十二名トシ内六名ヲ町會議員中ヨリ六名ヲ他ノ公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選任ス

第三條　常設委員ノ任期ハ町會議員ノ任期ニ隨ヒ其定期改選毎ニ之ヲ改選ス

第四條　議員ヨリ選任セラレタル委員中其議員ノ資格ヲ失ヒ又他ノ公民ヨリ選舉セラレタル委員トシテ其選舉權ヲ失フタル者ハ共ニ委員ノ資格ヲ消滅スル者トス

第五條　常設委員ハ左ニ定ムル職務權限ニ依リ各其主擔ノ事務ヲ管理ス

學務奬勵ノ事

一　學齡兒童ニ就學ヲ督責スル事

二　小學校經費豫算決算ノ事務ヲ調理シ及之ヲ監督スル事

三　小學校舍ノ營繕及建造ヲ監督スル事

四　前項ノ外町長ノ諮問ニ答ヘ又ハ學事上ノ利害ニ關スル意見ヲ町長ニ具狀スル事

勤業委員主擔之事務

一　農工商ノ進歩改良ヲ圖ル事

二　農工商ニ關スル統計表ヲ調製シ及其景況ヲ報告スル事

三　農工商同業組合規約ニ關スル景況ヲ報告スル事

四　博覽會及共進會等ヘ出品ヲ誘導スル事
五　前項ノ外町長ノ諮問ニ答ヘ又ハ勸業上ノ利害ニ關スル意見ヲ町長ニ具狀スル事

一　傳染病流行ノ際ハ其豫防法ニ從事スル事
二　街路及溝渠下水等ノ掃除ヲ督責又ハ監督シ其清潔法ヲ實施スル事
三　家畜傳染病豫防法ニ關スル事
四　幼童ノ種痘ニ注意シ未痘者ヲ督誘スル事
五　前項ノ外町長ノ諮問ニ答ヘ又ハ町內衛生上ニ關スル意見ヲ町長ニ具狀スル事

一　土木委員主擔ノ事務
二　道路橋梁堤防等ニ關スル營繕ヲ監督スル事
三　町內共有ニ係ル營造物ノ建築及修繕ヲ監督スル事
四　土木事業ノ設計ヲ爲シ及其經費ヲ調査スル事
　前項ノ外町長ノ諮問ニ答ヘ又ハ土木上ニ關スル意見ヲ町長ニ具狀スル事

　財產委員主擔之事務

一　町村ノ共有ニ係ル土地營造物及其他財產一切ヲ管理スル事
二　共有物品ノ維持及殖益ヲ計リ其基本財產增加ノ方法ヲ畫策スル事
三　其使用ノ目的ヲ定メ寄附セシ共有財產ニ關スル意見ヲ町長ニ具狀スル事
四　前項ノ外町長ノ諮問ニ答ヘ又ハ共有財產ノ使用ヲ監督シ若クハ之ヲ保護スル事

第六條　常設委員ヲシテ他ノ職務ヲ兼ネシメ若クハ臨時他ノ事務ヲ委任スルコトアルヘシ
第七條　常設委員ハ年內ニ於テ施行セシ事務ノ成蹟要領ヲ其翌年一月二十日迄ニ町長ニ報告スルモノトス
第八條　委員會ヲ大別シテ定期臨時部會ノ三類トス定期會ハ每年四回ト定メ二月五月八月十一月中ニ之ヲ開キ臨時會ハ臨時急要件ノ生シタルトキニ際シ之ヲ開キ部會ハ其主擔一部ノ委員ヲ限リ臨時之ヲ招集ス
第九條　委員四名以上ノ請求アルトキハ臨時委員會ヲ開クコトヲ得其職務規定ハ隨時之ヲ設クルコトヲ得レハ町村人民ヲシテ自治ノ制ニ習熟セシメンカ爲メニ最モ効益アリ委員アルトキハ多數ノ公民ヲシテ町村ノ公益ノ爲ニ力ヲ竭スコトヲ得セシメ自治ノ効用ヲ擧クルコトヲ得ヘシ云々由是觀之ハ委員ヲ設ケ町村ノ行政ニ參與セシムルノ法ハ曾ニ町村施政事務ノ一部分ヲ補助セシムルノミナラス其行政者ト人民トヲ協同一致シテ事務ヲ執行スルノ道理ナルカ故其効益實ニ鮮少ナラサルヘシ依テ本町ハ茲ニ本制第六十五條ノ主意ヲ體シ其行政事務ノ內學務勸業衛生土木財產ノ五部ニ區別シ而シテ常設委任十二名ヲ設ケ右各部ニ於ケル行政ニ參與セシメ以テ常設委員設置ノ理由ヲ明カニスルニ町村制第六十五條ニ町村ハ町村會ノ議決ニ依リ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得其委員ハ名譽職トス云々而シテ其理由ノ解說ニ據レハ委員ヲ設クルハ町村人民ヲシテ自治ノ制ニ習熟セシメンカ爲メニ最モ効益アリ委員アルトキハ多數ノ公民ヲシテ町村ノ公益ノ爲ニ力ヲ竭スコトヲ得セシメ自治ノ効用ヲ擧クルコトヲ得ヘシ云々由是觀之ハ委員ヲ設ケ町村ノ行政ニ參與セシムルノ法ハ曾ニ町村施政事務ノ一部分ヲ補助セシムルノミナラス其行政者ト人民トヲ協同一致シテ事務ヲ執行スルノ道理ナルカ故其効益實ニ鮮少ナラサルヘシ依テ本町ハ茲ニ本制第六十五條ノ主意ヲ體シ其行政事務ノ內學務勸業衛生土木財產ノ五部ニ區別シ而シテ常設委任十二名ヲ設ケ右各部ニ於ケル行政ニ參與セシメ以テ其事務ヲ分擔セシメントス乃制第六十五條第三項ニ據リ本條例ヲ以テ其組織ヲ規程セント欲スル所以ナリ

　吏員退隱料ニ關スル件
敦賀町會ニ於テ敦賀町吏員退隱料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

　敦賀町長　打它辨次郎

明治二十二年八月二十二日

　內務大臣伯爵　松方正義殿

敦賀町條例第三號
　吏員退隱料

第一條　本町ノ有給吏員ニハ左ノ規定ニ隨ヒ退隱料ヲ支給ス但有給吏員トハ書記以上ノ者ヲ云ス故ニ日給傭入ノ者ハ茲ニ包含セス
第二條　滿十年以上引續在職ノ者ニシテ年齡滿六十歲以上ニ及ヒ退職セシ者ヘハ退職現時ノ月俸四分一ヲ滿三年間支給ス
第三條　滿十五年以上引續在職ノ者ニシテ年齡六十歲以上ニ及退職セシ者ヘハ退職現時ノ月俸三分一ヲ滿五年間支給ス
第四條　職務ヲ執行スル爲メ不治ノ癈疾ニ罹リ或ハ重傷ヲ負ヒ不具ト爲リ其職ニ堪ヘス退職セシ者ヘハ退職現時ノ月俸三分一ヲ滿三年以上十年間ノ範圍內ニ於テ其輕重ヲ斟酌シ町會ノ決議ヲ以テ適宜之ヲ支給ス
第五條　滿五年以上引續在職ノ者退職セシトキハ一箇年ニ付其月俸半額ノ割ヲ以テ該年數ニ應シ一時之ヲ支給ス但一年未滿半年以上ノ端數ヲ生スルトキハ月俸ノ四分一ヲ給シ半年未滿ハ之ヲ給セス
第六條　前記各條在職年數ハ第一條ノ但書ニ該當スル如ク書記以上就職ノ月ヨリ之ヲ起算スヘシ其三分一ヲ滿三箇年間支給ス
第七條　日給傭員ニシテ第四條ニ該當スル不幸ニ遭遇スルトキハ退職現時ノ日給ヲ月額（日曜日ヲ除ク）ニ積算シ其三分一ヲ滿三箇年間支給ス
第八條　凡退隱料ハ每年三月六月九月十二月ノ四度ニ區切其年額四分一宛ヲ支給ス
第九條　退隱料ヲ受クヘキ者死去シタルトキハ其年限殘數額ノ三分一ヲ一時ニ支給シ若シ其年滿期ナレハ相當金員ノ全額ヲ一時ニ支給ス
第十條　職務ヲ執行スルカ爲メ不慮ノ疾病ニ罹リ又ハ重傷ノ爲ニ直ニ死去セシ者ハ在職中ノ月俸若クハ日給ノ一年分ヲ其遺族者ヘ一時ニ支給ス但日給ノ積算ハ日曜日ヲ除クヘシ
第十一條　懲戒ニ依リ廢職セシ者及破廉恥ノ所爲ヲ以テ刑罰ニ處セラレタル者ヘハ退隱料ヲ給セス放之ヲ受クル者右刑罰ヲ被ムルトキハ其裁判宣告ノ月ヲ限リ全ク之ヲ廢止ス

　退隱料支給規定ノ理由

有給町村吏員ニ退隱料ヲ給スルノ法ハ町村制第七十七條ニ明記シ且ツ之ヲ必要トスル所以ハ該理由書ニ詳述スル如ク實ニ有給吏員退職ノ後至當ノ退隱料ヲ給スルハ退職ノ爲メ遽ニ口糊ノ道ニ窮スルノ憂ナカラシムルノミナラス之ヲナカラシムルハ即チ一意以テ公益ヲ思ヒ其職務ヲ勉勵セシムルノ良法ニ

シテ一ハ以テ吏員ノ德義心ヲ養成シ一ハ以テ町會ノ鼻息ヲ窺ヒ生計ノ爲ニ再選ヲ計リ却テ其公益ヲ忘ルヽカ如キ弊風ナカラシムルモノトス乃チ本條例ヲ規定セント欲スル所以ナリ

公文公告式ニ關スル件

敦賀町會ニ於テ公文公告式ニ關スル條例ノ件別冊ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月二十二日　　敦賀町長　打它辨次郎

內務大臣伯爵松方正義殿

敦賀町條例第五號

公文公告式

第一條　町條例及諸規定其他本町內及ヒ町役場ニ係ル一切ノ公文ハ町役場門前及境區小屋橋東南詰揭示場三島區筆橋西南詰揭示場ニ揭示シ又ハ區長ニ配布スルヲ以テ公式トス

第二條　公文ハ揭示幷配布ノ翌日ヨリ五日目ヲ以テ施行ノ期限トス

第三條　急施ヲ要スル事件ニシテ即日ヨリ施行スルモノ又ハ特ニ施行ノ日ヲ揭ケタルモノハ前條ノ例外トス

公文公告式ノ理由

本條例ハ町村制第十條第三項末文ニ據リ町條例ニシテ從來慣行ノ公告式ナルモノハ要スルニ其規一ナラス或ハ戶長役場門前ニ揭示シ或ハ役場內ニ揭示シ或ハ町村總代ニ配布シテ其村町ヘ回達セシムル等ノ手續ナリシト雖モ右ハ尙不完全ノ憾ミヲ免レス依テ今般往來頻繁ナル小屋橋詰ヘ更ニ一箇所ノ揭示場ヲ增設シ以テ從來揭示ノ區域ヲ擴張シ且ツ舊町村總代ヘ配付セシモノヲ以テ區長ニ配付スルノ方法ニ改定セシ故此條例ヲ實行スル曉ニ至レハ全町人民ヲシテ其公文ヲ周知セシムルノ便益蓋シ從前ノ慣行ニ優ル鮮少ナラサルナリ

敦賀町會ニ於テ區長及代理者任期ニ關スル件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月二十二日　　敦賀町長　打它辨次郎

內務大臣伯爵松方正義殿

敦賀町條例第六號

區長及其代理者任期

本町區長及其代理者任期ハ二箇年ト定メ滿期再選スルコトヲ得

理由

曩ニ本町會議決ニヨリ區長及代理者設置ノ義ヲ規程シタルニ付其ノ任期ヲ定メント欲スルノ理由左ノ如シ

區長及其代理者ノ任期ハ之ヲ定ムルモ可ナリ又之ヲ定メサルモ可ナリ法律ハ別ニ之ヲ規定セスシテ地方ノ便宜ニ任スルノ餘地ヲ與ヘラレタリ惟フニ區長ハ從來町村總代ナルモノト稍其趣ヲ異ニスト雖モ町村長ノ機關トナリ其指揮命令ヲ受ケテ區內ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助執行スルハ一ナリ而シテ本町ノ如キ從來舊町村總代ナルモノハ大抵年每甚シキハ月每ニ改選スルノ風習アリ之レ全ク因襲慣行ニ據ルト曰フト雖モ其尤モ直接ニ人民ニ應接スルヲ以テ若シ久シク其任ニ在レハ知ラス識ラス偏私不公ノ弊ヲ生スルニ由ルナルヘシ故ニ其任期ヲ二箇年ト定メ且適任ノ人ヲ得難キ區ニ於テハ滿期再選ノ餘地ヲ與ヘタレハ其改選ノ際ニ於ケルモ決シテ不都合ノ結果ヲ生スルコトナキヲ信ス是レ本條例ヲ以テ其任期ヲ定メント欲スル所以ナリ

指令　二十三年二月四日

福井縣敦賀町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年二月十七日

福井縣坂井郡十鄕大堰所組合聯合町村會幷同郡橫落神明十鄕用水組合聯合町村會ニ於テ從前ノ町村費ノ細則ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通リ許可ヲ請フ

敦賀町條例第七號

〔別紙〕

從來ノ町村費ニ關スル細則ヲ規定スルコトニ議決候ニ付町村制第百二十五條ニ依リ許可ヲ請フ

當聯合町村會ニ於テ從前ノ町村費ニ關スル細則ヲ廢シ其所屬舊町村ノ分取纏メノ上管理者ヘ納入ノ手續ヲナスモノトス

第四條　各町村長ハ納稅人納期ノ期限ヲ過キ本稅ヲ完納セサルトキハ町村制第百二條ヲ適用シ處分スルモノトス

第五條　前條ノ場合ニ於テハ其滯納ノ事由及金額住所氏名等ヲ直ニ管理者ヘ報告スルモノトス

決議ノ理由

本會ハ創設以來其費用ハ田反別ニ賦課スルヲ例トス今ヤ町村制ニ在テハ國稅府縣稅ノ附加稅ヲ常トスルモ本費ハ專ラ米田ノ灌漑ニ供用スルヲ要點トシ且從來ノ慣例ナルヲ以テ之レカ費用ノ取扱ニ關スル細則ノ許可ヲ稟請スルコトニ決議ス

從來ノ町村費ニ關スル細則稟請

明治二十二年十月八日

內務大臣伯爵山縣有朋殿

福井縣坂井郡十鄕大堰所組合聯合町村會管理者

福井縣坂井郡長德山繁樹

敦賀町條例第一號

福井縣坂井郡十鄕大堰所組合聯合町村費ニ關スル細則

第一條　當組合聯合町村費ハ反別割トシテ之ヲ徵收スル但シ一反步ニ付金六錢ヲ超過セサルモノトス

第二條　當組合町村稅ハ會議決議ヲ經テ平均或ハ等差ヲ立テ各町村所屬內舊町村現在ノ田反別ニ配當賦課スルモノトス

第三條　前條町村稅ノ徵收方法ハ從來ノ慣行ニ據リ管理者ヨリ議定額ヲ其町村長ヘ通知シ町村長ハ納期五日以前各納人ニ徵稅令書ヲ發シ其所屬舊町村ノ分取纏メノ上管理者ヘ納入ノ手續ヲナスモノトス

當聯合町村會ニ於テ從前ノ町村費ニ關スル細則ヲ規定スルコトニ議決候ニ付町村制第百二十五條ニ依リ許可ヲ請フ

明治二十二年十月八日　　內務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

福井縣坂井郡橫落神明十鄉用水組合聯合町村費ニ關スル細則

第一條　當組合聯合町村費ハ反別割トシテ之ヲ徵收ス但田一反歩ニ付金六錢ヲ超過セサルモノトス

第二條　當組合町村稅ハ會議決議ヲ經テ平均或ハ等差ヲ立各町村所屬內舊町村現在ノ田反別ニ配當賦課スルモノトス

第三條　前條町村稅ノ徵收方法ハ從來ノ慣行ニ據リ管理者ヨリ議定額ヲ其町村長ヘ通知シ町村長ハ納期五日以前各納人ニ徵稅令書ヲ發シ其所屬舊町村ノ分取纏メノ上管理者ヘ納入ノ手續ヲナスモノトス

第四條　各町村長ハ納稅人納期ノ期限ヲ過キ本稅ヲ完納セサルトキハ町村制第百二條ヲ適用シ處分スルモノトス

第五條　前條ノ場合ニ於テハ其滯納ノ事由及金額住所名等ヲ直ニ管理者ヘ報告スルモノトス

決議ノ理由

本會ハ創設以來其費用ハ田反別ニ賦課スルヲ例トス今ヤ町村制ニ在テハ國稅府縣稅ノ附加稅ヲ常トスルモ本費ハ專ラ米田ノ灌漑ニ供用スルヲ要點トシ且ツ從來ノ慣例ナルヲ以テ之レカ費用ノ取扱ニ關スル細則ノ許可ヲ稟請スルコトニ決議ス

福井縣坂井郡十鄉大堰所組合聯合町村幷同郡橫落神明十鄉用水組合聯合町村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏　二十三年二月十八日

福井縣三方郡八村外六箇村組合村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第六十五條及第七十四條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙相添此段上奏ス

（別紙）

常設委員組織權限ノ件ニ付稟請

本郡八村外六箇村組合村會ニ於テ常設委員ノ組織及職務權限ニ關スル條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

福井縣三方郡八村外六箇村組合

福井縣三方郡長心得

明治二十二年十二月二十日　　內務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

福井縣三方郡書記　馬　場　鶴　雄

組合條例第一號

常設委員組織及職務權限規定

第一條　本組合ハ町村制第六十五條ニ據リ左ノ常設委員ヲ設置ス

一　勸業委員

第二條　委員ハ其定員ヲ六名トシ組合村會ニ於テ左ノ選舉區域ニ從ヒ其公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ選舉ス

山東村　耳村　西鄉村　三名

田井村　八村　西浦村　十村　三名

第三條　委員ノ任期ハ滿二箇年トス若シ闕員アル時ハ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第四條　制第七十四條ニ據リ委員ノ職務權限ヲ定ムル左ノ如シ

一　委員ハ組合內農工商事ノ改良進步ヲ規畫スルモノニシテ其處辨スル項目左ノ如シ

農工商水產山林鑛山ノ利害及改良保護ニ關スル事

溝渠用惡水疏通及水陸運送ノ利害改良等ニ關スル事

農工商水產山林鑛山等ニ關スル統計ノ事

二　組合內ニ勸業上ノ報告ヲ爲シ且組合內ニ開設スル農工商業各會ノ會員トナリ其意見ヲ陳述スルモノトス

理由

農工商ノ事タルヤ個々人民ノ業務ナレハ其自營ニ一任スヘキハ理ノ當然ナリ然レトモ願ミテ組合內ノ狀況ヲ通觀スル時ハ世運ノ上進ニ伴ヒ勸業ノ道モ亦漸次面目ヲ改メタルモノ有リト雖モ其氣運猶低ク其程度未タ隆カラス勸業上貲ニ忽諸ニ付スヘカラサル緊急ノ時機トス今ニ方リ委員ヲ置キ審ニ舊慣行ヲ內ニ稽カヘ廣ク新智識ヲ外ニ求メ以テ普ク組合內ニ適度ナル勸誘ヲ爲スノ必要ニシテ各自ノ營爲ニ放任スヘカラサルハ明治十六年太政官十三號公達ニ基キ曾テ勸業委員ヲ設ケ實効ノ顯著ナリシヲ以テ證スヘシ是其今回委員ヲ設置セント欲スル所以ナリ新制實施以前ハ委員ノ定員二名ナリシカ其施爲スル所ノ事廣ク且ツ多ク從テ周到緻密ヲ闕キ遺憾往々有ルニ由リ既往ニ鑒ミ更ニ增加シ六名ヲ以テ定員トセリ其選舉ニ區域ヲ設ケタルハ本條例組織ノ主眼ニシテ一ハ各村ノ實況ニ通曉セル者ヲ得ンコトヲ希望シ一ハ組內村內ヲ巡行回覽スル冗費ヲ省略センコトヲ願慮シタルナリ又委員ノ任期ヲ限リタルハ實際ノ便宜ニ從ヒタルモノナリ

職務權限ハ成ル可ク之レカ範圍ヲ大ニシ衍モ組合各村ニ屬スル勸業ノ事項ハ總テ之ヲ辨理セシムヲ是レ其事務ノ廣ク裨益ノ多カランコトヲ望メハナリ

右ノ外本制ノ通法ニ準據シ得ヘキモノハ別段ノ規定ヲ設クルノ必要ナキニ由リ該條例ニハ一々列叙セサルモノトス

ス

指令二十三年二月二十一日

福井縣三方郡八村外六箇村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年二月二十六日

福井縣坂井郡三國町外二十九箇町村組合町村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第六十五條及第七十四條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本組會ニ於テ組合共同ニ關スル常設委員設置ノ條例別紙之通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

福井縣坂井郡三國町外二十九箇町村組合會管理者

福井縣坂井郡長　德山榮樹

町村組合會管理者

福井縣坂井郡長　有朋殿

町村組合條例第一號

第一條　福井縣坂井郡三國町外二十九箇町村組合會ニ於テ勘業委員設置ノ議決ヲ爲セシ理由タル原來本郡ニ於テハ十六年太政官第十三號布達ニ基キ全郡聯合町村費ヲ以テ數名ノ勘業委員ヲ置キ勘業諸般ノ事務ヲ取扱ハシメタリシカ本年四月町村制ヲ實施セラレシヲ以テ右委員ハ自然消滅ニ屬シタリシモ全郡町村聯合會ニ於テハ右議決シタルニ由リ更ニ町村組合會ヲ開設スルニ當リ組合條例第一號ノ規定ヲ設ルコトノ必要ヲ認メ本

內務省上奏（二十三年三月十四日）

福井縣福井市ニ於テ諸收入金徵收督促手數料ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ市制第百二條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ徵收金督促手數料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付理由書相添ヘ許可ヲ請フ

明治二十三年二月十二日

福井縣福井市長　鈴木準道

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

福井縣福井市條例

徵收金督促手數料條例

第一條　市參事會ハ左ノ規定ニ依リ本市諸收入金ヲ定期內ニ納メス爲ニ市參事會ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ一回之ヲ督促シ其督促ノ後五日ヲ過クルモ完納セサルモノハ再督促ヲ爲スモノトス

第二條　督促ヲ受ケ猶完納セサルモノハ左ノ規定ニ依リ手數料ヲ納ムルモノトス

一回督促ヲ受ケタルモノハ金三錢

二回督促ヲ受ケタルモノハ更ニ金五錢

第三條　手數料ハ徵收金ト同時ニ納ムルモノトス

第四條　督促ヲ爲スト雖モ市參事會ヨリ令狀ヲ發スルモノトス

理由書

本市徵收金督促手數料設定ノ要旨ハ督促ノ爲メニ要スル手數料ヲ廣ク一般ニ徵セス特別者即チ滯納者ヨリ一回督促再督促之レカ區別ニ從ッテ徵收ス其手數料額ニ差違アルハ再督促ヲ要スルモノ多クハ合狀受領ヲ忌避シ使丁ヲ煩ハスモノト認メ斯ク金額ニ差違ヲ付スルモノナリ而シテ初再二回ノ督促ヲ規定シタルハ一回ハ注意ニ出テ再回ハ國稅處分法ニ倣フモノナリ

指令二十三年三月十九日

福井縣福井市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏（二十三年四月十二日）

福井縣福井市ニ於テ吏員俸給ニ關スル條例改正ノ件ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ三等以下俸給額ノ等差宜ヲ得サルニ依リ改正ヲ要スルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度議決書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ現行本市吏員俸給條例俸給表中備俸級例變更ノ件別紙ノ通議決候ニ付理由書相添ヘ許可ヲ請フ

明治二十三年三月二十七日

福井縣福井市長　鈴木準道

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

俸給表

	一等	二等	三等	四等	等
俸	上級	下級	上級	下級	上級
俸	八圓	七圓	六圓	五圓五十錢	五圓
俸	上級	下級	上級	下級	級
俸	四圓五十錢	四圓	三圓五十錢		

理由書

現行條例本市吏員中備俸給ヲ六等ニ區分シタルモ其差額稍々大ニ過キ昇進ノ途ヲ塞ノ嫌ヒアレハ更ニ四等トシ等毎ニ上下ノ級ヲ設ケタルモノナリ

指令二十三年五月二日

福井縣福井市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏（二十三年五月二十二日）

福井縣福井市ニ於テ常設勸業委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付理由書相添ヘ許可ヲ請フ

福井縣福井市ニ於テ常設委員ニ關スルニ市制第六十一條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度議決書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ常設勸業委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付理由書相添ヘ許可ヲ請フ

福井縣福井市長　鈴木準道

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

福井縣福井市條例

勸業委員條例

第一款　組織及任期

第一條　本市ハ制第六十一條ニ依リ勸業事務ノ爲メ常設委員ヲ置ク

第二條　委員ノ定員ヲ三名トシ市會議員市參事會員及市公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ各一名ヲ選舉シ之ヲ組織ス

第三條　委員ノ任期ハ二年トス

議員會員ヨリ選擧セラレタル者辭シ又ハ退職スルトキハ委員ノ資格モ共ニ消滅スルモノトス

第四條　市公民中ヨリ選擧セラレタルモノ市會議員又ハ市參事會ノ職ニ就クモ委員ノ資格ニ關係セサルモノトス

第五條　委員中闕員アルトキハ補欠選擧ヲ行フヘシ
補欠委員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモ定期改選及補欠選擧トモ前任者ノ選擧セラレタル區別ニ從ヒ之レカ選擧ヲ行フ可シ

第六條　委員ハ市參事會ノ監督ニ屬シ同會ノ諮問ニ答ヘ本市內勸業ニ關スル行政事務ヲ分掌シ農商工ノ進歩改良ノ事ヲ分擔スルモノトス

第七條　委員ノ職務權限概目左ノ如シ

一　市會ノ議決ノ旨趣ニ依リ勸業事務ヲ施行スル事

二　市內殖產興業ヲ勸誘シ農商工業ノ進歩改良ヲ圖ル事

三　生產品ノ粗製濫造ヲ拒キ販路ヲ擴張スル事

四　博覽會共進會品評會及ヒ物產陳列場等ハ出品方奬勵ノ事

五　農商工業會開設ニ掛ル事

六　同業者組合規約ニ關スル事

七　農商工ニ關スル統計表調製ノ事

第八條　理由書

第三款　給與

委員ノ報酬ハ市會ノ議決ヲ以テ之レヲ定ム

本市條例第三號常設委員ヲ置クハ市內殖產興業ヲ勸誘シ事業ノ進歩改良ヲ圖ラシムル爲メ勸業上專務委員ヲ要スル旨定員ヲ三名トシ市會議員市參事會員及市公民中選擧權ヲ有スルモノヨリ各一名ヲ選擧シ之レヲ組織シ弘ク知識ヲ求メ實利公益ヲ圖リ且其任期ハ原議ハ常設總則ノ原理ヲ推シ六年トセシモ議會ノ所見短期ヲ欲シ二年ト修正決議アリ而シテ市公民中ヨリ選擧セラレタルモノ議員會員ノ職ニ就クモ委員ノ資格ニ關係セサルモノトセシハ名ヲ以テ事ヲ責メス力メテ實利ト便宜トニ依ル委員ノ職務權限ノ概目ヲ定メタルモ元事ヲ省キ要務ヲ執ラシムルノ意ニ出テタルモノナリ委員ノ報酬ハ市會ノ議決ヲ以テ之レヲ定ムトセシハ公平ト相當ヲ欲スレハナリ

人口取調書　明治二十二年十二月三十一日現在

人口　四萬〇九百六十一人

指令　二十三年五月一日

福井縣福井市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏　二十三年七月二十六日

福井縣坂井郡三國町ニ於テ常設委員ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第六十五條及第七十四條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙寫相添證テ上奏ス

（別紙）

委員設置之儀御許可禀請

本町會ニ於テ町村制第六十五條ニ據リ常設ノ委員設置ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請ス

二十五條ニ依リ御許可ヲ請フ

明治二十三年六月二十一日

內務大臣伯爵　西　鄉　從　道　殿

福井縣坂井郡三國町條例

第一條　本町會ニ於テ町村制第六十五條ニ據リ常設ノ委員設置ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ制第六十五條ニ依リ本町ニ左ノ如シ

第二條　土木委員ノ定員ヲ二名トシ本町內ノ公民中撰舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ撰舉ス

第三條　土木委員ノ任期ハ滿三箇年トス但滿期再選スルヲ得

第四條　土木委員ノ職務權限ヲ定ムル左ノ如シ

一　道路橋梁堤防溜池堰等ノ開鑿修築及改良保護ヲ圖ル事

第五條　土木委員ノ報酬幷職務ニ要スル實費ハ本町費ヲ以テ之ヲ支辨ス

第六條　土木委員ハ町長ノ指揮監督ニ屬シ職務ニ從事スルモノトス

土木常設委員條例設定ノ理由書

本町管理ニ屬スル耕地山林等隔絕ノ地ニシテ全町ニ利害ヲ感セサル一部ニ屬スルモノ多ク爲メニ耕作ニ必須ナル道路橋梁溜池堰等常ニ之ヲ保護シテ注意怠ラサラシムルニハ常設ノ委員ナカル可カラス素ヨリ本條例ノ常設委員ナルモノハ專ラ耕地ニ必要ナル土木設計工事及修繕等本條ニ明記シタル職務權限內ニ於テ意見ヲ陳述セシムルニアリ

指令　二十三年七年三十日

福井縣三國町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏　二十三年十二月十一日

福井縣敦賀郡敦賀町ニ於テ特別稅細則ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙寫相添證テ上奏ス

（別紙）

不動產所有權移轉稅徵收細則ニ係ル條例規定ノ儀ニ付禀請

本町會ニ於テ不動產所有權移轉稅徵收細則ニ係ル條例規定ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付町村制第百二十五條ニ依リ許可ヲ請フ

明治二十三年八月二十二日

內務大臣伯爵　西　鄉　從　道　殿

福井縣敦賀郡敦賀町長　山　本　傳　兵　衛

不動產所有權移轉稅徵收細則

第一條　本町內ニ於テ土地建物ヲ賣買讓與シタルトキハ不動產所有權移轉稅ヲ賦課ス

但家督相續ニ由ル所有權ノ移轉ハ本文讓與ニ包含セス

第二條　不動產所有權移轉稅ハ其賣買賃價ヲ標準トシ左ノ稅率ヲ以テ賦課ス但讓與ハ登記ノ價格ニ據ル

家屋賣買讓與價格百分ノ二

土地賣買讓與價格百分ノ一

第三條　不動產所有權移轉稅ハ新タニ所有權ヲ得タル者ヨリ徵收ス

第四條　新ニ土地建物ノ所有權ヲ得タルモノハ其登記ヲ終リタル日ヨリ五日以內ニ其所有權移轉ノ旨本町役場ヘ屆出第二條ノ不動產所有權移轉稅ヲ納付スヘシ

第五條　前條ノ屆書ニハ左ノ事項ヲ具載スヘシ

一賣買讓與ノ區別

二土地ニ就テハ其地錯字番地目反別地價建物ニ就テハ其所在地番搆造ノ種類棟數坪數間口奥行ノ間數造作ノ有無等

三賣買讓與ノ賃價或ハ登記ヲ受ケタル價格

四新舊所有者ノ住所氏名

第六條　買受人讓受人ニ於テ納稅ノ際町長若シクハ當該吏員ヨリ登記濟證書ノ閱覽ヲ求ムルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條　正當ノ理由ナクシテ第四條ノ屆出ヲ爲サス或ハ稅金減少ノ爲メ第五條第三ノ事項ヲ詐リタルモノハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ尙稅金ノ未納若クハ不定額ヲ徵收ス

理由

本町舊來ノ因襲ニ依リ不動產所有權移轉稅目ヲ設クルニ就テハ又從來不成文ノ徵收法ニ依リ徵收シタルモノニ非ラサルヲ以テ各町村舊ノ協議ニ任シ其撰一ニ出ラス故ニ今之ヲ特別稅成文ノ徵收方法ヲ定メ以テ納稅ノ義務ヲ明カナラシメサルヲ得ス是レ舊慣ヲ參酌シテ本徵收細則ノ條例ヲ設ケタル所以ナリ

指令二十三年十二月二十二日　石川縣鹿嶋郡七尾町町會ニ於テ助役ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

福井縣敦賀町條例設定ノ件ハ上奏ニ十二年五月二十三日十三日

內務省上奏二十二年五月二十三日　石川縣鹿嶋郡七尾町ヨリ助役ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ同町ハ人口一萬零二百五十三事務頗ル繁劇ナルヲ以テ助役ヲ二名トシ一名ヲ有給定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

石川縣鹿嶋郡七尾町條例ヲ設クルニ就テハ其所在地番搆造ノ種類棟數坪數間口奥行ノ間數造作ノ有無等ヲ以テ助役ヲ有給ト爲シ町長ノ職務ヲ稗補セシムルモノニ係リ相當ノ規

石川縣鹿嶋郡七尾町條例ヲ設クルニ就テハ又從來不成文ノ徵收法アリト雖モ元ト成法ニ依リ徵收シタルモノニ非ラサルヲ以テ助役ヲ有給ト爲シ町長ノ職務ヲ稗補セシムルモノニ係リ相當ノ規

石川縣鹿嶋郡七尾町町會ニ於テ助役ニ關スル條例別紙ノ通議決候ニ付御許可相成度候也

元石川縣鹿嶋郡七尾

府中町外二十三箇町

戶長　清水三省

明治二十二年五月十一日

條例第一號

制第五十六條ニヨリ本町ノ助役ハ有給吏員トス

條例組織ノ理由

本町ハ戶數二千六百九十戶有餘ニシテ從來國稅及地方稅ニ關スル營業者多數ヲ占メ而シテ今回編入相成タル元府中村外三箇村ノ耕地等反別十四町五反一畝步餘ニシテ其取扱ノ事務頗ル繁劇ナルコト言フヲ俟タス斯ノ如キ土地ノ情況ナルニヨリ町長ヲ名譽職トシ助役ヲシテ其職務ヲ補ハサレハ事務全フスル能ハス故ニ此規定ヲ設ケ以テ助役有給吏員ト爲サントスルニアリ

指令二十二年五月二十九日　石川縣鹿嶋郡七尾町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年五月二十三日　石川縣能美郡小松町ヨリ助役ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ同町ハ人口一萬二千餘ニシテ從來國稅及地方稅ニ關スル營業者多數ヲ占メ而シテ今回編入相

石川縣能美郡小松町ヨリ助役ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ同町ハ人口一萬二千餘地位北陸ノ國道ニ列リ人家稠密商工ヲ業トシ事務多端ナルヲ以テ助役ヲ二名トシ一名ヲ有給

千餘地位北陸ノ國道ニ列リ人家稠密專ラ商工ヲ業トシ事務多端ナルヲ以テ助役ヲ二名トシ一名ヲ有給名譽職ヲ上席トシ名譽職ヲ上席ト爲スモノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

石川縣能美郡小松町會議長

鈴木久榮

內務大臣伯爵　松方正義殿

明治二十二年五月一日

內務大臣伯爵　松方正義殿

小松町條例第一號

第一條　本町ハ制第五十二條但書ニヨリ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條　制第五十六條ニヨリ本町助役一名ヲ有給吏員トス

第三條　助役ノ席次ハ名譽職ノ者ヲ以テ上席トス

小松町條例制定ノ理由書

本會ニ於テ助役ニ關スル條例ヲ議決シ定員二名ヲ要スルノ理由ハ地位北陸ノ官道ニ列ナリ人家稠密人口モ一萬二千有餘アリテ專ラ工商ヲ以テ業トシ來ルカ爲メ事務ノ多端ナル現況ニ就テ鑑ミル所ナリ故ニ新制創設ニ方リ町長ノ處務ヲ補助シ或ハ分掌セシメ施政ノ周到ヲ得サシメントスルノ精神ナリ

石川縣能美郡小松町會議長

鈴木久榮

明治二十二年五月一日

內務大臣伯爵　松方正義殿

指令二十二年五月二十九日

石川縣能美郡小松町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年六月十一日

石川縣能美郡小松町ニ於テ町長ヲ有給ト爲ス件別紙之通條例ノ許可ヲ禀請セリ依テ審査候處該町ハ人

口一萬二千五百二戸數三千三百一人家稠密區域稍廣濶北陸道線ニ當リ一小都會ヲ爲ス土地ニシテ隨テ事務繁多ナルニ依リ專務職ヲ置キ一身ヲ之ニ委ネシメサレハ事務整理シ難キ情況ニ有之事實止ムヲ得サル儀ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書相添謹而上奏ス

本會ニ於テ町長ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年五月二十七日　元石川縣能美郡小松町

内務大臣伯爵　松方正義殿　小馬出町外三十箇町戸長畝員中代理元筆生　坂井諒一

小松町條例第二號

町長ハ制第五十六條ニヨリ有給トス

小松町條例規定ノ理由

本會ニ於テ條例ヲ規定シ制第五十六條ノ明文ヲ磨シ町長ハ有給吏員ヲ舉ルコトニ評決セリ其理由タルヤ本町ノ如キハ地位北陸ノ官道ニ列ナリ人家稠密人口モ一萬二千有餘人ニシテ毎戸工商ヲ以テ業トシ來レハ平常取扱フ事務ノ繁劇ナルハ既往ニ徵シテ鑑ル所ナリ然レハ町長其人ヲ擧ルモ一身ヲ之ニ委ネサレハ到底事務ヲ整理スル能ハサルヲ推測シタルニ由ル

指令二十二年六月十四日　石川縣能美郡小松町條例ヲ設ルノ件裁可セラル

内務省上奏ニ付テ徵収スル使用料手數料市稅其他市ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキハ市參事會ハ五日間ノ猶豫ヲ與ヘタル後之ヲ督促スヘシ

石川縣金澤市ニ於テ收入金督促ニ關スル件條例規定ノ儀別紙ノ通許可寡諸セリ依テ審査仕候處相當ノ規定ト被認候間御裁可被爲在度別紙決議書取添謹テ上奏ス

（別紙）

金澤市條例第四號

金澤市督促手數料

第一條　市制第百二條ニ依リ市ニ於テ徵収スル使用料手數料市稅其他市ノ收入ヲ定期内ニ納メサルトキハ市參事會ハ五日間ノ猶豫ヲ與ヘタル後之ヲ督促スヘシ

第二條　前條ノ督促ヲ受ケタル者ヨリ一回金二錢宛ノ手數料ヲ徵收ス

金澤市會ニ於テ督促手數料ニ關スル市條例ノ件別紙ノ通議定候ニ付市制第百二十二條ニヨリ許可ヲ乞フ

明治二十二年七月十日　石川縣金澤市參事會

内務大臣伯爵　松方正義殿　市長稻垣義方

大藏大臣伯爵　松方正義殿

指令二十二年九月六日

石川縣金澤市條例ヲ設ルノ件裁可セラレタリ

内務省上奏ニ付テ常設委員ノ組織及職務權限ニ關スル件條例規定ノ儀別紙寡諸ニ付審査仕候處市制第六十一條第七十三條ニ基キタルモノニシテ各相當ノ規定ト被認候間御裁可被爲在度別紙決議書相添謹テ上奏ス

石川縣金澤市ニ於テ常設委員ノ組織ニ關スル條例ノ件別紙之通議定候ニ付市制第百二十一條ニ依リ許可ヲ請フ

金澤市會ニ於テ常設委員職務權限ニ關スル市條例ノ件別紙之通リ議定候ニ付市制第百二十一條ニヨリ許可ヲ請フ

明治二十二年六月三十日　石川縣金澤市參事會

内務大臣伯爵　松方正義殿　市長稻垣義方

金澤市條例第二號

常設委員ノ組織

第一條　市制第六十一條ニ因リ市ニ常設委員ヲ置ク其人員ヲ十二名トス

第二條　委員ハ市參事會ヨリ二名市會議員ヨリ八名其他ハ市公民中撰舉權ヲ有スル者二名ヲ以テ之ヲ組織ス

但時宜ニヨリ市參事會ヨリ出ル委員ヲ缺クモ妨ナシ

第三條　常設委員ノ任期ハ四年トシ毎二年其半數ヲ改撰ス

但任期滿限ノ後ト雖モ後任者就職ノ日迄在職スルモノトス

第四條　市參事會員市會議員ヨリ出ル常設委員ハ任期中ト雖モ會員議員ヲ退職スルトキハ委員モ消滅スルモノトス

金澤市會ニ於テ常設委員職務權限ニ關スル市條例ノ件別紙之通リ議定候ニ付市制第百二十一條ニヨリ許可ヲ請フ

明治二十二年七月八日　石川縣金澤市參事會

内務大臣伯爵　松方正義殿　市長稻垣義方

金澤市條例第三號

常設委員職務權限

第一條　市制第七十三條ニ因リ常設委員ノ職務權限ハ左ノ各條ニ據ル

第二條　委員ハ市參事會ノ監督ニ屬シ教育衛生勸業土木ニ關スル市行政事務ノ一部ヲ分掌シ又營造物ヲ管理若クハ監督シ又ハ一時ノ委托ニ係ル事務ヲ處辨スルモノトス

第三條　委員ハ前條ノ事務ニ關シ委員長ニ請求シ委員長之ヲ是認スルトキハ市參事會ニ報告シテ開會スルモノトス

第四條　委員會ノ議決ニシテ費用又ハ處務ノ規模順序ニ關スル事ハ部下市參事會ノ議ニ附シ可決セシモノニ非レハ施行スルヲ得ス

指令二十二年九月十七日

石川縣金澤市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十二月二十六日

石川縣金澤市ニ於テ區町ニ關スル件條例規定ノ儀別紙稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

金澤市會ニ於テ區長及代理者任期ニ關スル市條例ノ件別紙ノ通裁可ヲ請フ

明治二十二年十一月二十九日　石川縣金澤市參事會市長　稻垣義方

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

金澤市條例第五號

區長代理者ノ任期

第一條　區長及代理者在職年期ハ二箇年トシ毎年期全數ヲ改選ス

但任期滿限ノ後ト雖モ後任者就職ノ日迄在職スルモノトス退職者ハ再選セラルルコトヲ得

第二條　補闕區長及代理者ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第三條　區域改正ニ因リ區數ニ異動ヲ生スルトキハ年期ニ不拘渾テ改選ス

但甲區域中ノ幾分ヲ乙區域ヘ組換ル如キハ改選ノ限リニアラス

石川縣金澤市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年二月一日

石川縣鹿島郡七尾町ニ於テ七尾區會ニ關スル件別紙ノ通町條例規定ノ儀許可稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

區會條例許可稟請

石川縣鹿島郡七尾町元七尾區會條例別紙ノ通發行致度候條許可ヲ請フ

明治二十二年十一月九日　石川縣鹿島郡長　加藤一鎭　二

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

第一條　石川縣鹿島郡七尾町元七尾區會條例（荒地、生金、學資、蓄金、共有土地等及營造物共同建物）ニ關スル事務ヲ處辨スルカ爲メニ設クルモノトス

第二條　區會ノ議員ハ本區內ノ選舉人其被選舉權アルモノヨリ之ヲ選舉ス其定員二十四人トス

第三條　選舉及被選舉權ヲ有スル者ハ本區內公民權ヲ有スル者ニ限ル其選舉權ヲ有スル者ハ町村制第七條第十二條被選舉權ヲ有スル者ハ同制第七條第十五條ノ規定ニ依ル其選舉及被選舉權ヲ有スル者ノ權利義務ニ關シテハ町村制ノ各條項ニ遵依スルモノトス

第四條　選舉人ハ分ツテ二級トス其級別ノ法ハ町村制第十三條ノ規定ニ依ル

第五條　議員ノ任期改選及補闕選舉ノ法ハ町村制第十六條第十七條ノ規定ニ依ル

第六條　議員選舉ヲ行フノ順序方法ハ町村制第十八條ヨリ第二十四條及第二十六條ヨリ第二十八條ノ例ヲ適用ス

第七條　議員選舉ノ效力ニ關スル訴願手續幷其處分ノ法ハ町村制第二十九條第三十條ノ例ニ依ル前項訴願ノ裁決ハ一ニ其町村會ニ任シ其他町村制第三十七條及第百二十條ノ規定ニ依ルモノトス

第八條　區會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一　營造物幷財產ニ關スル規則及維持方法ニ關スル事

二　營造物幷財產ニ關シ必要ノ吏員ヲ選舉スル事

三　區長及其代理者幷ニ共同事務ニ關シ必要アル毎ニ議長之ヲ招集ス其開會閉會及議決ニ關スル手續ハ町村制第四十二條第四十三條ヨリ第四十九條ノ例ヲ適用ス

第九條　第二項ニ依ル區會ハ會議ノ必要アル毎ニ議長之ヲ招集ス其開會閉會及議決ニ關スル手續ハ町村制第四十二條第四十三條ヨリ第四十九條ノ例ヲ適用ス

第十條　第十一條指令二十三年二月四日區ノ費用ハ區內住民ノ負擔トス

石川縣七尾町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年二月二十二日

石川縣金澤市ニ於テ市ノ一部ニ於テ所有スル財產ノ爲メ區會開設ノ件市條例トシテ規定ノ儀許可稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度別紙相添謹テ上奏ス

石川縣ヨリ內務省ヘ稟請二十二年十二月二十五日

本縣管下金澤市ニ於テ區會開設ノ必要有之候ニ付別紙條例ノ通施行致度理由書幷ニ關係人民ノ申立書及市會意見書寫相添市制第百十三條同第二十一條同第百二十七條ニ依リ許可ヲ請フ

金澤市條例

第一章　區會

第一節　共有金

第一條　本區會ハ左ノ事務ヲ整理シ維持スルカ爲メ設クルモノトス

第二條　共有金

第二節　共有建物

第三節　防火器具

第三條　本會ノ議員ハ二十四人トス

第四條　議長及代理者ノ選舉幷議員ノ選舉被選舉權選舉手續選舉等級及議員ノ職務權限其他關係アル條項ハ渾テ市制ヲ適用ス

區域町名表	
通	河原町　大工町
片町	廣阪

十三間町　十三間町中町
同三番町　同四番町　同立町　上柿木畠
下柿木畠　竪町　里見町　油車
新竪町三町目　中川除町　枝町　杉浦町
水溜町　鱗町　茨木町　山田屋小路一番町
同二番町　百姓町　早道町　新竪町一町目
同二町目　上川除町　川岸町　上主馬町
中主馬町　下主馬町　主馬町廣町　松本町
菊川町　梅ケ枝町　上本多町一番町　同二番町
上本多町川御亭　中本多町一番町　同二番町
同四番町　中本多町欠下町　同下町　短町
同二番町　同三番町　同五番町　同四番町
同六番町　上富山町　下富山町　川上新町一町目
同二町目　同三町目　臺所町一番町　同二番町
同三番町　同四番町　同五番町　同六番町
同七番町　長柄町　新長柄町　石浦新町
手木町　平野町　角場川岸町　中野町一番町
同二番町　同三番町　藤棚

區會開設ヲ要スル理由

金澤市竪町外七十四箇町ハ元戸長役場ノ所轄ニシテ數年以前ヨリ戸長役場費等連合支辨シ來レルヨリ自ラ一ノ連合體ヲナシ漸次財産等ヲ共有スルニ至レルナリ現今共有ノ金額七百七十四圓八十二錢七厘地所二十二筆建物四棟防火器具二百五十點ニシテ其物件ニ就テ云フトキハ敢テ放ラニ區會ノ開設ヲ必要トスル迄モナキカ如シト雖モ本年市制施行ニ際シ市會議員選舉ノ競爭非常ナリショリ爾後該區域人民ノ多數ト市會トノ間常ニ軋轢甚シク若シ該區域ノ共有物件ニ關スル事務ヲ市會ノ處置ニ任スルトキハ所謂利害ノ牴觸ヲ來シ云フ〳〵カラサル弊害ヲ釀生スヘキハ必然ニ付關係人民ノ希望及市會ノ意見モ同一ニ出テタルヲ以テ區會ノ開設ヲ必要トスル所以ナリ

指令二十三年二月二十八日

石川縣金澤市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年三月二十七日

石川縣能美郡小松町ニ於テ常設委員ニ關スル件條例トシテ規定ノ儀許可稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度別紙相添謹テ上奏ス

（別紙）

本會ニ於テ常設委員ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十五日　石川縣能美郡小松町長　澤口期一

內務大臣伯爵山縣有朋殿

小松町條例第三號

常設委員ノ組織及職務權限

第一章　組織

第一條　町村制第六十五條ニ依リ本町ニ常設委員ヲ置ク其定員ヲ二名トス

第二條　委員ハ町會議員ヨリ一名町公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ一名ヲ選舉スルモノトス

第三條　委員ノ任期ハ四年トシ每二年其半數ヲ改選ス第一回ニ年期ノ改選ハ抽籤法ヲ以テ退任者ヲ定ム任期滿限ノ後ト雖モ後任者就職ノ日マテ在職スルモノトス

但關員ヲ生シタルトキハ臨時補闕選舉ヲ行フモノトス

第四條　町會議員ヨリ出タル常設委員ハ議員ヲ退職スルトキハ委員モ共ニ消滅スルモノトス

第二章　職務權限

第五條　町村制第七十四條ニヨリ常設委員ノ職務權限ハ左ノ各項ニ據ル

第六條　委員ハ左ノ事務ヲ分掌スルモノトス

一　基本財產ノ管理事務

二　町有財產ノ管理事務

小松町常設委員條例規定ノ理由

本町ニ常設委員ヲ置クノ理由ハ基本財產等ノ管理上ニ於ケルカ如キ最モ重要ノ物件ヲ掌ラシメ事務ノ敏捷ヲ謀ランコトヲ企圖スルニ在リ

指令二十三年四月四日

石川縣小松町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年四月二日

石川縣金澤市條例市ノ一部ニ區會開設ノ件ハ本年二月二十八日御裁可濟三月一日及裁令候處尙該條例

ニ追加ノ義許可稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間是亦御裁可被爲在度別紙相添謹テ上奏ス

石川縣ヨリ內務省ヘ稟請二十三年三月二十二日

本縣管下金澤市ニ於テ區會開設ニ關スル條例竝ニ市制第百十三條同第百二十一條及同第百二十七條ニ依リ許可ヲ請フ

金澤市條例第　號

金澤市堅町外七十四箇町區會設置規定追加

本規程中第二條ヘ左ノ一項ヲ追加ス

第四　共有地所及器具

追加ヲ要スル理由

曩ニ規定許可ヲ得タル條例施行ニ際シ該條例記載ノ外尙從來共有ノ地所及器具アルヲ發顯シ之レカ處分ヲ要スルニ依ル

指令二十三年四月十五日

石川縣金澤市條例追加ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年五月十四日

石川縣凪至郡輪島町ニ於テ常設委員ニ關スル件町條例トシテ規定ノ儀別紙ノ通許可稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

石川縣凪至郡輪島町會ニ於テ常設委員組織職務權限ニ關スル條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年三月十五日　石川縣凪至郡輪島町長　二木六郎

內務大臣伯爵山縣有朋殿

輪島町條例

常設委員組織職務權限

第一條　本町ハ常設委員ヲ置ク其人員六名トス

第二條　常設委員ハ本町公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ選擧スルモノトス

第三條　常設委員ノ任期ハ四年トス

補闕員アリテ補充セシトキハ前任者在職ノ年月ヲ繼續スルモノトス

第四條　常設委員ニ於テ分掌スヘキ事務ノ要領左ノ如シ

一就學勸奬ニ關スル事項

一衛生ニ關スルコト（傳染病豫防ニ關スル事項ヲ除ク）

一水產業ノ改良ニ關スル事項

一道路橋梁修築ニ關スル事項

第五條　常設委員會ハ委員三分一ノ請求アルカ又町長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ開設スルモノトス

第六條　常設委員事務取扱ノ順序委員會議事ノ方法ハ町長ノ定ムル所ニ依ル

條例理由

本町ハ人口稠密ニシテ區域モ亦小狹ナラス人民職業ノ種類貧富ノ差極メテ多シ故ニ行政事務頗テ繁雜ナルコト言ヲ俟タス且ツ特ニ至難ナル事情各部ノ間圓滑ナラス或事情ニ遭遇スルトキハ忽チ敵意ヲ挾ム等ノコトアリテ施政ノ沮碍ヲ來タスコト勘カラサルナリ斯ノ如ク町情ニ應シ施政宜シキヲ得テ自治ノ目的ヲ全センコトハ少數ナル專務吏員ノ能ク爲シ得ルヘシヤ是レ則チ本町ニ常設委員ヲ設ケ專務吏員ノ不及ヲ補ハシムルニ於テ初メテ之ヲ全スルコトヲ得ヘシ已ニ常設委員ヲ置ク其員數及任期幷ニ選擧ノ方法ヲ一定セサレハ其組織全カラス爲メニ種々弊害ヲ生スルノ恐ナキ能ハス由テ別紙條例第一條ヨリ第三條マテノ如ク委員ノ組織ヲ規定セント欲ス又委員ノ權限ヲ明カニセサレハ其用全タカラサル已而ナラス會職權ヲ爭フ等ノ弊害ヲ生スルノ憂アリ故ニ分掌事項及其權限ハ別紙條例第四條ヨリ第五條マテノ如ク之ヲ規定セント欲スルニ是レ則チ常設委員ノ組織及職務權限ニ關シ本條例ヲ設ケントスル理由ノ大要ナリ

指令二十三年五月十七日

石川縣輪島町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年五月三十日

石川縣金澤市ニ於テ市長代理ニ關スル件市條例ヲ以テ規定ノ儀別紙稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

金澤市會ニ於テ市長代理順序ニ關スル條例別紙ノ通議定候ニ付市制第百二十一條ニ依リ許可ヲ請フ

明治二十三年四月二十一日　石川縣金澤市參事會

內務大臣伯爵山縣有朋殿　市長　稻垣義方

金澤市條例

市長代理順序及名譽職會員席次

第一條　市長故障アルトキハ助役之ヲ代理ス助役モ亦故障アルトキハ上席名譽職會員代理スルモノトス

第二條　名譽職會員ノ席次ハ該會員ノ互選ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

指令二十三年六月五日

石川縣金澤市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年九月二十二日

石川縣能美郡小松町ヨリ督促手數料ニ關スル條例別紙之通許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ同町ハ人口一萬二千有餘ニシテ納稅者多數有之收稅上至要ノ規定ト思考ス依テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添ヘ謹テ上奏ス

（別紙）

本會ニ於テ督促手數料ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年七月一日　石川縣能美郡小松町長　澤口期一

內務大臣伯爵　西鄕從道殿

小松町條例

督促手數料條例

第一條　町村制第百二條ニ依リ本町ニ於テ徵收スル使用料手數料町稅其他町ノ收入ヲ定期內ニ納メサルトキハ定期ヨリ七日間ノ猶豫ヲ與ヘ後之ヲ督促スヘシ

第二條　前條ノ督促ヲ受ケタル者ヨリ一回ニ付金三錢宛ノ手數料ヲ徵ス

小松町督促手數料條例規定ノ理由

本條例ヲ規定シタル理由ハ納入者ニシテ定期內ニ定メサルトキハ必ス之ヲ督促セサルヘカラス之レヲ督促スルニハ幾分ノ費用ヲ要ス故ニ怠納者ヨリ本條例ニ規定シアル手數料ヲ徵收シ町歲入トナシ其費ニ充ツルニ由ル

本會ニ於テ督促手數料新設別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年七月一日　石川縣能美郡小松町長　澤口期一

內務大臣伯爵　西鄕從道殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

督促手數料新設決議

本町ニ於テ徵收スル使用料手數料町稅其他町ノ收入ヲ定期內ニ收メサルトキハ定期ヨリ七日間ノ猶豫ヲ與ヘ後之ヲ督促ス其督促ヲ受ケタル者ヨリ一回ニ付金三錢宛ノ手數料ヲ徵收ス

小松町督促手數料決議理由

本決議ヲナシタル理由ハ納入者ニシテ定期內ニ收メサルトキハ必ス之ヲ督促セサルヘカラス之ヲ督促スルニハ幾分ノ費用ヲ要ス故ニ怠納者ヨリ本決議ノ手數料ヲ徵收シ町歲入トナシ其費ニ充ツルニ由ル

指令ニ十三年九月二十五日

石川縣小松町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏ニ十三年十月十五日

石川縣鹿島郡七尾町督促手數料ニ關スル條例ノ通別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年九月二十日　石川縣鹿島郡七尾町長　西尾與平

內務大臣伯爵　西鄕從道殿

第一條　町村制第百二條ニ依リ本町ニ於テ徵收スル使用料手數料町稅其他町ノ收入ヲ定期內ニ納メサル時ハ納期後直チニ町長ヨリ督促令狀ヲ發スヘシ督促令狀及加入金其他町ノ收入ヲ定期內ニ納メサル時ハ納期後直チニ町長ヨリ督促令狀ヲ發スルトキハ手數料トシテ一通ニ付金二錢ヲ徵收スヘシ

指令ニ十三年十月十一日

石川縣七尾町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏ニ十三年十二月十七日

石川縣金澤市市會議員三級選擧區域幷選出議員數ニ關スル條例別紙ノ通リ許可稟請ニ付審査候處當市ハ區域廣濶且ツ人口稠密選擧者五千三百餘人モ有之選擧上雜閙ノ恐ナキヲ得サルニ付相當ノ規定ト被認候間御裁可被爲在度別紙相添ヘ謹テ上奏ス

（別紙）

市條例許可稟請

金澤市會議員三級選擧區域幷議員員數別紙ノ通本市會ニ於テ決議セリ抑モ本市ハ土地廣濶人口稠密其三級選擧有權者ノ數ニ至ルモ實ニ五千三百三十五人ノ多キニ至リ隨テ區域地形ヲ異ニシ地形ニ依テハ民心ノ氣向亦各々別アリ從來官制上ニ於テ之ヲ見ルモ本市ヲ七區劃ニ分チ七人ノ戶長ヲ置カレタルノ慣例ニシテ殆ント民意ニ適合セシモノナレハ今同三級選擧ニ於ケルモ人民ノ便利ヲ量リ慣例ヲ改メスノ第一次ノ選擧ト同シク特ニ選擧區ヲ分チ決議候ニ付右決議ノ通施行致度制第百二十一條ニ據リ許可ヲ乞フ

金澤市參事會

石川縣金澤市長　稻垣義方

內務大臣伯爵　西鄕從道殿

金澤市條例第七號

金澤市會議員三級選擧區域及選出員數

第一條　金澤市會議員三級選擧ハ市制第十四條ニ基キ特ニ選擧區ヲ設クルモノトス

第二條　三級選擧區ノ數幷ニ其區域及各選擧區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ左表ノ通相定ム

金澤市會議員三級選擧區ノ數幷ニ其區域及選出員數表

選擧區名	選擧區域	選出議員數
第一選擧區	野町（自一町目至六町目）　泉町　泉新町　有松町　芦中町　石坂與力町　桃畠町　石坂角場（自一番町至十二番町）　上小柳町　下小柳町　本馬町　助九郎町　石坂町　千日町　裏千日町　西側町　五十人町　裏五十人町　南石坂町　北石坂町　石坂川岸町　北石坂新町　石坂川岸（自一ノ小路至二ノ小路）　白菊町　蛤坂町　蛤坂新道　泉寺町　長良町　野田寺町（自一町目至五町目）　上石伐町下	二人

石伐町　櫻島（自一番町至十番町）　仙人町　堀込町　櫻木（自一ノ小路至二ノ小路）　笹倉（自一ノ小路至二ノ小路）　笹ヶ町（自一ノ小路至三ノ小路）　六斗林（自一町目至三町目）　六斗林弓ノ町　地黄煎町

片町　廣坂通　河原町　大工町　十三間町　十三間町中町　池田町（自一番町至四番町）　池田町立町　茨木町　山田屋小路（自一番町至二番町）　上栃木畠　下栃木畠　堅町　里見町　油車　中川除町　枝町　杉浦町　水溜町　鱗町　百姓町　菊川町　早道町　上川除町　新堅町（自一番町至三町目）　川岸町　上主馬町　中主馬町　下主馬町　主馬町廣町　松本町　下本多町（自一番町至六番町）　上富山町　下富山町　川上新町（自一番町至三番町）　中野町（自一番町至三番町）　長柄町　臺所町（自一番町至七番町）　角場川岸町　藤棚平野町　新長柄町　石浦新町　午木町　上本多町（自一番町至四番町）　中本多町　梅ヶ枝町　上本多町（自一番町至二番町）　中本多町欠下町　中本多町短町　中本多町

第二選舉區

一　八人

下欠原町　上石引町　中石引町　下石引町　飛梅町　上廣匠町　中應匠町　出羽一番町　出羽四番町　出羽五番町　中安藤町　下安藤町　二十人町（自一番町至四番町）　一本松　上欠原町　中欠原町　大音町　上安藤町　上笠舞町　下笠舞町　新坂町　山崎町　白山町　河内町　上野町　小立野新町　上鶴間町　下鶴間町　元鶴間町　三所町　揚地町　上弓ノ町　中弓ノ町　下弓ノ町　土取場城端町　同永町　同鐘木町　松下町　與力町（自一番町至四番町）　上百々女木町　下百々女木町

第三選舉區

一　八人

十間町　西町薮ノ内通　西町（自一番町至四番町）　上近江町　下近江町　博勞町　尾張町　上新町　下新町　小尾谷町　賢坂辻通ノ　尻垂坂通（自一町目至三町目）　小將町（自一番町至三番町）　小將町中町　橋場町　主計町　殿町上今町　下今町　中町　大手町　梅本町　梅本町西横町　梅本町東横町　上胡桃町　下胡桃町

第四選舉區

二　八人

味噌藏町　味噌藏町下中町　同間ノ町　同裏町　同片原町　上中町　九人橋下通　備中町又五郎町　越中町　淺ノ川上川除町　横山町（自一番町至三番町）　材木町（自一町目至七町目）　八坂　成瀬町　九枚町　栃木町　森町（自一番町至三番町）　天神町（自一番町至四町目）　馬場崎町　御小人町　品川町　板前町　三十人町　吹屋町　田町　田町新道　火除町　川端町　銀杏町　櫻町（自一番町至六番町）　木曾町　裏小路　並木町　玄番町（自一番町至二番町）　玄番町三巡り並木下町

石浦町　南町　仙石町　堤町　青草町　袋町　石屋小路　桀町　松ヶ枝町　高岡町　同薮ノ內（番町至五番町）　同中薮ノ內　同下薮ノ內　長町河岸　宗叔町（自一番町至尾町）　玉川町　穴水町（自一番町至五番町）　長土塀通ノ　三摺勝　三社宮ノ後　同宮ノ前　三社川岸　三社山田町　三社垣根町　元菊町　古道一番町　古道二番町　古道　木揚場三社　上傳馬町　下傳馬町　裏傳馬町　古寺町　裏古寺町　鹽川町　犀川下川除町　大鍛冶小路　七曲り　三社弓ノ町　三寺町　本倉町　北長門町　長町（自一番町至八番町）

第五選舉區

二　八人

社五十人町（自一番町至三番町）　福富町　簡田町　焉馬町　高儀町　長土塀（自一番町至六番町）　古屋敷町　古屋敷内町　新川除町西御影町　寶船路町　古屋敷内町　茶ノ木町　西馬場町　下高儀町　谷町　富本町　竹田町　元車町　大豆田町　梅鉢清水　大豆田新町　南長門町

安江町　裏安江町（自一番町至二番町）　横安江町　五寶町　岩根町　鹽屋町　東堀川町　中堀川町　西堀川町　甎簀町　巴町　笠市町　堀川間ノ町　古餅指町　堀川角場町　淵上町　七ツ屋町　白銀町　七寶町　新通　弓ノ町　鍛冶片原町　玉井町　葵町　六枚町　木新保（自一番町至三番町）　芳齋町　荒町（自一町目至三町目）　此花町　大隅町　島田町　柳町　折違町　日吉町　醒ヶ井町　中橋　桶町　母衣町　彦三（自一番町至八番町）

第六選舉區

二　八人

町　深川町　長田町　長田弓ノ町自一番町至三番町　鍛冶町

第七選舉區			
五百三十一箇町	観音町自一町目至三町目　木町自一番町至四番町　上小川町　下小川町　愛宕町自一番町至四番町　八幡町　木綿町　卯辰下町　御歩町自一番町至五番町　末廣町　子來町　當町　高道町　高道新町　議議所町　山ノ上町自一町目至四町目　春日町自一町目至五町目　同心町　上大樋町　下大樋町　上田町　東御影町　常盤町　豊國町　卯辰高町　山下町　森下町　金屋町　裏金屋町　大衆免中通　大衆免二人　片原町　立川町　馬場自一番町至六番町　東馬場町　小橋町　水車町　淺野町　下淺野町　淺野新町　梅澤町　上中島町　下中島町　御仲間町　上牧町　中牧町　下牧町　平折町　大衆免龜淵町　大衆免七曲リ　同竪町　同横町　森山町自一番町至五番町	十二人

合計七選舉區

附則

第三條　本條例ハ今後選舉ヲ要スル時ヨリ實施スルモノトス但現任三級選出議員退任又ハ改選ニ際スルトキハ本人ノ選出セラレタル選舉區ヲ選出スルモノトス

指令二十三年十二月二十二日

石川縣金澤市市會議員選舉區域幷選出議員數ニ關スル市條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年六月八日

富山縣下新川郡魚津町ニ於テ助役ヲ有給ニセントシ之ニ關スル條例別紙ノ通リ許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ該町ハ縣下ノ一小都會ニシテ人口幾ント一萬三千ニ垂ントスレハ町務ノ頻繁ナル知ルヘクシテ有給ノ助役ヲ置キ專ラ職務ニ從事シ町長ヲ補佐セシムルノ必要アリテ相當ノ規定ト被存候條御裁可アラセラレ度右謹テ上奏ス

魚津町會ニ於テ町村制第五十六條ニ依リ助役ヲ有給吏員トスル條例ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年五月二十五日

內務大臣伯爵　松方正義殿

元富山縣下新川郡魚津大町外二十九箇町戸長　伊東祐良

條例第一號

魚津町ハ制第五十六條ニ依リ助役ヲ有給吏員トスヘキ町ニシテ戸數二千九百八十有餘人口一萬二千九百有餘アリ隨テ事務ノ頻繁ナルコト本町ハ郡中第一ノ都邑ニシテ戸數二千九百八十有餘人口一萬二千九百有餘アリ隨テ事務ノ頻繁ナルコト他町村ノ比ニアラサルナリ斯ク頻繁ナル町治ヲシテ單ニ名譽職ニ一任セハ處務ノ繁且雜ナルニ堪ヘサルヲ以テ畢竟其任ヲ全フスルヲ得サルモノアルヘシ故ニ助役ヲ有給吏員トシ專ラ其務ニ當リ町長ヲ輔佐セシメ以テ町民ノ安寧幸福ヲ增進シ而シテ其權義ヲ保護セシメントス是レ助役ヲ有給トナシタル所以ナリ

指令二十二年六月十一日

富山縣新川郡魚津町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年七月四日

別紙富山縣射水郡氷見町ニ於テ助役ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ土地廣濶人口一萬千餘ニ達スル市街ナルヲ以テ町務ノ繁劇ナル知ルヘシ助役ヲ有給トナシ專任セシムルヲ得サルヘク相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書寫相添謹テ上奏ス

明治二十二年五月二十七日

富山縣射水郡氷見町町會開設任候處當氷見町ハ二千六百餘戸ノ大町ニシテ事務ノ繁忙加之偶適任者ノ敢テ非サルト雖モ營業ノ爲メ專ラ公務ヲ執ル事得サルヨリ本町ノ助役一名ヲ置キ有給吏員ト可致事ニ議決仕候ニ付別紙條例第一號設定ノ義御許可被成下度奉願候以上

富山縣射水郡元氷見中町外六箇町戸長　百谷俤兵衛

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第一號

制令第五十六條ニ依リ本町ノ助役一名ヲ置キ有給吏員トス

理由書

今般制令第五十六條ニ依リ本町ノ助役一名ヲ置キ有給吏員トスル所以タルヤ當氷見町ハ土地廣濶人口一萬千百有餘人ノ多數ニシテ役場事務ノ繁劇ナルハ推テ知ル處ナリ然ルニ本町助役ノ任ニ適スルノ人物頗ル僅少ナリ尤モ其適任者タル人物ト雖モ制令第七條ノ權利ヲ有セス或ハ營業ノ爲メ專ラ公務ヲ執ル人物得ルコト難シ依テ該條例ヲ設定シ廣ク之レカ適任者ヲ聘用セントスル所以ナリ

指令二十二年七月六日

富山縣射水郡氷見町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

內務省上奏二十二年八月二十三日

富山縣富山市ヨリ條例第一號市吏員給料ニ關スル件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ第一號中市長以下俸給ノ額ハ何レモ其當ヲ得タルモノト被考第二號市長代理ノ件ハ不都合無之又第三號市稅徵收期限ハ現今民間ノ狀況ニ依リ之ヲ四期ニ分チテ徵收スルハ頗ル適切ノ方法ニ被認候條御裁可アラセラレ度右謹テ上奏ス

（別紙）

富山縣富山市ヨリ條例第一號市吏員給料ニ關スル件同第二號市長代理ニ關スル件同第三號市稅徵收期限ニ關スル件別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ第一號中市長以下俸給ノ額ハ何レモ其當ヲ得タルモノト被考第二號市長代理ノ件ハ不都合無之又第三號市稅徵收期限ハ現今民間ノ狀況ニ依リ之ヲ四期ニ分チテ徵收スルハ頗ル適切ノ方法ニ被認候條御裁可アラセラレ度右謹テ上奏ス

本市會ニ於テ市制第七十六條第四項ニ依リ有給吏員給料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月五日　　富山縣富山市參事會

內務大臣伯爵　松　方　正　義　殿　　富山市長　前　田　則　邦

條例第一號

本市有給吏員給料額ヲ定ムル左ノ如シ

一市長年給ハ金五百圓以上千圓迄トス

二助役年給ハ金三百圓以上六百迄トス

三收入役年給ハ金二百圓以上四百圓迄トス

四書記ノ月給ハ金七圓以上二十圓迄トス

五雇員以下月給ハ金四圓以上十圓迄トス

本市會ニ於テ市制第六十九條第三項ニヨリ市長代理ニ關スル件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月五日　　富山縣富山市參事會

內務大臣伯爵　松　方　正　義　殿　　富山市長　前　田　則　邦

條例第二號

市長故障アルトキハ助役之カ代理ヲ爲シ市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中年長者之カ代理ヲ爲スモノトス

本市會ニ於テ市稅徵收期限ニ關スル件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月五日　　富山縣富山市參事會

內務大臣伯爵　松　方　正　義　殿　　富山市長　前　田　則　邦

條例第三號

市稅徵收期限ハ年度ヲ四分シ三月六月九月十二月各二十五日限リトス

但其期日三十日前ニ徵收票ヲ發スルモノトス

指令二十二年八月二十八日

富山縣三富山市市條例ノ件裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月十二日

富山縣射水郡氷見町ニ於テ常設委員ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ適當ノ規定ニシテ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ常設委員ノ件別紙ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月二十三日　　富山縣射水郡氷見町長　南　部　治　作

內務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

富山縣射水郡氷見町條例第二號

常設委員條例

一町村制第六十五條及第七十四條ニ依リ常設委員ノ組織及職務權限ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一條　本町ニ常設委員ヲ置ク其人員十二名トス

第二條　常設委員ハ本町內公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ本町會ニ於テ選舉スルモノトス

第三條　委員ノ任期ハ二箇年トス

但關員ノ生シタルトキハ臨時補闕選舉ヲ行フモノトス

第四條　委員ノ分掌スル事務ノ概目左ノ如シ

一敎育事務

二衛生事務

三勸業事務

四土木事務

第五條　委員會ハ當然委員長ノ召集スヘキモノトス

常設委員設立理由

町村制第六十五條ニ依リ常設委員ヲ設クル理由ハ役場吏員一名擔任者相設クト雖モ我氷見町ノ如キハ人口稠密ナル箇所ニシテ一名ノ擔任ニテハ事務行屆カサルニヨリ今回町會ニ於テ別紙ノ如ク議決セシ所以ノモノナリ

指令二十二年十一月十五日

富山縣射水郡氷見町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十二年十一月二十一日

富山縣高岡市ニ於テ市長代理及督促手數料ニ關スル條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ第一號第二號トモ相當ノ規定ニシテ各條項不都合無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市制第六十九條ニ依リ市長代理ノ順序ニ係ル條例及市制第百二條ニ依リ市稅等徵收督促手數料ニ係ル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付御許可相成度此段上申候也

富山縣高岡市參事會

明治二十二年十月二日　　市長　奧　田　貞　濟

內務大臣伯爵　松　方　正　義　殿

富山縣高岡市條例第一號

市長代理ノ順序

第一條　市制第六十九條ニ依リ市參事會員ノ市長代理ノ順序ハ左ノ各條ニ據ル

第二條　市長故障アルトキハ上席市參事會員之ヲ代理スルモノトス

第三條　市參事會席次ハ互選ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

富山縣高岡市條例第二號

督促手數料

第一條　市制第百二條ニ依リ市ニ於テ徴収スル市税其他市ノ収入ヲ定期内ニ納メサルトキハ市參事會ハ五日間ノ猶豫ヲ與ヘタル後直ニ一回ノ督促狀ヲ發ス尚完納セサルモノハ成規ノ處分ヲナスモノトス

第二條　前條ノ督促狀ヲ受ケタルモノヨリ金二錢ノ手數料ヲ徴収ス

指令二十二年十一月二十二日可セラレタリ

富山縣高岡市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレ

内務省上奏二十二年十二月十三日

富山縣上新川郡滑川町ニ於テ町長ヲ有給トスルノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ該町ハ人口一萬有餘ニシテ町務繁劇ノ地ナレハ有給ノ町長ヲ置キ專ラ事務ニ服セシムルソ己ヲ得サルモノアリテ適當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

町條例許可禀請

本町會ニ於テ町長ヲ有給吏員トナスノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月十五日

富山縣上新川郡滑川町條例第二號

富山縣新上川郡滑川町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年二月四日

富山縣上新川郡滑川町ニ於テ督促手數料徴収ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

富山縣上新川郡滑川町長代理　助役　椎名謙二

一本町ハ制第五十六條ニ依リ町長ヲ有給吏員トナスノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

理由書

本町ハ人口一萬有餘ヲ有シ町務最モ繁劇ニシテ本業ノ餘暇ヲ以テ無給ニテ町長ノ職ヲ擔任シ能ク事ヲ辨處スヘキコト非ス故ニ本條例ヲ制定シテ町長ヲ有給吏員トシ諸般ノ事務整理スルヲ必要トス

指令二十二年十二月十七日

富山縣新上川郡滑川町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年二月四日

富山縣上新川郡滑川町ニ於テ督促手數料徴収ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ禀請セリ

仍テ審査スルニ適當ノ規定ニシテ不都合無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

町條例許可禀請

本町一切之収入金定期内ニ完納セサルモノニ付督促手數料徴収ノ件別紙之通會議ニ於テ議決候ニ付許可ヲ請フ

富山縣上新川郡滑川町長代理　助役　椎名謙二

明治二十二年十月十五日

富山縣上新川郡滑川町條例第三號

一制第百二條ニ依リ本町ニ於テ徴収スル其他本町ノ収入金ヲ定期内ニ完納セサル使用料手數料町税夫役ニ代フル金圓共有物使用料及ヒ加入金一徴収督促ヲ爲ストキハ町長ヨリ令狀ヲ發スルモノトス

條例第三號理由書

本町ニ於テ徴収スル使用料手數料町税夫役ニ代フル金圓共有物使用料及ヒ加入金期内ニ完納セサルモノヲ督促スルノ煩アルニ依リ制第百二條ニ基キ本條例ヲ制定シテ其督促ヲ受クル所ヲ有セサルモノニ負擔セシムルノ煩アルヲ至當ナリト認ムルニ由ル

指令二十三年二月八日

富山縣滑川町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年四月二日

富山縣富山市ニ於テ徴収期限ノ條例改正ノ件并公告式及施行期限ノ件區長及代理者任期ノ件ヲ議決シ之ニ關スルニ條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ徴収期限條例ノ改正ハ事實已ヲ得サルモノト被考其他條例ハ區長及代理者任期條例第五條ノ外ハ何レモ適當ノ規定ト被存候ニ付右第五條ヲ除キ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ本市徴収期限條例中別紙ノ通改正ノ儀議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十七日

富山市參事會

富山市長　前田則邦

富山縣有朋殿

富山縣上新川郡滑川町條例第三號

一制第百二條ニ依リ本町ニ於テ徴収スル其他本町ノ収入金ヲ定期内ニ完納セサル使用料手數料町税夫役ニ代フル金圓共有物使用料及ヒ加入金一徴収督促ヲ爲スト雖モ町長ヨリ令狀ヲ發スルモノトス

條例第三號理由書

本町ニ於テ徴収スル使用料手數料町税夫役ニ代フル金圓共有物使用料及ヒ加入金期内ニ完納セサルモノヲ督促スルノ煩アルニ依リ制第百二條ニ基キ本條例ヲ制定シテ其督促ヲ受クル所ヲ有セサルモノニ負擔セシムルノ煩アルヲ至當ナリト認ムルニ由ル

指令二十三年二月八日

富山縣滑川町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年四月二日

富山縣富山市ニ於テ徴収期限ノ條例改正ノ件并公告式及施行期限ノ件區長及代理者任期ノ件ヲ議決シ之ニ關スルニ條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ徴収期限條例ノ改正ハ事實已ヲ得サルモノト被考其他條例ハ區長及代理者任期條例第五條ノ外ハ何レモ適當ノ規定ト被存候ニ付右第五條ヲ除キ御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ本市徴収期限條例中別紙ノ通改正ノ儀議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十七日

富山市參事會

富山市長　前田則邦

富山縣有朋殿

明治二十三年二月十七日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

富山市條例第三號本文中各二十五日トアルヲ各三十日トシ但書中三十日前トアルヲ十日前ト改正ス

本市會ニ於テ公告式及期限條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十七日

富山市參事會

富山市長　前田則邦

富山縣有朋殿

明治二十三年二月十七日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

公告式及施行期限條例

第一條　市内ニ公告スヘキ事件ハ當市掲示場ニ掲示スルヲ以テ公告式トス

第二條　公告ノ事件ニシテ施行ヲ要スルモノハ發布後三日ヲ以テ周知期限トス

但特ニ執行期日ヲ定メタルモノハ此限ニアラス

本市會ニ於テ區長及代理者任期條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十七日
内務大臣伯爵　山縣有朋殿
富山市參事會
富山市長　前田則邦

第一條　區長及代理者任期條例
區長及代理者ノ任期ハ滿二箇年トス
第二條　區長及代理者滿期毎ニ改選スルモノトス
第三條　滿限退任ト定リタル者ト雖モ後任者就職ノ日ニ至ルマテ尚ホ在職ス可キモノトス
第四條　區長及代理者中闕員ヲ生スルトキハ市參事會ノ意見ニ依リ其補闕選擧ヲ行フ事アルヘシ
第五條　補闕員ノ任期ハ前任者ノ在職期ヲ併セ通算スルモノトス
指令二十三年五月二日
富山縣富山市條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ
内務省上奏二十三年四月十四日

富山縣富山市ニ於テ明治二十三年度第一期市稅徵收期限ニ關スル條例別紙之通リ議決候ニ付至提許可ヲ請フ
例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ何レモ適當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謎テ上奏ス
（別紙）
本市會ニ於テ明治二十三年度第一期市稅徵收期限ニ關スル條例
富山縣富山市參事會
富山市長　前田則邦

明治二十三年四月四日
内務大臣伯爵　山縣有朋殿
富山市參事會
富山市長　前田則邦

市稅徵收期限ノ儀ハ富山市條例第三號ヲ以テ規定アルモ二十三年度第一期ニ於ケル徵收ハ實際該條例
ニ據リ運ヒ難キ事情有之ニ付右徵收期限ヲ四月三十日トシ其十日前ニ徵稅票ヲ發スルモノトス
本市會ニ於テ督促條例別紙之通議決候ニ付至提許可ヲ請フ
理由書
明治二十三年四月四日
内務大臣伯爵　山縣有朋殿
富山縣富山市參事會
富山市長　前田則邦

明治二十三年度市稅第一期ニ限リ徵收期限ハ同年四月三十日限リトシ其十日以前徵稅票ヲ發スルモノトス
理由書
明治二十三年四月四日
内務大臣伯爵　山縣有朋殿
大藏大臣伯爵　松方正義殿

督促條例
第一條　市制第百二條ニ依リ收入スル金額ノ納期限ヲ過キ完納セサル者アルトキハ督促令狀ヲ發シ其手數料トシテ一通ニ付金二錢ヲ徵收スヘシ
第二條　滯納者督促令狀ヲ受ケタルヨリ五日以内ニ稅金完納セサルトキハ更ニ督促令狀ヲ發ス
第三條　滯納者第二回ノ督促令狀ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ稅金猶ホ完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ徵收スヘシ

第四條　市外ニ在住スル者ニ對シ督促令狀ヲ發スルトキハ第一條ニ規定セル手數料ノ外一里毎ニ金二錢ヲ增ス
但三里以外ハ其路程ニ關セス金八錢ヲ增ス
第五條　手數料ハ徵收金額ト同時ニ徵收スヘシ
理由書
市住民ノ免カル可ラサル義務タルヨリ分任ズヘキ市稅ノ徵收期限ヲ經過シ納稅セサル者ニ對シテハ直ニ國稅滯納處分法ニ依リ其所有財產取押等ノ手續ヲ爲サハ容易ニ之ヲ徵收シ得ヘキ事ナラント雖モ人事ノ多忙ヨリ或ハ納期ヲ遺忘シテ不知不識納稅セサルモノナキニアラス又或ハ不幸ノ災厄等ノ爲メ納期ヲ誤ルモノナキニアラス然ルニ是等ニ對シ一々其處分ヲ爲スハ稅務上實際利益ナキ而已ナラス市民ヲシテ大ニ不幸ニ陷ラシムルモノト云ハサル可ラス故ニ督促令狀ヲ發シ滯納者ノ注意ヲ喚起シ右不幸ナカラシメン爲メ茲ニ此督促條例ヲ設ケントスル所以ナリ
指令二十三年五月二日
富山縣富山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年五月十三日

富山縣下新川郡魚津町ニ於テ助役增員ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謎テ上奏ス
（別紙）
本町會ニ於テ町助役增員ニ關スル條例別紙ノ通リ改正ノ儀議決候ニ付許可ヲ請フ
明治二十三年五月一日
内務大臣伯爵　山縣有朋殿
富山縣下新川郡
魚津町長　五十嵐久造

魚津町條例
第一條　本町ハ制第五十二條但書ニヨリ助役ノ定員ヲ二名トス
第二條　制第五十六條ニヨリ本町ノ助役一名ヲ有給吏員トス
第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ上席トス
本町ハ從來有給助役一名ヲ置キ事務ヲ補佐整理セシムト雖モ爾來日ヲ加ヘ月ヲ重ヌルニ隨ヒ町務ノ頻繁ヲ告ケ今ヤ一名ニテハ到底充分ノ整頓ヲ見ル能ハサルニ付茲ニ增員ヲ要シ條例ヲ改正セントスルノ所以ナリ
指令二十三年五月十七日
富山縣魚津町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年五月二十一日

富山縣高岡市ニ於テ有給吏員退隱料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ適當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謎テ上奏ス

（別紙）

市條例許可願

本市會ニ於テ高岡市長其他有給吏員ノ退隱料ニ關スル條例別紙ノ通決議ス依テ御許可相願候也

明治二十三年四月二十三日　　内務大臣伯爵　山縣有朋殿

富山縣高岡市長　奥田貞濟

市條例許可願ニ對スル理由書

市長其他有給市吏員ノ退隱料ヲ規定セシ理由ハ職務ニ勉勵スルヲ得サルヲ以テ退隱ノ後生計ヲ補助スルノ義務ヲ起シ且吏員ニ於テモ亦市費負擔ノ篤キヨリ進テ職ニ就キ他願ノ念ヲ生セシメサルヲ理由ノ要領トス

明治二十三年四月　　富山縣高岡市條例第　號

退隱料條例

第一條　市長助役收入役ノ退隱料左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス

一　在職十二年以上　　年俸三分ノ一

二　在職十八年以上　　年俸七分ノ三

三　在職六年以上ニシテ老衰職ニ堪ヘサルニ至リシ者　　年俸五分ノ一

第二條　市書記ノ退隱料左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス

一　在職十五年以上　　月俸四箇月分

二　在職二十年以上　　月俸五箇月分

三　在職十年以上ニシテ老衰職ニ堪ヘサルニ至リシ者　　月俸二箇月分

第三條　在職中其職務執掌ノ爲ニ重傷ヲ負ヒ又ハ疾病ニ罹リ不治ノ症トナリ退職シタルモノハ未タ退隱料ヲ受クルノ年期ニ至ラスト雖モ市會ノ決議ニ依リ扶助料トシテ退隱料二年以上五年以下ノ額ヲ一時ニ支給ス若シ死亡シタルトキハ市會ノ決議ニ依リ第一條第二條ノ例ニ準シ之ヲ支給ス

第四條　市書記在職十年以上ニシテ死亡又ハ退職シタルトキハ月俸三箇月分

本條ノ場合ニ當ル退隱料ハ一時ニ支給スルモノトス

第五條　第一條第二條ノ退隱料ハ毎年九月翌年三月ノ二期ニ別テ給與シ第三條第四條ノ退隱料ハ退隱ノトキニ給與スルモノトス

但半年ニ滿タサル者ハ月割ヲ以テ算ス

第六條　懲戒處分ニ依リ若シクハ刑法上ノ犯罪ニヨリ其職ヲ罷免セラレタル者ニハ退隱料ヲ支給セサルモノトス

第七條　在職中ノ過失其退隱後發覺シ而シテ其過失若シ在職中ニ發覺セハ當時其職ヲ失フヘキモノナルト時ハ其發覺ノ日ヨリ退隱料支給ヲ止ム

指令　二十三年六月二日

富山縣高岡市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏　二十三年五月二十四日

富山縣婦負郡町村組合ニ於テ常設委員設置ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

富山縣高岡市條例ノ件上奏ノ通許可セラル

内務省上奏　二十三年五月二十三日

富山縣高岡市ニ於テ有給吏員給料額ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

市條例許可願

本市會ニ於テ高岡市有給吏員給料額ニ關スル條例別紙ノ通決議ス仍テ御許可相願候也

明治二十三年三月二十日　　内務大臣伯爵　山縣有朋殿

富山縣高岡市長　奥田貞濟

市條例許可願ニ對スル理由書

當市有給吏員給料額條例ヲ規定セシ理由ハ市内人口戸數及事務ノ繁閑ヲ酌量シ其程度ノ宜シキヲ計リ將來吏員進退ノ都度其範圍内ニ於テ市會ノ議決ヲ以テ之レヲ定メ認可ヲ受ケ猶ヲ規定ヲ設ケ置而シテ要領トス

明治二十三年三月二十日　　富山縣高岡市條例第　號

有給吏員給料額條例

市制第七十六條ニ依リ本市有給吏員給料額ヲ定ムル左表ノ如シ

役名＼等別	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等
市長	年俸八百圓	七百圓	六百圓	五百圓	四百圓	三百圓	二百圓	百圓		
助役	年俸四百圓	三百圓	二百圓	百圓						
收入役	年俸三百圓	二百圓	百圓							
書記	月俸二十五圓	二十圓	十七圓	十五圓	十三圓	十二圓	十一圓	十圓	九圓	八圓
附屬員	給日三十錢	二十五錢	二十二錢	二十錢	十七錢	十五錢	十三錢	十二錢	十一錢	十錢

指令　二十三年六月二日

富山縣高岡市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏　二十三年五月二十四日

富山縣婦負郡町村組合ニ於テ常設委員設置ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）
富山縣婦負郡町村組合會ニ於テ常設委員ヲ置クノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
明治二十三年五月十二日　富山縣婦負郡長　原　弘　三
内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

富山縣婦負郡町村組合條例第號
常設委員條例

第一條　本町村組合ハ町村制第六十五條第七十四條ニ依リ常設委員八名ヲ置ク
第二條　常設委員ハ本會議員中ヨリ之ヲ互選シ其任期ハ三箇年トシ議員半數改選毎ニ之ヲ改選ス
但初度ノ改選ハ三年ノ任期ヲ要セス最モ本組合會議員ノ資格ヲ失シタルトキハ委員ノ資格モ共ニ消滅スルモノトス
第三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ
第二章　職務權限
第四條　委員ハ本組合土木ニ關スル左ノ事務ヲ分掌ス
一道路橋梁ノ改修又ハ修繕ノ取調ヲナスコト
一道路橋梁ノ工事ヲ監督スル事
一分掌ニ係ル事業ノ議案下調ヲナスコト
理由書
本組合ノ事務ハ組合規定ニ依リ郡長之ヲ管理スト雖モ更ニ常設委員ヲ設ケ其事務ノ一部ヲ分掌シ以テ施政ノ便ヲ得ント欲スルニアリ
第二條　指令二十三年六月二日
委員ノ任期ハ四年トス但關員ノ生シタル時ハ臨時補闕選舉ヲ行フモノトス
第三條　委員會ヲ開キ左ノ事項ヲ審査若クハ評決ス

富山縣婦負郡町村組合會議員ノ任期ヲ要セス最モ本組合會議員ノ資格ヲ失シタルトキハ委員ノ資格モ共ニ消滅スルモノトス
第三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ
第二章　職務權限
第四條　委員ハ本組合土木ニ關スル左ノ事務ヲ分掌ス
一道路橋梁ノ改修又ハ修繕ノ取調ヲナスコト
一道路橋梁ノ工事ヲ監督スル事
一分掌ニ係ル事業ノ議案下調ヲナスコト
理由書
本組合ノ事務ハ組合規定ニ依リ郡長之ヲ管理スト雖モ更ニ常設委員ヲ設ケ其事務ノ一部ヲ分掌シ以テ施政ノ便ヲ得ント欲スルニアリ
第二條　指令二十三年六月二日
委員ノ任期ハ四年トス但關員ノ生シタル時ハ臨時補闕選舉ヲ行フモノトス
第三條　委員會ヲ開キ左ノ事項ヲ審査若クハ評決ス

（別紙）
町條例許可願
本町々會ニ於テ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通リ決議ス因テ許可相願候也
明治二十三年四月二十四日　富山縣射水郡新湊町長　菅　谷　二　平
内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

富山縣射水郡新湊町條例
常設委員條例

一町村制第六十六條及第七十四條ニ依リ新湊町常設委員ノ組織及職務權限ヲ定ムルコト左ノ如シ
第一條　本町常設委員ノ定員ヲ七名トス
第二條　委員ノ任期ハ四年トス但關員ノ生シタル時ハ臨時補闕選舉ヲ行フモノトス
委員ハ第四條ノ實務取扱ノ外委員會ヲ開キ左ノ事項ヲ審査若クハ評決ス

第一項　町會ニ附セラルヘキ委任ニ關スル議案下調ノ事
第二項　委任事項ノ報告及決算報告下調ノ事
第四條　委員ノ分掌スル事務ノ概目左ノ如シ
一學齡兒童ノ就學セサルモノ督勵ノコト
一種痘ノ普及流行病豫防ニ注意ノコト
一鹿非掃除溝河浚渫監督ノコト
一道路橋梁堤防波除建築修繕工事監督ノコト
一町有財産管理ノコト
第五條　委員會ハ毎月會日ヲ定メ或ハ委員長ノ召集ニヨリ開會スルモノトス
常設委員條例理由書
本町常設委員ヲ設置センストスルモノハ單ニ行政ノ補助トシテ專ラ事務ヲ分掌セシメントスルニアラス
シテ施政ノ圓滑ト參政ノ希望ヲ發動セシメ以テ自治ヲ完全ニ進行セシメントスルニアリ故ニ之レカ組
織ノ如キハ公平ヲ主トシ行政機關代議機關町公民ノ三者ヲ以テセントスルニアリ是レ本條例ヲ編製シ
タル理由ナリ
指令二十三年六月二日

富山縣新湊町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年七月三十一日
富山縣射水郡新湊町ニ於テ督促手數料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査
スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）
條例許可願
本町町會ニ於テ納稅督促ニ關スル條例別紙ノ通決議ス因テ許可相願候也
明治二十三年七月一日　富山縣射水郡新湊町長　菅　谷　二　平
内務大臣伯爵　西　鄉　從　道　殿
大藏大臣伯爵　松　方　正　義　殿

富山縣射水郡新湊町條例

第一條　町村制第百二條ニヨリ本町ノ徵收スルモノトス
第二條　納稅ノ期日ヲ過キテ完納セサルトキハ之ヲ督促シ猶怠納スルトキハ怠納處分法ヲ以テス
ヲ受ケ猶怠納スルトキハ怠納處分法ヲ以テス
第三條　督促手數料ハ一回毎ニ金二錢ヲ徵收ス
第四條　督促ヲ爲ストキハ町長ヨリ令狀ヲ發スヘキモノトス
第五條　本條例ハ明治二十三年十月一日ヨリ施行スルモノトス

督促條例理由書
第一條　町村制第百二條ニヨリ本町ノ徵收スル諸收入ノ怠納者アリタルトキハ左ノ規定ニ依テ督促ス
ルモノトス

夫レ納税義務ハ居住ト同時ニ起ルモノニシテ町村住民ハ何レモ之カ負擔ヲ免カルルコトナシ然ルニ往往納税ヲ怠慢スルモノアリ怠慢スルモノアルトキハ必ス督促セサルヲ得サルナリ督促セスシテ怠納處分ヲ施行スルコト能ハサレハナリ而シテ督促ノ事タルヤ事務中一層ノ煩雑ヲ來タスモノナレハ特ニ手數料ノ規定ニ依リ怠納者ヨリ之レカ料金ヲ徴収スヘキハ當然ニシテ他ノ無關係ノ者ニ負擔セシムヘカラサルモノナラン是レ本條例ヲ設ケタル理由ナリ

指令二十三年八月五日

富山縣新湊町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年九月四日

富山縣下新川郡魚津町ニ於テ常設委員ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ不都合之廉無之ト被存候條御裁可被爲在度此段上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ制第六十五條ニ依リ常設土木財産委員條例別紙ノ通リ議定候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年八月十一日　富山縣下新川郡　魚津町長　五十嵐久造

内務大臣伯爵　西郷従道　殿

常設土木財産委員條例

第一條　本町ニハ制第六十五條ニ因リ常設土木及財産委員ヲ置ク

第二條　常設土木及財産委員ノ定員ハ各三名トシ公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ選舉ス

第三條　常設土木及財産委員ノ任期ハ二箇年トス

第四條　委員中闕員ヲ生シタルトキハ臨時補闕選舉ヲ行フモノトス

第五條　常設土木委員ハ土木財産ニ係ル行政事務ヲ分掌スルモノトス

第六條　町會ノ議決ニ從ヒ土木事務ヲ施行スルノ外

一　翌年度ニ於テ施行スヘキ土木事務及ヒ其經費ヲ調査シ議案編製ノ下調ヲナス事

二　臨時急施ヲ要スル土木事務起生シタルトキハ其施行スヘキ事務及經費ヲ調査シ議案編製ノ下調ヲナス事

三　前年度ニ於テ施行セシ土木事務ニ關スル報告書ノ下調ヲナス事

四　臨時或ハ非常ノ場合ニ於テ相當ノ救護ヲナス事

第七條　常設財産委員ノ職務概目左ノ如シ

一　町有財産ニ關スル町會ノ議決ヲ執行スル事

二　町有財産ヲ管理スル事

三　町有財産維持ノ爲メ要スル經費其他議案ノ材料ヲ調査スル事

四　町有財産明細表ヲ調製スル事

第八條　常設土木財産委員ニハ報酬ヲ給與スヘキ事務及經費ヲ調査シ議案編製ノ下調

本町ハ僅ニ人戸三千餘土地ハ七十七町歩ニ過キスト雖モ其地區中ニハ數流ノ疏水アリ或ハ田圃アリ或

ハ營造物アル而已ナラス市街ハ海岸ニ近接シ毎ニ其事務多端ナリ將タ町有財産ニ於テモ其員數ノ寡少ナルモ事務ノ運行ニハ妨ケナキカ如シト雖モ其内幕ニ入ツテハ種々雑多ノ事務アリ加フルニ本町ハ縣下二三市ニ亞ク輻湊ノ地ニシテ町務ノ繁劇ハ一樣小町村ノ比ニアラス然ルニ夫是ヲ一括ニ行施セントスルニ於テハ到底完美ノ局ヲ舉クル能ハサルニ付町務中土木財産ニ係ル件ハ委員ニ一任シ一ハ以テ町費ヲ省キ一ハ以テ精査完成ヲ瞹ラントシ茲ニ條例ヲ設ケントスルノ所以ナリ

本村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付認可ヲ請フ

明治二十三年八月十二日　富山縣下新川郡經田村　村長　濱田次郎

内務大臣伯爵　西郷従道　殿

委員條例

第一條　本村ニ於テ六名ノ常設委員ヲ置ク

第二條　常設委員ハ本村公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ村會之ヲ選舉ス

第三條　常設委員ノ任期ハ滿二箇年トス但年ニ係ル行政事務ヲ分掌セシム

第四條　常設委員ハ本村内土木ニ係ル行政事務ヲ分掌セシム

第五條　常設委員職務及權限ノ概目左ノ如シ

第一　村會ノ議決ニヨリ分掌事務ヲ施行スル事

第二　翌年度ニ施行スヘキ土木事務幷其費額ノ取調及臨時急施ヲ要スルトキハ夫ニ對スル議案ノ下調ヲ爲ス事

第三　前年ニ於テ實行シタル事件ヲ議會エ報告ノ下調ヲ爲ス事

第六條　常設委員ニハ報酬及實費辨償額ヲ支給ス

理由

夫レ村長ノ任タルヤ重シ村内ヲ統轄シ其行政事務ヲ分任シ其事業ヲ分掌セシムルノ必要ヲ感セシ所以ナリラサルナリ即チ常設委員ヲ置キ村内行政事務ヲ分任シ其事業ヲ分掌セシムルノ必要ヲ感セシ所以ナリ茲ニ於テ町村制第六十五條ニヨリ本村ニ常設委員ヲ置キ本村行政事務中土木ニ係ル事務ヲ分掌セシメ以テ本村專務吏員ノ短處ヲ補助セシメントス而シテ常設委員ハ常時其事務ヲ分掌スト雖モ臨機常設委員會議ノ必要アルニ方リテハ合テ一體トナリ町村制ニヨリ會議ノ方法ヲ用ユルモノトス

指令二十三年九月十日

富山縣魚津町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年十一月六日

富山縣上新川婦負兩郡町村組合會ニ於テ常設委員設置ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可被爲在度此段上奏ス

（別紙）

組合條例許可ノ儀ニ付上請

本組合會ニ於テ町村制第六十五條及第七十四條ニ依リ上新川兩郡町村組合公立新婦病院ニ係ル常設委

員組織幷職務權限ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年十月二十一日　内務大臣伯爵　西　郷　従　道　殿

富山縣上新川縣負兩郡町村組合事務管理
富山縣上新川縣負兩郡町村組合條例

第一章　委員組合幷任期

第一條　本町村組合ハ制第六十五條及第七十四條ニ依リ常設委員ヲ置ク

第二條　常設委員ノ定員ヲ十名トシ本會議員中ヨリ之ヲ互選ス

第三條　常設委員ノ任期ハ六箇年トス　但シ組合會議員ノ資格ヲ失スルトキハ委員長ニ充ツ

第四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二章　委員職務權限

第五條　常設委員ハ病院ニ關スル事業ヲ分掌ス其職務權限ノ概目左ノ如シ

第一　藥品購入ノコト　但シ一回金高五十圓以上ニ係ル協合ニ限ルモノトス

第二　金高十圓以上ノ諸器械物品ヲ購入又ハ修補スルコト

第三　組合會ノ議決ニ係ル病院ノ事業及事務ノ監督ヲ補助スルコト

第四　貧窮患者救療ニ關スルコト

第五　病院諸職員任用ニ付管理者ヨリ諮問スルトキハ意見ヲ提供スルコト

第六　内外患者ノ便否ヲ視察シ意見アルトキハ之ヲ管理者ニ提供スルコト

第七　病院處務規則ニ依リ毎月院長ニ於テ管理者ノ裁決ヲ請フコトアルトキハ意見ヲ提供スルコト

第八　院長掌管外ノ事件ニシテ管理者ノ議案下調ヲナスヘシ

第六條　常設委員設置ニ係ル理由書ハ擔任ニ係ル事業ノ議案ト共ニ常設委員ヨリ諮問スルトキハ意見ヲ提供スルコト

第七條　委員ニ故障アルトキハ之ヲ管理者ニ提供スルコト

第八條　委員ニ故障アルトキハ之ヲ管理者ニ提供スルコト

第三章　委員會

第九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第五十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第六十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第七十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第八十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第九十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百二十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百三十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百四十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百五十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百六十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百七十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百八十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第百九十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百二十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百三十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百四十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百五十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百六十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百七十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百八十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第二百九十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百二十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百三十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百四十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百五十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百六十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百七十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百八十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第三百九十九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百八條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百九條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十一條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十二條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十三條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十四條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十五條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十六條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十七條　委員會ハ本組合管理者ヲ以テ委員長ニ充ツ

第四百十八條　委員會ハ本組合管理

條例第　號

公告式及施行期限條例

第一條　公告スヘキ事件ハ本市掲示場（立川町一町目湯所町敷戸町二階町四町目西町）ニ掲示スルヲ以テ公告式トス

第二條　前條公告ハ掲示後七日ヲ以テ周知期限ト定ム

但特ニ實施ノ日ヲ定メタルモノハ本條ノ限リニアラス

（理由）本例掲示スルヲ以テ公告式ト定ムルモノハ一般ノ法令施行期限ト權衡ヲ得セシメンカ爲メニシテヲ以テナリ又施行期限ヲ七日ト定メタルモノハ之ヲ從來ノ實蹟ニ徴スルニ最モ便且ツ益アルヲ認ムルト雖モ事件ノ緩急ニ依リ實行ノ便ヲ計ラントスルニ在リ其特ニ施行ノ日ヲ掲ケタルモノヲ例外トセシハ事件ノ緩急ニ依リ實行ノ便ヲ計ラントスルニ在リ本市會ニ於テ代理順序條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年三月十日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

鳥取縣鳥取市參事會

市長　岡崎平内

條例第　號

代理順序條例

第一條　市長故障アルトキハ助役其事務ヲ代理ス

第二條　市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中年長者其事務ヲ代理ス

（理由）本例市長代理ノ順序ヲ規定スルモノハ制第六十九條第三項ニ據ル指令二十三年五月二日

鳥取縣鳥取市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月十五日

鳥取縣鳥取市ニ於テ今般俸給條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度此段謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ俸給條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

鳥取縣鳥取市參事會

市長　田崎平内

明治二十三年三月十日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第　號

俸給條例

第一條　市長助役收入役ノ俸給ハ年俸トス

第二條　市會記及傭ノ俸給ハ月俸トシ其額ハ別表ニ依リ市參事會適宜之ヲ定ム

第三條　臨時傭及給仕使丁給ハ月給日給ニ區別シ市參事會適宜之ヲ定ム

第四條　本制中俸給支給規則ハ別ニ之ヲ定ムヘシ

別表

市會記

一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等
上二十五圓 下二十二圓	二十圓	十八圓	十六圓	十四圓	十二圓	十圓	九圓	八圓	七圓

傭

一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級
六圓	五圓五十錢	五圓	四圓五十錢	四圓	三圓五十錢	三圓	二圓五十錢

（理由）本例ハ制第七十六條末項ニ依リ規定スルモノニシテ吏員俸給ノ標的ヲ設クルニ在リ指令二十三年五月一日

鳥取縣鳥取市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月十六日

鳥取縣鳥取市ニ於テ今般督促手數料ニ關スル條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ徴收督促條例別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

鳥取縣鳥取市參事會

市長　岡崎平内

明治二十三年三月十日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第　號

徴收督促條例

第一條　本市ニ於テ徴收スル諸收入ヲ定期内ニ納メサルモノアルトキハ制第百二條ニヨリ左ノ規定ニ從ヒ手數料ヲ徴收ス

一　納期後十五日以内ニ一回督促シ尚完納セサルトキハ凡テ國稅滯納處分法ニ依ル

二　再督促ヲ受ケ尚完納セサルトキハ第一回ニ金一錢第二回ニ金二錢ノ手數料ヲ徴ス

三　督促ヲ受ケタルモノニシテ一回督促ヲ受ケタルトキモ亦タ同シ

第二條　他町村居住ノモノニシテ一回督促ヲ受ケタルトキハ前條手數料ノ外一里毎ニ金四錢ノ增手數料ヲ徴ス再督促ヲ受ケタルトキモ亦タ同シ

但一里以内ノ端數ハ總テ一里ニ算ス

第三條　督促ヲ爲ストキハ市參事會ヨリ令狀及手數料徴收切符ヲ交付スルモノトス

第四條　手數料ハ徵收金ト同時ニ納メシムヘシ
（理由本例ハ制第百二條ニヨリ規定スルモノニシテ滯納者アルトキハ其督促ノ爲メ要スル所ノ手數料ヲ徵收セシムルニ在リ）
指令二十三年五月一日

鳥取縣鳥取市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
內務省上奏二十三年三月四日

島根縣松江市ヨリ別紙ノ通公告式及督促手數料ニ關スル條例ノ件別紙市會決議書寫相添證テ上奏ス
當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙
（別紙）
本市會ニ於テ公告式及施行期限ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ
明治二十三年九月七日　島根縣松江市長　福岡　世德

內務大臣伯爵　松方　正義　殿

第一號　公告式及施行期限條例

第一條　市內ニ公告スヘキ事件ハ當市揭示場ニ揭示スヘシ

第二條　公告ノ事件ニシテ施行ヲ要スルモノハ其期限ヲ揭示後七日ト定ム
但特ニ施行ノ日ヲ定メタルモノハ本條ノ限ニ在ラス
理由
市內ニ公告スヘキ事件ハ制第十條ニヨリ地方慣行ノ式ニ從テ公告スヘシト雖モ從來ノ方法一定セス多クハ揭示場ニ揭示スルヲ常トス然レトモ或ル場合ニ於テハ特ニ隣家ヘ順送スルアリ又或ハ揭示後更ニ關係人民ヲ招集シテ口示スルノ類アルニヨリ之ヲ一定セサレハ實施ニ際シテ不都合ヲ來スノ恐アルヲ以テ其多ク行ハレタル方法ヲ採リテ定式トセントス
施行期限ヲ揭示後七日トスルハ本縣令施行期限ニ準シ之ヲ定メタルモノナリ
本市會ニ於テ徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
明治二十二年九月七日　島根縣松江市長　福岡　世德

內務大臣伯爵　松方　正義　殿
大藏大臣伯爵　松方　正義　殿

第二號　徵收督促條例

第一條　市制第百二條ニヨリ本市諸般ノ收入ヲ定期內ニ納メサル爲メ市參事會ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ左ノ規定ニ依テ督促及ヒ處分スルヲ得
一納期後十五日以內ニ一回之ヲ督促シ尙完納セサルトキハ再ヒ之ヲ督促ス

二再督促ヲ受ケテ尙完納セサルトキハ國稅滯納處分ノ例ニ依ル

第二條　再督促ヲ受ケタルモノハ手數料金一錢ヲ納ムヘシ
但手數料ハ徵收金額ニ超過スルヲ得ス

第三條　本市役所ヨリ一里以外ノ地ニ在リ督促ヲ受ケタルモノハ前條手數料ノ外里程一里毎ニ金二錢ノ增手數料ヲ納ムヘシ

第四條　手數料ハ徵收金ト同時ニ納ムヘシ

第五條　督促ヲ爲ストキハ市參事會ヨリ令狀ヲ發スルモノトス
理由
本條例ハ專ラ地方ノ慣習納稅義務ヲ履行セサル者多ク直テニ滯納處分ヲ執行スルハ得失相償ハサルヲ以テ其弊ヲ矯正スルノ目的ヨリ設定シタルモノトス從來本地方納稅ノ實況ヲ舉ルニ國稅地方稅町村費ノ三者ヲ同時ニ徵收スルニ當リ一時完納スルノ難キハ地方稅ヲ納メス町費ニ至リテハ數回之ヲ督促シ遂ニ公賣處分ヲ決行セントスルニ及テ始テ納ムルカ如キハ僅ニ上流ノ幾人ヲ除クノ外皆然ラサルハナシ故ニ納額寡少ナル納稅者ニ在テハ督促ニ要スル費用ノ往々徵收金額ニ超過スルモノアリ甚シキニ至テハ督促ヲ受ケサルノ前ニ於テ納稅者ノ過半ハ皆滯納者ニシテ到底實行スル能ハサルノ恐アルヲ以テ此處分法ヲ設クルノ止ムヲ得サルニヨル

督促度數ヲ一回ニ止メス二回トナシタルハ成ルヘク滯納處分ノ煩雜ナル手數ヲ省キ徵稅費用ノ增嵩ヲ避ケンカ爲メニアリ然レトモ既ニ二回ノ督促ヲ受ケテ尙完納セサルモノハ必竟完納ノ目的ナキ徒ニシテ屢督促スルハ却テ其費用ヲ重カラシムルノ恐アルニヨリ督促二回ノ後ハ直チニ強制處分ヲ決行スルコトトセリ初回手數料金ヲ徵セス再回ニ至リ初メテ一錢ノ手數料ヲ徵収スルハ此矯正法ヲ設クルモ即今納稅者ノ狀況前ニ揭ルカ如ク所ノ如クナルニヨリ成ルヘク料金ヲ輕クセサレハ却テ手數料徵收ノ煩ニ堪ヘサルノ虞アルニ因ル又收入金寡少ニシテ手數料額ヨリ低キモノニ對シテ收入金額ニ超過スル手數料ヲ徵收スルハ稍穩當ナラサルノ嫌アリ且是等ノ納人ノ滯納ハ專ラ貧困ニ原因スルヲ以テ過重ノ手數料納メ易カラシムルニ如カス又一里以外ノ者ニ對シテ增手數料ヲ徵スルハ一里以外ノ地ハ脚夫賃等ノ實費ヲ要スルカ故ニ增加セシモノナリ
指令二十三年三月七日

島根縣松江市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
內務省上奏二十三年四月十五日

島根縣松江市ヨリ市長代理ニ關スル條例ノ件別紙市會決議書相添證テ上奏ス
裁可被爲在度別紙
（別紙）
市長代理條例許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候ニ付御本市會ニ於テ市長代理條例之件別紙之通議決候ニ付市制第百二十一條ニ據リ許可ヲ請フ

明治二十三年三月三十一日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

島根縣松江市長　福岡世德

市制第六十九條ニ據リ市長代理者ノ順序ヲ規定スル左ノ如シ

市長故障アルトキハ助役之ヲ代理シ市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會年長者之ヲ代理ス

理由書

本條例ヲ規定スルハ豫メ代理ノ順序ヲ定メ置カサルトキハ實際ノ便宜ヲ欠クノ恐アルニ依テナリ

指令二十三年五月一日　可セラル

嶋根縣松江市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年十月三十日

島根縣松江市ニ於テ今般手數料細則ニ關スル條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候ニ付御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

手數料新設議決許可禀請書

本市會ニ於テ手數料新設ノ件別紙ノ通議決候ニ付市制第百二十二條ニ依リ許可ヲ請フ

明治二十三年八月二十八日

島根縣松江市參事會

内務大臣伯爵　西鄉從道殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

手數料新設決議書

本市ニ於テ市制第八十九條ニ依リ特ニ一個人ノ爲メ市役所ノ手數ヲ要スル事件ニ對シ之カ手數料ヲ徵收スル法律命令ノ規定ニヨリ取扱フモノヲ除ク其類例左ノ如シ

一　市ノ保管ニ係ル書類ノ照合若クハ謄本ノ下付

二　土地ニ關スル諸般ノ證明

三　建物ニ關スル諸般ノ證明

四　船舶ニ關スル諸般ノ證明

五　印鑑ノ證明若クハ照合

六　戸籍身分職業ニ關スル諸般ノ證明

七　旅行承認書ノ下付

右各項毎一件謄本ハ毎一葉金五錢

手數料新設決議理由

本市ニ於テ手數料ヲ新設スルハ特ニ一個人ノ爲メ市役所ノ手數ヲ要スル事件ニ對シ之カ手數料ヲ徵收セントスルニアリ而シテ其事件ハ法律命令ノ規定ニヨリ取扱フモノヲ除ク其類例左ノ如シ

第一　營業上若クハ訴訟上等ニ關シ戸籍土地名寄帳其他諸帳簿ノ照合若クハ其謄本ヲ請求スルノ類

第二　銀行諸會社等ノ使役ヲ望ムモノ身元ノ確實ナルコトヲ證スル爲メニ所有物件ノ證明又ハ債主ヨリ負債主ノ資力ヲ知ランカ爲メ其所有物件ノ證明ヲ乞フノ類

第三　證書類ノ眞疑正不ヲ明ニスル爲メ市役所届濟印鑑ノ證明若クハ照合ヲ乞フノ類

第四　訴訟事件又ハ諸般ノ契約ニ關シ戸籍身分職業ノ證明ヲ乞フノ類

第五　他ノ地方ヘ旅行スル者其承認書ノ下付ヲ請求スルノ類

第六　手數料細則條例許可禀請書

第七　本市會ニ於テ本日松第一號ヲ以テ内務大藏兩大臣ヘ許可禀請セシ手數料ニ關スル細則別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年八月二十八日

島根縣松江市參事會

市長　福岡世德

内務大臣伯爵　西鄉從道殿

手數料細則條例

第一條　本市ニ於テ市制第九十一條ニ依リ手數料ニ關スル細則ヲ規定スル事件ノ項目手數料金額及其納期

第二條　手數料ハ左ノ事項ヲ請求スルニ當リ其都度毎一件謄本ハ毎一葉金五錢ヲ前納スヘシ

一　市ノ保管ニ係ル書類ノ照合若クハ謄本ノ下付

二　土地ニ關スル諸般ノ證明

三　建物ニ關スル諸般ノ證明

四　船舶ニ關スル諸般ノ證明

五　印鑑ノ證明若クハ照合

六　戸籍身分職業ニ關スル諸般ノ證明

七　旅行承認書ノ下付

手數料細則條例理由

本條例ハ手數料ニ關スル手續ヲ規定シタルモノニシテ手數料ヲ要スル事件ノ項目手數料金額及其納期ヲ示シタルモノナリ而シテ手數料ヲ前納セシムルハ其追脫若クハ滯納ヲ防クカ爲メナリ

指令二十三年十一月二十日

島根縣松江市手數料細則ニ關スル條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年十一月十一日

島根縣松江市ニ於テ今般特別稅ヲ新設セントシ其條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

特別所得稅新設議決許可禀請書

本市會ニ於テ特別所得稅新設ノ件別紙ノ通議決候ニ付市制第百二十二條ニ依リ許可ヲ請フ

島根縣松江市參事會

明治二十三年八月二十八日　内務大臣伯爵　西郷従道殿
　　大蔵大臣伯爵　松方正義殿

特別所得税新設議決理由

本市ニ於テ市制第九十條ニ依リ左ノ特別所得税ヲ新設賦課スル
一箇年百圓以上三百圓未滿ノ所得アルモノ
此税率ハ所得金百分ノ一

特別所得税新設議決理由

本市収入ハ専ラ従来松江市街町村費徴収ノ慣例ニヨリ地價割營業割戸別割ノ科目ニヨリ徴収セシカ地價割ハ制限アリ營業割ハ明治十九年地方税營業税科目課額ノ更正以来頼ニ其税額ヲ増加シ十八年度一人平均額一圓二十八銭九厘ノモノ十九年度ハ四圓トナリ即今稍減シテ三圓六十銭トナルモ以前ニ比シ殆ント三倍ノ多キニ上リシカ爲メ更ニ多クノ賦課ヲナシ難キヲ以テ市税ハ専ラ戸別割ニ取ラサルヘカラス而シテ其戸別割ハ地方税戸數割課當ノ爲メ従来各町村ニ於テ設ケタル民産等級ニ少シク改正ヲ加ヘタルモ其調査タル各人生計ノ現狀ニヨリ認定シタルモノナレハ間々其認定ヲ誤ルコトナシトセス加之民産等級外ニ設ケタル細民ノ多キニヨリ本年度戸別割ノ多キハ平均一戸當八十八銭八厘餘トナレリ然ルニ本市現住者中賦課ヲ受ケヘキモノ六千二百餘戸アルモ平均一戸當ノ負擔ニ堪フルモノハ二千戸ニ過キスシテ其餘四千二百餘戸ハ一戸當ノ負擔ニ堪ヘ難キモノニ千五百餘戸アルヲ以テ戸別割ハ勢ヒ専ラ中下等人民ニシテ負擔ヲ六銭乃至十銭ノ負擔ヲシテセシメサルヲ得ス故ニ上流者ヲシテ負擔額甚タ重劇ナルヨリ不服ヲ訴フルモノ多ク實施上大ニ困難ナレハ此科目ノ徴収金額ヲ増加センスルモ到底民力ニ堪ヘサルノ恐アリ故ニ止ヲ得ス新税ハ各自ノ所得金高ヲ標準トシテ課税スルモノナレハ其負擔上ニ權衡ヲ得ルヲ以テ随テ不服ヲ唱フルモノナカルヘク其徴税費ニ至リテモ僅カニ數十圓ニ過キス之ヲ本税目ニヨリ徴収スル歳入豫算金千百有餘圓中ヨリ扣除スルトキハ一千有餘圓ノ歳入ヲ増加スヘキカ故ニ戸別割ノ金額ヲ減シ徴税上ノ便益ヲ得ル鮮少ニアラサルヘシ是本税目ヲ起スヲ必要トスル所以ナリ特別所得税細則條例許可裏請書本市會ヨリ本日松第三號ヲ以テ内務大臣ヘ許可稟請セシ特別所得税ニ關スル細則別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年八月二十八日　内務大臣伯爵　西郷従道殿
　　島根縣松江市參事會
　　市長福岡世徳

特別所得税細則條例

第一條　市制第九十一條ニ依リ本市ニ於テ特別所得税ニ關スル細則ヲ規定ス
第二條　特別所得税ハ一箇年百圓以上三百圓未滿ノ所得金高アルモノニ對シ其所得金高及種類ヲ記シ毎年四月三十日迄ニ市長ニ届出ツヘシ
但同居ノ家族ニ屬スル所得ハ總テ之ヲ合算シ戸主ノ名ヲ以テ納税スヘシ
第三條　所得ハ市制第九十四條第九十五條第二條ノ定則ニヨリ算出スヘシ
第四條　所得税率ハ百分ノ一ト定ム
但所得金高ハ圓位未滿ノ端數ヲ算入セス
第五條　特別所得税ハ前半年分ヲ其年九月ニ後半年分ヲ翌年三月ニ納ムヘシ
但納期前他ニ轉籍スルトキハ其際月割ヲ以テ納税スヘシ
第六條　本條例ニヨリ税金ヲ納ムヘキ所得アルモノハ其年所得ノ豫算金高及種類ヲ記シ毎年四月三十日迄ニ市長ニ届出ツヘシ
第七條　納税者各自ノ税金額ハ前條届書ニ依リ所得金高調書ヲ製シテ市會ニ付シ其決議ヲ以テ之ヲ定ム
第八條　市參事會ハ納税者ト認ムルモノ見積ヲ立テ、市會ニ付スヘシ
第九條　市參事會ハ市會ノ決議ノ各自納税額ヲ決議後ニ二週間以内ニ各納税者ヘ通達スヘシ
第十條　市參事會及市會ハ本條例ニ關シ調査上必要アルトキハ納税者ト認ムルモノニ尋問シ其所得仕譯書ヲ徴スルコトヲ得
第十一條　所得調査ニ關スルモノハ納税者ノ資産及所得ニ係ル事件ヲ他ニ漏洩スヘカラス
第十二條　納税者其納税期限前ニ於テ所得金高十分ノ五以上ヲ減損シタルトキハ市長ニ申出ツルコトヲ得
市參事會ハ事實ヲ審査シ其税額ヲ減シ又ハ免除スヘシ
但既納ノ税金ハ之ヲ還付セス
第十三條　所得金高ヲ隠蔽シテ逋税シタルモノハ五十銭以上一圓五十銭以下ノ科料ニ處ス
第十四條　納税者ノ資産及所得ニ關スル事件ヲ他ニ漏洩シタルモノハ一圓五十銭以上一圓九十五銭以下ノ科料ニ處ス
第十五條　第六條ノ届出ヲナササルモノハ五銭以上五十銭以下ノ科料ニ處ス
第十六條　科料金ハ處分確定後十日以内ニ納ムヘシ
第十七條　科料處分ヲ爲ストキハ市參事會ヨリ令狀ヲ發スルモノトス
第十八條　第六條ノ届書式ハ明治二十年大藏省令第八號所得税法施行細則第四條ヲ適用ス
本條例所得税細則條例理由
特別所得税賦課徴収ノ方法等一ニ同所得税法幷ニ同年大藏省令第八號所得税法ト同性質ノモノナルヲ以テ其調査及賦課徴収ノ細則ニシテ該税ハ明治二十年勅令第五號所得税法施行細則ニ準シテ條例ヲ規定シタルモノナリ

指令二十三年十二月一日　内務省

嶋根縣松江市特別税條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ
上奏二十二年九月七日

岡山縣西北條郡津山町ヨリ公文式公告式及助役ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ

同町ハ人口一萬餘從來ノ四役場ヲ併合セルヲ以テ一定ノ公文公告式ヲ設クルノ必要アルニ依リ之ヲ規定シタルモノニシテ別ニ支障ノ蔭ナク又區域廣濶事務頗テ繁多ナルヲ以テ助役一名ヲ增置シ之ヲ有給ト爲スモノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ公文式公告式及助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月二十日　　岡山縣西北條郡元津山坪井町外十一箇町
戸長　橋本嘉一郎

內務大臣伯爵　松方正義　殿

津山町條例第一號

條例規則公文式

第一條　本町條例規則ハ町會ヲ經テ議決シタル年月日及上司ニ於テ許可ノ年月日ヲ明記シ之ヲ發行ス

第二條　條例規則ハ發行ノ年月日ヲ記入シ町長之ニ署名ス

條例規則公告式

第三條　條例規則ハ一定ノ揭示場ニ揭示ス

第四條　條例規則ハ揭示ノ當日ヨリ五日ヲ經テ適施ノ効ヲ有ス

第五條　條例規則ノ內發行ノ當日ヨリ施行ヲ要シ又ハ特ニ施行ノ日ヲ揭ケタルモノハ前條ノ例ニ據ラズ

津山町條例第二號

制第五十二條但書及制第五十六條ニヨリ助役一名ヲ增置シ有給トス但席次ハ名譽職助役ノ次席トス

指令二十二年九月十三日

岡山縣津山町町條例ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年九月十一日

別紙內務大臣上奏岡山縣津山町町條例ヲ審査スルニ右ハ相當ノ規定ニシテ法律ニ抵觸ノ廉モ無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十三年三月七日

岡山縣西北條郡津山町ヨリ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ寫請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ常設委員條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十三日　　岡山縣北條郡津山町長　齋藤元

內務大臣伯爵　山縣有朋　殿

津山町條例

常設委員條例

第一條　町村制第六十五條ニ依リ常設委員十名ヲ置ク

第二條　常設委員ハ町會議員ヨリ五名他ノ公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ五名ヲ選舉スルモノトス

第三條　常設委員ノ任期ハ三箇年トシ議員ノ改選毎ニ之ヲ改選スルモノトス

委員中闕員アルトキハ補闕選舉ヲ行フ補闕委員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第四條　常設委員ハ町內學事衛生勸業土木警備ニ關スル行政事務ヲ分掌スルモノトス

第五條　常設委員會ノ開設ハ委員長之ヲ告知ス

第六條　常設委員會ノ議事細則ハ町會ノ議則ニ依ル

理由

常設委員ヲ設置スルハ學事衛生勸業土木警備ニ關スル行政事務ノ一部ヲ分掌スルトキハ施政ノ緩急難易ヲ辨識シ自ラ自治ノ制ニ習熟セシムルノ効益アラン是レ本條例ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年三月十一日

岡山縣津山町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年五月十二日

岡山縣川上郡東成羽村外十五箇村組合ヨリ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ寫請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

組合條例許可寫請書

當組合會ニ於テ組合常設委員ニ關スル條例別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十二月二十四日　　岡山縣川上郡東成羽村外十五箇村組合管理
內務大臣伯爵　山縣有朋　殿　　岡山縣川上郡長　菊池良六

條例第一號

組合常設委員條例

第一條　岡山縣川上郡東成羽村玉川村日里村手荘村大賀村高山村富家村平川村湯野村吹屋村宇治村中村成羽村松原村高倉村落合村組合常設委員ヲ十六名トス

第二條　委員ノ任期ハ二箇年トス

第三條　委員ハ組合內各村ニ配置シ組合勸業及土木事業ノ施行ヲ助ケシム但配置ノ人名ハ管理者ノ指命ニ依ル

第四條　管理者ハ委員中ヨリ一名ヲ擇ヒ事務ノ常任者トナスヘシ常任者ハ常ニ管理者ノ指揮ヲ受ケ每年數回組合內ヲ巡廻シ組合勸業及土木事業ノ施行ヲ助ケシム但前條ノ配置ト相兼ヌルモノトスルモ妨ケス

第五條　委員ハ每年少クモ一回以上委員會ヲ開キ組合事業施行ノ方法及管理者ノ諮問事項ヲ審案評決スヘシ

委員長ハ管理者ヲ以テ之ニ充テ又ハ其指命シタル村長ヲ以テ之ニ代理セシム

常任者ハ委員會ノ議案ヲ編製シ幷ニ其說明ヲ掌ル

理由書

本組合ハ土木勸業敎育其他連帶處理ヲ要スル事務ヲ共同處辨スルモノニシテ別ニ組合村長ヲ置カス當分ノ內郡長ニ於テ之ヲ管理シ町村制第六十五條及第七十四條ニ仍リ常設委員十六名ヲ置キ本條例ヲ以テ其任期及職務取扱ヲ規定セントス

第一條　本組合規定（町村制第百十七條第一項）ヨリ再揭ニ止リ第二條任期ヲ定ムルハ職務ニ倦マサラシメンコトヲ期スルニアリ

第三條　第四條ハ委員中ノ一名ヲ以テ事務ヲ處辨シ他ノ委員ヲ以テ之ニ參與セシムルハ組合事業ノ施行方法ヲ審案スルノ材料ヲ得セシメ兼テ常任委員ノ及ハサル所ヲ補フニアリ但其配置ハ成ルヘク委員ノ居住村ヲ選フヲ主旨トシ土木勸業ノ外ハ配當村ニ於テ行フヘカラサルノ事務ニ屬スルヲ以テ施行ヲ助クルノ任ヲ除ク第四條事務ノ常任者ヲ置キ之ヲ一人ニ專任スルハ事務ノ統一ト組合費ノ節減ヲ望ムニ由ルヲ以テ定ムヘキニヨリ茲ニ之ヲ規定セス

指令二十三年五月十七日

岡山縣川上郡東成羽村外十五村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年六月三日

岡山縣西北條郡津山町ヨリ特別稅ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

特別稅家屋割ニ關スル條例規定ノ儀ニ付稟請

本町會ニ於テ特別稅家屋割ニ關スル條例別紙ノ通議決セリ依テ許可ヲ請フ

岡山縣西北條郡津山町長　齋藤元

明治二十三年四月二十二日

岡山縣西北條郡津山町

特別稅家屋割條例

內務大臣伯爵山縣有朋殿

第一條　家屋割ハ經常歲出豫算高十分ノ三以內ヲ建家坪數ニ賦課スヘシ

第二條　家屋地位ノ冷熱ヲ參酌シ等差ヲ付スル左ノ如シ

一等	地位乘率	五	
二等	地位乘率	四、五	
三等	地位乘率	四	
四等	地位乘率	三、五	
五等	地位乘率	三	
六等	地位乘率	二、五	
七等	地位乘率	二	
八等	地位乘率	一、五	
九等	地位乘率	一	

第三條　家屋ノ構造及使用ノ狀況ニ依リ種類ヲ區別スル左ノ如シ

一類	居宅裏座敷	乘率	三
二類	二階座敷土藏劇場	乘率	二
三類	但造作ナキ二階及坐板又ハ戶締ナキ土藏ハ物置ニ準ス 居宅外ノ工業場職工場物置	乘率	一

第四條　家屋ノ調査ニ於テ除去スヘキモノ左ノ如シ

一圍ナキ庇
一圍ナキ釣屋
一浴室
一廁
一廊下
一通行門

第五條　算出ノ法ハ第一ニ建家ノ坪數ヲ定メ第二ニ建家種類ノ率ヲ乘シ第三ニ敷地等位ノ率ヲ乘シ以テ個數ヲ定ム

第六條　家屋坪數及構造ニ異動ヲ生シタルトキハ十五日以內ニ町役場ヘ書出スヘシ

第七條　前條ノ書出ヲ怠リ若クハ不正ノ所爲アリヲ以テ稅金ヲ逋脫シタルモノハ三十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス

理由

津山町ノ經濟ハ從來基本財產ナルモノナク歲入中特別稅家屋割ノ一科目ヲ新設スルノ必要ヲ略敘スレハ本町ハ山間ノ一小市街ニシテ地盤狹隘地價低廉地租ニ課スル七分ノ一僅ニ一百五十餘圓ニ過キス商業ハ年久シク不活潑ニテ營業者ハ漸漸衰廢衰頹スル景況ナルニモ關ハラス地方稅營業稅雜種稅ノ附加稅地方稅ノ殆ント二割ヲ賦課セリ若シ此割合ヨリ超過スルトキハ必偏重ノ恐アリ戶別割ニ至テハ曾テ本縣ノ訓令ニ準據シ一時各戶ノ貧富ヲ視察シ一率乘一シ之ニ等級ヲ賦課シタル地方稅ニ附加セルモ其貧富ヲ精確ニ調查スルノ道ナクシテ此視察其實ヲ得サラン之ヲ恐ル加之僅僅タル地價割トセハ此賦課額過重ニシテ自然偏重偏輕ニ失スルノ憂アリ然レトモ徒ラニ之ヲ憂テ課セス又其補足ノ道ヲ求メサルトキハ歲出ニ不足ヲ告ルヲ奈何センヤ於是乎全町ノ民力ヲ參酌シ更ニ之ヲ家屋ニ課セハ稍公平ヲ得各其負擔ニ耐ヘ易カラントス然リ而シテ岡山縣地方稅中家屋稅ノ賦課ナシ是特ニ此條例ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年六月十日

岡山縣津山町町條例ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年七月三日

岡山縣赤阪郡長ヨリ輕部村外十四村組合條例常設委員ニ關スル件許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ第三條及第五條三十一、十四ハ御裁可不相成方ト存候得共其他ハ相當ノ規定ト思考ス由ヲ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本郡十五箇村組合會ニ於テ常設委員設置ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年三月二十七日　岡山縣赤阪郡外十四箇村組合會管理者　岡山縣赤阪郡長　水谷隆德

内務大臣伯爵山縣有朋殿

常設委員設置理由

本郡ノ民況ニ依レハ今日ノ急務ハ勸業及土木ニアリ而シテ之ヲ勸誘シ之ヲ奬勵シ常ニ其如何ヲ考察スルニハ擔任ノ其人ナカルヘカラス故ニ常設委員ヲ設置シ其職權ヲ畫シ以テ民福ヲ企圖セシメントス是レ該委員設置ノ概要ナリ且本郡ノ砂防工事ノ如キハ明治十六年ヨリ向十箇年ヲ期シ著手シタルモノナレハ一朝之ヲ停廢スヘカラサルナリ

赤阪郡十五箇村組合常設委員條例組織選任

第一條　本組合ニ勸業及土木事務ヲ處辨スル爲メ常設委員ヲ置キ

第二條　常設委員ハ組合會ニ於テ本郡各村公民中被選擧權ヲ有スルモノヨリ一名ヲ選擧ス

第三條　委員選擧ハ匿名投票トナシ其多數ヲ得タルモノヲ當選人トシ同數ノモノハ年長ヲ採リ同年ノモノハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　委員ノ任期ハ一週年度トス若シ事故アリテ其職ヲ辭シ又ハ他郡市ヘ轉居或ハ死亡等ノ節ハ更ニ之ヲ選擧スヘシ其補闕ノ選ニ當リタル委員ノ任期ハ前員ノ選ハシタル月ヨリ通算ス

委員職務權限

第五條　勸業及土木ニ關スル職務概目左ノ如シ

一組合會ノ決議ニ依リ砂防工事ヲ施行シ及郡内砂防工箇所ヲ巡視シ工事ノ得失ヲ調査スル事

二砂防ニ關スル取締ノ事務

三砂防工事ノ方法ヲ考案シ意見ヲ郡長村長ニ陳述シ及其諮問ニ答フル事

四砂防ノ爲メ土石幷ニ樹根掘取等ニ關スル取締ノ事

五砂防工事ヲ施行スヘキ箇所ヲ調査シ費金ノ豫算下調ヲ爲シ組合會管理者ヘ申報スル事

七勸業上ニ關スル命達ヲ遵奉履行スル事

八有害ノ虫類及鳥獸驅除ノ事

九勸植物水產物等ノ蕃殖及改良ノ事

十山林保護幷ニ栽培ニ關スル事

十一農工商ニ係ル統計表ヲ製シ郡長ニ報告スル事

十二農工商ニ係ル通信ノ事

十三總テ農工商ノ利害ニ關スル事

十四總テ郡長ノ指揮ニ依リ勸業上ノ事務ヲ處辨スル事

第六條　組合會ノ決議ヲ以テ委員ニハ一箇年金二十圓以上六十圓迄ノ報酬ヲ給ス

第七條　組合會ノ決議ヲ以テ委員他郡市ヘ出張ニ係ル實費ヲ辨償スルモノトス

第三條及第五條中第三第十一規定ノ理由別紙ノ通ニ候條此段上申候也

明治二十三年六月十三日　岡山縣赤阪郡外十四箇村組合會管理者　岡山縣赤阪郡長　水谷隆德

内務大臣伯爵西鄉從道殿

理由

赤阪郡十五箇村組合常設委員條例第三條委員選擧方法規定ノ理由ハ町村制第百十六條第一項ニ依リ數村ノ事務ヲ共同處分スル迄ニ設ケタル組合ニ設ケル委員選擧方ハ便宜組合條例ニ規定スルヲ得ルモノト見認メタルヲ以テ町村制第六十五條ニ依ラス別段ノ規定ヲ設ケタルモノナリ

同條例第五條ニ一ニ砂防工事ノ方法ヲ考案シ意見ヲ郡長村長ニ陳述シ及其諮問ニ答フル事トアルハ委員ナルモノ管理者ニ對シ意見ヲ述フルハ當然ナルモ委員ニ於テ公益ト認ムル事業ニシテ管理者ト意見ヲ異ニスル場合ニ於テ郡長村長ニ其意見ヲ陳述シ或ハ郡長村長ノ諮問ニ答フル場合實地少ナカラサル見込ヲ以テ如此規定シタルモノナリ

同同條第十一ニ農工商ニ係ル統計表ヲ製シ郡長ニ報告スル事トアルハ勸業上ニ關スル令達又ハ郡長ノ請求ニ依リ組合各村農工商ニ係ル統計表ヲ製シ郡長ニ報告スルノ意ナリ素ヨリ管理者ノ手ヲ經ルモ其製表ハ委員ノ名義ヲ以テスルノ意見ナル故如此規定シタルモノナリ

岡山縣赤阪郡輕部村外十四箇村組合條例ノ件ハ上奏ノ通第三條及第五條三十一、十四ヲ除キ其他裁可セラレ可然ト認ム

内務省上奏二十二年六月八日

別紙廣島縣御調郡尾道町ニ於テ助役ニ關スル條例ノ許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ該町ハ山陽道ノ中央ニ位シ中國屈指ノ良港ニシテ商業繁盛人口一萬七千五百餘ニ達スルヲ以テ町務ノ繁劇ナル知ルヘシ助役ノ定員ヲ增加シ其一名ヲ有給トシ專任セシムルモ亦止ムヲ得サルヘシ且ツ其席次ハ名譽職ヲ以テ上席トスル等御ヲ俱當ノ規定ト被存候條例ノ件申請

廣島縣御調郡尾ノ道町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

廣島縣御調郡元尾道久保町

明治二十二年五月十九日
内務大臣伯爵　松方正義殿

尾崎町十四日町上堂町
元戸長　宇都宮常松

條例第一號
第一條　本條ハ制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス
第二條　制第五十六條ニ依リ本町ノ助役一名ヲ有給吏員トス
第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ上席トス
理由書
尾道ハ山陽道ノ中央ニ位シ東西國道ノ咽喉ヲ占メ北方雲伯通路ノ衝ニ當リ四通五達管ニ陸運ノ便ノミナラス中國屈指ノ良港ヲ有シ頗ル海輸ノ利アルヲ以テ市街繁盛現ニ戸數五千二百八十九戸人口一萬七千五百四十一人ノ多キニ達シ實ニ至大ノ一町ト云ハサルヘカラス況ンヤ本年四月六日附廣嶋縣令甲第六十號ヲ以テ御調郡栗原村地先海面築閘地ハ當町ノ地籍ニ編入セラレタルニ由リ漸次戸口ノ增加スル知ルヘキナリ現今ト雖トモ人口許多ニシテ己ニ行政事務ニ幾多ノ手數ヲ要スル固ヨリ衆ニ超ヘカラス將來其繁雜劇忙ヲ生スル日一日ヨリ甚シキハ數ノ免カレサル所ナリ依テ助役ノ定員ヲ二名トシ且一名ハ之ヲ有給吏員トナシ一身ヲ擧テ其職ニ專委セシメントス尤其席次ハ町村制ノ原則ニ基キ名譽職助役ヲ以テ上席トス

指令二十二年六月十一日

廣島縣御調郡尾道町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

内務省上奏二十二年六月十二日

別紙廣島縣安藝郡仁保嶋村ニ於テ助役六浦三嶋ニ分岐シ戸數二千六百五八口一萬四千二百九十五ニ達スルヲ以テ村務ノ繁劇ナル知ルヘク助役ノ定員ヲ增加シ其一名ヲ有給トシ專任セシムルヲ得サルヘシ且ツ其席次ハ名譽職ヲ以テ上席トスル等渾テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙村會決議書寫相添謹而上奏ス

本村會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙之通決議候ニ付許可ヲ請フ

廣嶋縣安藝郡
元仁保嶋戸長　富永宮士太郎

松方正義殿

明治二十二年五月十八日
内務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
第一條　本村ハ制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス
第二條　制第五十六條ニ依リ本村ノ助役一名ヲ有給吏員トス
第三條　助役席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス
理由書
本村ハ區域廣濶加フルニ沿海ノ村柄ニシテ船舶其他海苔蠣及漁業ニ從事スル者少ナシトセス此ヲ以テ

行政事務ノ繁多ナル事他村ノ比ニアラス特ニ六浦三嶋ニ分岐シ施政上不便ナルニ依リ村長助役派出シヲ事務ヲ整理スルヿ往々之レアルハ從來ノ成蹟ニ徴シ明ナリ況ンヤ村制實施ノ時ニ當リテヤ一層事務ノ繁劇ナル知ルヘシ如斯事情ナルヲ以テ助役二名ニテハ村長其事務負擔ニ堪難シノミナラス事務整理上差支ヲ生スルヤ必然ナリトス依テ助役ノ一名ヲ增加シ名譽職助役ヲ以テ上席トス

指令二十二年六月十四日

廣嶋縣安藝郡仁保嶋村條例ヲ設クルノ件裁可セラル

内務省上奏二十二年七月十五日

別紙廣嶋縣深津郡福山町ニ於テ助役二名ヲ有給トシ名譽職ヲ以テ上席トスル條例之許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査スルニ右ハ助役ノ定員ヲ增加シテ二名トナシ一名ヲ有給トシ名譽職ヲ以テ上席トスル規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙町會決議書寫相添謹テ上奏ス

本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

廣嶋縣深津郡福山町
元福山西町外十三箇町
戸長　海鹽源八

松方正義殿

明治二十二年六月二十六日
内務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
第一條　本町ハ制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス
第二條　制第五十六條ニ依リ本町ノ助役一名ヲ有給吏員トス
第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス
理由書
本制ニ於テ名譽職ヲ以テ原則トス爲スト雖トモ本町ノ如キハ區域廣濶人戸稠密ニシテ事務ノ繁多ナル迚モ名譽職而已ニテハ負擔シ能ハサル所ナリ故ニ本制ノ範圍内ニ於テ專務職員一名ヲ增加シ而シテ有給吏員トナシタルハ公民有權者及居住ノ内外ヲ問ハス廣ク其任ニ堪ユヘキ人士ヲ選擧シ施政ノ便ヲ執ンコトヲ欲シ有給吏員トナシタル所以ナリ

指令二十二年七月十七日

廣嶋縣深津郡福山町條例ヲ設クルノ件裁可セラル

内務省上奏二十二年七月二十四日

廣嶋縣御調郡尾道町ニ於テ條例第一號ヲ追加修正セントシ之ニ關スル條例別紙ノ通リ許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ該町ハ本年六月中上奏第一號ヲ以テ名譽職助役ノ定員ヲ二名トシ席次ハ町村制第五十六條ニ依リ本町ノ助役一名ヲ有給吏員トスル條例ヲ裁可セラレタルヲ以テ事務ノ繁劇ナル知ルヘシ而シテ町長ヲ有給トシ事務ニ專任セシムルモ亦一萬七千五百有餘ニ達スルヲ以テ事務ノ繁劇ナル知ルヘシ而シテ町長ヲ有給トシ事務ニ專任セシムルモ亦止ヲ得サル儀ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

條例ノ件稟請

本町會ニ於テ第一號條例ノ追加修正ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月九日　内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

廣嶋縣御調郡尾道町長代理助役　石　井　聿　三

條例第二號

條例第一號ヘ第一條本町ハ制第五十六條ニヨリ町長ニ給料ヲ給スノ一條ヲ加ヘ元第一條ヲ第二條トシ以下順次繰下ケ第四條中名譽職助役ヲノ下ヘ以テノ二字ヲ挿入ス

理由書

尾道町ハ本縣下廣嶋市ニ亞キ繁榮ノ一都會ニシテ年戸口ノ數ヲ增シ現今ニ至リテハ既ニ戸數五千二百八十九戸人口一萬七千五百四十一人ノ多キニ達シ行政事務ノ繁劇ナル實ニ稀ニ見所ナリ依テ本町長ハ有給職トシ其一身ヲ擧テ之レカ職務ニ專委セシメントスル所以ナリ

指令二十二年十月三十日

廣嶋縣下尾道町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年十二月四日

廣嶋縣安藝郡倉橋島村ニ於テ常設委員設置ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決ニ付許可ヲ請フ

廣島縣安藝郡倉橋島村長　尾　曾　越　正　邦

查候處條例各條渾テ不都合無之相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙村會決議書寫相添此段上奏ス

（別紙）

本村會ニ於テ常設委員設置ニ關スル條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

明治二十二年八月八日　内務大臣伯爵　松　方　正　義　殿

理由書

本村施政上ノ便宜ヲ謀リ制第六十五條ニ據リ常設委員四名ヲ置クモノトス

條例第一號

倉橋島村常設委員設置條例

第一章　組織

第一條　制第六十五條ニ依リ本村ニ常設委員四名ヲ置クモノトス

第二條　常設委員ノ任期ハ三箇年トス

第三條　常設委員ニ於テ執ルヘキ職務概目左ノ如シ

本村衛生勤業土木學務村有財産ニ關スル事項等

第四條　常設委員ハ村長ノ諮問條件ニ對シ委員會ヲ開キ議決轉末ヲ村長ニ答申スヘシ

指令二十二年十二月六日

廣島縣安藝郡倉橋島村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年十二月二十八日

廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村ニ於テ常設委員設置ニ關スル組合條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審查スルニ必要ノ規定ニシテ各條項不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可アラセラレ度此段ヲ上奏ス

（別紙）

組合村條例許可申請

組合村會ニ於テ常設委員設置ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

廣島縣蘆田郡府中市村出口村岩谷村河佐村阿字村桑木村行嚢村木野山村藤尾村常金丸村廣谷村國府村栗生村有磨村福相村組合村條例第一號

廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合管理者

廣島縣蘆田品治神石甲奴郡長　三　浦　義　建

常設委員

第一章　組織選任

第一條　本組合村ハ制第六十五條ニ據リ常設委員四名ヲ置キ組合村會議員中ヨリ選舉シ其任期ヲ六年トス

第二條　委員闕員アルトキハ一箇月以内ニ補闕選舉ヲ行ヒ補闕委員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第二章　職務權限

第三條　制第七十四條ニ依リ委員ハ左ノ事務ヲ分掌ス

一　勸業ノ事務ヲ掌理スル事

一　組合村有財産ヲ掌理スル事

理由

第一條　常設委員四名ト定ムル理由ハ第三條ノ第一第二ノ事務ヲ便宜分担掌理セシムル等ノ便ヲ得シカ爲ナリ

任期ヲ六年トセシハ組合村會議員ヲシテ常設委員ニ充ルヲ以テ議員ノ任期ニ隨伴セシムルモノトス」

議員ヲ以テ常設委員ニ充レハ議員ヲシテ實務ニ經驗ヲ積マシメ以テ代議ノ機關ト行政ノ機關トノ間ニ於テ圓滑ノ關係ヲ有セシメンカ爲ナリ

第二條　委員闕員アルトキハ忽チ村内行政事務處辨上差支ヲ來スヲ以テ一箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フモノトス

第三條　委員ノ職務權限ヲ定メシハ委員ノ職務ト管理者ノ職務トノ混同ヲ防キシ所以ナリ

指令二十二年十二月二十八日

廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年二月四日

廣島縣安藝郡蒲刈島村ニ於テ助役幷常設委員ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ審査候處各條例共不都合無之渾テ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度此テ上奏ス

（別紙）

村條例許可申請

本村會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙之通議決ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月十六日　廣嶋縣安藝郡蒲刈島村長　多賀谷整

內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號

蒲苅嶋村條例

第一條　本村ハ制第五十二條但書ニ據リ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條　制第五十六條ニ據リ本村ノ助役一名ヲ有給吏上席トス

第三條　助役席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

條例第一號理由書

本村助役一名ヲ增員シ有給吏員トナスハ抑モ本村ノ地形タルヤ渡海廣濶ニシテ戸數二千三百餘戸從テ執務繁劇況ンヤ新制度ニ際シ益其困難ヲ見ルニ至ルヲ以テ事務ノ敏捷ナランコトヲ欲シ爰ニ條例ヲ發スル所以ナリ

村條例許可申請

本村會ニ於テ委員ニ關スル條例ノ件別紙之通議決ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月十六日　廣嶋縣安藝郡蒲苅嶋村長　多賀谷整

內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第二號

蒲苅嶋村條例

第一款　組織

第一條　本村ハ制第六十五條ニ依リ常設委員二名ヲ置キ其任期ハ三箇年トス

委員ハ村會議員中ヨリ選出スル但議員タルノ權ヲ失フト同時ニ委員ノ職ヲ解クモノトス

第二條　委員中闕員アルトキハ一箇月以內ニ補闕選舉ヲ行フモノトス

補闕委員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第三條　委員ハ專ラ左ノ事務ヲ分擔ス

一營造物及村有財產ヲ管理スルコト

二學事衛生勸業事務ニ關スルコト

條例第二號理由書

本村ニ常設委員ヲ設ケ之ヲ議員中ヨリ選出センカ欲スルモノハ行政吏員ノ短所ヲ補ヒ自治ノ制ニ習熟センカルニ於テ施政之緩急利害ヲ辨シ實際ノ經驗ヲ積ミ行政者ト互ニ公同事務ヲ處辨シ兩者ノ軋轢ヲ防制セントスルニ出ス箇年ノ任期トスルハ議員ノ任期間半數ノ改選ヲ爲スト同時ニ委員ノ更迭ヲ爲サントスルノ所以ナリ

指令二十三年二月八日

廣嶋縣安藝郡蒲苅嶋村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年二月十二日

廣島縣高田郡各村組合事務管理

不都合無之相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙組合村會決議書寫相添此テ上奏ス

（別紙）

本郡組合村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

廣嶋縣高田郡各村組合事務管理　廣嶋縣高田郡長　名越毅壯太

明治二十二年七月二十五日　內務大臣伯爵　松方正義殿

第一條　廣嶋縣高田郡各村組合條例第一號

町村制第六十五條ニ依リ組合ニ常設委員ヲ置ク

第一款　委員組織及選任

第二條　常設委員二名ヲ置キ組合會ニ於テ本郡各村公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ選舉ス

第三條　常設委員ノ任期ハ三年トス

第四條　常設委員闕員アルトキハ直チニ補闕スルモノトス

第二款　委員職務及權限

第五條　常設委員ハ共有財產ニ關スル事務ヲ分掌シ及一時ノ委托ヲ以テ事務ヲ處辨スルモノトス

高田郡各村組合條例第一號理由書

町村制第六十五條ニ依リ本郡各村組合ニ常設委員ヲ置クノ理由ハ則委員ヲシテ共同事務ノ一部ヲ分掌セシメ常ニ集議體ニアリテ審議スルトキハ特ニ各村人民ヲシテ公益ノ爲メニ力ヲ竭サシメ又能ク事務ノ難易其ノ緩急利害ヲ辨識セシムルノミナラス自治ノ制ニ習熟セシムルノ効益アル所以ナリ

指令二十三年二月十八日

廣嶋縣高田郡各村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年三月十日

廣嶋縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合ニ於テ常設委員ニ關スル條例中追加ノ件許可、禀請スルニ及ヘリ依テ審査候處不都合無之被存候ニ付御裁可被爲在度別紙組合村會決議寫幷參照常設委員條例相添此テ上奏ス

（別紙）

常設委員ニ關スル條例許可稟請

本年一月七日内務省許丁第二六九號許可相成候本組合村條例第一號常設委員ニ關スル追加ノ件本組合會ニ於テ別紙之通議決候ニ付許可ヲ瞻フ

明治二十三年二月二十一日　廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合管理者

内務大臣伯爵　山縣有朋殿　廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合管理者　廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合常設委員　三浦義建

一廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合常設委員ニ關スル學務ノ事務ヲ掌理スル事

理由

廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合常設委員ニ關スル條例第三條ニ一項ヲ追加セシハ從來郡長ノ管理ニ屬セシ小學區ノ經濟ヲ今回組合村會ノ決スル處ニ任シ以テ町村自治ニ歸セシメシニ付常設委員ニ其事務ヲ分擔ナサシメントスルニ依ル

指令二十三年三月十九日

廣島縣蘆田郡府中市村外十四箇村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月九日

廣島縣安藝郡江田島村條例別紙ノ通許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査候處渾テ不都合無之相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度村會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本會於テ江田島村條例別紙ノ通議決致候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十日　廣島縣安藝郡

内務大臣伯爵　山縣有朋殿　江田島村長　二井内久吉

村條例

第一章　常設委員

第一款　組織

第一條　制第六十五條ニ依リ常設委員三名ヲ置ク其任期ハ六年トス

常設委員ハ村會議員中ヨリ二名公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ一名選舉スルモノトス

但議員中ヨリ選舉セラレタルモノハ議員タルノ權ヲ失フト同時ニ委員ノ職ヲ解クモノトス

第二條　委員中闕員アル時ハ一箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フモノトス

補闕委員ハ其前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第二款　職務權限

第三條　委員ハ專ラ左ノ事務ヲ分擔ス

一村有土地物件ノ管理ニ關スル事

理由書

本案ヲ發スル所以ハ村内人民ヲシテ行政ニ參與シ行政事務ノ難易ヲ了知セシメ又村内事情ヲ表白スルヲ得テ專務吏員ノ短處ヲ補ヒ施行ノ便宜ヲ計ラントスルニ依ル

指令二十三年四月十五日

廣島縣安藝郡江田島村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月二十二日

廣島縣廣島市ニ於テ市會議員三級選舉區ノ數及其區域幷選出議員員數ニ關スル條例幷市長代理ノ順序ニ關スル條例ヲ規定シ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査候處各條例渾テ不都合無之被存候ニ付御裁可被爲在度市會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市制第十四條ニ依リ市會議員三級選舉區ノ數及其區域幷各選舉區ヨリ選出スル議員ノ數ニ關スル條例ノ件同第六十九條ニ依リ市長代理ノ順序ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年一月二十五日　廣島縣廣島市參事會

内務大臣伯爵　山縣有朋殿　廣島縣廣島市長　伴資健

廣島市條例第二號

第一條　市制第十四條ニ依リ市會議員三級選舉區ノ數及其區域幷各選舉區ヨリ選出スル議員ノ數ヲ規定ス

第二條　選舉區ヲ分テ四區トス其區域左ノ如シ

第一選舉區

同大須新開　同荒神町　字尾長村　同愛宕町　同猿猴橋町　同蟹屋村　同京橋町　同的場町　同大須賀村　同比治山町　同金屋町　同土手町　同松川町　同稻荷町　同皆實村　同段原村　同東新開　同宇品町

第二選舉區

同上柳町　同石見屋町　字橋本町　同下柳町　同平塚町　同山口町　同銀山町　同東引御堂町　同藥研堀　同幟町　同上流川町　同針屋町　同下流川町　同田中町　同胡町　同三川町　同竹屋町　同竹屋村

同堀川町　同蛸薬師町
同基町　同東白島町
同白島東中町　同白島九軒町
同西白島東中町　同白島中町
同西白嶋町　同白嶋西中町
同東魚屋町　同白嶋北町
同立町　同平田屋町
同研屋町　同新川場町
同鍛冶屋町　同播磨屋町
同中町　同革屋町
同西魚屋町　同下中町
同袋町　同小町

第三選擧區

字越屋町　同尾道町
同猿楽町　同細工町
同鳥屋町　同大手町一町目
同大手町三町目　同大手町二町目
同大手町四町目　同大手町五町目
同大手町六町目　同大手町七町目
同大手町九町目　同大手町八町目
同材木町　同中島新町
同元柳町　同水主町
同塚本町　同吉嶋村
同空鞘町　同鷹匠町
同十日市町　同西引御堂町
同左官町　同油屋町
同西大工町　同榎町

第四選擧區

字堺町一町目　同堺町二町目
同堺町四町目　同堺町三町目
同小網町　同西新町
同西地方町　同船入村
同江波村　同河原町
同川添村　同観音村

第三條　各選擧區ヨリ選出スル議員ノ員數ハ各三名トス

第四條　此條例ハ將來之ヲ改正スルコトアルモ既ニ選出セシ議員ハ改選期ニ至ラサレハ其効力ヲ失ハス

理由書

市會議員三級選擧ノ區域ヲ規定スルハ其數多キヲ以テ施行上錯雜ヲ生スルノ恐ナキ能ハス是レ特ニ本級ノ爲メニ之ヲ設クル所以ナリ

廣島市條例第五號

第一條　市制第六十九條ニ依リ市長代理ノ順序ヲ規定ス

第二條　市長故障アルトキハ助役之ヲ代理ス

第三條　市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員年長順次ニヨリ代理ス

理由書

市長代理ノ順序ヲ規定スルハ市長故障アリテ其事務ヲ執ル能ハサルニ際シ市行政ノ澁滯セサランコトヲ欲スルニヨリ之ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年五月一日

廣嶋縣廣島市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月二十八日

廣嶋縣安藝郡倉橋嶋村ニ於テ有給助役ニ關スル條例ヲ規定シ許可ヲ稟請スルニ及ヘリ依テ審査候處渾テ不都合無之被存候ニ付御裁可被爲在度別紙村會決議書寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

本村會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月八日

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

廣嶋縣安藝郡倉橋嶋村長　尾會越正邦

理由書

本條例ヲ發スルノ理由ハ本村ノ居民一萬三千餘口ノ多キカ爲メ隨テ事務頻繁ニ渉リ之レニ執掌スルニ充リ當ニ直接取扱ヲ要スル事務數派ニ關スル場合少カラス依テ現今實施上不便アルヲ以テ助役一名ヲ增員ヲ必要トスルカ爲ナリ

倉橋嶋村條例第　號

有給助役設置

第一條　町村制第五十二條ニ依リ助役ノ定員ヲ增加シテ二名トス

第二條　町村制第五十六條ニ依リ助役一名ヲ有給吏員トス

指令二十三年五月五日

廣嶋縣安藝郡倉橋嶋村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年五月二十三日

廣嶋縣廣嶋市ニ於テ有給吏員及使丁俸給規則ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市制第七十六條ニ依リ有給吏員及使丁俸給規則ニ關スル條例之件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十二月二十五日　　内務大臣伯爵　山縣有朋殿

廣島市條例第三號

廣島縣廣嶋市參事會
廣嶋縣廣島市長　伴資健

第一條　市制第七十六條ニ依リ有給吏員及使丁ノ俸給規則ヲ規定ス

第二條　市長助役收入役ノ年俸ヲ分テ三級トス

第三條　書記ノ月俸ヲ分テ十級トス

第四條　雇員ノ月俸ヲ分テ四級トス

第五條　使丁ノ月俸ヲ分テ五級トス

第六條　市長助役收入役書記雇員及使丁ノ俸給額ハ別表ニ依ル

第七條　市長助役收入役新任ノ俸給額幷ニ昇降給ハ市參事會ノ意見ニ依リ市會ノ協贊ヲ經テ之ヲ決定ス

第八條　書記ノ一級俸ヲ受クルモノテ別表ノ範圍ニ拘ハラス市參事會ノ意見ニ依リ市會ノ協贊ヲ經テ之ヲ決定得

第九條　吏員及使丁在職中死亡シタルモノニシテ勤續十年ヲ越ヘタルモノ勞績拔群顯著ナルモノハ特別ヲ以メ死亡シタルモノハ更ニ六箇月分ヲ增ス

第十條　退隱料ヲ受クルノ權ヲ得タルモノ在職中死亡シタルトキハ第九條ノ外俸給六箇月分ヲ增ス

第十一條　本則中俸給細則ハ別ニ之ヲ定ム

（別表）

市長助役收入役年俸

等級／職名	一級	二級	三級
市長	千圓	八百圓	六百圓
助役	四百八十圓	四百二十圓	三百六十圓
收入役	三百六十圓	三百圓	二百四十圓

書記雇員及使丁月俸

等級／職名	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級
書記	三十圓	二十五圓	二十二圓	二十圓	十八圓	十六圓	十四圓	十二圓	十圓	八圓
雇員	七圓	六圓	五圓	四圓						
使丁	五圓	四圓五十錢	四圓	三圓五十錢	三圓					

理由書

有給吏員及使丁ノ俸給規則ヲ規定スルハ本件ニ一定ノ規定ナク年毎ニ異動ヲ生スルトキハ就職者ノ方向定ノ難ク從ツテ施政上ニ澁滯ヲ見ルノ恐ナキ能ハス故ニ之ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年六月二日　　廣島縣廣島市參事會
廣島縣廣島市長　伴資健

廣島縣廣島市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年五月三十日

廣島縣廣島市ニ於テ諸收入金督促手數料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市制第百二條ニ依リ市ノ諸收入金督促手數料ニ關ス、ル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年五月三日　　廣島縣廣島市參事會
内務大臣伯爵　山縣有朋殿　　廣島縣廣島市長　伴資健
大藏大臣伯爵　松方正義殿

廣島市條例

第一條　市制第百二條ニ依リ市ノ諸收入金督促幷手數料方法ヲ規定ス

第二條　市ノ收入金ヲ定期内ニ納メサルトキハ之ヲ督促シ督促再回ニ至ルモ猶完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ徵收ス

第三條　市内ハ督促一回ニ付不納金一圓以下ヲ手數料金三錢トシ金一圓ヲ加フル毎ニ金一錢ヲ增シ十錢ニ至リテ止ム但手數料ハ不納金額ニ超過スルヲ得ス

第四條　市外ハ督促一回ニ付不納金一圓以下ヲ手數料金六錢トシ金一圓ヲ加フル毎ニ金一錢ヲ增シ十錢ニ至リテ止ム

理由書

諸收入金督促幷手數料方法ヲ規定スルハ從來諸納金ヲ等閑ニ付スルノ弊ナキ能ハス依テ此制ヲ設ケ市歲入ノ整理ヲ速カニシ且此澁滯ヨリ生スル市費ノ幾分ヲ償ハントト欲スルニ依リ之ヲ設クル所以ナリ

指令二十三年六月五日　　廣島縣廣島市參事會
廣島縣廣島市長　伴資健

廣島縣廣島市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年六月二日

廣島縣廣島市ニ於テ有給吏員退隱料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ稟請セリ仍テ審査ス

ルニ適當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市制第七十七條ニ依リ有給吏員退隱料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年五月三日　　廣島縣廣島市參事會

內務大臣伯爵　山縣有朋殿　　廣島縣廣島市長　伊藤資健

廣島市條例

第一條　市制第七十七條ニ依リ有給吏員退隱料ヲ規定ス

第二條　有給吏員ニシテ退職シタル者ハ第三條第四條ニ依リ其翌月ヨリ退隱料ヲ交付ス

第三條　任期滿限ニシテ退職ノモノ

一給料年額八百圓以上　一箇年金百二十圓

一同四百圓以上四百圓未滿　同金八十四圓

一同二百五十圓以上四百圓未滿　同金六十圓

一同二百圓以上二百五十圓未滿　同金四十八圓

一同百八十圓以上二百圓未滿　同金三十六圓

一同九十圓以上百八十圓未滿　同金三十圓

第四條　任期滿限ニ至ラスト雖モ公務ノ爲メ傷痍及疾病ニ罹リ又ハ任期滿限前一年以內ニシテ年齡六十年以上ニ及ヒ職務ニ堪ヘサル爲メ退職セシモノニハ猶第三條ノ退隱料ヲ交付ス

第五條　五年以上在職シ退職ノモノニハ一時ニ其退職前ノ給料年額四分ノ一ヲ交付ス

第六條　退隱料ハ年額ヲ折半シ每年三月九月ノ二回ニ交付ス但半年ニ滿タサルモノハ月割ヲ以テ計算ス

第七條　在職中ノ過失退職後ニ發覺シ其過失重大ナルトキハ其發覺ノ日ヨリ退隱料ノ交付ヲ廢止スルコトアルヘシ

理由書

有給吏員ノ退隱料ヲ規定スルハ有給吏員ハ總テ定期ヲ以テ選任セラルヽヲ以テ任期滿限ノ後再選若クハ勳績セラレサルトキハ遽ニ糊口ノ途ニ迷フモ測ル可カラス然ルトキハ有力ノ人進ンテ本市ノ職ニ就クコトヲ欲セサルヘシ故ニ之ヲ設ク

廣島縣廣島市條例ノ件上奏ハ通裁可セラル

內務省上奏二十三年七月四日

廣島縣安藝郡蒲刈島村ニ於テ督促手數料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

蒲刈島村條例

第一條　本村ハ制第百二條ニ依リ本村ノ諸收入ヲ定期內ニ納メサル者ニ對シ督促ヲナストキハ其手數料ノ徵收セント欲スルモノハ一般ノ徵收ス

第二條　督促手數料ハ每回金三錢トス

第三條　督促手數料ハ共都度之ヲ徵收ス

理由書

本村ノ諸收入ヲ定期內ニ納メサル者ニ對シ督促ヲナストキハ其手數料ノ徵收セント欲スルモノハ一般納稅者ニシテ定期完納ヲ了ルモノヨリハ行政上別段ノ手數ヲ要シ從テ其事務費ヲ加重スルカ故ニ之レカ手數料ヲ徵シ以テ其冗費ヲ補ハントスルニアリ

廣島縣安藝郡蒲刈島村條例ノ件上奏ハ通裁可セラル

內務省上奏二十三年七月二十三日

廣島縣安藝郡仁保島村ニ於テ督促手數料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

本村會ニ於テ督促手數料ニ關スル條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

明治二十三年六月六日　　內務大臣伯爵　西鄕從道殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

蒲刈島村條例

第一條　本村ハ制第百二條ニ依リ本村ノ諸收入ヲ定期內ニ納メサル者ニ對シ督促ヲナストキハ其手數料ノ徵收セント欲スルモノハ一般ノ徵收ス

第二條　督促手數料ハ每回金三錢トス

第三條　督促手數料ハ共都度之ヲ徵收ス

理由書

本村ノ諸收入ヲ定期內ニ納メサル者ニ對シ督促ヲナストキハ其手數料ノ徵收セント欲スルモノハ一般納稅者ニシテ定期完納ヲ了ルモノヨリハ行政上別段ノ手數ヲ要シ從テ其事務費ヲ加重スルカ故ニ之レカ手數料ヲ徵シ以テ其冗費ヲ補ハントスルニアリ

廣島縣安藝郡蒲刈島村條例ノ件上奏ハ通裁可セラル

內務省上奏二十三年七月二十三日

廣島縣安藝郡仁保島村ニ於テ督促手數料ニ關スル條例ノ件別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本郡仁保島村區會ニ關スル條例村會ノ意見ヲ聞キ別紙ノ通設定候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年五月二十一日　　廣島縣安藝郡長　杉山新十郎

內務大臣伯爵　西鄕從道殿

理由書

本郡仁保島村ハ三島ヲ以テ一村ヲナシ而シテ八浦ニ分ル其區域頗ル情風俗ヲ異ニシテ各團體ヲナセリ而シテ其區域ハ特ニ多少土地家屋又ハ金穀等ノ財產及ヒ各種ノ權利義務ヲ有スルカ故ニ從來人民ノ協議ノ上總代人ナル者ヲ置キ以テ諸般ノ取扱ヲナス然ルニ地民相對ノ協議上ヨリ成立セシモノニテ其組織完全ナラスシテ權限モ亦タ明瞭ナラサルヨリ事務措辨上往々紛議ナキニアラス之ヲ村長ニ委托セン依テ各浦ノ希望ニ任セ町村制第百十四條ニ依リ區會ニ關スル條例ヲ設ケ各浦ヘ區會ヲ組織スルヲ必要トスル所以ナリ

第一條　制第百十四條ニ依リ區會ヲ設ク

第二條　區會區域ヲ定ムル左ノ如シ

向洋
澗崎
本浦
大河
丹那
日宇那
宇品
似ノ島

第三條　議員ノ定員ハ其ノ區ノ人口ニ準シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム

一人口千五百未滿ノ區ニテハ　議員六人
一人口千五百以上五千未滿ノ區ニテハ　議員八人
一人口五千以上ノ區ニテハ　議員十二人

第四條　議員ハ其ノ區ニ於テ村會議員選舉權ヲ有スル者之ヲ選舉ス

第五條　議員ハ其區ニ於テ村會議員被選舉權ヲ有スル者ヨリ選舉ス

第六條　議員選舉幷ニ改選ノ手續ハ町村會議員選舉ノ例ニ準ス

第七條　議員ハ名譽職トス其任期ハ六年トス

第八條　區會ハ會議細則ヲ設クヘシ

指令二十三年七月二十九日

廣嶋縣安藝郡仁保嶋村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年十月十五日

廣嶋縣安藝郡仁保嶋村ニ於テ常設委員ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙之通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年八月九日　廣嶋縣安藝郡仁保嶋村長　中川半左衛門

內務大臣伯爵　西鄉從道　殿

仁保嶋村條例

第一條　制第六十五條ニ依リ常設委員六名ヲ置ク其任期ハ三年トス

委員ハ議員中ヨリ選出ス

但議員タルノ權ヲ失フト同時ニ委員ノ職ヲ失フモノトス

第二條　委員中闕員アルトキハ一箇月以內ニ補闕選舉ヲ行フモノトス

補闕委員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第三條　常設委員ハ左ノ事務ヲ分擔ス

一土木ニ關スル事務

第四條　常設委員ハ本村行政ニ關スル事項ニ就キ村長ノ諮問ニ對シ之ヲ議スルモノトス

常設委員設置理由書

本村行政事務ノ處辨ハ現在吏員ヲ以テ差支ナシト雖モ就中本村ハ區域廣濶ニシテ數部落ニ分岐シ從テ人情風俗モ異同ナキニアラス是ヲ以テ代議機關ト行政機關ノ間ニ軋轢等ノ弊生スルコトナカラシメンコトヲ於今防制セサル可カラス之ヲ防制セシカ則町村制第六十五條ニ規定スルカ如ク常設委員ヲ置クニ若クモノナシトス依之委員ヲ置キ本村行政事務ノ一部ヲ分擔セシメ且行政ニ關スル事項ヲ臨機委員ニ諮問シ實施スルトキ尙將來ニ於テ如斯軋轢等ヲ生スルノ憂ナキヲ保スヘシ是ヲ以テ常設委員設置ヲ必要トシ本案ヲ提出スル所以ナリ

指令二十三年十月二十一日

廣嶋縣安藝郡仁保嶋村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年五月二十四日

山口縣大嶋郡家室西方村長及助役ニ關スル條例及同縣阿武郡萩町町長及助役ニ關スル條例ノ件許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ右ハ何レモ人口一萬以上ノ町村ニシテ事務ノ繁劇ナルハ必然ニ有之專務吏員ヲ要スルハ事情止ヲ得サルモノニ可有之就テハ右條例ハ相當ノ規程ト被存候ニ付御裁可アラセラレ度別紙町村會議決書相添謹テ上奏ス

本村會ニ於テ村長助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年四月二十三日　山口縣大嶋郡家室西方村村會議長　青木勘五郎

內務大臣伯爵　松方正義　殿

條例第一號

町村制第五十六條ニ依リ本村ノ村長幷助役一名ヲ有給吏員トス

理由書

本村ニ於テ有給ノ村長助役ヲ要スルモノハ本村ハ戸數二千二百八十戸ヲ有スル大村ニシテ事務繁劇ナルヲ以テ村長助役ニ於テ專ラ擔任スルニアラサレハ處理難致事情アルヲ以テ有給吏員ヲ置クコトヲ要スル所以ナリ

本町會ニ於テ町長助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年五月五日　山口縣阿武郡萩町町會議長　井上昌

內務大臣伯爵　松方正義　殿

條例第一號

町村制第五十六條ニ依リ本町ノ町長及ヒ助役一名ヲ有給吏員トス

本町ニ於テ有給ノ町長助役ヲ要スルモノハ本町ハ戸數四千三百四十四戸人口二萬千〇七十六人ヲ有スル大町ニシテ事務繁劇ナルヲ以テ町長助役ニ於テ專ラ擔任スルニアラサレハ處理難致事情アルヲ以テ有給吏員ヲ置クコトヲ要スル所以ナリ

山口縣大嶋郡家室西方村條例及同縣阿
内務省上奏二十二年十月二日
山口縣赤間關市ニ於テ市長代理者順序
稟請セリ右審査スルニ別段支障ノ廉ア
本市會ニ於テ市制第六十九條ニヨリ市

明治二十二年八月二十二日
内務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
市制第六十九條ニヨリ市長代理者ノ順序ヲ規定スル左ノ如シ
市長故障アルトキハ助役市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中年長者ヨリ順次其事務ヲ代理スル
本市會ニ於テ市制第七十七條ニヨリ有給市吏員ニ退隱料支給方ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

山口縣赤間關市參事會
赤間關市長　伊藤房次郎

明治二十二年八月二十二日
内務大臣伯爵　松方正義殿

條例第二號
第一條　市制第七十七條ニヨリ市長其他有給吏員ニ終身退隱料ヲ支給ス
第二條　市長及助役收入役ノ退隱料ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ給ス
一在職十二年以上　俸給四分ノ一
一在職十八年以上　俸給三分ノ一
第三條　市書記ノ退隱料ハ左ノ區別ニヨリ之ヲ給ス
一在職十五年以上　俸給四分ノ一
一在職二十年以上　俸給三分ノ一
第四條　在職年限未タ退隱料ヲ設クルニ至ラサル爲メ退職セシ者ハ第二條又ハ第三條ノ一項ニ依リ特ニ退隱料ヲ支給スルコトアルヘシ
第五條　第二條第三條ノ金額ハ每年九月翌年三月ノ兩度ニ其半額宛ヲ支給ス
但半年ニ滿タサルモノハ月割ヲ以テ計算スルモノトス
第六條　懲戒處分ニ依テ解職セラレ又ハ犯罪ノ爲メ職務ヲ剝奪セラレタルモノニハ退隱料ヲ支給セス
第七條　在職中ノ過失退隱後ニ發覺シ其過失第六條ニ該當スルトキハ發覺ノ日ヨリ退隱料ノ給與ヲ廢止ス
理由書

有給市吏員ニ退隱料ヲ支給スルハ市ノ事務タル尤モ繁雜ナレハ土地ノ情況ヲ熟知スルヲ要セリ其情況ヲ熟知スルニハ多年職務ニ從事セサルヘカラス然レトモ其給料ノ如キハ他ノ職務ニ從事スルモノニ比シ寡少ナルヲ以テ往往此職ヲ勤續スルモノ少シ故ニ退隱料支給法ヲ設ケ適當ノ人物ヲ得ント欲スル所以ナリ

本市會ニ於テ市制第百二條ニ依リ市ノ收入ヲ定期内ニ完納セサル者ヘ督促手數料徵收ニ關スル條例ノ件別紙之通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年八月二十二日
内務大臣伯爵　松方正義殿
大藏大臣伯爵　松方正義殿

山口縣赤間關市參事會
赤間關市長　伊藤房次郎

條例第五號
第一條　市ノ收入ヲ定期内ニ完納セサルモノアルトキハ之ヲ督促シ猶完納セサルトキハ滯納處分法ニヨリ徵收ス
第二條　督促ヲナスニハ手數料トシテ第二回ヨリ一回ニ付金二錢ヲ徵收ス
但一里以外ノ地ニアルモノハ一里ヲ加フル每ニ金三錢ヲ增課ス
第三條　參事會ニ於テ督促ヲナストキハ令狀ヲ發ス可キモノトス
理由書
市ノ收入ニシテ定期内ニ完納セサルモノニ督促手數料ヲ徵スルハ之レヲ督促スルニ使夫及其他ニ於ケル手數ヲ要スルヲ以テ此條例ヲ設ケ手數料ヲ徵スル所以ナリ

指令二十二年十月五日
山口縣赤間關市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年四月二日
和歌山縣ニ於テ和歌山市區會ニ關スル條例ヲ稟請セリ右審査スルニ別段支障ノ廉アルヲ見ス依テ御裁可アラセラレ度此段上奏ス

和歌山縣ニ市制第百十三條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙寫相添此段上奏ス

明治二十三年三月十一日
當縣和歌山市内ニ於テ特別ニ財産ヲ所有スル各部ノ企望ニ依リ市會ノ意見ヲ聞キ別紙之通區會條例ヲ規定候ニ付許可ヲ請フ

區會條例

第一款　組織及選擧

第一條　市制第百十三條ニ依リ和歌山縣和歌山市大字ノ内左ノ區域ヲ畫シテ區會ヲ設ク

第一區　本町二町目　本町三町目
本町一町目　米屋町　匠町
本町四町目　中ノ店南ノ町　中ノ店北ノ町
中ノ店中ノ町

元寺町一町目
雜賀町
南桶屋町
第二區
駿河町
寄合町
板屋町
舟大工町
西大工町
第三區
北魚屋町
源藏馬場二町目
元寺町四町目
東旅籠町
元寺町南ノ町
本町八町目
東釘貫町二町目
西釘貫町二町目
袋布經町
東布經町三町目
東布經町六町目
西布經町六町目
杉ノ馬場三町目
一筋目
四筋目
德田木町
東藏前町
慈ノ森中ノ町
慈ノ森片町
曲尺町
第四區
東紺屋町

元寺町二町目
住吉町
福ノ町
西ノ店町
東鍛冶屋町
北大工町
萬町

元寺町三町目
北桶屋町
卜半町
橋ノ町
西鍛冶屋町
南大工町
六軒町

源藏馬場一町目
疊屋町
西旅籠町
元寺町西ノ町
鍋屋町
本町七町目
東釘貫町一町目
西釘貫町一町目
山吹町
東布經町二町目
東布經町五町目
西布經町三町目
西布經町五町目
杉ノ馬場二町目
杉ノ馬場五町目
三筋目
六筋目
屏風町
九家ノ町
慈ノ森南ノ町
慈ノ森東ノ町
慈ノ森新道
元博勞町
西紺屋町二町目

北細工町
三木町中ノ町
屋形町一町目
屋形町四町目
廣瀨通町一町目
南片原一町目
元町奉行町二町目
山蔭町
蘆邊町
大井戶町
片岡町一町目

三木町南ノ町
船場町
屋形町三町目
三木町堀詰町
廣瀨通町三町目
元町奉行町一町目
廣瀨中ノ町二町目
谷町
下鷹匠町
岡山町

南細工町
三木町南ノ町
船場町
屋形町三町目
三木町堀詰町
廣瀨通町三町目
元町奉行町一町目
廣瀨中ノ町二町目
谷町
下鷹匠町
岡山町
雜賀道
第五區
新中通一町目
新中通四町目
田町
上六軒町
北ノ新地一町目
北ノ新地東ノ町
餌差町一町目
新通二町目
新通五町目
南材木町三町目
西田中町
東瓦町
南一里山町
裏岡南ノ町
藏小路
第六區
北新一町目
北新四町目
北新博勞町
北新桶屋町
東仲間屋一町目

北新町
北新二町目
北新五町目
北新戎ノ町
西仲間町一町目
東仲間町二町目

和歌町
三木町臺所町
屋形町二町目
屋形町五町目
廣瀨通町二町目
南片原二町目
廣瀨中ノ町一町目
辨財天町
上鷹匠町
藪町
片岡町二町目

新中通三町目
坊主町
覆町
裏田町
補右衛門小路
毛革屋町
新通一町目
新通四町目
南材木町二町目
橋向町
西瓦町
中筋町
新留町
數寄屋町
中六間町

北新三町目
北新七軒町
北新中ノ町
西仲間町二町目
北新元金屋町

北新金屋町　嘉家作ヶ町
畑屋敷松ケ枝町　畑屋敷兵庫ノ町
畑屋敷端ノ町　畑屋敷西ノ町
畑屋敷東ノ町　畑屋敷榎町
畑屋敷雁木町　新八百屋町
畑屋敷袋町　岡園福院西ノ町
岡袋町　岡織屋小路
岡北ノ町　畑屋敷園福院西ノ町
畑屋敷園福院西ノ町　南雜賀町
岡林泉寺町　新雜賀町
新通七町目　新中通五町目
第七區　湊紺屋町一町目
傳奉橋南ノ町　湊紺屋町二町目
湊紺屋町三町目　湊本町一町目
湊本町三町目　湊北町一町目
湊北町三町目　小野町一町目
小野町三町目　久保町一町目
久保町三町目　久保町四町目
小人町南ノ町　道場町
北汀町　南汀町
東阪ノ上町　西阪ノ上町
東長町一町目　東長町二町目
網屋町　上町
第八區　雜賀屋町
雜賀屋町　雜賀町東ノ町
有田屋町南ノ町　上野町一町目
上野町三町目　小松原通一町目
湊通町北二町目　湊通町北三町目
徒町　廣道
東長町三町目　東長町四町目
東長町六町目　北甚五兵衛町
鞆七町目　北仲間町
七曲リ　植松町
北牛町　南牛町

鈴丸町　有田屋町西ノ町
畑屋敷千體佛町　上野町二町目
畑屋敷中ノ町　湊通町北一町目
畑屋敷葛屋町　湊通町北四町目
新堺町　久右衛門町
木挽町　東長町五町目
岡園福院東ノ町　南甚五兵衛町
畑屋敷園福院東ノ町　南仲間町
新雜賀町　西河岸町
新通道六町目　西長町一町目
湊紺屋町二町目
湊本町二町目
小野町二町目
久保町二町目
小人町
男ノ芝町
西汀町
北阪ノ上町
材木町
下町

西長町二町目　西長町三町目
北土佐町　南土佐町
南田邊町　加納町
有田屋町
第九區
湊通町南一町目　湊通町南二町目
湊通町南四町目　茶町ノ町
湊桶屋町　東長町中ノ町
東長町八町目　東長町九町目
東長町十一町目　尾崎町
出口甲賀町　出口中ノ町
出口端ノ町　出口新端ノ町
作事町　洲崎町
小松原通三町目　小松原通四町目
小松原通六町目　小松原通七町目
小松原通九町目　眞砂町一町目
寺町　車阪二町目
車阪一町目　車阪西ノ町
豐原町二町目　豐原町三町目
車阪南ノ町　撞木町
中橋筋　苫屋町一町目
苫屋町三町目　玉藻町一町目
北河岸一町目　北河岸二町目
北河岸四町目　北河岸五町目
磯山町二町目　磯山町三町目
島崎町　新堀一町目
新堀三町目　新堀四町目
新堀六町目　新堀七町目
新堀井戸ノ町　新堀南ノ町一町目
東徒町　中徒町
新堀北ノ町一町目　新堀北ノ町二町目
鹽木町　新堀北ノ町三町目
濱見町　新堀七軒町
第二條　區會議員ノ定員ハ每區各八人トス

西長町四町目　湊通町南三町目
北田邊町　芝ノ町
北相生町　東長町七町目
東長町十町目
南相生町
金龍寺町
小具町
小松原通二町目
小松原通五町目
小松原通八町目
眞砂町二町目
濱ノ町
豐原町一町目
豐原町四町目
大泉寺町
苫屋町二町目
玉藻町二町目
北河岸三町目
磯山町一町目
磯山町四町目
新堀二町目
新堀五町目
新堀八町目
新堀南ノ町二町目
西徒町
北新堀ノ町三町目
新堀七軒町

第三條　選舉人ハ分テ二級トス
選舉人中直接市稅ノ納額最多キ者ヲ合セテ總額ノ半ニ當ルヘキ者ヲ一級トシ爾餘ノ選舉人ヲ二級トス一級ノ間納稅額兩級ニ跨ル者アルトキハ一級ニ入ル可シ又兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二名以上アルトキハ其區內ニ住居スル年數ノ多キ者ヲ以テ一級ニ入ル若シ住居ノ年數ニ依リ難キトキハ年齡ヲ以テシ年齡ニモ依リ難キトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム可シ
選舉人每級各別ニ議員ノ半數ヲ選舉ス其被選人ハ同級內ノ者ニ限ラス兩級ニ通シテ選舉セラルヽコトヲ得

第四條　前條々ノ外組織及選舉ニ關シテハ市制第十二條第十五條乃至第二十九條ヲ適用ス但第二十九條當選者資格要件ノ有無ハ區會之ヲ議決ス

第二款　職務ノ權限

第五條　區會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ
一　營造物ニ關スル規則ヲ設クル事
二　區有財產ヨリ生スル收入金穀處分ノ事
三　區有不動產ノ賣買交換讓與幷貸入書入ヲ爲ス事
四　區有財產管理及處分ノ事
五　區ノ歲入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ノ支出ヲ認定スル事
六　決算報告ヲ認定スル事
七　區ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第六條　區會ハ區ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閱シ市長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ執行幷收入支出ノ正否ヲ監査スルヲ得

第七條　前內々ノ外市制第三十五條乃至第四十三條幷第四十五條乃至第四十八條ノ規定ヲ適用ス

第三款　歲入出豫算及決算

第八條　市參事會ハ每會計年度收入支出ノ豫知シ得ヘキ金額ヲ見積リ年度前二箇月ヲ限リ歲入出豫算表ヲ調整ス可シ但區ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

第九條　前條ノ外市制第百八條乃至第百十二條ノ規定ヲ適用ス

第四款　監督

第十條　區會ニ於テ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ縣參事會代テ議決ス

第十一條　左ノ事件ニ關スル區會ノ議決ハ縣參事會ノ許可ヲ受クルヲ要ス
一　區ノ營造物ニ關スル規則ヲ設ケ幷改正スル事
二　區有不動產ノ賣買交換讓與幷貸入書入ヲナス事
三　區有財產處分ノ事

理由書
和歌山縣和歌山市ニ區會開設ヲ要スルハ各部ニ於テ特別ニ財產ヲ所有シ從來聯合町會ヲ設ケ其評決ニ依リ處理シ來レル事實アルニ因ル然レトモ容易ニ區會ヲ開設スルハ市制ノ精神ニアラサルヘキヲ以テ

市制施行後其特別所有セル財產ニ關シテハ尙市會ニ於テ議決セシメ其實況ヲ視ルニ全市ト各部落ト利害同シカラサルヲ以テ其議決或ハ全市ノ利益ニ偏スルノ傾キアラントス依テ各部ハ勿論市參事會ニ於テ其區會開設ノ必要ヲ感シ之ヲ企望スルニ至レリ依テ尙事實ヲ調査シ實際區會開設ノ必要ヲ認メタルヲ以テ市會ノ意見ヲ聞シモ亦之ヲ開設スルヲ企望セリ是則該條例ヲ規定シ許可ヲ稟請セル所以ナリ

和歌山縣和歌山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

內務省上奏二十三年四月十五日

和歌山縣東牟婁郡新宮町ニ於テ諸收入金徵收ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ稟請ス

內務省上奏二十三年五月二十三日

和歌山縣東牟婁郡新宮町々長　南　徹一郎

和歌山縣有朋殿

內務大臣伯爵　山縣有朋
大藏大臣伯爵　松方正義　殿

（別紙）

本町會ニ於テ町稅徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

町稅徵收督促條例

第一條　町稅徵收督促ニ關シテハ本町諸收入金ヲ定期內ニ納メス爲ニ督促ヲ要スルトキハ町長ハ左ノ規定ニ依リ手數料ヲ徵收スルモノトス、

一　納期末日ヨリ十日以內ニ一回督促シ其督促ノ後五日ヲ過キ尙納稅セサルトキハ再ヒ督促ヲナスモノトス

二　再督促ヲ受猶五日以內ニ納稅セサルモノアルトキハ怠納處分法ニ依リ徵收スルモノトス

第二條　前條督促ヲ受ケタルモノハ左ノ手數料ヲ納ムヘシ其手數料ハ督促ヲナストキハ令書ヲ附スルモノトス

一　一回督促ヲ受ケタルモノハ金一錢

一　再督促ヲ受ケタルモノハ金二錢

第三條　役場ヨリ一里以外ノ地ニ在リ督促ヲ手數料ヲ納ムヘキ可シ但里程一里未滿ノ端數ハ算入セス

本町々稅督促條例ヲ設置セシハ從來納期ヲ愆ル者多ク從テ手數ヲ費スコト亦夥多ナリ故ニ本條例ヲ設ケ怠納者ヲシテ納期ヲ愆ラシメサル而已ナラス將來怠惰心ヲ除去スルニ至ルヘシ因テ本條例ノ設置ハ本町ニ於テ最モ必要ノモノナリトス

指令二十三年六月二日

和歌山縣新宮町條例ノ件上奏ノ通裁可セラルヽ

內務省上奏二十三年七月九日

和歌山縣有田郡湯淺村ニ於テ諸收入金徴收督促手數料ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スル
ニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ町村制第百二條ニ據ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在
度別紙寫相添謹テ上奏ス
（別紙）
本村會ニ於テ村稅徴收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付裁可ヲ請フ

明治二十三年六月二日　　和歌山縣有田郡湯淺村
　　内務大臣伯爵　西鄕從道　殿　　村長河瀨卯兵衛代理
　　大藏大臣伯爵　松方正義　殿　　助役　大谷政之助

村稅徴收督促條例

第一條　制第百二條ニ依リ本村諸收入金ヲ定期内ニ完納セス爲ニ督促ヲ要スルトキハ村長ハ左ノ規定
ニ依リ手數料ヲ徴收スルモノトス
一　納期末日ヨリ十日以内ニ一回督促ヲナスモノトス
二　前項ノ督促ヲ受ケ五日以内ニ完納セサルモノアルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ徴收スルモノト
ス

第二條　前條督促ヲ爲シタルトキハ手數料トシテ金三錢ヲ徴收ス

第三條　役場ヨリ一里以外ノ地ニ在リ督促ヲ受ケタルモノハ前條手數料ノ外里程一里毎ニ金五錢ノ增
手數料ヲ徴收スヘシ
但里程一里未滿ノ端數ハ算入セス

理由書

本村ハ村稅ヲ定期内ニ納メサルモノアルトキ又ハ怠納者アルトキハ本條例ヲ要スルニ由ル
指令二十三年七月十一日

和歌山縣有田郡湯淺村條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年九月二十九日

和歌山縣和歌山市ニ於テ諸收入金徴收督促手數料ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀請スル
ニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ市制第百二條ニ依ルモノニシテ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度別紙
寫相添謹テ上奏ス
（別紙）
本市會ニ於テ市制第百二條ニ依リ手數料新設ノ件別冊之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年八月二十八日　　和歌山縣和歌山市參事會
　　内務大臣伯爵　西鄕從道　殿　　市長　長屋喜彌太

和歌山市條例　　大藏大臣伯爵　松方正義　殿

市稅徴收督促幷ニ手數料

第一條　市制第百二條ニ依リ本市諸收入金ヲ定期内ニ納メス爲メニ督促ヲ要スルトキハ市參事會ハ左
ノ規定ニヨリ督促徴收ス

一　納期末日ヨリ過キ尚納稅セサルトキ再督促ヲナス

二　再督促ヲ受ケ尚五日内ニ納稅セサルモノハ怠納處分法ニヨリ徴收ス

第二條　再度ノ督促ヲ受ケタルモノハ手數料トシテ金三錢ヲ課ス但手數料ハ督促ヲナストキ令書ヲ付
スヘシ

第三條　市外地ニアリテ再度ノ督促ヲ受ケタルモノハ前條手數料ノ外尚三倍ヲ增課ス

和歌山市條例　市稅徴收督促幷手數料ニ關スル理由

一市稅ノ怠納ヲ督促スルニ方リ其督促ヲ受ケタル者ニ對シ手數料ヲ課スルハ稍々殿ニ失スルノ憾ナ
シト雖モ市稅ノ如キハ國稅府縣稅ノ如ク一定ノ徴收方法等ノ規定アラサルヲ以テ自然納期ヲ怠タルモ
ノ甚タ少ナシトセス故ニ之レカ爲メ市費ノ支出ニ影響ヲ及ホサントスルノ恐レアリ依テ其督促ニ關ス
ル規定ヲ設置シ力メテ此ノ結果ヲ防ントスルニ在リ而シテ其督促再度ニ及フトキハ自然手數モ少ナカ
ラサルモノハ督促再度ニ及フトキハ自然手數料ヲ課セントスルノ意ニアリ
此ノ出費ヲ補塡シ市費ヲ節減セントスルノ意ニアリ

指令二十三年十月三日

和歌山縣和歌山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年十月二十一日

和歌山縣和歌山市ニ於テ市長代理ノ順序及常設委員幷公告式ニ關スル條例ヲ議決シ別紙ノ通許可ヲ禀
請スルニ及ヘリ依テ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト被存候ニ付御裁可被爲在度議決書寫相添謹テ上奏ス
（別紙）
本市會ニ於テ市制第六十一條第六十九條第七十五條ニ依リ條例ノ件別冊ノ通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年八月二十八日　　和歌山縣和歌山市參事會
　　内務大臣伯爵　西鄕從道　殿　　市長　長屋喜彌太

和歌山市條例

市長代理

一市長故障アルトキハ助役之ヲ代理ス市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中年長者ヲ以テ市
長代理トス

和歌山市條例

常設委員ノ組織權限及任期

第一條　本市ニ左ノ常設委員ヲ置ク

一學務委員　十八
一勸業委員　二人

第二條　學務委員ハ市會議員二人選擧權ヲ有スル市公民一人ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條　委員ノ任期ハ二箇年トシ滿期ニ至リ再選スルコトヲ得

第四條　委員闕員アルトキハ直チニ補闕選擧ヲ行フ其補闕員ハ前任者ノ任期在職スルモノトス

第五條　學務委員ハ本市高等小學校男子部女子部幷ニ各尋常小學校ニ各一名ヲ置キ尋常小學校學務委員ハ簡易小學校ノ事務ヲ兼ネ左ノ事項ヲ掌理ス

一學齡兒童ノ就學ヲ勸勵督責スルコト
一私立小學校幷ニ私立諸學校ノ利弊ヲ視察シ意見ヲ市參事會ヘ具申スルコト
一學事ニ關スル報告表簿ヲ整備スルコト
一校舍ノ新築若クハ營繕ニ關與スルコト
一備品幷ニ需用物品ノ購買又ハ修繕ヲ調査スルコト
一學年卒業及奬勵試驗ニ出席シ庶務ヲ辨理スルコト
一校長ト協議シ校內ノ庶務ヲ處辨スルコト

第六條　勸業委員ハ本市內勸業上ニ係ル重要ノ事項ヲ調査シ又ハ報告等ヲ擔任ス其事務ノ要項左ノ如シ

一市內民業物產ノ盛衰ニ注目シ其盛衰ノ因由ヲ查察シ意見ヲ市參事會ヘ具申スルコト
一海陸運漕ノ利害ノ河川路道港灣ニ關スル修築ニ關スルコト
一滯渠用惡水流通ニ關スルコト
一農商工業及水產ノ利害又ハ改良保護幷ニ統計ニ關スルコト
一地方重要物產ノ景況及價格其他勸業上必要ト認ムル事件ヲ調査シ市參事會ヘ報告スルコト

第七條　委員ハ一人一箇年金三十圓以上五十圓以下ノ報酬ヲ給ス其金額ハ市會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

和歌山市條例

公告式

第一條　本市條例及ヒ規則等ヲ發布スルニ付キ之ヲ公告スルニハ左ノ揭示場ニ揭示スルモノトス

市役所　大橋詰
鍛冶橋詰　鈴丸橋
新堀橋止　湊橋詰

第二條　公告ハ各揭示場ニ揭示シタル日ヨリ七日間揭示スルモノトス

第三條　本市條例及ヒ規則等ハ發布ノ日ヨリ七日ヲ經テ施行ノ效力ヲ有ス

但特ニ施行ノ日ヲ定メタルモノハ此限ニアラス

和歌山市條例

市長ノ代理ニ關スル理由

一市長ノ代理ハ市參事會ニ於テ左ノ規定ナルモ其代理ノ順序ノ別ニ定メアラサルヲ以テ別段其順序ヲ定メ置カサレハ實際ニ臨ミ錯雜ヲ生スルノ恐レアリ因テ其順序ヲ規定スルハ素ヨリ必要ナリト思惟スルニ依リ百般ノ事務ニ參與シ自ラ實務ニ習熟セシモ名譽職參事會員ニ在リテハ議事ノ職ヲ補佐シ且ツ直接ニ百般ノ事務ニ參與セシメサルニ依リ百般ノ事務ニ參與セス本市ニ於テハ別ニ事務分掌セシメ名譽職參事會員トノ職ニ渉ノ如キ差別アルヲ以テ前述代理ノ先後ヲ定メシモノハ乃チ玆ニ基キシモノナリ然シテ市長助役共ニ故障アルニ臨ミ名譽職參事會員ニ於テ代理ヲ爲ス場合ニ當テ會員中其順序ノ規定アラサレハ是亦錯雜ヲ來ス恐レナシトセス依テ實際ニ臨ミ右等錯雜ナカラシメンカ爲メ常設委員ノ組織權限及ヒ任期ニ關スル理由

本市ニ學務勸業ノ兩委員ヲ常設シ而シテ學務勸業ノ事務タル殊ニ錯綜ナルカ故從前區ニ任テハ學務ニハ行政吏員ノ外ニ區民中有志ノ者十名ヲ選定シ各學校ニ配置シ校務ヲ委囑シ每校管理上必要ノ事務ヲ擔任セシメタリ然ルニ市政實施ニ當リ右ノ職員ハ廢滅セシモ學務勸業ノ事務ハ倍々加ハントスルノ惰勢トシテ少シモ變スルコトナキノミナラス人智ノ開達スルニ從ヒ是等ノ事務ハ倍々加ハントスルノ惰勢ナルヲ以テ今右等ノ委員ヲ置カスシテ專務吏員ニ而已其事務ヲ擔掌セシムルトキハ更ニ若干ノ吏員ヲ增加シ應當ノ給額ヲ支給セサルヲ得ス然ルトキハ之カ爲メ市費ノ加重ヲ要スルノ恐レアリ依テ從前ノ例ニ倣ヒ各委員ヲ置キ名譽職ニテ其事務ヲ擔任セシムルトキハ專務吏員ノ數ヲ減却シ從テ市費ノ幾分ヲ輕減セントス加之ナラス公民ヲシテ多ク公務ニ參與セシメ施政ノ難易ヲ知ラシムル等ハ尤モ本制ノ旨趣ニ適合スルモノト思惟ス最モ委員ハ名譽職ナルヲ以テ俸給ヲ支給スヘキモノニアラスト雖モ前述ノ如ク公務ヲ擔任セシムルカ故相當ノ報酬ヲ與フルハ素ヨリ當然ナリトス然レトモ金額ヲ一定セスシテ之レカ範圍ヲ汎クセシモノニアリ而シテ其額ヲ市會ノ議決ニ任セシモノハ事務ノ煩簡ニ依リ便宜應當ノ額ヲ付與セントスルノ意ナリ

公告式ニ關スル理由

一本市條例及規則等ハ速ニ市民一般ニ知得セシムルハ尤モ必要ナリト雖モ其方法ノ如何ニ依テハ大ニ知得ノ遲速ニ關係ヲ有スルヲ以テ反覆其宜シキヲ探求セサルヲ得ス然ルニ其知得ノ神速ヲ要スルハ每日ニ就テ回示セシムルノ優レルニ如サル到底ナシ得ヘキモノニアラス依テ人民往來頻繁ニシテ普ク縱覽ニ便利ナル箇所則チ從前ヨリ設置シアル揭示場ヲ共用シ之レニ揭示スルノ外他ニ便法之レナキモノト信認ス而シテ其條例等揭示スルニ方リ之レカ揭示スルノ日數ヲ以テ玆ニ其揭出ノ日數ヲ七日間トセントス而シテ其日數ヲ七日間ト規定セシモノハ本縣令達等揭出ノ日數ヲ標準トシ多少裁酌ヲ加ヘシモノナリ

指令二十三年十月三十一日

和歌山縣和歌山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏ニ十二年十一月十六日

德嶋縣勝浦郡小松嶋村ニ於テ助役ヲ有給ト爲ス件別紙ノ通條例許可稟請ニ付調査候處本村ハ人口一萬二千二百十九戸數二千八百五十三區域廣濶ニシテ隨テ事務頻繁ナルニ依リ助役一名ヲ有給ト爲スハ相當ノ規定ト被認候間御裁可被爲在度別紙決議書相添謹テ上奏ス

（別紙）

助役條例御許可願

本村會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月三十日　德嶋縣勝浦郡舊小松嶋浦村外四村戸長　町口與三郎

内務大臣伯爵山縣有朋殿

條例第一號

小松嶋村助役條例

本村ハ町村制第五十六條ニヨリ本村ノ助役ヲ有給吏員ト爲ス

理由書

德嶋縣勝浦郡小松嶋村助役ヲ有給吏員ト爲スノ理由

一戸數二千八百九十九戸

一人口一萬二千四百五十七人

一地籍一千七百十一町六反三畝二十六歩

一地價七十八萬七千九百十三圓九十三錢

一地租一萬九千七百七十五圓四十錢七釐

以上列記スル如キ大村ニシテ殊ニ大字小松嶋浦ノ如キハ本郡中著名地ニシテ他府縣船舶等出入ヲ始メ商業市ニ等シキ頻繁ヲ加フルヲ以名譽職ニテハ到底難被相行ト自認ス此自治體ニシテ事務上澁滯等有之候テハ第一監督官廳ヘ對シ不相濟次第ニ付職務整理ノ爲メ助役ヲ有給吏員ト爲スノ適當ナルヲ覺リ村會ヲシテ條例ヲ制シ御認可ヲ仰ク事ニ至リタリ

指令二十二年十一月十九日

德島縣勝浦郡小松島村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

理由書

内務省上奏ニ十二年十二月五日

德嶋縣板野郡撫養町ニ於テ助役ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付御認可ヲ請フ

當撫養町町會ニ於テ助役ニ關スル條例之件別紙ノ通町條例トシテ規定ノ儀許可稟請ニ付審査候處相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

御認可願

當撫養町町會ニ於テ助役ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付御認可ヲ請フ

明治二十二年十一月二十四日　德嶋縣板野郡撫養舊南濱齋田村

内務大臣伯爵山縣有朋殿　戸長　吉成眞佐次

條例第一號

撫養町條例

第一條　本町ハ制第五十二條但書ニ依リ助役之定員ヲ三名トス

第二條　制第五十六條ニ依リ本町ノ助役一名ヲ有給吏員トス

第三條　助役之席順ハ名譽職助役ノ內ニテ年長ヲ以テ上席トシ年下ナルヲ其次席トシ有給助役ヲ末席トス若シ名譽職助役同年齡ニテ席順ヲ定メ難キ時ハ抽籤ヲ以テ上席次席トヲ定ム

理由書

右撫養町之儀ハ町村制施行前ハ四勝合二十村之內十一箇村ニシテ東西凡二里南北ハ一里餘ニ渉リ戸數四千十戸人口一萬八千二百十有餘ニシテ業體農工商之三種有之就中商家大半且撫養湊之在ルアリテ船舶之出入頻繁隨テ他縣他郡之商人輻湊之場處柄ニシテ事務之繁忙他之町村ト異ナリ既往之實蹟ニ參照スルモ助役二名增加セサレハ諸事差閊有之ヲ以テ町會ニ付シ定員之外二名增員之事ニ決議相成候所以ナリ

指令二十三年十二月九日

德嶋縣板野郡撫養町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年十二月二十四日

德嶋縣德嶋市ニ於テ市長代理ノ順序ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

相當ノモノト被認候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市制第六十九條ニ依リ市長代理ノ順序ヲ定メ置カサルニ於テハ執務ノ支障ヲ生スヘキハ勿論ナルヲ以テナリ而シテ實際上第一次ニ於テハ助役ヲシテ代理セシムルヲ便宜トシ助役差支ノ際ハ名譽職參事會員中年長者ヲ以テス

明治二十二年十二月十五日　德嶋縣有朋殿

内務大臣伯爵山縣有朋殿

德嶋市條例第一號

德嶋市長代理者ノ順序ハ一次ハ助役二次ハ名譽職參事會員中年長者ヲ以テス

理由書

市制第六十九條第三項ニ市條例ヲ以テ市長代理者ノ順序ヲ規定スヘシトアリ蓋シ條メ市長差支ノ際之カ代理者ヲ定メ置カサルニ於テハ執務ノ支障ヲ生スヘキハ勿論ナルヲ以テナリ而シテ實際上第一次ニ於テハ助役ヲシテ代理セシムルヲ便宜トシ助役差支ノ際ハ名譽職參事會員中年長者ヲ以テ代理セシムルヲ適當トスルヲ以テナリ

指令二十二年十二月二十六日

德嶋縣德嶋市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年六月二十六日

德嶋縣德嶋市ニ於テ特別所得稅幷ニ不動產移轉稅ニ關スル件條例トシテ規定ノ儀別紙稟請ニ付審査候處特別所得稅ニ關スルモノハ相當ト被認候得共不動產移轉稅ハ特ニ市ノ基本財產ヲ設備スル爲メ賦課

スルモノニテ穩當ナラサルモノト被認候依テ特別所得稅ハ御裁可被爲在不動産移轉稅ハ御裁可不被爲在候致度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ特別所得稅法條例及不動産移轉稅法條例ノ件別紙ノ通決議候ニ付許可ヲ乞フ

德嶋縣德嶋市參事會

德嶋縣德嶋市長　井上高格

明治二十三年三月二十五日

內務大臣伯爵　山縣有朋殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

德嶋市條例第　號

特別所得稅條例

第一條　市制第九十條ニ依リ本市ニ於テ特別所得稅法ヲ施行ス

第二條　特別所得稅ハ一箇年百圓以上三百圓未滿ノ所得アルモノヨリ納ムヘシ

但同居ノ家族ニ屬スル所得ハ總テ之ヲ合算シ戶主ノ名ヲ以テ納稅スヘシ

第三條　所得稅率ハ百分ノ一ト定ム

但所得金高ハ圓位未滿ノ端數ヲ算入セス

第四條　特別所得稅ハ前半年度分ヲ其年八月ニ後半年度分ヲ翌年二月ニ納ムヘシ

但納期前他ニ轉籍スルトキハ其際月割ヲ以テ納稅スヘシ

第五條　所得ハ左ノ定則ニ據テ算出スヘシ若クハ政府ノ特許ヲ得ヲ發スル證券ノ利子營業ニアラサル貸金

第一項　公債證書其他政府ヨリ發シ若クハ營業ニアラサル貸金ノ利子株式ノ利益配當金官私ヨリ受クル俸給手當金年金恩給金及割賦賞與金ハ直チニ其金額ヲ以テ所得トス

第二項　第一項ヲ除クノ外資産又ハ營業其他ヨリ生スル者ハ其種類ニ應シ收入金高若クハ收入物品ノ原價種代肥料營利事業ニ屬スル場所物件代價中ヨリ國稅地方稅市稅製造品ノ原價利子及雜費ヲ除キタルモノヲ以テ所得トス

第三項　借入料修繕料雇人給料負債ノ利子及雜費ヲ除キタルモノヲ以テ所得トス

第六條　本條例ニ依リ稅金ヲ納ムヘキ所得アルモノハ其年所得ノ豫算金高及種類ヲ明記シ每年四月三十日迄ニ市長ニ屆出スヘシ

第七條　調查會ハ十八人ノ調查委員ヲ以テ組織ス

第八條　調查委員ハ市參事會員中ヨリ二名市公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ五名ヲ擧クルモノトシ其選擧ハ都テ市制第六十一條ニ依ルモノトス

但其任期ハ一箇年トス

第九條　市參事會ハ第六條ノ屆書ニヨリ所得金高下調書ヲ製シ屆書ト共ニ調查會ニ付スヘシ

第十條　市參事會ハ納稅者ト認ムルモノニシテ第六條ノ期限ヲ過キ其屆出ヲ爲ササルトキハ所得金高ノ見積ヲ立テ調查會ニ付スヘシ

第十一條　調查會ハ市參事會ノ招集ニ由リ之ヲ開ク調查會ノ會長ハ市參事會員ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條　調查會ハ會員過半數出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス會議ハ出席員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ可否スル所ニ據ル但自己ノ所得ニ關スルトキハ其會議ニ與ルコトヲ得ス

第十三條　調查會ニ於テ納稅者ノ所得金額ヲ決議セシトキハ市參事會之ヲ各納稅者ニ通達スヘシ

第十四條　市參事會及調查會ハ此稅法ニ關シ調查上必要アルトキハ納稅者ト認ムルモノニ尋問スルコトヲ得

第十五條　所得調查ニ關スルモノハ納稅者ノ資產及所得ニ係ル事件ヲ他ニ漏洩スヘカラス

第十六條　納稅者其納期前ニ於テ所得金高十分ノ五以上ヲ減損シタルトキハ市長ニ申立ツルコトヲ得

第十七條　市參事會員ハ所得金額ヲ決議セシ後又ハ免除スヘシ

所得金高屆

第十八條　納稅者ノ資產及所得ニ關スル事件ヲ他ニ漏洩シタルモノハ一圓五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十九條　第六條ノ屆出ヲ爲ササルモノ科料金ハ處分確定後五日以內ニ納ムヘシ

第二十條　第六條ノ屆書式ハ別紙第一號樣式ニ依ル

第二十一條　本條例ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

第二十二條　第一號樣式

所得ハ其種目每ニ書載スヘシ（何々ノ利息何々ノ配當金又ハ何々貸金ノ利息）

一金何圓	營業稅及營業割
一金何圓	何何
小以金何圓	
一金何圓	何何ノ所得
外	外
金何圓	地租
金何圓	何々稅
金何圓	市稅
金何圓	（製造品原質代金製造品原價）

金何圓　借地借家料又ハ何々
金何圓　何々費
小以金何圓
所得高計金何圓
右之通ニ候也

年　月　日　　市　長　氏　名　宛

理由書

德嶋市ハ全國市制施行地ニ對比スルトキハ人口戸數共ニ頗ル上位ニ居ルモ舊ト藩主ノ城下ニシテ不生産者ノ士族多キヲ占ムルヲ以テ市稅ヲ賦課スルニ當テ地方稅戸別割ノ附加稅ニ多額ヲ課セサルヲ得ス然ラハ營業稅ニ附加セン乎近來本縣特ニ當ノ課目ヲ得サル所以ナリ仍テ茲ニ不動產移轉稅ヲ賦課スルノ必要ヲ認メ本案ヲ提出ス

德嶋市條例第　號

市制第八十一條ニ依リ本市ノ基本財產ヲ設備センカ爲メ不動產移轉稅法ヲ新設シ之レカ條例ヲ規定スルノ權アリ仍テ左ノ如シ

第一條　本市內ノ土地建物ヲ賣買シタルトキハ不動產移轉稅ヲ賦課ス

第二條　不動產移轉稅ハ其賣買價ヲ標準トシ左ノ稅率ヲ以テ賦課ス

一　耕地ノ賣買　賣價六十分ノ一
二　宅地及建物賣買　賣價五十分ノ一

第三條　不動產移轉稅ハ買受人ヨリ徵收ス

第四條　土地建物ヲ賣買シタルトキハ其賣買ノ當事者ハ其賣買ノ登記ヲ終リタル後五日以內ニ第二條ノ移轉稅及第五條ノ項目ト共ニ買受人ヨリ市役所ヘ屆出ヘシ

第五條　前條ノ屆書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　土地ノ賣買ニ就テハ字番地目段別地價及賣買ノ賣價
一　建物ノ賣買ニ就テハ其字地番屋敷番號建物ノ種類棟數坪數及賣買ノ賣價
氏名

第六條　買受人ハ納稅ノ際市長若クハ吏員ヨリ其登記濟ノ賣買證書閱覽ヲ求ムルトキハ拒ムコトヲ得ス

第七條　正當ノ理由ナクシテ第四條ノ屆出ヲ爲サス及ヒ稅金ノ減稅ノ目的ヲ以テ第五條ノ賣買賣價ヲ詐リタルモノハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ猶稅金ノ未滿若クハ不足額ヲ徵收ス

德嶋市大字町村番屋敷居住
何　ノ
某

第八條　本法ハ明治二十三年五月一日ヨリ施行ス

理由書

凡ソ自治體ニ在ツテハ其市町村ノ經費ヲ支フル爲メニハ基本財產ヲ設ケ其財產ヨリ收入スル所ヲ以テ之レニ充テンコトヲ望ムモノナルコトハ制文ニ徵セハ炳乎トシテ夫レ明ナリト雖盖シ何レノ自治體ニモ能ク其財產上ヨリ生スル收入ヲ以テ經費ヲ償フニ足リ附加稅若クハ特別稅ヲ賦課セサルモノハ未タ嘗テ之レアラサルヘシ然リト雖モ期スル所ハ孰レモ基本財產ヲ增殖シ後年ニ至テハ其收入ヲ以テ經費ヲ償ヒ勉メテ民力ヲ休養シ益自治ノ機關ヲ敏捷ニシ共ニ利益幸福ヲ享有センコトヲ渴望セサルハナカルヘキナリ本市ニ在テハ疾ク基本財產ヲ增殖スヘキ方法ヲ企圖セサルニハアラサルモ如何セン現時ニ於テハ一ノ基本財產ト稱スヘキモノアルナク其經常費ニ於テスラ國稅地方稅ノ附加稅ハ共ニ其極點ニ達シ今日民間困弊ノ時期殆ント其負荷ニ堪ヘ得サルカノ念慮ナシトセス創始ノ際已ニ斯ル情勢ナレハ年所ヲ經ルニ從ヒ民力益衰憊シ到底其負荷ニ堪ヘ得サル結果ヲ露呈センコトハ今ヨリ豫知スルニ苦シマサル所ナリ若シ夫レ一朝天變地異ノ災厄ニ遭遇セハ忽チ一市ヲ擧ケテ流離困頓ノ悲境ニ沈淪センコトモ又タ或ハ知ルヘカラス故ニ今ニシテ此等ノ豫防策ヲ企圖シ自治制タルノ利益幸福ヲ安全ニ享有セシメンニハ基本財產ノ增殖ヲ謀ルハ最モ現時民間ノ情勢ニ微シ洵トニ適切ナルヘシ如何トナレハ不動產移轉法ヲ新設スル所以ナリ今此法ニ據リ基本財產ノ增殖ヲ謀ルニ如クハナシ此レ則チ本市ニ不動產移轉法ヲ新設スル所以ナリ今此法ニ就キ其實價ノ幾十分ノ一ヲ收入スルモナクシテ頗ル基本財產ヲ增殖スヘシト信認スルヲ指令二十三年七月四日

德島縣德島市市條例ハ上奏ノ不動產移轉稅ヲ賦課法制局議案二十三年七月三日

內務大臣上奏德島縣德島市市條例ノ件ヲ審査スルニ市ノ基本財產ヲ設備スル爲メ不動產移轉稅ヲ賦課スルハ隱當ナラサルニ付上奏ノ通裁可セラレサル方可然特別所得稅ニ關スル條例ハ相當ノ規定ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十三年十二月二十四日

德島縣德島市ヨリ督促ニ關スル條例別紙ノ通リ許可稟請ニ付審査候處相當ノ規定ト被認候間御裁可被爲在度別紙寫相添ヘ諮テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ督促條例ノ件別紙ノ通決議候ニ付許可ヲ請フ

德島市參事會

德島縣德島市長　坂　部　廣　纖

明治二十三年十月二十九日

內務大臣伯爵　西　鄉　從　道　殿
大藏大臣伯爵　松　方　正　義　殿

理由書

市制實施以來ノ現狀ニ徵スルニ市稅滯納者ノ夥多ナル國稅地方稅滯納ノ比ニアラス之レカ滯納者ノ夥

多ナルハ畢竟制裁法ノ設ケナキニ基因スルニ外ナラス依テ本條例ヲ創定シ以テ滯納ノ惡弊ヲ除キ併セテ處分上ノ權衡ヲ保タシメントス

徳島市條例第　號

督促條例

第一條　市制第百二條ニヨリ市ニ於テ徴収スル使用料手數料市稅其他市ノ収入ヲ定期内ニ納メサルトキハ市參事會ハ二十日間ノ猶豫ヲ與ヘタル後之ヲ督促スヘシ

第二條　前條ノ督促ヲ受タルモノヨリ一回金三錢宛ノ手數料ヲ本稅同時ニ徴収ス

第三條　督促再回ニ及フモ猶収納セサルトキハ國稅滯納處分法ニヨリ之ヲ徴収ス

附則

本條例ハ許可ヲ得タル翌月一日ヨリ施行ス

指令二十三年十二月二十七日

徳島縣徳嶋市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月二十二日

香川縣豐田郡觀音寺町ニ於テ助役定員幷ニ之カ有給席次ノ件ヲ議決シ其條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ

依テ審査スルニ該町ハ人口一萬二千有餘ヲ有シ事務繁多ナルヲ以テ其定員ヲ增シ之ヲ有給トスルノ已ヲ得サルモノアルヘク且ツ席次ニ於テモ適當ノ規定ト被存候間御裁可アラセラレ度謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙之通リ議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年三月二十八日　香川縣豐田郡觀音寺町會議長　高辻恒哉

縣有朋殿

第一條　本町ハ制第五十二條但書ニヨリ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條　制第五十六條ニヨリ本町ノ助役一名ヲ有給吏員トス

第三條　助役ノ席次ハ名譽職助役ヲ以テ上席トス

本町ニ於テハ人口稠密殊ニ大字伊吹ハ海上ヲ隔ル事四里全町内ノ人口一萬有餘アリ隨テ役場事務繁雜故ニ助役一名ヲ增シ別紙條例案ヲ發シ原案ノ通決議相成候理由ニ有之候也

明治二十三年三月十八日　香川縣豐田郡觀音寺町會議長　高辻恒哉

指令二十三年五月一日

香川縣豐田郡觀音寺町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年五月十日

香川縣那珂郡九龜町ニ於テ助役定員ノ增加及其席次ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ適當ノ規定ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ助役ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年四月十四日　香川縣那珂元郡九龜通町外二十二箇町戸長　村岡亮行

縣有朋殿

前書申出之趣相違無之依之奥書致進達候也

明治二十三年四月二十六日　那珂多度郡長　豐田元良

條例

第一條　本町ハ制第五十二條但書ニ依リ助役ノ定員ヲ二名トス

第二條　助役ノ席次ハ投票多數ノ者ヲ以テ上席トス

九龜町助役增員理由書

本町ハ人口一萬七千八百有餘ニシテ常ニ旅客ノ出入頻繁ナレハ隨テ行政事務ノ繁多ナルコト既往ノ實驗上ニ徴スルモ實ニ明瞭ナル所ナリ況ヤ將來自治政施行上ニ當リ到底町長及助役各一名ニテハ行政事務ヲ負擔スルハ困難ナル事情必然タリ故ニ本町會ニ於テ町村制第五十二條但書ニ依テ一名ノ助役ヲ增員爲ス所以ナリ

指令二十三年五月十七日

香川縣丸龜町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年七月二日

香川縣高松市ニ於テ徴收督促手數料ノ件ヲ議決シ之ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被存候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

上申

本市會ニ於テ徴收金督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年六月十四日　香川縣高松市參事會

内務大臣伯爵　西鄕從道殿

大藏大臣伯爵　松方正義殿

市長　赤松渡

第一條　徴收金督促條例

第一條　市ノ諸徴收金ヲ定期内ニ納メサルトキハ之ヲ督促シ督促三回ニ至ルモ猶完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニヨリ之ヲ徴收ス

第二條　前條督促ヲ受ケタルモノハ第二回ヨリ毎回手數料トシテ金二錢ヲ徴收ス但一回ノ手數料不納金額ニ超過スルヲ得ス

理由書

一當市ノ諸收入金ヲ定期内ニ完納セサルモノアルトキハ制第百二條第一項ニヨリ之ヲ徵收スルハ勿論ナリト雖モ市參事會ニ於テ督促ヲナスニ其度數ヲ定メスンハ實施上區區ノ取扱ニ出ツルノ憂アリ茲ヲ以テ條例第一條ヲ制定シタル所以ナリ又右督促ヲナスニハ無論手數料ヲ要シ加之當ニ令達ノミテハ其効力薄弱ナラン依テ手數料ヲ徵收スレハ自然滯納スルノ弊ヲ絕ツニ至ラン之レ條例第二條ヲ設ケタル所以ニシテ兩條ハ當市ノ情況ニ照シ此ヲ設シルノ已ムヲ得サルニアリ

指令二十三年七月四日

香川縣高松市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年八月九日

香川縣高松市ニ於テ市長代理ノ件ヲ議決シタル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ仍テ審査スルニ相當ノ規定ト被存候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

上申

本市會ニ於テ市長代理ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年七月二十六日　高松市參事會

内務大臣伯爵　西　鄉　從　道　殿　市長　赤　松　渡

市長代理條例

第一條　市長故障アリテ職務ヲ執ル能ハサル時ハ助役其事務ヲ代理ス市長及助役共同樣ナルトキハ名譽職參事會員中番號順序ニヨリ其代理ヲナス

第二條　助役若クハ名譽職參事會員ニ於テ市長代理中ハ諸公文書等總テ其名ヲ用ユヘシ

香川縣高松市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年九月四日

香川縣下那珂郡九龜町々會ニ於テ町稅徵收督促ニ關スル條例之件別紙之通リ御裁可被爲在候樣致度謹テ上奏ス

（別紙）

香川縣下那珂郡九龜町々會ニ於テ町稅徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

本町會ニ於テ町稅徵收督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年八月十一日　内務大臣伯爵　西　鄉　從　道　殿

香川縣那珂郡九龜町々長　大　塚　一　格

香川縣那珂郡九龜町々稅徵收督促條例

第一條　本町ニ於テハ町村制第百二條ニ依リ本町ノ收入ヲ定期内ニ納メサル時ニ於テ爲ス督促手數左ノ如ク規定ス

一納期後十日以内ニ一回督促シ其督促ノ後十日ヲ經過シ尚ホ納メサル者ハ再ヒ督促ヲ爲ス者トス

二再督促ヲ受ケテ尚完納セサルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ徵收ス

第二條　前條ノ督促ヲ受ケタル者ハ金二錢

一回督促ヲ受ケタル者ハ金二錢

二再督促ヲ受ケタル者ハ金三錢

第三條　當管外ニ限リ町役場ヨリ一里未滿ノ地ニアルモノニハ前條手數料ノ外金五錢其他ハ一里毎ニ金五錢ノ手數料ヲ增加シテ徵收スヘキモノトス

第四條　督促ヲ爲スヘキハ必ラス町長ノ令狀ヲ發スルモノトス

香川縣那珂郡九龜町々稅徵收督促條例理由書

本町ハ明治二十一年法律第一號町村制第百二條第一項ニ依リ町稅ヲ納メサル者處分法別紙之通相定メ度其理由本町ハ戶數五千戶許ニシテ其生計タル多分ハ商業又ハ工業者等ニシテ又農民モアリ漁者モアリ種々雜業者雜居シ其事業上或ハ無屆旅行シ又ハ行商ヲ爲シ歸宅セス其他事故ヲ以テ期限通リ納付セサル者アルトキハ理由ヲ問ハス一律ニ督促ヲ爲ス時ハ必ラス町長ノ令狀ヲ發シ且手數料ヲ徵收スルニ至ラン然ルニ第二號國稅怠納處分法ニ準據シ督促ヲナシ且手數料ヲ徵收スルハ實施上甚タ困難ナリ之ヲ町村制第百二條第二項ノ如ク假裝シ尚納メサル者アリ之ヲ町村制第百二條第二項ノ如ク假裝シ尚納メサル者アリ又無智者ニシテ黙者ニ敎唆セラルル者モアラン此ヲ以テ再督促ヲ爲シ再ヒ手數料ヲ徵スルハ右等ノ弊ヲ矯正センカ爲メニスルニハ忽納處分ノ爲メ直ニ其財產差押ヲナシ本人ニ於テ多數ノ費用ヲ要シ其迷惑勘カラス又一ニハ多數ノ不納者アルトキハ理事者ニ在リテモ處分實施上甚手數ヲ要スルノ憂アルトキニ由ルナリ

指令二十三年九月十日

香川縣丸龜町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年三月七日

愛媛縣越智郡今治町ニ於テ今般有給助役條例合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

今治町條例許可申請書

本町會ニ於テ有給助役ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月十七日　愛媛縣越智郡今治町長　阿　部　光　之　助

内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿

條例第一號

助役條例

一制第五十六條ニ依リ本町ノ助役ヲ有給吏員トス

議案理由書

我カ今治自治區タル人烟稠密戶口繁多ナルコト郡内ニ冠タリ否獨リ郡内ニ冠タルノミナラス縣下中松山市ヲ除キ他ニ多ク歩ヲ讓ルモノアルヲ知ラス隨テ平常取扱フ事務ノ繁劇ナルコト亦他ノ村落嶋嶼ノ

類ニ非ス依テ助役ヲ有給ニ爲シ以テ町長ヲ補助執務セシメント欲シ茲ニ本案ヲ提出セシ所以ナリ

指令二十三年三月十一日

愛媛縣今治町條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十三年三月二十四日

愛媛縣松山市ニ於テ市吏員俸給ニ關スル條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審案候處不都合無之ト被認候ニ付御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ市長代理ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年三月七日　愛媛縣松山市長　木村利武

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第二號

一市長故障アリテ職務ヲ執ル能ハサルトキハ助役之ヲ代理シ市長助役共ニ故障アルトキハ名譽職參事會員中互選ヲ以テ定メタル順序ニ依リ順次之ヲ代理ス

本市會ニ於テ市吏員俸給ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年三月七日　愛媛縣松山市長　木村利武

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第三號

市吏員俸給條例

第一條　市長助役收入役ノ年俸ヲ分ツテ三等トス

第二條　書記ノ月給ヲ分ツテ十等トス

職名／等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等
市長	六百圓	五百圓	四百圓							
助役	三百五十圓	三百圓	二百五十圓							
收入役	三百圓	二百五十圓	二百圓							
書記				二十五圓	二十圓	十八圓	十五圓	十二圓	十圓	九圓	八圓	七圓	六圓

第三條　付屬員ノ月給ハ三圓以上十二圓以下又ハ日給十錢以上五十錢以下トス

愛媛縣松山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年三月二十六日

愛媛縣松山市ニ於テ公告式ニ關スル條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査候處不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ公告ニ關スル條例之件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年三月十一日　愛媛縣松山市長　本村利武

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第一號

一公告ハ松山市大字港町四町目及港町一町目小唐人町二町目鐵砲町木屋町四町目ノ紙屋町ノ掲示場ヘ掲示シ仍松山市内ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ヘ登載スルヲ以テ公式トス

指令二十三年三月二十七日

愛媛縣松山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第二號

一公告ハ松山市大字港町四町目及港町一町目小唐人町二町目鐵砲町木屋町四町目ノ紙屋町ノ掲示場ヘ掲示シ仍松山市内ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ヘ登載スルヲ以テ公式トス

指令二十三年三月二十七日

愛媛縣松山市條例ノ件別紙之通リ議決ニ付許可ヲ乞フ

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

愛媛縣松山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年四月十四日

愛媛縣松山市ニ於テ今般督促手數料ニ關スル條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候ニ付御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本市會ニ於テ徵收金督促ニ關スル條例之件別紙之通リ議決ニ付許可ヲ乞フ

明治二十三年三月二十八日　愛媛縣松山市長　木村利武

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

條例第四號

徵收金督促條例

第一條　市ノ諸徵收金ヲ定期内ニ納メサルトキハ之ヲ督促シ督促三回ニ至ルモ猶完納セサルトキハ國稅納滯納分法ニ依リ之ヲ徵集ス

第二條　前條督促ヲ受ケタルモノハ第二回ヨリ毎回手數料トシテ金二錢ヲ徵收ス但手數料ハ不納金額ニ超過スルヲ得ス

指令二十三年五月二日

愛媛縣松山市條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務省上奏二十三年五月一日

愛媛縣北宇和郡宇和嶋町ニ於テ今般督促手數料條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ稟請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト認メラレ候ニ付御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ町ノ諸徵收金滯納者督促ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年四月七日　愛媛縣北宇和郡宇和嶋町長　山崎惣六

宇和嶋町條例第一號

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

第一條　町ノ諸徴収金ヲ其期定内ニ収メサルトキハ之ヲ督促シ督促三回ニ至ルモ尚完納セサルトキハ國税怠納處分法ニ據リ之ヲ徴収ス

第二條　前條督促ヲ受ケタル者ハ第二回ヨリ毎回手數料トシテ金二錢ヲ徴収ス

理由

町ノ諸収入金納期ニ至リテ納メス尚ホ期限後數日ヲ經過スルモ更ニ納付セス爲メニ多分ノ手數ト費用ヲ要スルモノ往往有之斯ハ從來ノ經驗ニ徴シ財務整理上差支勘カラサル而已ナラス豫メ此レカ救治策ヲ施ササレハ彼ノ恐ルヘキ弊風ヲ良民ニ波及スルニ至ラン故ニ町村制第百二條ニ因テ此議案ヲ提出シ本町會ノ議決ヲ以テ實地ニ施行セントス

愛媛縣宇和嶋町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル

内務上奏二十三年五月十四日

愛媛縣越智郡今治町ニ於テ今般常設委員條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

本町會ニ於テ常設委員條例ノ件別紙ノ通議決ニ付許可ヲ請フ

愛媛縣越智郡

今治町長　阿部光之助

内務大臣伯爵　山縣有朋殿

明治二十三年四月十三日

理由書

學務衛生土木勧業ノ事務タル自治區行政事務中最モ重要ノ事務ニシテ此事務ノ興否ハ自治區内ノ休戚ニ關スルコト大ナリ豈輕忽ニ付スヘケンヤ故ニ本町ニ專務委員ヲ設ケ行政事務ニ參與セシメ吏員ノ關點ヲ補ヒ行政代議機關ノ圓滑ヲ保チ以テ我自治區ノ幸福ヲ增進セシメント欲ス抑本制第六十五條委員ヲ置クノ精神タル町村公民ハ特リ會議ニ加ハルノミニアラスシテ委員トナリテ町村行政ニ參與シ實務ノ經驗ヲ積ミ施政ノ難易ヲ了知シ吏員ノ短所ヲ補ヒ代議機關ト行政機關トノ軋轢ヲ防制スルノ利益アリト之レ本制理由ノ示ス處ナリ實ニ自治制ノ性質上委員ヲ設クルノ關クヘカラサルヲ察シ茲ニ本案ヲ提出シ本町會ノ議決ヲ得テ以テ禀請スルノ理由ニ有之候

條例第二號

常設委員條例

第一條　制第六十五條ニ依リ本町ニ左ノ常設委員ヲ置ク

一土木委員　一名

一勧業委員　一名

一學務委員　一名

一衛生委員　一名

第二條　常設委員ハ制第六十五條第二項ニヨリ本町公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ選舉ス

第三條　常設委員ノ任期ハ二箇年

第四條　常設委員ノ闕員アルトキハ十日以内ニ補闕選舉ヲ行フ

第五條　常設委員ハ各分掌事務ヲ異ニスト雖モ其事務ノ執行ハ委員會ノ評決ニヨル

第六條　制第七十四條第三項ニ依リ常設委員ノ事務要項ヲ定ムル左ノ如シ

第一項　土木ニ係ル事務

一町會議決ノ旨趣ニヨリ土木工事ヲ施行スルコト

二翌年度ニ施行スヘキ事業費額等取調議案ヲ編製スルコト

但臨時急施ヲ要シ會議ヲ開クヘキ場合又同シ

三前年度ニ於テ施行セシ事業ノ成績ヲ調査スルコト

四道路橋梁堤防等ノ修築保存ニ注意スルコト

五臨時非常ノトキ保護スルコト

六土木ニ關スル諸表及諸報告材料ヲ調査スルコト

第二項　勧業ニ係ル事務

一町會議決ノ旨趣ニヨリ勧業事務ヲ施行スルコト

二翌年度ニ施行スヘキ事業費額等取調議案ヲ編製スルコト

但臨時急施ヲ要シ會議ヲ開クヘキ場合又同シ

三前年度ニ於テ施行セシ事業ノ成績ヲ調査スルコト

四水陸物産ノ改良繁殖ニ注意スルコト

五蟲害驅除家畜傳染病ノ豫防ニ注意スルコト

六勧業ニ關スル諸表及諸報告材料ヲ調査スルコト

第三項　學事ニ係ル事務

一町會議決ノ旨趣ニヨリ學事事務ヲ施行スルコト

二翌年度ニ施行スヘキ事業費額等取調議案ヲ編製スルコト

但臨時急施ヲ要シ會議ヲ開クヘキ場合又同シ

三前年度ニ於テ施行セシ事業ノ成績ヲ調査スルコト

四學齢兒童ノ就學ヲ勧誘スルコト

五小學校ノ經費ヲ監視スルコト

六學事ニ關スル諸表及諸報告材料ヲ調査スルコト

第四項　衛生ニ係ル事務

一町會議決ノ旨趣ニヨリ衛生ニ關スル事務ヲ施行スルコト

二翌年度ニ施行スヘキ事業費額等取調議案ヲ編製スルコト

但臨時急施ヲ要シ會議ヲ開シヘキ場合又同シ

三前年度ニ於テ施行セシ事業ノ成績ヲ調査スルコト

四住所飲食幷職業等ノ公衆衛生ニ注意スルコト

五流行病豫防及種痘等ニ注意スルコト
六衛生ニ關スル諸表及諸報告材料ヲ調査スルコト
第七條　常設委員疾病事故ノ爲メ主擔事務ヲ所理シ能ハサルトキハ町長ノ指揮ニヨリ他ノ委員ヲシテ一時之ヲ取扱ハシム
第八條　常設委員ハ一名ニ付一箇年金十二圓ノ報酬ヲ給與ス
指令二十三年五月十七日　愛媛縣今治町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年六月六日　愛媛縣越智郡今治町ニ於テ今般徴收金督促手數料條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審案スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）
本町會ニ於テ徴收金督促條例別紙ノ通議決ニ付許可ヲ請フ
明治二十三年五月五日　愛媛縣越智郡今治町長　阿部光之助
内務大臣伯爵　山縣有朋殿
大藏大臣伯爵　松方正義殿

條例第三號
今治町徴收金督促條例
第一條　凡ソ法律ニ依テ徴收スル本町ノ收入ヲ定期後五日以内ニ完納セサルトキ町長ハ第一回ノ督促ヲナシ尚五日以内ニ完納セサルトキハ第二回ノ督促ヲナシ其督促ヲナスニハ督促令狀ヲ交付ス令狀交付後尚ホ五日以内ニ完納セサルトキハ國稅怠納處分法ニヨリ之ヲ徴收ス
第二條　督促二回ニ及フトキハ手數料トシテ金二錢ヲ徴收ス
事由會
町稅督促ノ事タル既往ノ慣行ニ徴スルニ納期限ヲ過キ完納セサル者ヘ對シテハ當初ハ二回乃至三回ノ督促ニ依テ稍ヤ相緩リ來リシモ尚漸次怠慢ニ失スルノ弊ヲ生シ財産ノ取調ヲ爲シ公賣處分ノ揭示ヲ門戸ニ貼付スルニ非サレハ完納セサルモノ夥多アルニ至レリ蓋シ貧困僅ニ調金スル者又ハ赤貧洗フカ如キ者アルヘシト雖モ亦資產アル者ニシテ怠慢上ヨリ完納セサル者甚タ多シ實ニ會計整理上ニ差支アルノミナラス後場經費ヲ增加スルコト實ニ鮮少ニ非ス依テ徴收金督促條例ヲ設ケ手數料ヲ徴シ怠慢ニ失スルノ弊ヲ防キ且經費ノ幾分ヲ補ハントス欲シ本町會ノ議定ヲ經許可ヲ請フ所以ナリ
指令二十三年六月十六日　愛媛縣今治町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年六月二十六日　愛媛縣越智郡今治町ニ於テ今般區會條例ヲ設ケントシ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審案スルニ不都合ノ廉無之ト被認候間御裁可被爲在度謹テ上奏ス

（別紙）

愛媛縣越智郡今治町區會條例別紙之通發行致度許可ヲ請フ
明治二十三年五月二十一日　愛媛縣越智郡今治町　二ノ俣今朝松
内務大臣伯爵　西郷從道殿

愛媛縣越智郡今治町區會條例
第一章　區會ヲ設ク
第一條　愛媛縣越智郡今治町左ノ各區ニ區會ヲ設ク
一大字今治村
二大字本町
三大字室屋町米屋町本町北新町風早町中濱町片原町新町
四大字室屋町米屋町北新町風早町中濱町片原町新町
第二章　組織及選舉
第二條　區會議員ハ區内ノ選舉人其區内ニ於テ定員左ノ如シ
大字本町區會　議員七人
大字今治村大字室屋町米屋町本町北新町風早町中濱町片原町新町大字室屋町米屋町北新町風早町中濱町片原町新町
中濱町片原町新町每區會議員十人
第三條　本町公民ハ總テ其區内ニ於テ選舉權ヲ有ス
但公民權ヲ停止セラルル者及ヒ陸海軍ノ現役ニ服スル者ハ此限ニアラス
第四條　選舉人ハ階級ヲ分タス
第三章　職務權限
第五條　區會ハ其區ニ所有スル財產ニ關スル件ヲ議決スルモノトス
第四章　雜則
第六條　區會ハ前數條ニ規定スルノ外町村會ノ例ヲ適用ス
理由書
愛媛縣越智郡今治町大字今治村大字本町及大字室屋町米屋町本町北新町風早町中濱町片原町新町大字室屋町米屋町北新町風早町中濱町片原町新町ハ各一區ヲ爲シ特別ニ財產ヲ所有スルヲ以テ町村制第百十四條ニ依リ該町會ノ意見ヲ聞キ其財產ニ關スルノ事務ノ爲メ各區會ヲ設クルモノトス而シテ議員定數ニ差異アルハ區内人口ノ多寡ニヨリ酌量シタルモノナリ
指令二十三年六月三十日　愛媛縣今治町條例ノ件上奏ノ通裁可セラル
内務省上奏二十三年七月二十九日　別紙高知縣知事於テ高知市内各區所有ノ財產及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會ヲ設クル條例ノ許可ヲ禀請スルニ及ヘリ依テ逐條審査スルニ何レモ相當ノ規定ト被存候間御裁可被爲在度別紙條例寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

高知市區條例ノ儀ニ付上申

縣下高知市ニ於テ市制第百十三條事件ノ爲メ區會ヲ要シ高知市會ノ意見ヲ聞キ別紙ノ通條例發行致度候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月十六日　　高知縣知事　闕　所　廣　丈

内務大臣伯爵　松　方　正　義　殿

高知市區條例

第一條　市制第百十三條ニ依リ左ノ各區域ニ於テ所有スル財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ區會ヲ設ク

高知市高知町區會字

追手筋　南與力町　北門筋　本與力町　中鰕町　本與力町　西唐人町　八軒町　帶屋町　永國寺町　廿代町　鷹匠町　升形　片町　北與力町　金子橋　西弘小路

高知市北町區會字

材木町　種崎町　新市町　緒屋町　山田町　廿代町　南新町　北新町　中新町

高知市南町區會字

朝倉町　浦戸町　境町　要法寺町　東唐人町　廣岡町　九反田　農人町　菜園場町

高知市上町區會字

北奉公人町　通町筋　築屋敷　南奉公人町

第二條　區會議員ノ定員ハ各區十二人トス

第三條　區會議員ハ市會議員ノ選舉名簿ニ依リ其區内ニ居住スル市會議員ノ選舉權アル者ニ於テ選舉ス

但選舉ノ等級ヲ設ケス

第四條　議員ヲ選舉セントスルトキハ市長ニ於テ選舉ノ場所日時ヲ定メ少クモ五日以前ニ之ヲ其區内ニ公告スヘシ

第五條　區會ノ議事細則ハ其區會ニ於テ之ヲ定ム

第六條　前條條ノ外總テ市會ノ例ヲ適用ス

高知市條例ハ上奏ノ通裁可セラレタリ。

指令二十二年八月六日

法制局議案二十二年八月三日

別紙内務大臣上奏高知市條例ヲ審査スルニ右ハ相當ノ規程ニシテ法律ニ牴觸ノ廉モ無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

内務省上奏二十三年十一月六日

高知縣高知市ニ於テ今般公示法市長代理順序警備法及督促手數料幷手數料新設ニ關スル諸條例ヲ新設セントシ別紙ノ通許可ヲ禀請セリ依テ審査スルニ不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度讀テ上奏ス

（別紙）

具申書

高知市條例公示法別紙ノ通高知市會ニ於テ議決致候ニ付許可ヲ乞フ

明治二十三年五月三日　　高知縣高知市參事會

内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿　　高知縣高知市長　一　圓　正　興

條例

高知市公示法

第一條　市内ニ公示スヘキモノハ掲示場ニ掲ク其位置左ノ如シ

市役所

朝倉町　一

種崎町　一

本町筋　一

第二條　公示期限ハ七日トシ該期限内公示シタル事項ハ總テ市内周知シタルモノト見做スヘシ

（説明）

公示ノ位置及其期限ヲ定ムルナリ

具申書

高知市條例高知市長代理ノ順序別紙ノ通高知市會ニ於テ議決致候ニ付許可ヲ乞フ

明治二十三年五月三日　　高知縣高知市參事會

内務大臣伯爵　山　縣　有　朋　殿　　高知縣高知市長　一　圓　正　興

條例

高知市長代理ノ順序

第一條　市長ノ代理順序ハ第一助役第二互選ヲ以テ定メタル名譽職市參事會員トス

（說明）制第六十九條ニヨリ市長ノ代理順序ヲ定ム

具申書

高知市條例高知市內警備法別紙之通高知市會ニ於テ議決致候ニ付許可ヲ乞フ

明治二十三年五月三日

內務大臣伯爵　山縣有朋　殿

條例

高知市內警備法

第一條　水火災防禦ノ爲メ市內ニ水火夫ヲ置ク其方法人員給與額ハ市會ニ於テ之ヲ定メ市參事會之ヲ任用ス

（說明）從前市內各町ニ水火夫ノ設立アリタリ而シテ其之アルハ自然ノ必要ニ出テタルモノニシテ本件ノ規定ハ則チ新設事業ニアラスシテ其各町舊制ヲ高知市ニ再設シタルニ過キサルナリ

具申書

高知市條例高知市手數料別紙ノ通高知市會ニ於テ議決致候ニ付市制第百二十一條第百二十二條ニ依リ許可ヲ乞フ

明治二十三年五月三日

內務大臣伯爵　山縣有朋

大藏大臣伯爵　松方正義

高知縣高知市參事會

高知縣高知市長　一圓正興

殿

條例

高知市手數料規定

第一條　本市ハ左ノ手數料ヲ徵收ス

第一款　督促手數料

本市ニ徵收スル諸收入金ヲ納メス市參事會ノ督促ヲ要スルモノアルトキハ左ノ順序ニ依リ手數料ヲ徵收ス

第一項　納期後一周間ヲ過キ納出セサルモノ一回ノ督促ヲナシ其手數料金二錢ヲ納メシム

第二項　前項ノ督促ヲナシ其後尙ホ一周間ヲ過キ納出セサルモノハ再督促ヲナシ其手數料金五錢ヲ納メシム

第三項　第一項第二項ノ督促ハ市參事會ノ令狀ヲ交付スルモノトス

第二款　簿冊閱讀手數料

簿冊閱讀ヲ市役所ニ請フモノハ左ノ區別ニヨリ其手數料ヲ徵收ス

第一項　戶籍簿實印簿家並帖土地臺帖諸稅臺帖其他書類每件一日一回金二錢

第二項　舊戶籍簿實印簿舊家並帖舊檢地帖三箇年以內ノ諸願屆其他ノ書類每件一日一回金五錢

第三項　三箇年以上ニ渉ル諸帖簿幷諸願屆其ノ書類每件一日一回金十錢

（說明）督促手數料ハ收入金ノ延滯アル每ニ直チニ督促シ其手數料ヲ徵セシムルカ如キ苛刻ノ精神ニアラスシテ隨メ先ツ其督促手數料辨出ノ害ヲ受クヘキ注意ヲ促サシメ尙ホ延滯スルモノニ對シ公然督促書ヲ發布シタル場合ニ至テ之ヲ徵スル精神ナリ簿冊類ノ閱讀手數料ハ金穀貸借上ヨリ起ル訴訟又ハ婚姻及一箇人ノ爲メニ要スル事件ニ關シ戶籍印鑑土地臺帳家並帖數年ヲ經過セシ諸願屆書類等ノ如キヲ披閱致シタキ旨申立吏員ノ煩ニ堪ヘサル實況アルヲ以テ之ニ對シ相當手數料ヲ徵スル精神ナリ以上二種ノ手數料ハ制第八十九條及制第百二條ニ據ル

指令二十三年十一月二十二日

高知縣高知市公示法市長代理順序警備法及手數料ニ關スル市條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局書記官ヨリ內閣書記官ヘ回答二十三年十一月二十日

高知市條例中法ノ字ニ付高見拜承致シ取調候處從來法律ノ命名ニ一定ノ成規無之制法條例規則等適宜ニ用ヒ居リ民間ニ於テモ方法ト云ヘル意味ニテ法ノ字用ユル場合少ナカラス候ニ付縣郡市町村ノ條例ニ之ヲ用ヒ差閊無之又別段其用法ヲ一定スル必要ナキコトト存シ候加之本局ハ市町村條例カ法律ニ牴觸スルヤ否ヲ審査シ不都合ナキ限リハ之カ自治ニ干涉スルコトナク特ニ字句ノ修正ハ一切不致方針ニ候間左樣御承知被下度此段及御回答候也

內務省上奏二十三年十一月二十一日

高知縣高知市ニ於テ今般手當金給與ニ關スル條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

不都合ノ廉無之ト被認候條御裁可被爲在度謹テ上奏ス

高知縣高知市參事會

高知縣高知市長　一圓正興

（別紙）

高知市條例別紙ノ通高知市會ニ於テ議決致候ニ付御許可ヲ乞フ

高知縣高知市參事會

高知縣高知市長　一圓正興

明治二十三年十月二十八日

內務大臣伯爵　西鄉從道　殿

條例

高知市吏員以下公務ノ爲メ疾病傷痍又ハ死亡者手當法

第一條　市吏員市傭員使丁公務ニ依リ疾病傷痍死亡スル者ハ本人又ハ遺族ヘ手當金ヲ給ス其方法ハ市會ニ於テ之ヲ定ム

（說明）本件ハ市制ニ明文ナキカ爲メ制第十條ニ據リ之ヲ規定ス

指令二十三年十二月五日

高知縣高知市手當金給與ニ關スル條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年十二月十三日

福岡縣企救郡小倉町ヨリ町長ニ關スル條例別紙之通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ同町ハ人口一萬五

千餘陸軍兵營アリ輕罪裁判所支廳及治安裁判所アリ其他商社會社等多ク九州咽喉ノ地ニシテ事務頻繁ナルカ爲メ町長ヲ專務吏員ト爲スモノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙町會決議書寫相添謹テ上奏ス本町會ニ於テ町長ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

福岡縣企救郡小倉町町會議長　森　敬　助

明治二十二年四月二十九日

内務大臣伯爵　松　方　正　義　殿

條例第一號

本町ハ制第五十六條ニ基キ長一名ヲ有給吏トス

理由書

當小倉町ハ人家稠密殊ニ長濱浦二百八戸平松浦百四十戸兩社會社等數多有之ノミナラス當地ハ九州咽喉ノ地ニアリ福岡輕罪裁判所ノ支廳アリ治安廳アリ其他商社會社等多ク九州咽喉ノ地ニシテ事務頻繁シテ豫テ戸籍及兵事其他ノ事務頻繁加フルニ九州鐵道布設ノ沿道ニシテ追々起工ノ筈尙且ツ將來工業會社ノ續續起ラントスル勢アリ隨テ一層事務ノ繁劇ヲ來スヤ必セリ仍テ他ノ郡村ト大ニ情ヲ異ニシ到底一身ノ全力ヲ擧ケテ職務ニ從事セサレハ其事務ヲ處理シ能ハサルヲ以テ制第五十六條ニ基キ長一人ヲ有給吏トスル所以ナリ

條例第一號

代理條例

第一條　市長不在ノ時ハ助役其事務ヲ代理ス市長及助役共ニ不在ナルトキハ名譽職參事會員中ノ年長者ヨリ順次其代理ヲナス

第二條　助役若クハ名譽職參事會員ニ於テ市長代理ヲ爲ストキハトキハ代理者其責ニ任ス可シ

條例第二號

俸給條例

第一條　市長及助役收入役ノ俸給ハ年俸トシ第四條ノ年俸表ニ依リ市會其額ヲ定ム

第二條　市書記ノ俸給ハ月俸トシ第四條月俸表ニ依リ市參事會其額ヲ定ム

第三條　書記使丁ノ人員ハ市會カ議決シタル定員及定額金ノ範圍內ニ於テ市參事會適宜之ヲ任用スルコトヲ得

但必要ノ場合ニ於テハ本文定額金ノ範圍內ヲ以テ臨時傭使スルヲ得

第四條　市長以下有給吏員ノ俸給左表ノ如シ

市吏員年俸表

職名＼等級	上級	中級	下級
市長	六百圓	五百圓	四百圓
助役	三百圓	二百五十圓	二百圓
收入役	二百五十圓	二百圓	百七十圓

市吏員月俸表

書記＼等級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等
上	二十圓	十七圓	十五圓	十三圓	十一圓	九圓	七圓	五圓
下	十九圓	十六圓	十四圓	十二圓	十圓	八圓	六圓	四圓五十錢

條例第三號

退隱料條例

第一條　市長及助役收入役ノ退隱料ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ給與ス

一在職十二年以上　年俸四分ノ一

一在職十八年以上　年俸三分ノ一
第二條　市書記ノ退隱料ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ給與ス
一在職十五年以上　月俸三箇月分
一在職二十年以上　月俸四箇月分
第三條　職務ノ爲メ重傷ヲ負ヒ又ハ疾病ニ罹リ爲メニ職務ニ堪ヘス退職シタルモノハ未タ退隱料ヲ受クルノ年期ニ至ラスト雖モ市會ノ議決ニ依リ前二條ノ例ニ準シ之ヲ給與ス
若シ死亡シタルトキハ市會ノ議決ニ依リ扶助料トシテ退隱料二年以上五年以下ノ額ヲ一時ニ給與ス
第四條　六年以上在職ノ者死亡又ハ退職シタルトキハ在職中ノ俸給ニ依リ市長助役收入役ハ年俸四分ノ一書記ハ月俸三箇月分一時給與ス
但退隱料ヲ受ケル者及ヒ懲戒處分ニ依リ解職シタル者ハ此限ニアラス
本市會ニ於テ手數料ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候條許可ヲ請フ
福岡縣久留米市參事會
市長　內藤新吾
明治二十二年九月十日
內務大臣伯爵　松方正義殿
大藏大臣伯爵　松方正義殿

議案理由書
凡ソ市ノ諸徵收金ヲ徵收スルニ當リ納期限內完納セサル者アルトキノ之レカ督促ヲナスハ甚タ手數ヲ要セリ此ノ手數ヲ要スルヤ抑モ納者ノ怠惰ニ起因スルニ外ナラサレハ之レカ手數料ヲ徵收スルハ至當ノコトナラントス依テ手數料條例ヲ設ケントスル所以ナリ
條例第四號
手數料條例
第一條　市稅ヲ定期內ニ完納セス督促ヲ要スルトキハ其一回每ニ手數料金三錢ヲ徵收ス
指令ニ十二年十月三十日
福岡縣久留米市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ
內務省上奏二十二年十月二十四日
福岡縣生葉竹野兩郡各町村組合ヨリ常設委員ニ關スル條例ノ許可ヲ請セリ之ヲ審査スルニ町村制第六十五條及第七十四條ニ依リ之ヲ設クタルモノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添禮ヲ上奏ス
（別紙）
生葉郡竹野郡各町村組合會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ
明治二十二年九月二十七日
福岡縣生葉竹野郡長　中村彥次
內務大臣伯爵　松方正義殿

第一條　組合町村ニ常設委員二名ヲ置ク
第二條　常設委員ハ組合町村會ニ於テ公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選擧ス
第三條　常設委員ノ任期ハ滿三箇年トス
第四條　常設委員ハ任期滿限ノ後再選セラルヽコトヲ得
第五條　常設委員ノ事務ハ左ノ如シ
一共有物件ニ關スル事務
第六條　常設委員ハ郡長ノ指揮ニヨリ前條ノ事務ヲ處理スヘシ
第七條　常設委員ハ擔任事務ノ施行ニ關シ其責ニ任スヘシ
常設委員設置ノ事由
共有物件取扱ニ關スル事務ハ共有金ノ貸與營造物ノ保管貸與等ノ件ニシテ其管理者タル郡長ニ於テ直ニ之ヲ處理スルハ甚タ煩雜ニアリ
ヲ處理セシメントスルニアリ
指令ニ十二年十一月五日
福岡縣下生葉竹野兩郡各町村條例ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ
法制局議案ニ十二年十一月一日
別紙內務大臣上奏町村條例設定ノ件ヲ案スルニ右ハ相當ノ規定ニシテ法律上牴觸ノ廉無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム
內務省上奏二十二年十一月一日
福岡縣福岡市ヨリ別紙ノ通リ條例第一號乃至第四號ノ許可ヲ稟請セリ因テ審査スルニ第一號ハ市制第十一條及第十四條等第二號ハ同第六十九條第三號ハ同第十條第四號ハ同第七十七條ニ依リ設ケタルモノニ係リ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス
本市會ニ於テ條例第一號ヨリ第五號ニ至ル別冊之通議決候ニ付許可ヲ請フ
福岡縣福岡市參事會
市長　山中立木
明治二十二年七月十六日
內務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號
市會及選擧區條例
第一款　市會
第一條　市會議員ノ員數ハ制第十一條ニヨリ三十八ト定ム
第二條　市會ハ每年一回一月中ニ定期會ヲ開キ其他必要每ニ隨時開會ス
第二款　選擧區
第三條　市會議員選擧ノ爲メ制第十四條ニヨリ選擧區ヲ設ク
第四條　選擧區ハ市內ヲ二分シテ第一區第二區トス其區域左ノ如シ
第一區

中洲町　東中洲町　中洲川端町　中洲場町　下新川端町　七軒家裏町　嶋町
上大濱町二丁目　大濱町二丁目　上新川端町　中土居町　上土居町　吉岸町　中上町　下中上町　下
堅町　官内町　中濱町　上釜屋町　大乘寺前町　上赤間町　下箔屋町　下厨子町　上瓦町　壯園町　奥家町　上奥堂町　上祇園町　下土居町　上厨子町　上竹若町　下小山町　下桶屋町　上普賢堂町　中普賢堂町　上小路町　下西門町　中東門町　上魚服町　下魚服町　中魚服町　上吳服町　下小居町　上土居町　中土居町　上新川端町　下新川端町　中洲場町　東中洲町　中洲
大濱町四丁目　上金屋町　下濱口町　上濱口町　下小路町　芥屋町　西方寺前町　妙樂寺新屋敷町　下鰮洲崎町　上對馬小路町　御供所町　馬場新町　上奥堂町　祇園町　下厨子町　上竹若町　下小山町　中普賢堂町　上小路町　下西門町　中東門町　上魚服町　下魚服町　中魚服町　上吳服町　下小居町　上土居町　中土居町　上新川端町　下新川端町　濱新地町

中大濱町三丁目　下金屋町　下濱口町　中小路町　中石堂町　奥小路町　古溝町　妙樂寺町　下古門戸町　上鰮洲崎町　下橋口町　下奥堂町　萬行寺前町　上祇園町　熊前町　下楠田町　下赤間町　上小山町　上桶屋船町　北逢町　下東池町　上西魚町　下魚服町　上店屋町　下土居町　下川口町　濱新地町

下堅町　石堂川下　第二區　橋口町　鍛冶屋町　船津町　養巴毛町　林鰮小路端町　鳥屋場町　紺屋町　本名町　大名町　荒戸村町　荒戸町　魚屋町　北港町　樹木町　東唐人町　堀端町　西行地町　第五條　各選舉區選出議員數ヲ定ムルコト左ノ如シ

柳町　天神町　極樂寺町　須崎裏町　鍛冶屋町　船津町　養巴毛町　林鰮小路端町　鳥屋場町　紺屋町　本名町　大名町　荒戸町　荒戸村町　荒戸町　魚屋町　北港町　樹木町　東唐人町　堀端町　西行地町

小金町　因幡町　須崎土手町　蟠水研町　下樂名町　樂師小路町　西嶋町　萬性川端町　上吳服町　名ノ子町　濱大工町　寶浦町　谷港町　南浪人町　新地町

第一選舉區　十七人（一級）　第二選舉區　十三人（一級）

第六條　前條選出議員臨時補闕ノ場合ニ於テ第一區第二區選舉人員ニ異動アルモ半數改選ノ期マテハ之ヲ變更セス

條例第二號

第一條　市長不在ノトキハ助役其事務ヲ代理ス

第二條　助役共ニ不在ナルトキハ名譽職參事會員中ノ最モ年長者ヨリ順次其代理ヲナス

第三條　名譽職參事會員ニ於テ市長代理中ハ諸公文書等總テ其名ヲ用ユヘシ

給與條例

第一條　市長及助役收入役ノ俸給ハ選舉ノ初メニ於テ市會其額ヲ定ム

第二條　市書記ノ俸給ハ月俸トシ等級ヲ設ケ（別表ニ）毎等相當ノ俸給ヲ支給ス

第三條　市長其他有給吏員職務ニヨリ出張旅行スルトキハ旅費ヲ支給ス

第四條　學士技術師等ヲ雇入ルルコトアルトキハ此規定ニヨラス市會ノ決議ヲ以テ特ニ其額ヲ定ム

市吏員月俸表

書記	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等
上	二十圓	十七圓	十五圓	十三圓	十一圓	九圓	七圓
下	十八圓	十六圓	十四圓	十二圓	十圓	八圓	六圓

條例第四號

退隱料條例

第一條　制第七十七條ニヨリ有給吏員ハ退隱料ヲ支給ス

第二條　市長及助役收入役ノ退隱料ハ左ノ區別ニヨリ之ヲ定ム

一在職十二年以上　俸給四分ノ一

一在職十八年以上　俸給三分ノ一

第三條　市書記ノ退隱料ハ左ノ區別ニヨリ之ヲ定ム

一在職十五年以上　俸給四分ノ一

一在職二十年以上　俸給三分ノ一

第四條　職務ノ爲メ重傷ヲ負ヒ又ハ疾病ニ罹リ爲メニ職務ニ堪ヘス退職シタルモノハ在職年限未タ退隱料ヲ受クルニ至ラサルモノト雖モ第二條又ハ第三條ノ前項ニ準シ特ニ退隱料ヲ支給ス職務ノ爲メ死亡シタルモノハ在職年數ニ拘ハラス第二條又ハ第三條ノ前項ノ退隱料ヲ扶助料トシテ二箇年ヨリ少カラス五箇年ヨリ多カラサル額ヲ一時限リ其遺族ヘ支給ス其額ハ市會ノ定ムルトコロニヨル

第五條　六年以上在職セシモノ第二條又ハ第三條ノ退隱料ヲ受ク可キ年限ニ至ラスシテ退職スルトキハ相當退隱料ヲ一箇年分ヲ一時支給ス

第六條　退隱料ヲ受クヘキ期ニ至リタルモノ死亡シタルトキハ相當退隱料二箇年分ヲ一時限リ支給ス一箇年以上在職ノモノ死亡セシトキハ其年限ニ應シ退隱料ノ一箇年分以内之ヲ支給ス

第七條　懲戒處分ニヨリ解職又ハ犯罪ノ爲メニ職務ヲ剝奪セラレタル者ニハ退隱料ヲ支給セス

第八條　前條ニ該當スヘキ過失退隱後ニ發覺シタルトキハ其發覺シタル日ヨリ退隱料ノ給與ヲ廢止ス

指令二年十一月七日

福岡縣福岡市條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年十一月八日

福岡縣竹野郡各町村組合ヨリ常設委員ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ町村制第六十五條及第七十四條ニ依リ之ヲ設ケタルモノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

竹野郡組合町村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙之通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年九月二十六日　福岡縣生葉竹野郡長　中村彦次

内務大臣伯爵　松方正義殿

條例第一號

常設委員設置條例

第一條　竹野郡組合町村ニ常設委員四名ヲ置ク

第二條　常設委員ハ組合町村會ニ於テ公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス

第三條　常設委員ノ任期ハ滿三箇年トス

第四條　常設委員ノ任期滿限ノ後再選セラルヽコトヲ得

第五條　常設委員ノ事務ハ左ノ如シ

一秣山ニ關スル事務

二共有物件ニ關スル事務

第六條　常設委員ハ郡長ノ指揮ニヨリ前條ノ事務ヲ處理スヘシ

第七條　常設委員ハ擔任事務ノ施行ニ關シ其責ニ任スヘシ

常設委員設置ノ理由

秣山及共有物件取扱ノ事務ハ境界ノ紛爭負擔租稅ノ上納共有土地貸與小作米ノ取建等管理者タル郡長ニ於テ直接之ヲ處理スルハ却テ不便ノ惑アルニヨリ茲ニ常設委員ヲ設置シ其事務ヲ處理セシメント欲スルニアリ

指令二十二年十一月十二日

福岡縣竹野郡組合各町村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

内務省上奏二十二年十一月日閣

福岡縣竹野郡船越村外三町村組合ヨリ別紙ノ通常設委員ニ關スル條例ノ許可ヲ稟請セリ之ヲ審査スルニ同組合ハ人口一萬以上ニシテ秣山ノ事務タル管理者タル郡長ニ於テ之ヲ處理スルハ却テ不便ナルニヨリ町村制第六十五條及第七十四條ニ依リ之ヲ設ケタルモノニシテ相當ノ規定ト思考ス依テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

竹野郡船越村水分村田主丸町水縄村組合町村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年十月二日　福岡縣生葉竹野郡長　中村彦次

内務大臣伯爵　松方　正義　殿

條例第一號

常設委員設置條例

第一條　竹野郡船越村水分村田主丸町水繩村ノ組合町村ニ常設委員四名ヲ置ク

第二條　常設委員ハ組合町村會ニ於テ組合町村公民中選擧權ヲ有スル者ヨリ選擧ス

第三條　常設委員ノ任期ハ滿三箇年トス

第四條　常設委員ハ任期滿限ノ後再選セラルヽコトヲ得

第五條　常設委員ノ事務左ノ如シ

第六條　常設委員ハ郡長ノ指揮ニヨリ前條ノ事務ヲ處理スヘシ

第七條　常設委員ハ擔任事務ノ施行ニ關シ其責ニ任スヘシ

常設委員設置ノ理由

本組合町村ニ常設委員ヲ設置スル所以ハ秣山ノ事務タル大ハ境界ノ紛爭秣山內道路ノ修補小ハ負擔諸稅ノ上納ニ至ル迄總テ管理者タル郡長ニ於テ直接之ヲ處理スルハ却テ不便ノ感アルニヨリ茲ニ常設委員ヲ設ケ其事務ヲ處理セシメント欲スルニ在リ

指令二十二年十一月十二日

福岡縣下竹野郡船越村外三町村町村條例設定ノ件ハ上奏ノ通裁可セラレタリ

法制局議案二十二年十一月九日

內務大臣上奏福岡縣下竹野郡船越村外三町村町村條例設定ニシテ法律ニ牴觸ノ廉無之ニ付上奏ノ通裁可セラレ可然ト認ム

內務省上奏二十二年十二月二十五日

福岡縣怡土志摩兩郡各町村組合ヨリ常設委員ニ關スル條例設定ノ件ヲ奏スルニ右ハ相當ノ規六十五條及第七十四條ニ依リ之ヲ審査スルニ町村制第紙寫相添ヒヲ上奏ス

（別紙）

當怡土志摩二郡町村組合會ニ於テ常設委員組織ニ關スル條例別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十二年七月十八日　福岡縣怡土志摩早良郡長　櫻藤　貫一

內務大臣伯爵　松方　正義　殿

條例第一號

第一條　怡土志摩二郡町村組合ニ常設委員ヲ設置シ野北牧場長ヲ衆シム其組織并ニ職務ハ以下各條ニ依ルヘシ

第二條　常設委員ハ一名トス其選擧ハ組合町村會ニ於テ町村制第六十五條規定ノ被選權アルモノヨリ選擧ス

第三條　常設委員ハ名譽職トス町村制第六十六條ニ依リ職務取扱實費ノ外ニ相當報酬ヲナスヘシ

第四條　常設委員任期ハ二箇年トス滿期再選セラルルコトヲ得

第五條　委員任期中補闕選擧ニ當選シタルトキハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第六條　委員ハ交番町村長ニ從屬シ各町村長ト往復協議シ民業ノ興隆ヲ圖リ物產ノ繁殖ヲ勉メ勸業上一般ノ事物ニ就キ利害得失ヲ明ニシ率先以テ各事務ノ改良進步ヲ謀ルヘシ其職務左ノ如シ

一農商改良增殖其他種藝收獲一切ニ關スル事

一農用建築溜池井堰其他農家經濟ニ關スル事

一肥料補充ノ管理改良ノ事

一家畜家禽蜜蜂等蕃殖改良飼養及管理ノ事

一作物及動物諸病ノ撲滅及豫防ノ事

一牧場ニ關スル一切ノ事

一山林蕃殖改良保護及獵業ノ事

一水產蕃殖改良保護及漁業ノ事

一織物製造物改良增殖其他工業一切ニ關スル事

一產物ノ販路及盛衰原因輸出入ニ關スル事

一諸會社改良ニ關スル事

一金融ニ關スル事

一帳合法改良ノ事

一道路ノ開鑿及河川港灣ノ疏通等ノ運輸ノ便否ニ關スル事

一用惡水路疏通ノ事

一農具其他諸器械改良ニ關スル事

一鑛礦事業改良ニ關スル事

一勸業統計ニ關スル事

一發明品及商標ニ關スル事

一勸業上衰賞ニ關スル事

一町村盛衰ノ原因ヲ詳ニスル事

一博物館勸工場博覽會共進會ニ關スル事

一天產人工ノ古物保存又ハ蒐集等ニ關スル事

一人民就產上ニ關スル諸般ノ事

第七條　左ニ揭ケル事項ハ見聞ニ從ヒ直ニ郡長ニ具申スヘシ

一動植物ニ非常ノ災害又ハ蟲害アルトキ

一家畜傳染病流行ノ兆候又ハ不時ノ變動アリシトキ

一事業上ニ不利ノ兆候又ハ不時ノ變動アリシトキ

第八條　勸業上ニ關スル集會等ハ出席シ勸業上ノ景況將來ノ意見等ヲ演陳スルコトヲ得

第九條　出張巡廻中執務ノ事項等ハ其都度交番町村長ヘ報告スヘシ

第十條　此條例中ニ交番町村長トアルハ當分之ヲ關キ郡長ノ管理ヲ乞フコトトス

ヲ指令ニ十二年十二月二十八日
福岡縣怡土志摩兩郡各町村條例ノ件上奏左通裁可セラレタリ
（内務省上奏二十三年一月十日）
福岡縣福岡市ヨリ區會ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ右ハ市制第百十三條ニ依リ設クヘキモノニシテ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙相添此段上奏ス
十二年十二月十二日
福岡縣福岡市内ニ於テ特別ニ財産ヲ所有シ又ハ營造物ヲ設ケタル區ノ爲メ區會設置ノ件參事會ノ職務ヲ以テ市制第百十三條ニ依リ該市會ノ意見ヲ聞キ別紙之通條例發行致度ニ付許可ヲ請フ
福岡市條例第五號
第一條　福岡縣福岡市内左ノ數區ニ於テ各特別ニ所有スル財産及營造物ニ關スル事務ノ爲メ每區ニ區會ヲ設ク

福岡　博多東中洲出來町ヲ除ク
同　博多小金町ヲ除ク
同　大名町　同　土手町
同　船　同　呉服町
同　賀子町　同　大工町
同　天神町　同　橋口町
同　藥院町　同　紺屋町
同　藥院堀端　同　東小姓町
同　厩林町　同　小烏馬場
同　荒戸町　同　萬　町
同　北湊町　同　上名島町
同　東唐人町　同　西職人町
同　林木屋町　同　材木町
同　東唐人町堀端　同　濱ノ町
福岡　西町　同　地行西町
博多　出來町

第二條　區會議員ノ定數ハ町村制第十一條ニヨル
第三條　各區會議員ノ選舉人被選舉人ハ其區内ニ現住スルモノニ限ル但福岡博多ヲ除ク外各區ニ於テハ選舉等級ヲ設ケサルトス（第三條但書其他ハ總テ市會ノ例ヲ適用スヘシ第四條）
第四條　前條ノ外凡ソ市會ノ例ヲ適用スル理由ニ付本案掲ケル處ノ各區ニ於テハ各特別ニ所有スル財産又ハ營造物ノ爲メ區會ヲ設ケ其事務ヲ處辨シ來レル慣行アル出來町區ノ公布物件ハ市制施行前ハ那珂那元取扱ヒ町村會ノ議ヲ經テ出來町ノ公有ニ歸セシメタル本町ハ博多ニ編入スルニ由リ該物件ハ博多區ニ於テ東中洲出來町ヲ除ク外ハ必要アリ而シテ博多區會ヲ設クルニハ每區ニ區會ヲ設ケ其事務ヲ處理セシムルヲ尚穩ヤカ萬般ノ事務ヲ處理セシムルニ因リ尚穩ヤカ萬般ノ事務ヲ處理セシムル

洲出來町小金町ヲ除キタル所以ハ東中州出來町ハ元那珂郡春吉村犬飼村ノ部落ナリト雖モ福岡市ニ接續連檐セシヲ以テ該市ニ編入シ其地ハ福岡市内ノ博多驛内ニ在ルト雖モ其ニ物件公有ノ權利ナキヲ以テ之ヲ削リ（第一條每區戸數人口各異動アリ議員ノ定數每區一樣ニ定メ難キヲ以テ其定數ハ町村制第十一條ニ依リ人口ノ多寡ニ應シ之ヲ定メ其選舉等級ハ市會議員選舉法ニ因リ三級ト爲スヘシ（第二條第四條）ト雖モ福岡區博多區ヲ除ク外ノ各區ニ於テハ一級二級ノ選舉人ノ員數極メテ少シ今之ヲ三級トナストキハ選舉ノ公平ヲ保チ難キニ依リ選舉等級ヲ設ケサルトス（第三條但書其他ハ總テ市會ノ例ヲ適用スヘシ第四條）

（別紙）
郡組合町村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ
福岡縣三潴全郡組合町村長
水落潔

明治二十二年十二月五日
内務大臣伯爵山縣有朋殿

條例第一號
常設委員ノ組織幷ニ職務之部
第一條　組合町村ニ常設委員六名ヲ置キ組合町村會ニ於テ町村公民中選舉權ヲ有スルモノヨリ之ヲ選舉ス
第二條　常設委員ノ任期ハ滿六年トシ三年毎ニ半數ヲ改選ス
但再選セラルヽヲ得
第三條　常設委員中欠員アルトキハ補闕選舉ヲ爲スヘシ其當選委員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス
第四條　委員ハ組合町村長ニ從屬シ左ノ事務ヲ分掌ス
一　衛生ニ關スル事務
二　勸業ニ關スル事務
第五條　委員ノ分掌ハ組合町村長之ヲ定ム
第六條　組合町村長ハ委員會ノ議事ヲ準備シ一切ノ事務ヲ統督ス
但委員ハ其分掌ノ事務ニ就キ議事ヲ提出スルヲ得
第七條　委員會ニ於テハ組合町村會ノ議決ニ從ヒ其分掌事務ノ施行ニ關スル方法ヲ定ムルモノトス
第八條　委員會ハ簡捷ヲ主トシ協議ノ方法ニヨリ評議スヘシ
第九條　委員互ニ意見ヲ異ニスルトキハ可否ノ多數ニヨリ之ヲ定ム可否同數ナルトキハ委員長ノ可否スル所ニ依ル
但助役委員長タルトキ町村長出席シ代テ委員長トナル場合ニ於テ助役ハ可否ノ數ニ加フコトヲ得

第十條　組合町村長ハ委員會評決ノ要領ヲ記錄セシムルモノトス

第十一條　組合町村長ニ於テ委員會ノ評決ヲ不當ナリトスルトキハ自己ノ責任ニヨリ評決ヲ從ハサルコトヲ得

第十二條　委員ハ前條ノ場合ヲ除ク外委員會ノ評決ニ從ヒ各其主任ノ事務ヲ處辨シ又ハ調査スヘシ

但シ委員事務ヲ行フニ當リ書記計算等ノ事ヲ書記以下ノ吏員ニ命スルコトヲ得

第十三條　急施ヲ要スル場合ニ於テ委員會ヲ開クノ暇ナキトキハ組合町村長ハ委員會ノ事務ヲ專決處分スルコトヲ得

第十四條　以上各條ノ範圍內ニ於テ處務ノ細則ヲ設クルコトヲ得

理由書

本條例ヲ設クルノ理由ハ三郡組合町村ヲ設置シ衛生勸業ニ關スル事務ヲ分掌處辨スルニ由ル

指令二十三年二月四日

福岡縣三郡全郡組合町村條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年三月七日

福岡縣吉井町外五村組合ヨリ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

生葉郡吉井町千年村福富村浮羽村江南村竹野郡松越村組合町村會ニ於テ常設委員ニ關スル條例ノ件別紙ノ通議決候ニ付許可ヲ請フ

明治二十三年二月七日　福岡縣生葉竹野郡長　中村彦次

內務大臣伯爵山縣有朋殿

第一條　常設委員設置條例

生葉郡吉井町千年村福富村浮羽村江南村竹野郡船越村ノ組合町村ニ常設委員二名ヲ置ク

第二條　常設委員ハ組合町村會ニ於テ組合町村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ選舉ス

第三條　常設委員ノ任期ハ滿三箇年トス

第四條　常設委員ハ任期滿限ノ後再選セラルヽコトヲ得

第五條　常設委員ノ事務ハ左ノ如シ

一　林山ニ關スル事務

第六條　常設委員ハ郡長ノ指揮ニ依リ前條ノ事務ヲ處理スヘシ

第七條　常設委員任務ニ擔任事務ノ施行ニ關シ其責ニ任スヘシ

常設委員設置ノ理由

林山ニ關スル事務タル境界紛爭負擔租稅ノ上納等管理者タル郡長ニ於テ直接之ヲ處理スルハ却テ不便ノ咸アルニヨリ常設委員ヲ設置シ其事務ヲ處理セシメント欲スルニ在リ

指令二十三年三月十一日

福岡縣生葉郡吉井町外五村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年五月十六日

福岡縣那珂御笠席田三郡各村組合ヨリ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規定ト思考ス由テ御裁可アラセラレ度別紙寫相添謹テ上奏ス

（別紙）

村條例認可伺

所轄那珂御笠席田三郡各村組合會ニ於テ勸業ニ係ル事務ニ付常設委員二名ヲ置キ其組織職務左ノ通之ヲ定ム

許可相成度此段相伺候也

明治二十三年二月二十八日　福岡縣那珂御笠席田郡長　郡　保宗

內務大臣伯爵山縣有朋殿

條例

町村制第六十五條ニ依リ郡珂御笠席田三郡村組合會ニ於テ常設委員ヲ置キ其組織職務左ノ通之ヲ定ム

第一條　勸業ニ關スル事務ニ付常設委員二名ヲ置キ村組合會ニ於テ其組合村公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ之ヲ選舉ス

第二條　常設委員ノ任期ハ二年トス

但再選セラルルヲ得

第三條　委員中闕員アルトキハ補闕選舉ヲ爲スヘシ其當選委員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第四條　委員ハ郡長ニ從屬シ勸業ニ係ル諸般ノ事務ヲ分掌ス

第五條　削除之分

第六條　村組合議決ニ隨ヒ委員ノ分掌及分掌事務ノ施行ニ關スル方法ハ郡長之ヲ定ム

第七條　委員互ニ意見ヲ異ニスルトキハ郡長ノ可否スルトコロニ據ル

第八條　郡長ハ以上各條ノ範圍內ニ於テ該委員ノ處務細則ヲ設クルコトヲ得

理由書

條例ヲ以テ那珂御笠席田三郡各村組合會ニ常設委員ヲ置クハ從來右三郡各村聯合村會ニ勸業委員ヲ設ケ勸業ニ關スル諸般ノ事務ヲ取扱ハセ來リタレハ仍ホ之ヲ繼續セシメサレハ實際上差支アルモノ鮮少ナラス故ニ町村制第六十五條ニ倣ヒ之ヲ常設委員トシ勸業ニ係ル事務ヲ分掌セシメ人民自治ノ意想ヲ發起セシメ農商工諸般ノ事業ヲ奬勵シ此際富源ノ端緒ヲ開カシメ漸次殷盛ナラシメンコトヲ欲スルナリ本條例ニ委員長ヲ設ケサルハ三郡各村聯合會ハ從來郡長ノ監督ニ屬セシモノナレハ町村制第七十四條第二項ニ準據シ難キヲ以テ當時郡長ニ從屬セシメ其制裁ヲ受クルモノトス

但本文村組合會ニ於テ施行ニ係ル一切ノ事務ハ總テ郡長ニ從屬セシメ其制裁ヲ受クルモノトス

指令二十三年五月十九日

福岡縣那珂御笠席田三郡各村組合條例ノ件上奏ノ通裁可セラレタリ

內務省上奏二十三年六月七日

福岡縣夜須那各町村組合ヨリ常設委員ニ關スル條例別紙ノ通許可ヲ禀請セリ之ヲ審査スルニ相當ノ規